

人権に関する市民意識調査報告書

平成29年3月

相模原市

人権に関する市民意識調査報告書

目 次

調査概要.....	1
・回答者の属性.....	2
・調査結果.....	4
1. 人権全般についての考えや意識について.....	4
2. 女性の人権について.....	46
3. 子どもの人権について.....	50
4. 高齢者の人権について.....	56
5. 障害のある人の人権について.....	60
6. 同和問題(部落差別)について.....	65
7. 外国人の人権について.....	71
8. 性的少数者の人権について.....	75
9. エイズ患者やHIV感染者の人権について.....	83
10. 働く人の人権について.....	85
11. 刑を終えて出所した人の人権について.....	87
12. 犯罪被害者等の人権について.....	89
13. ハンセン病患者や回復者の人権について.....	92
14. 人身取引に関する人権問題について.....	94
15. ホームレスの人権について.....	96
16. アイヌの人々の人権について.....	98
17. インターネットを利用した人権問題について.....	100
18. 災害に起因する人権問題について.....	102
19. 北朝鮮当局による拉致被害者等の人権について.....	104
20. 人権課題の解決に向けた方策について.....	106
調査票.....	115

人権に関する市民意識調査報告書

調査概要

調査の目的 市民の人権に関する意識、考え方等を統計的手法によつて的確に把握し、今後の人権施策をより効果的に進めるための基礎資料とする。

調査対象 相模原市に在住する20歳以上の男女個人(外国人を含む) 3,000人

抽出方法 住民基本台帳からの等間隔系統抽出

調査方法 郵送によるアンケート方式

回収率 48.1%

調査期間 平成28年12月1日～12月15日

集計結果の見方

- ・回答の比率(すべて百分率(%)で表示)は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・数値はそれぞれ割合(%)を表示。

クロス集計表の見方

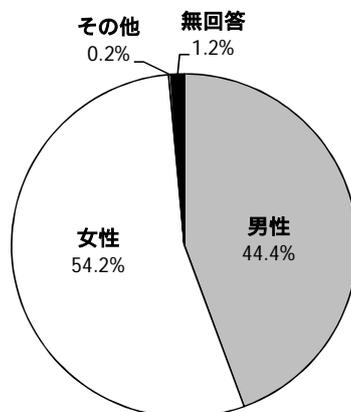
濃いグレーの塗りつぶし: 選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶし、数値を太字で表示している。

薄いグレーの塗りつぶし: 属性別にみて、特徴的な項目(全体の数値と比べて概ね10ポイント以上数値が高い項目)については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

・回答者の属性

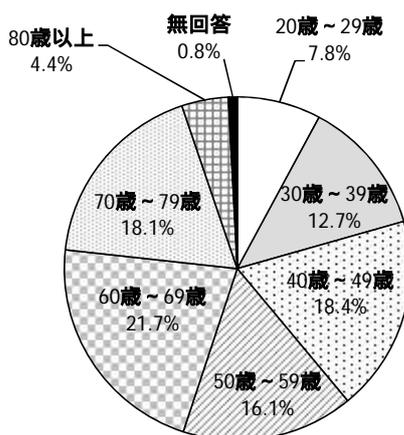
F 1 あなたの性別を教えてください。(は1つ)

・男性が44.4%、女性が54.2%で、女性が9.8ポイント高くなっている。



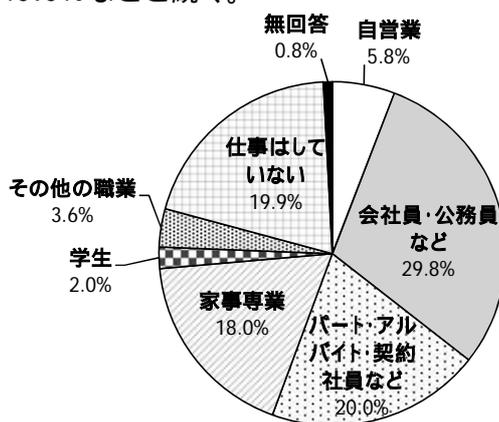
F 2 あなたの年齢を教えてください。(は1つ) <平成28年12月1日現在の満年齢>

・最も多いのは60代の21.7%、少ないのは80歳以上の4.4%となっている。



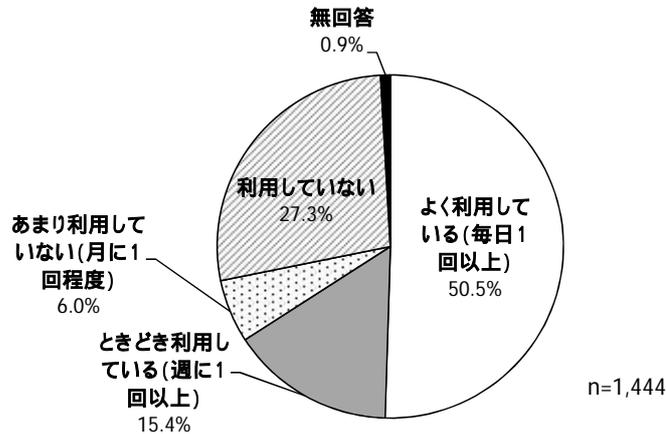
F 3 あなたのご職業を教えてください。2つ以上の職業をお持ちの方は主なものを次の中から1つ選んでください。(は1つ)

・会社員・公務員などが29.8%で最も多く、次いでパート・アルバイト・契約社員などが20.0%、仕事をしていない人が19.9%などと続く。



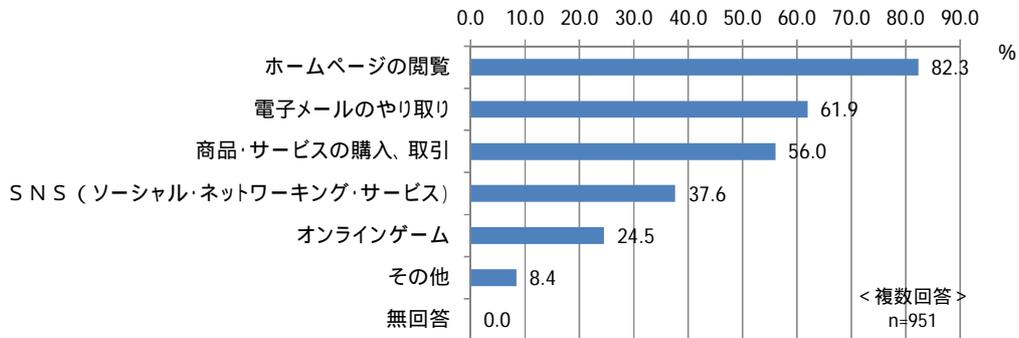
F 4 あなたは、インターネットを利用していますか。(は1つ)

- ・「よく利用している(毎日1回以上)」が50.5%で、ほぼ半数を占める。次いで「利用していない」が27.3%で、全体の4分の1強である。
- ・「よく利用している(毎日1回以上)」と「ときどき利用している(週に1回以上)」を合わせると65.9%で、日常的にインターネットを使用していると考えられるのは全体の6割以上となっている。



F 5 どのような目的でインターネットを利用していますか。(F 4で「よく利用している」又は「ときどき利用している」とお答えの方、あてはまるものすべてに)

- ・「ホームページの閲覧」が最も多く 82.3%で、8割を超えている。次いで「電子メールのやり取り」が61.9%、「商品・サービスの購入、取引」が56.0%などとなっている。

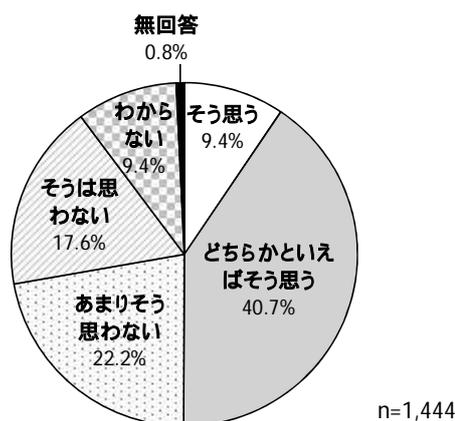


調査結果

1. 人権全般についての考えや意識について

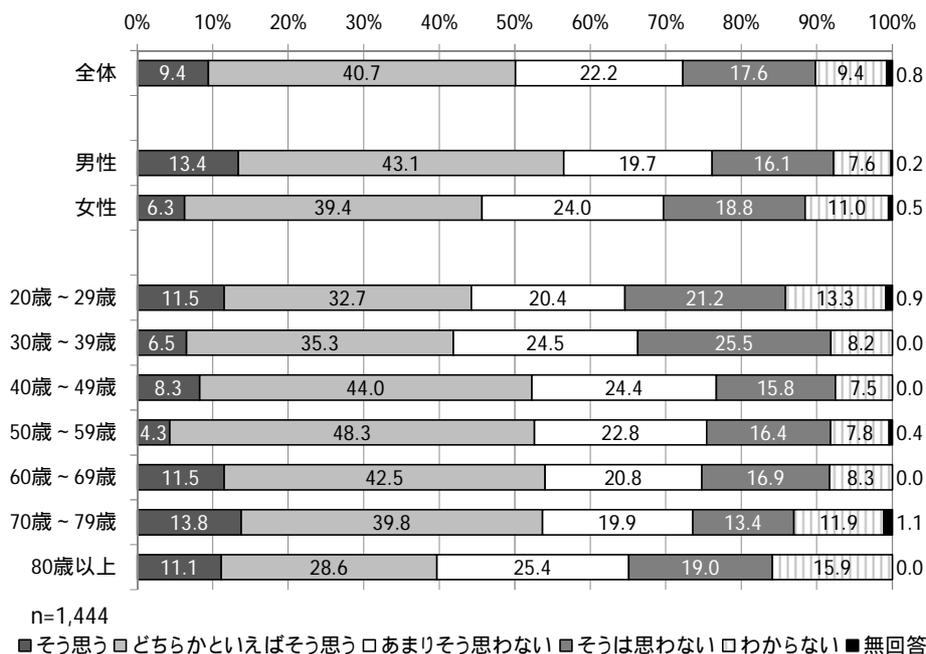
問1 あなたは、今の日本は、一人ひとりの人権が尊重されている社会だと思いますか。(は1つ)

- ・「どちらかといえばそう思う」が40.7%で最も多い。以下「あまりそう思わない」(22.2%)、「そうは思わない」(17.6%)、「そう思う」(9.4%)、「わからない」(9.4%)となっている。
- ・「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると50.1%で、全体のほぼ半数となっている。



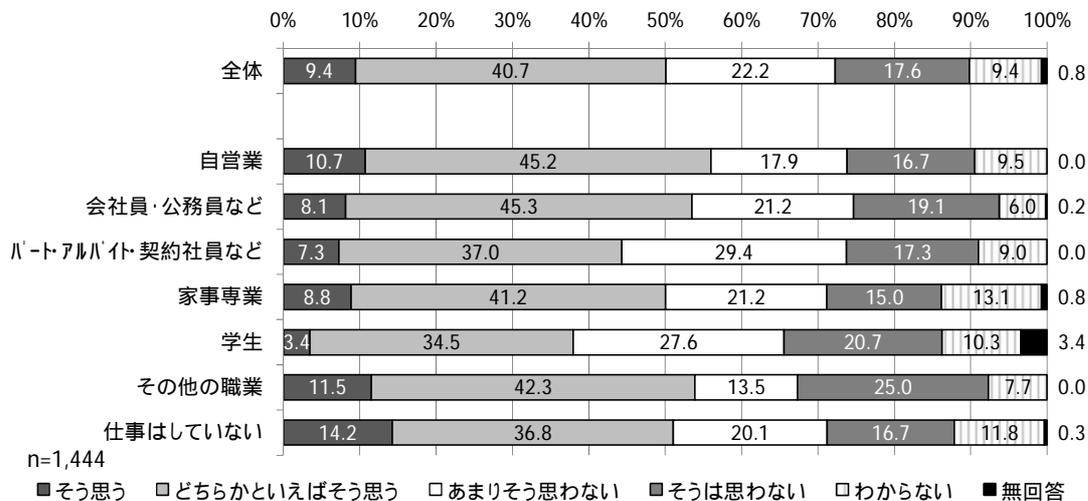
性別・年齢別 今の日本は、一人ひとりの人権が尊重されている社会だと思うか

- ・性別では、男女とも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっている。また、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた数値は、男性の方が女性より10.8ポイント高い。
- ・年齢別では、いずれの世代も「どちらかといえばそう思う」が最も多い。「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた数値は60代で最も高くなっている。



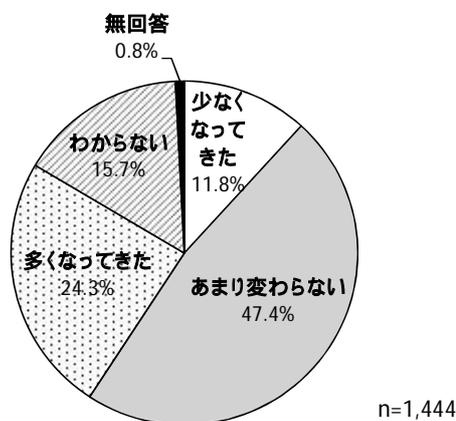
職業別 今の日本は、一人ひとりの人権が尊重されている社会だと思うか

・いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多い。「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた数値が最も高いのは自営業、低いのは学生となっている。



問2 あなたは、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思いますか、あまり変わらないと思いますか、それとも次第に多くなってきたと思いますか。(は1つ)

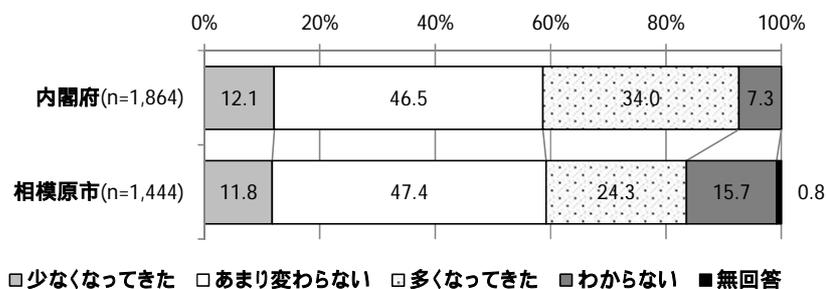
- ・「あまり変わらない」が47.4%で最も多く、全体の約半数となっている。次いで「多くなってきた」(24.3%)、「わからない」(15.7%)、「少なくなってきた」(11.8%)となっている。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年度)

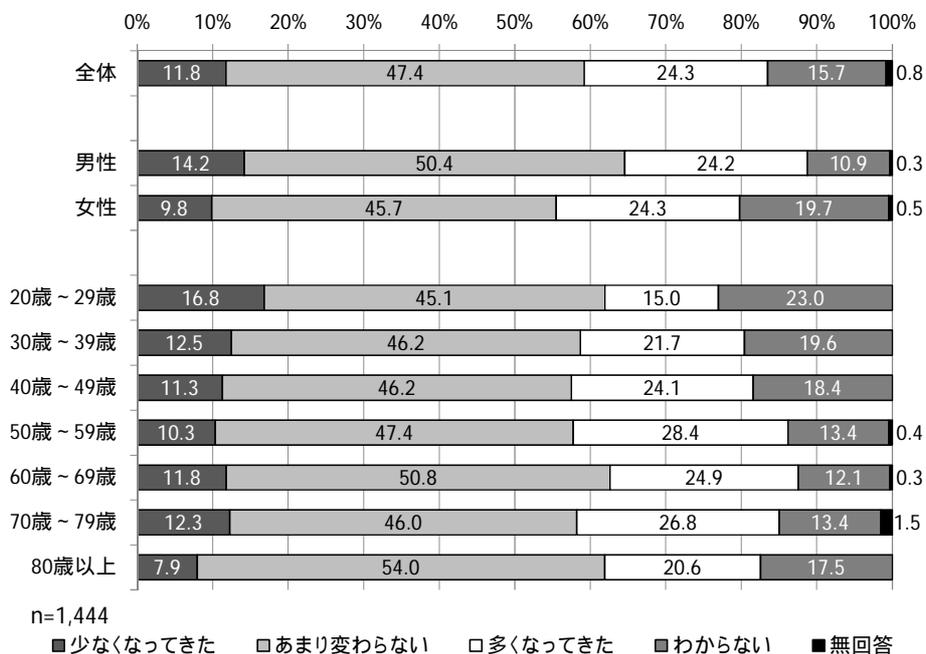
【人権侵害の推移】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年度)と比較すると、相模原市調査では「あまり変わらない」が47.4%と内閣府調査(46.5%)とほぼ同率であるのに対し、「多くなってきた」(24.3%)は、内閣府調査(34.0%)と比べて9.7ポイント低くなっている。



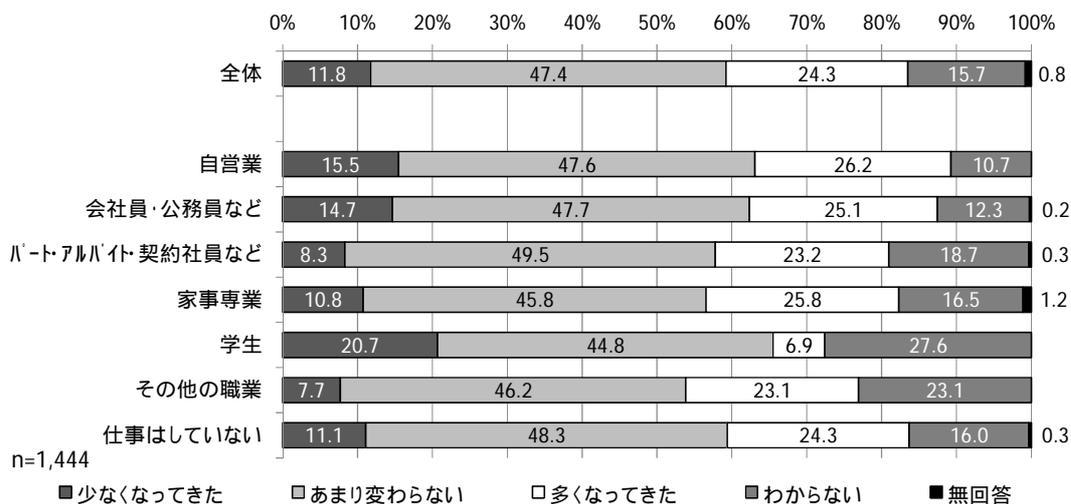
性別・年齢別 この5～6年間の日本における人権侵害について

- ・性別では、男女とも「あまり変わらない」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代も「あまり変わらない」が最も多くなっている。「少なくなってきた」の数値が最も高いのは20代、「多くなってきた」の数値が最も高いのは50代である。



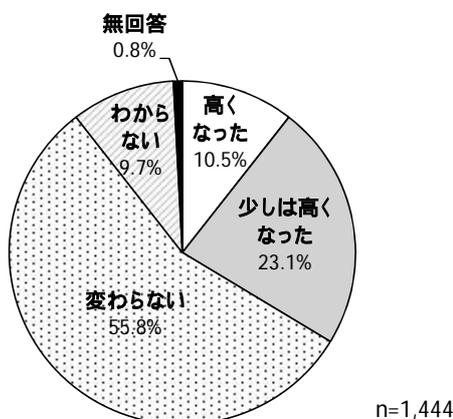
職業別 この5～6年間の日本における人権侵害について

- ・いずれの職業も「あまり変わらない」が最も多くなっている。学生では「少なくなってきた」の数値が2割に達しているほか、「わからない」の数値が全体に比べて高くなっている。



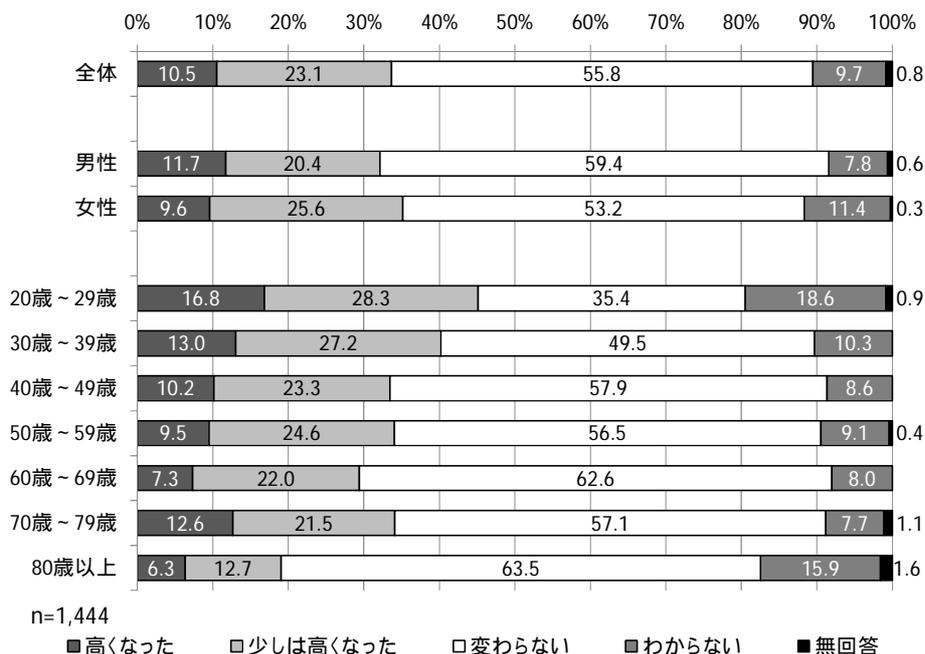
問3 あなた自身の人権意識は、5年前に比べ高くなったと思いますか。(は1つ)

- ・「変わらない」が55.8%で最も多く、全体の過半数を占める。以下「少しは高くなった」(23.1%)、「高くなった」(10.5%)、「わからない」(9.7%)となっている。



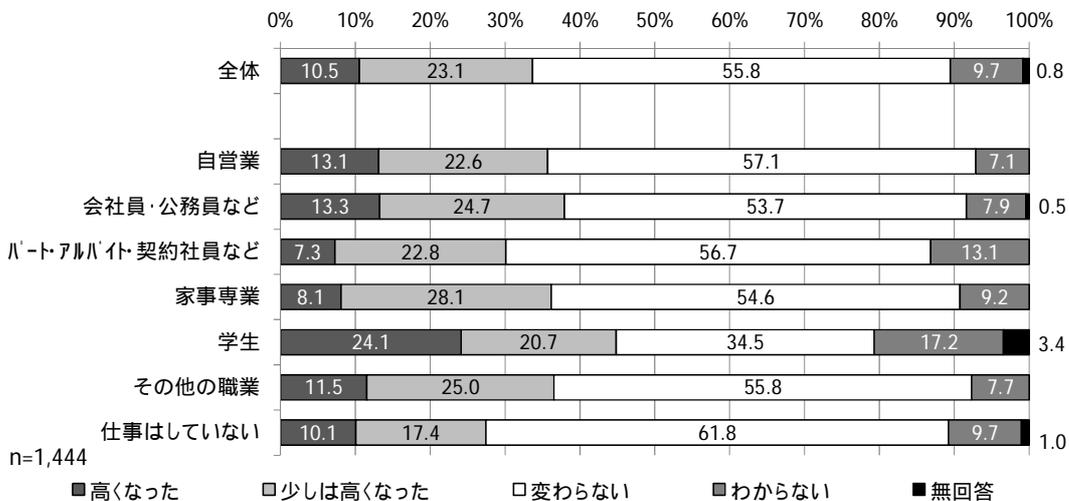
性別・年齢別 5年前と比べた自分自身の人権意識

- ・性別では、男女とも「変わらない」が最も多く、大きな差異は見られなかった。
- ・年齢別では、いずれの世代も「変わらない」が最も多くなっている。「高くなった」の数値が最も高いのは20代となっている。



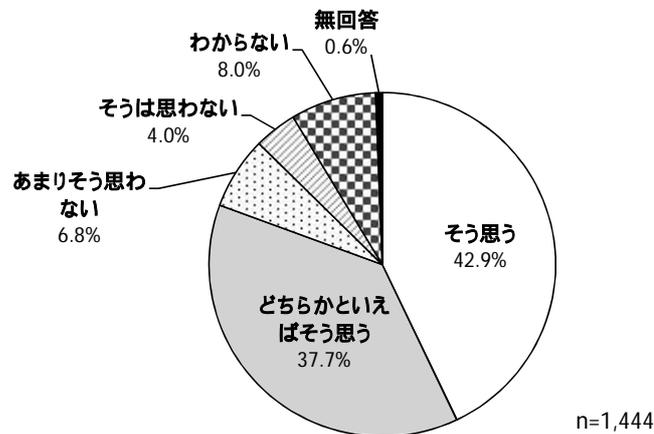
職業別 5年前と比べた自分自身の人権意識

・いずれの職業も「変わらない」が最も多くなっている。学生では「高くなった」の数值が高く、全体値より10ポイント以上高い値となっている。



問4 「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見について、あなたはどのように思いますか。(は1つ)

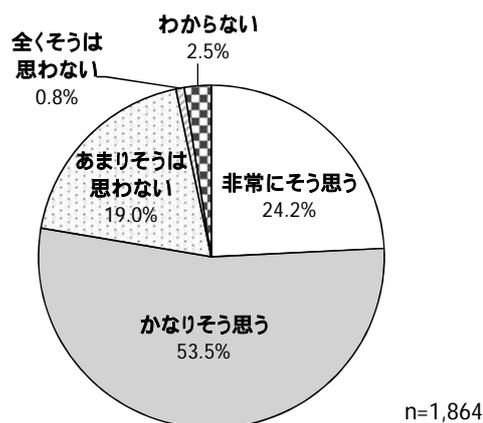
- ・「そう思う」が最も多く 42.9%、次いで「どちらかといえばそう思う」が 37.7%で、これらを合わせると 80.6%と、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えたと考えている人は8割に達している。以下「あまりそう思わない」(6.8%)、「そうは思わない」(4.0%)、「わからない」(8.0%)となっている。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年度)

【人権尊重と権利の主張による他人への迷惑について】

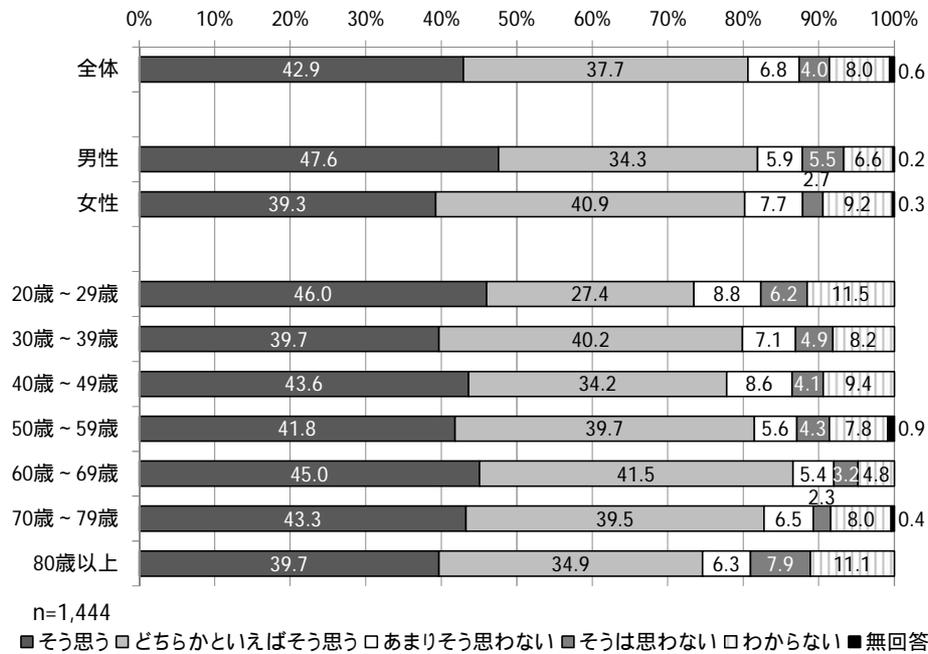
- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年度)をみると、「かなりそう思う」が最も多く 53.5%、次いで「非常にそう思う」が 24.2%で、これらを合わせると、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきたと考えている人は 77.7%となっており、相模原市調査とほぼ同率となっている。



注) 内閣府調査では無回答を除いた集計となっている。

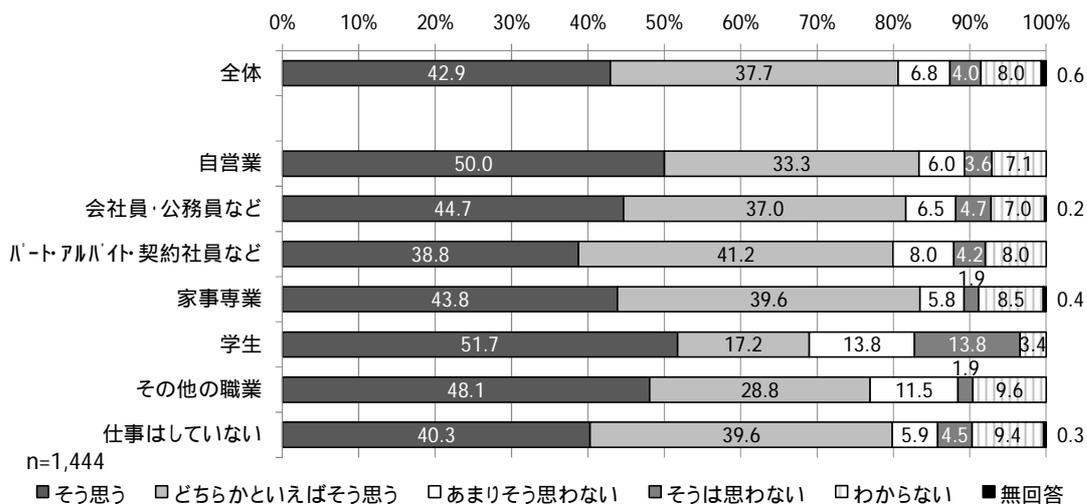
性別・年齢別 権利のみを主張して他人の迷惑を考えない人が増えてきたという意見について

- ・性別では、男性は「そう思う」、女性は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、30代で「どちらかといえばそう思う」、それ以外の世代では「そう思う」が最も多くなっている。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた数値が最も高いのは60代である。



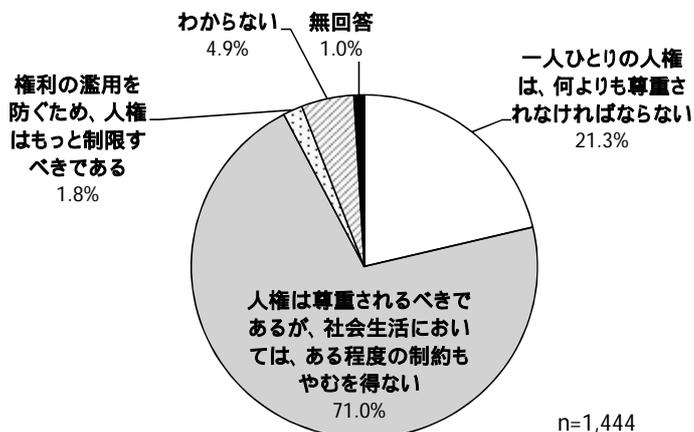
職業別 権利のみを主張して他人の迷惑を考えない人が増えてきたという意見について

- ・パート・アルバイト・契約社員などでは「どちらかといえばそう思う」、それ以外の職業では「そう思う」が最も多くなっている。



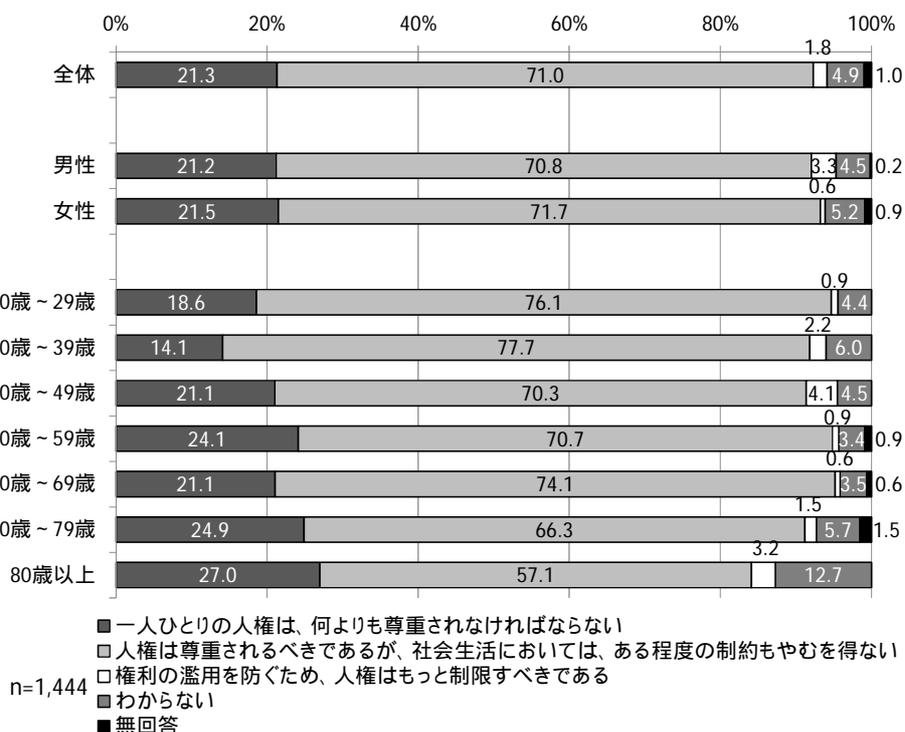
問5 あなたの「人権」に対する考えのうち、もっとも近いものは次のうちどれですか。(は1つ)

- ・「人権は尊重されるべきであるが、社会生活においては、ある程度の制約もやむを得ない」が最も多く71.0%と、全体の7割以上に達している。以下「一人ひとりの人権は、何よりも尊重されなければならない」(21.3%)、「わからない」(4.9%)、「権利の濫用を防ぐため、人権はもっと制限すべきである」(1.8%)となっている。



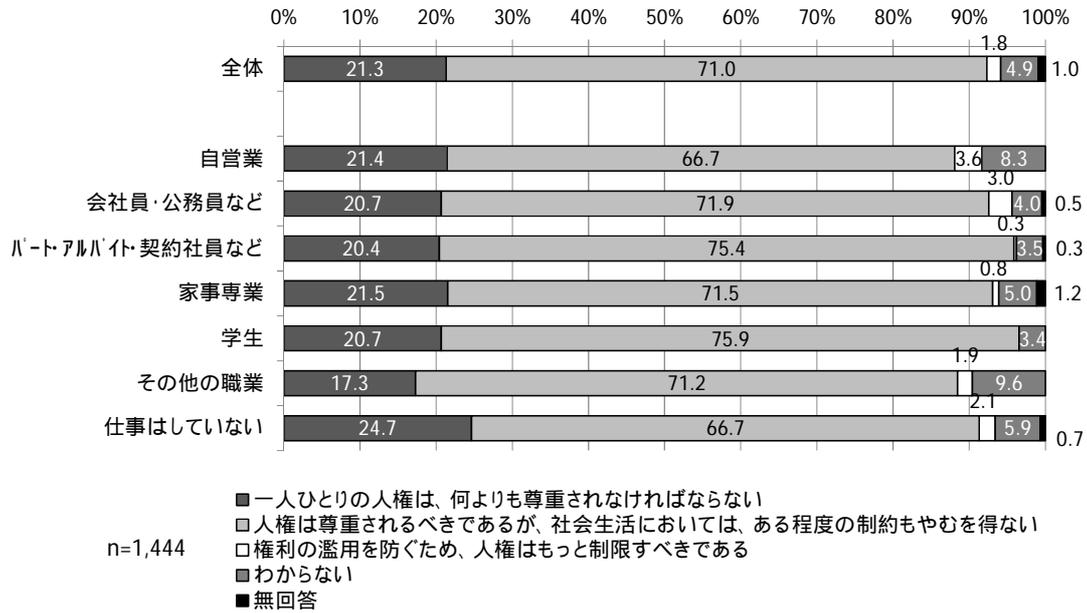
性別・年齢別 人権についての考え方

- ・性別では、男女とも「人権は尊重されるべきであるが、社会生活においては、ある程度の制約もやむを得ない」が最も多く、大きな差異は見られなかった。
- ・年齢別では、いずれの年齢でも「人権は尊重されるべきであるが、社会生活においては、ある程度の制約もやむを得ない」が最も多くなっている。



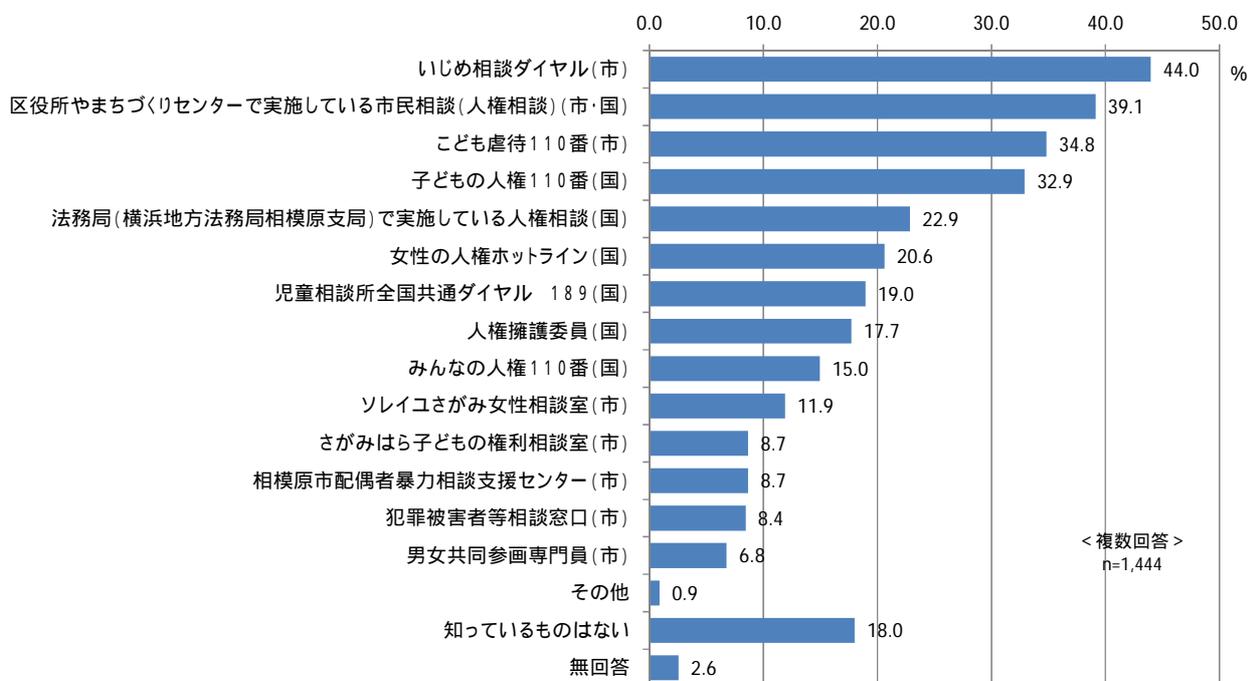
職業別 人権についての考え方

・いずれも「人権は尊重されるべきであるが、社会生活においては、ある程度の制約もやむを得ない」が最も多くなっている。



問6 次の人権に関する相談先のうち、あなたが知っているものはありますか。相談経験の有無は問いません。(カッコ内は実施主体等)(あてはまるものすべてに)

・最も認知度が高いのは「いじめ相談ダイヤル(市)」の44.0%で、4割以上となっている。次いで「区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談(人権相談)(市・国)」が39.1%、「子ども虐待110番(市)」(34.8%)、「子どもの人権110番(国)」(32.9%)が3割以上となっている。なお「知っているものはない」は18.0%で、約2割となっている。



性別・年齢別 人権に関する相談先の認知度

- 性別では、男女とも「いじめ相談ダイヤル（市）」が最も多い。また、男性は女性より「人権擁護委員（国）」が 10.2 ポイント、女性は男性より「いじめ相談ダイヤル（市）」が 14.2 ポイント、「子ども虐待 110 番（市）」が 10.4 ポイント、それぞれ高くなっている。
- 年齢別では、50 代以下の世代では「いじめ相談ダイヤル（市）」、60 代より上の世代では「区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談（人権相談）（市・国）」が最も多く、50 代を境に傾向が分かれた。また、70 代で「人権擁護委員（国）」、70 代と 80 歳以上で「法務局（横浜地方法務局相模原支局）で実施している人権相談（国）」の数値が、全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

		問 6 人権に関する相談先の認知度																	
合計		人権擁護委員（国）	法務局（横浜地方法務局相模原支局）で実施している人権相談（国）	みんなの人権 110 番（国）	子どもの人権 110 番（国）	女性の人権ホットライン（国）	9（国）	児童相談所全国共通ダイヤル 189（国）	区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談（人権相談）（市・国）	さがみはら子どもの権利相談室（市）	いじめ相談ダイヤル（市）	子ども虐待 110 番（市）	男女共同参画専門員（市）	相模原市配偶者暴力相談支援センター（市）	ソレイユさがみ女性相談室（市）	犯罪被害者等相談窓口（市）	その他	知っているものはない	無回答
	全体	1444	17.7	22.9	15.0	32.9	20.6	19.0	39.1	8.7	44.0	34.8	6.8	8.7	11.9	8.4	0.9	18.0	2.6
F 1 性別（統合）	男性	641	23.4	27.1	16.1	29.5	15.4	17.3	35.9	7.8	36.3	29.2	5.9	6.7	7.8	8.1	1.2	22.8	2.5
	女性	782	13.2	19.4	14.3	36.1	24.8	20.1	42.2	9.5	50.5	39.6	7.7	10.5	15.5	9.0	0.6	14.2	2.4
F 2 年齢	20歳～29歳	113	3.5	5.3	18.6	32.7	25.7	20.4	14.2	13.3	54.0	31.9	7.1	3.5	8.0	1.8	0.0	23.0	1.8
	30歳～39歳	184	10.9	13.6	10.3	32.6	22.8	19.0	22.3	6.0	51.6	34.2	4.3	6.0	9.8	7.1	0.0	25.5	1.6
	40歳～49歳	266	8.3	14.3	16.9	35.0	24.4	19.2	25.9	8.6	50.4	35.3	4.5	9.0	11.3	4.9	1.1	21.4	2.3
	50歳～59歳	232	14.7	17.7	13.8	32.3	26.7	20.7	37.1	8.6	48.3	37.1	7.3	9.5	13.8	9.1	0.4	19.0	0.9
	60歳～69歳	313	24.3	27.8	13.4	32.3	16.6	18.2	49.8	6.1	39.3	32.9	5.4	6.4	12.1	8.0	1.3	14.1	1.9
	70歳～79歳	261	31.8	40.6	16.9	34.5	13.8	18.8	61.3	11.9	34.9	38.3	11.5	13.0	14.2	14.9	1.5	11.9	4.6
	80歳以上	63	22.2	36.5	20.6	27.0	15.9	15.9	54.0	9.5	23.8	30.2	9.5	15.9	11.1	14.3	1.6	12.7	7.9

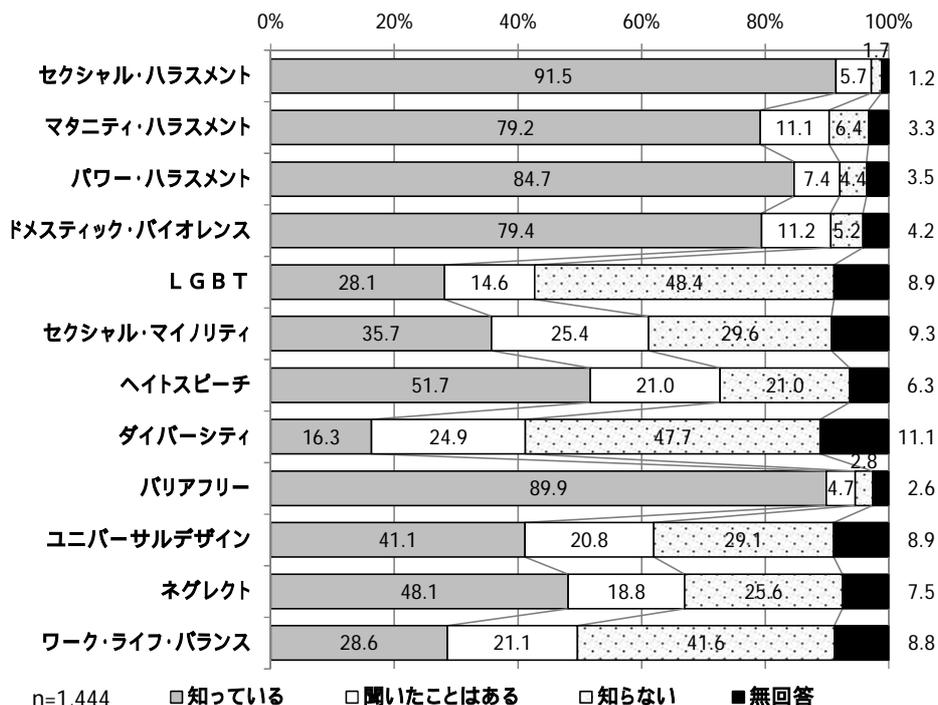
職業別 人権に関する相談先の認知度

- 自営業、仕事をしていない人では「区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談（人権相談）（市・国）」、それ以外では「いじめ相談ダイヤル（市）」が最も多く、家事専業ではこの2つが同率となっている。また、学生では「みんなの人権 110 番（国）」、「女性の人権ホットライン（国）」、「児童相談所全国共通ダイヤル 189（国）」、仕事をしていない人では「法務局（横浜地方法務局相模原支局）で実施している人権相談（国）」の数値が、全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

		問 6 人権に関する相談先の認知度																	
合計		人権擁護委員（国）	法務局（横浜地方法務局相模原支局）で実施している人権相談（国）	みんなの人権 110 番（国）	子どもの人権 110 番（国）	女性の人権ホットライン（国）	9（国）	児童相談所全国共通ダイヤル 189（国）	区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談（人権相談）（市・国）	さがみはら子どもの権利相談室（市）	いじめ相談ダイヤル（市）	子ども虐待 110 番（市）	男女共同参画専門員（市）	相模原市配偶者暴力相談支援センター（市）	ソレイユさがみ女性相談室（市）	犯罪被害者等相談窓口（市）	その他	知っているものはない	無回答
	全体	1444	17.7	22.9	15.0	32.9	20.6	19.0	39.1	8.7	44.0	34.8	6.8	8.7	11.9	8.4	0.9	18.0	2.6
F 3 職業	自営業	84	17.9	25.0	17.9	29.8	14.3	17.9	39.3	8.3	36.9	31.0	8.3	8.3	10.7	9.5	0.0	25.0	3.6
	会社員・公務員など	430	17.0	19.5	16.5	32.8	24.2	19.8	29.5	9.1	46.7	33.5	4.7	5.8	10.7	5.6	0.9	20.9	3.3
	パート・アルバイト・契約社員など	289	12.5	14.9	11.4	32.5	23.5	17.3	38.8	8.3	51.2	35.3	5.5	9.0	11.4	5.9	0.7	18.7	0.3
	家事専業	260	16.5	23.8	16.2	40.4	23.5	22.3	48.5	8.5	48.5	41.9	10.0	13.1	16.9	12.3	0.8	11.9	3.1
	学生	29	0.0	0.0	27.6	37.9	34.5	31.0	13.8	10.3	55.2	24.1	13.8	3.4	10.3	0.0	0.0	13.8	3.4
	その他の職業	52	21.2	23.1	7.7	23.1	15.4	15.4	36.5	3.8	38.5	28.8	9.6	7.7	9.6	7.7	0.0	17.3	3.8
	仕事をしていない	288	26.0	36.5	14.9	29.9	12.2	17.0	49.7	9.7	30.9	34.0	6.9	9.7	10.8	12.8	1.7	17.0	2.1

問7 次の人権課題に関連する言葉のうち、あなたが知っているものはありますか。番号で回答してください。(それぞれは1つ)

- ・「LGBT」、「ダイバーシティ」、「ワーク・ライフ・バランス」の3項目については「知らない」がそれぞれ48.4%、47.7%、41.6%と4割以上を占め、最も多くなっている。
- ・それ以外の項目については「知っている」が最も多く、特に「セクシャル・ハラスメント」(91.5%)、「バリアフリー」(89.9%)では9割前後、「パワー・ハラスメント」(84.7%)、「マタニティ・ハラスメント」(79.2%)、「ドメスティック・バイオレンス」(79.4%)は8割前後が「知っている」としている。



性別・年齢別・職業別 人権課題に関連する言葉の認知度

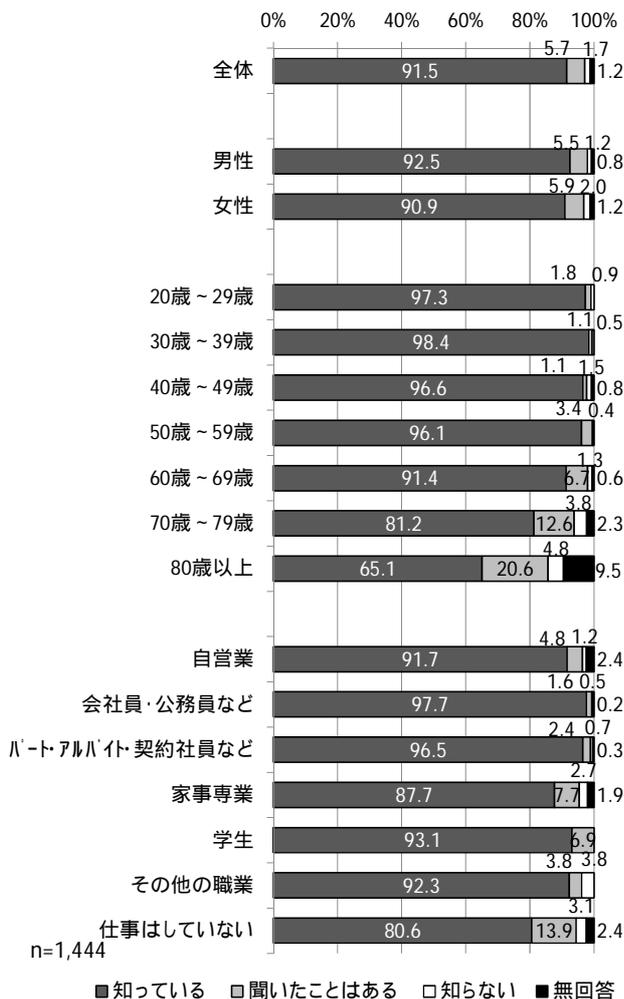
(1) セクシャル・ハラスメント

- ・性別では、男女とも「知っている」が9割を超え、大きな男女差は見られない。
- ・年齢別では50代までの世代では「知っている」が9割台後半の高い数値となっているが、年齢が上がるとともに徐々に減少し、80歳以上では6割台となっている。また80歳以上では「聞いたことはある」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。
- ・職業別では、会社員・公務員など、パート・アルバイト・契約社員などでは「知っている」が9割台後半の高い数値となっている。家事専業や仕事をしていない人では8割台となっている。

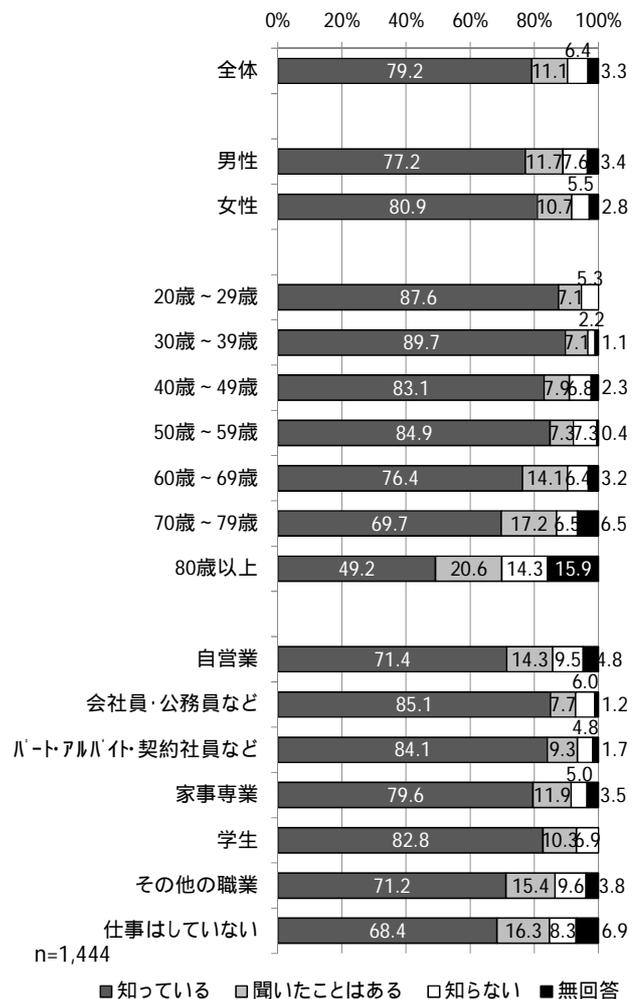
(2) マタニティ・ハラスメント

- ・性別では、男女とも「知っている」が8割前後で、女性の方がやや高い数値となっている。
- ・年齢別では、50代までの世代では「知っている」が8割以上を占めているが、60代以降は年齢が上がるとともに徐々に減少し、80歳以上では「知っている」が半数弱となっている。
- ・職業別では、会社員・公務員など、パート・アルバイト・契約社員など、学生では、「知っている」が8割以上となっている。一方、仕事をしていない人では7割未満となっている。

セクシャル・ハラスメント



マタニティ・ハラスメント



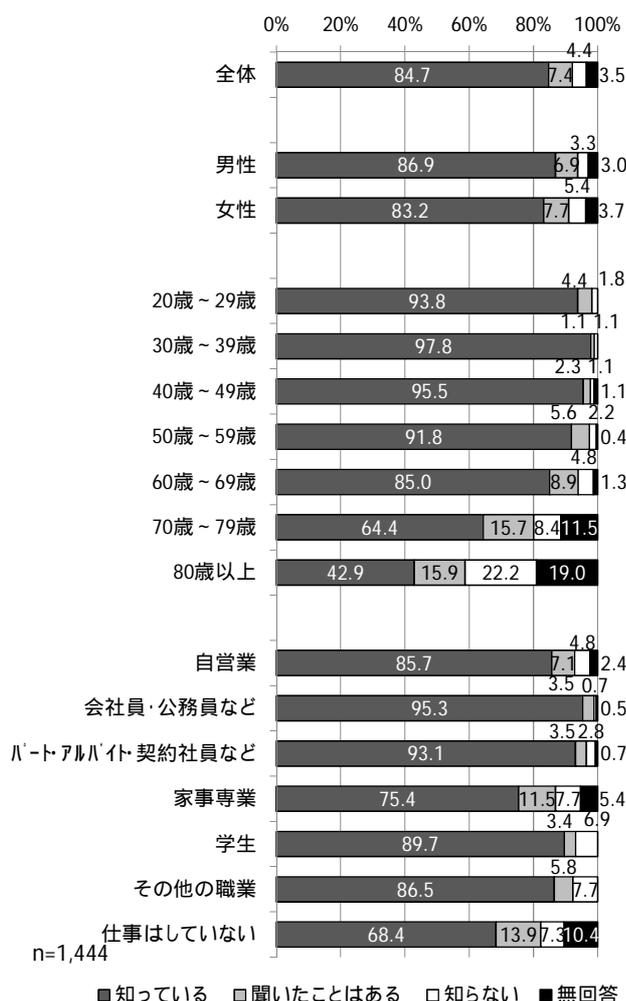
(3) パワー・ハラスメント

- ・性別では、男女とも「知っている」が8割台で、男性の方がやや高い数値となっている。
- ・年齢別では、50代までの世代では「知っている」が9割以上を占め、特に30代、40代で高い数値となっているが、年齢が上がるとともに徐々に減少し、80歳以上では「知っている」が5割弱にとどまっているほか、「知らない」の数値が2割を超えている。
- ・職業別では、会社員・公務員など、パート・アルバイト・契約社員などでは「知っている」が9割以上となっている。仕事をしていない人では7割未満である。

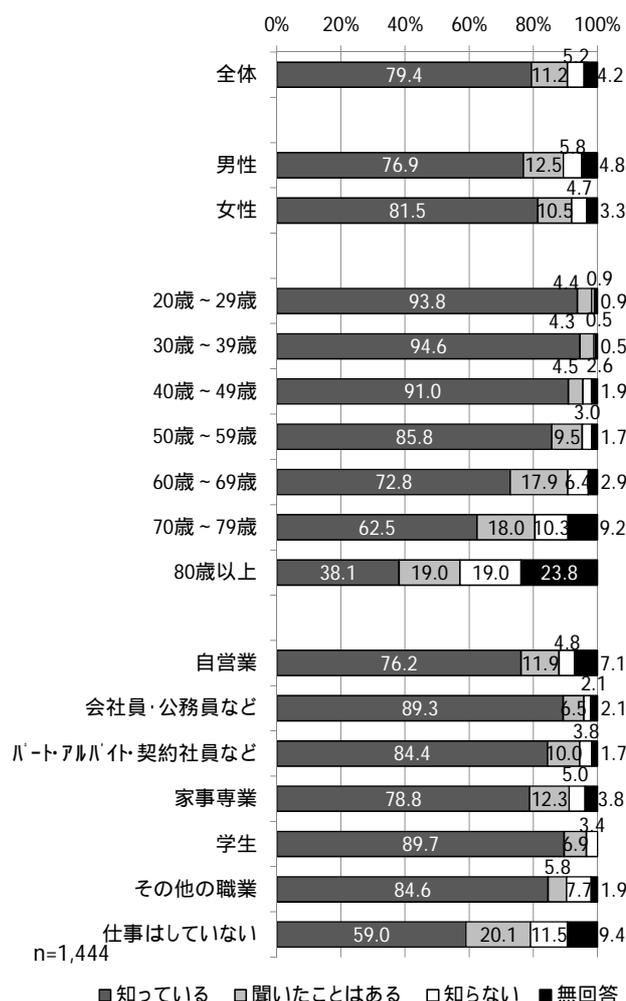
(4) ドメスティック・バイオレンス

- ・性別では、男女とも「知っている」が8割前後で、女性は男性より4.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、40代までの世代では「知っている」が9割以上となっているが、年齢が上がるとともに徐々に減少し、80歳以上では「知っている」が4割に満たないほか、「知らない」の数値が2割近くに達している。
- ・職業別では、会社員・公務員など、学生では、「知っている」が約9割となっている。一方仕事をしていない人では6割に満たない。

パワー・ハラスメント



ドメスティック・バイオレンス

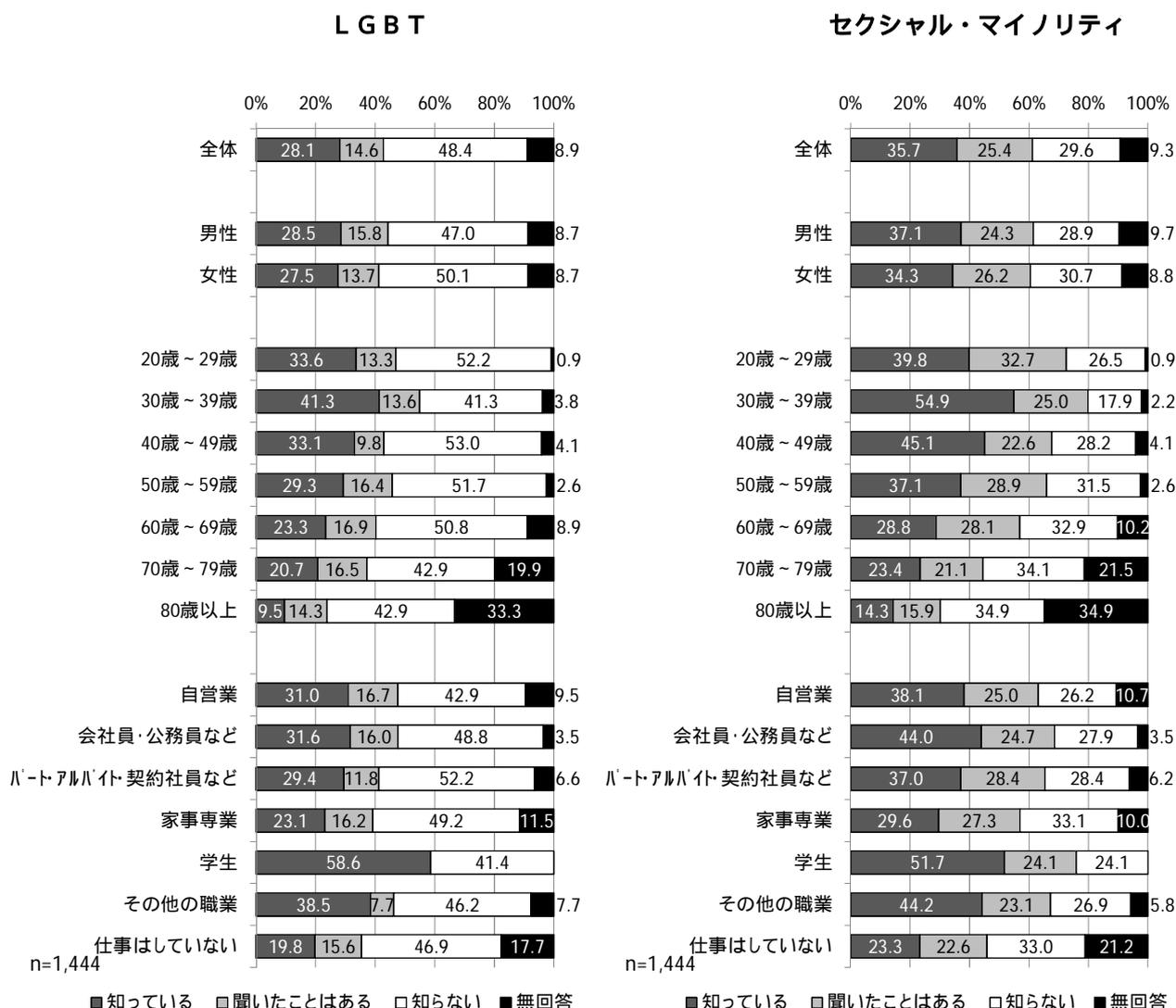


(5) LGBT

- ・性別では、男女とも「知らない」が5割前後となっている。
- ・年齢別では、30代のみ「知っている」と「知らない」が同率となっている。その他の世代ではいずれも「知らない」が最も多い。「知っている」の数値は30代で高く、80歳以上では1割に満たない。
- ・職業別では、学生のみ「知っている」が最も多く6割近くに達しているほか、その他の職業でも「知っている」の数値が全体値より10ポイント以上高くなっている。学生以外の職業では「知らない」が最も多くなっている。

(6) セクシャル・マイノリティ

- ・性別では、男女とも「知っている」が3割台で最も多く、大きな差異は見られなかった。
- ・年齢別では、50代までの世代では「知っている」、60代以上の世代では「知らない」が最も多く、60代を境に傾向が分かれた。最も認知度が高いのは30代である。
- ・職業別では、家事専業と仕事をしていない人では「知らない」、それ以外は「知っている」が最も多くなっている。最も認知度が高いのは学生である。



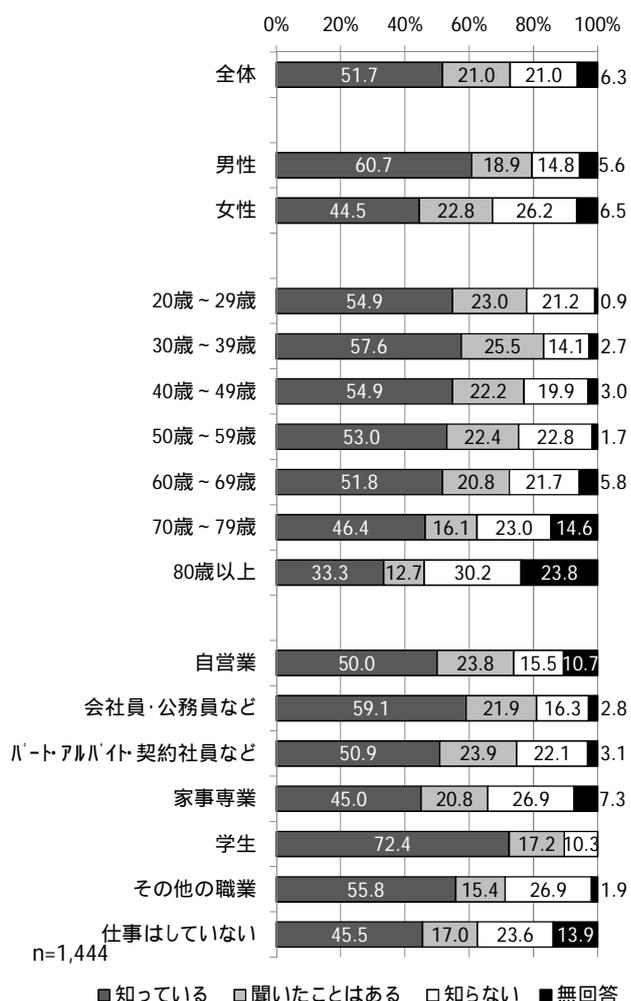
(7) ヘイトスピーチ

- ・性別では、男女とも「知っている」が最も多く、男性は女性より16.2ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「知っている」が最も多い。特に30代を中心に認知度が高くなっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「知っている」が最も多く、特に学生では「知っている」が7割を超え、突出して高くなっている

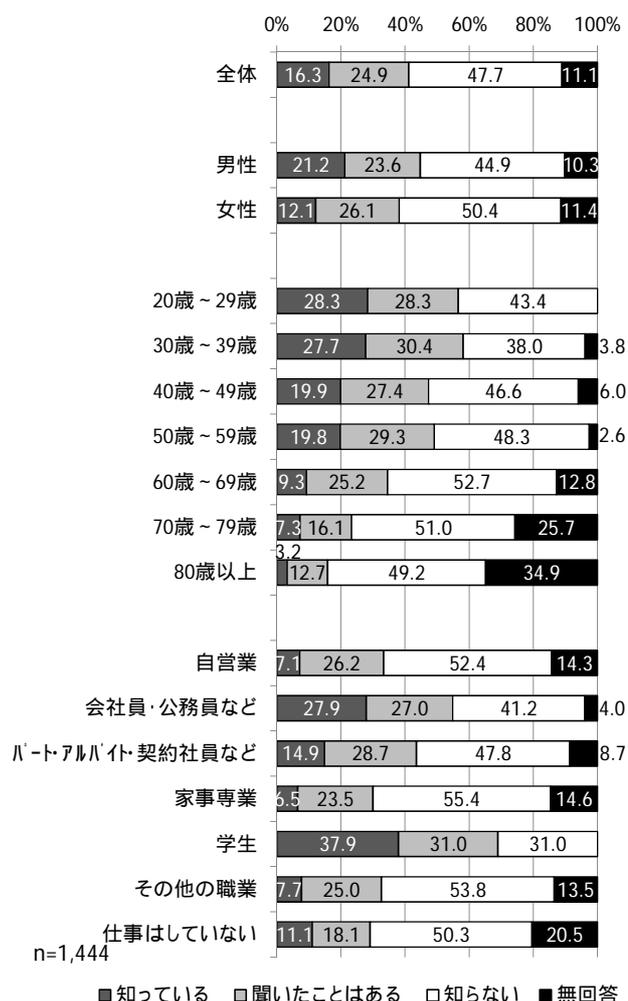
(8) ダイバーシティ

- ・性別では、男女とも「知らない」が最も多いが、男性は女性より「知っている」が9.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「知らない」が最も多い。一方、20代、30代では「知っている」が全体値より10ポイント以上高い値となっており、認知度が高い傾向にある。
- ・職業別では、学生のみ「知っている」が最も多い。それ以外の職業では「知らない」が最も多くなっている。会社員・公務員などでも「知っている」が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

ヘイトスピーチ



ダイバーシティ

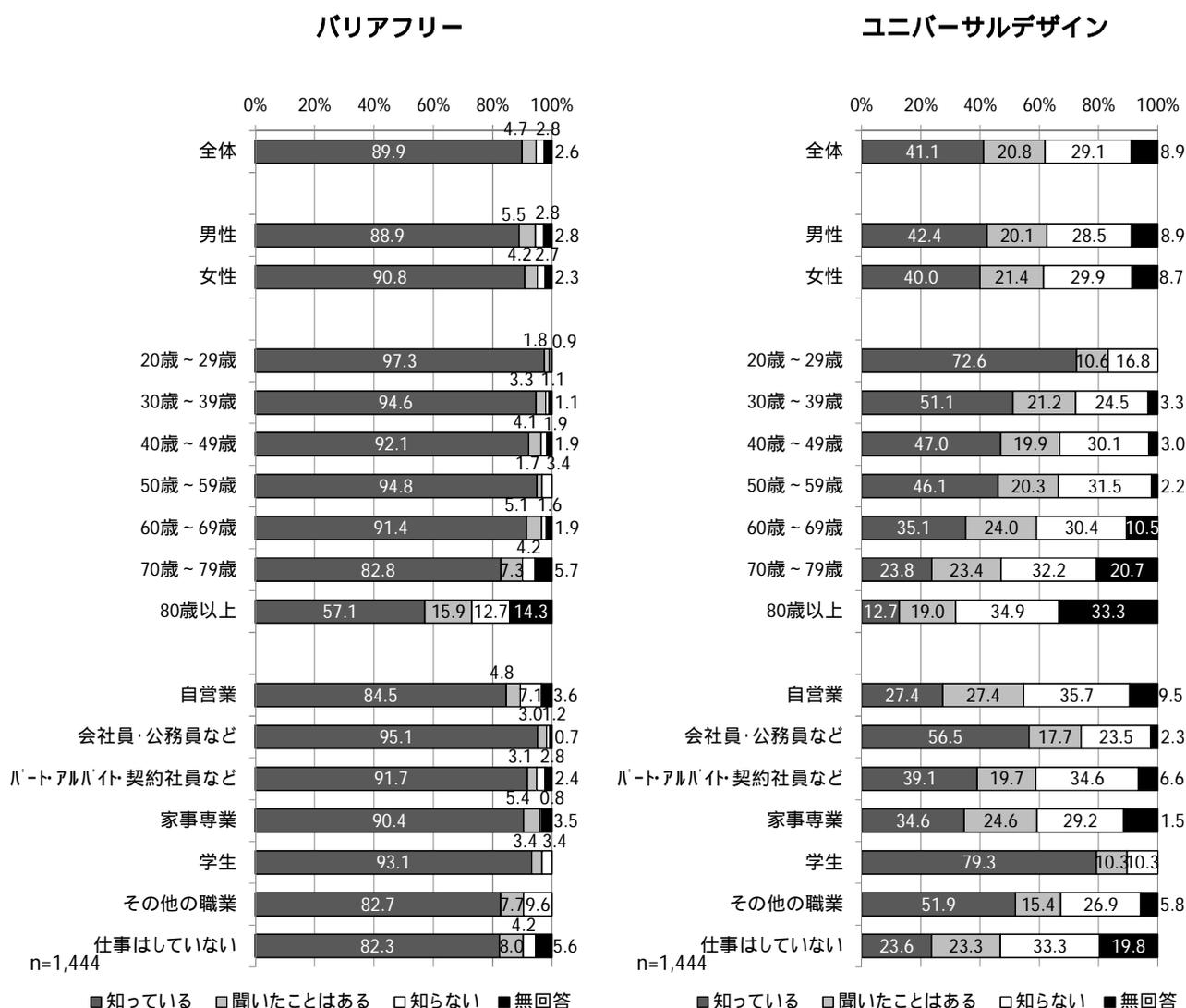


(9) バリアフリー

- ・性別では、男女とも「知っている」が9割前後となっており、大きな男女差は見られない。
- ・年齢別では、20代から60代までの世代では「知っている」が9割を超えている。一方80歳以上では「知っている」が6割に達していないほか、「聞いたことはある」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「知っている」が8割から9割を占める。最も数値が高いのは会社員・公務員などである。

(10) ユニバーサルデザイン

- ・性別では、男女とも「知っている」が約4割で、大きな男女差は見られない。
- ・年齢別では、20代から60代までの世代では「知っている」が最も多く、特に20代では「知っている」が7割を超える。一方70歳以上の世代では「知らない」が最も多くなっている。
- ・職業別では、自営業と仕事をしていない人では「知らない」、それ以外の職業では「知っている」が最も多く、特に学生では「知っている」が8割近くに達している。

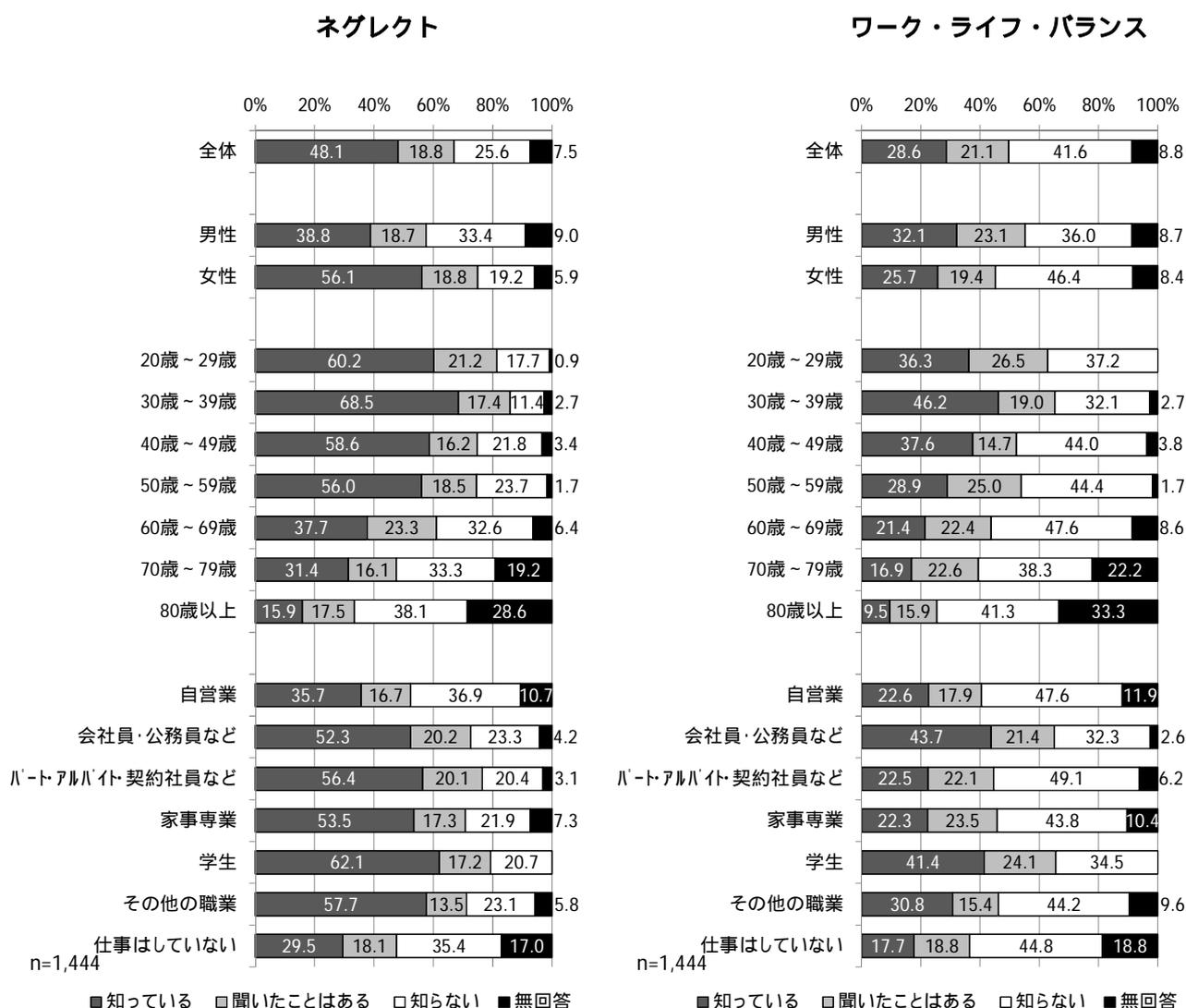


(11) ネグレクト

- ・性別では、男女とも「知っている」が最も多く、特に女性は男性より 17.3 ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、20代から60代までの世代では「知っている」が最も多く、特に30代では「知っている」が7割近くに達する。一方70歳以上の世代では「知らない」が最も多い。
- ・職業別では、自営業と仕事をしていない人では「知らない」、それ以外の職業では「知っている」が最も多い。

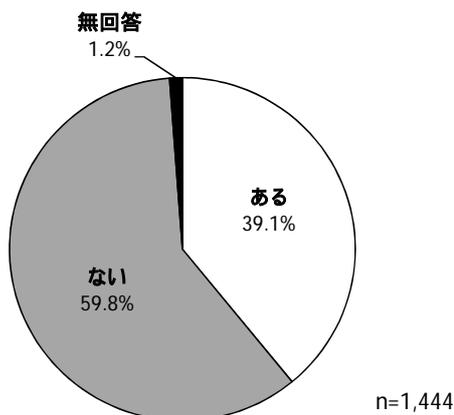
(12) ワーク・ライフ・バランス

- ・性別では、男女とも「知らない」が最も多く、女性は男性より 10.4 ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、30代では「知っている」が最も多い。それ以外の世代では「知らない」が最も多くなっている。
- ・職業別では、会社員・公務員などと学生では「知っている」、それ以外の職業では「知らない」が最も多くなっている。



問8 あなたは、今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(は1つ)

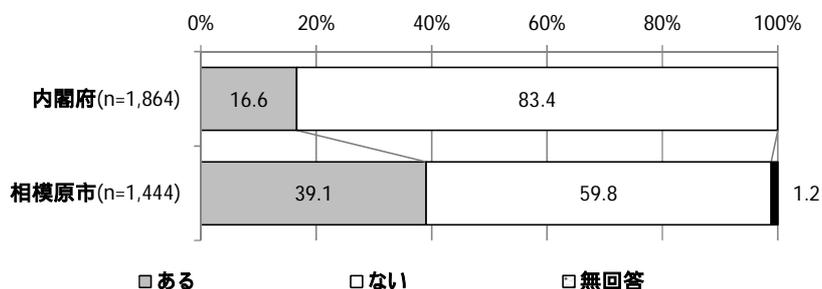
- ・「ない」が59.8%と全体の約6割を占めているが、「ある」も39.1%と4割近くに達する。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年度)

【人権侵害の経験】

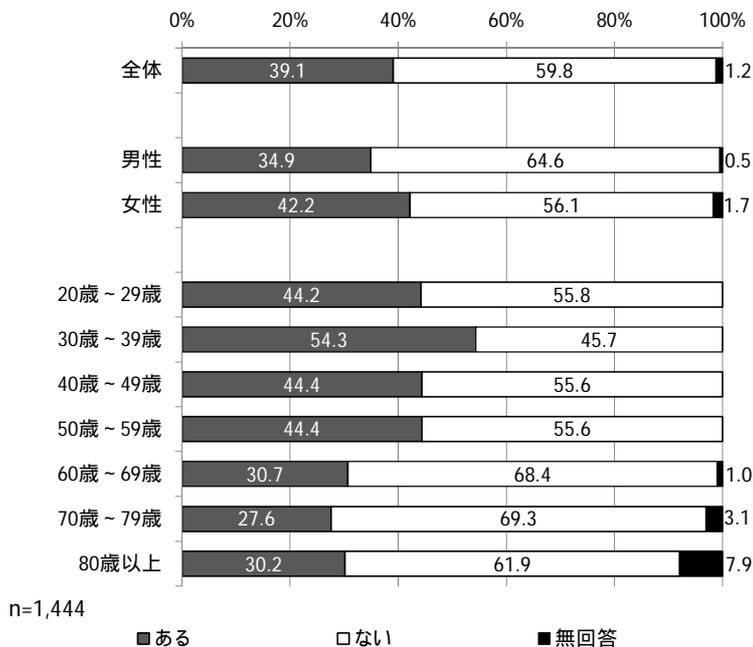
- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年度)と比較すると、内閣府調査では「ない」が83.4%、「ある」が16.6%で、「ある」の数値は相模原市調査のほうが22.5ポイント高くなっている。



注) 内閣府調査では無回答を除いた集計となっている。

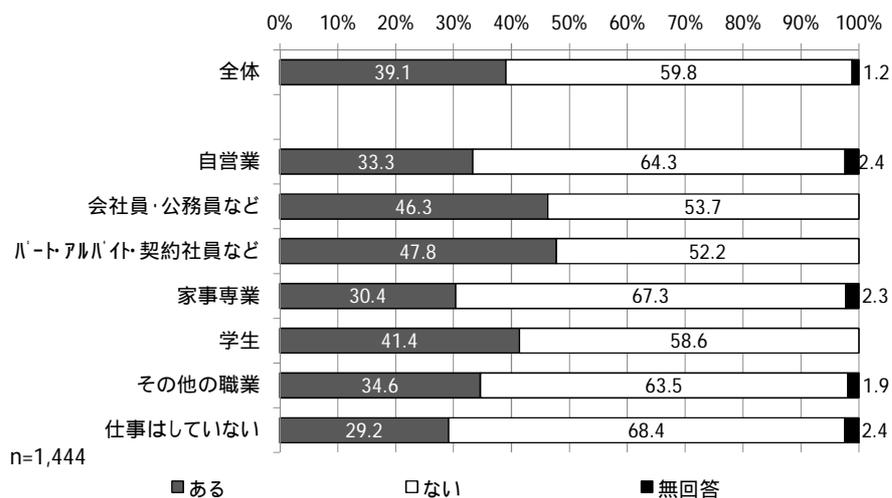
性別・年齢別 自分の人権が侵害されたと思ったことの有無

- ・性別では、男女とも「ない」の方が多いが、女性は男性より「ある」が7.3ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、30代のみ「ある」が「ない」を上回っている。それ以外の世代では「ない」の方が多い。



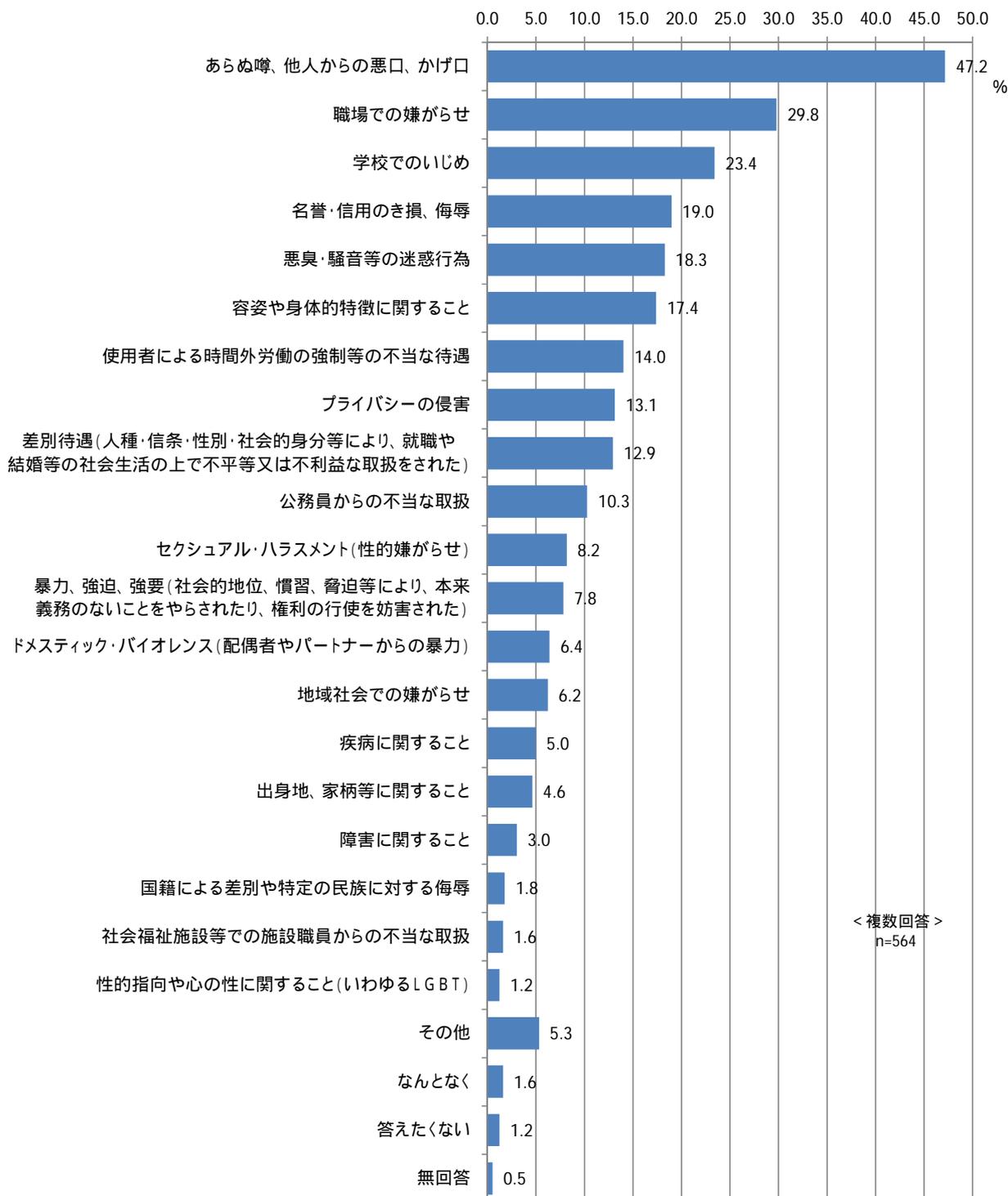
職業別 自分の人権が侵害されたと思ったことの有無

- ・いずれも「ない」の方が多くなっている。「ある」の数値が最も高いのは、パート・アルバイト・契約社員などである。



問9 それは、次のうちどのようなものですか。(問8で「ある」とお答えの方、あてはまるものすべてに)

・「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多く47.2%で、約5割となっている。次いで「職場での嫌がらせ」が29.8%である。以下「学校でのいじめ」(23.4%)、「名誉・信用のき損、侮辱」(19.0%)、「悪臭・騒音等の迷惑行為」(18.3%)、「容姿や身体的特徴に関すること」(17.4%)などとなっている。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年度)

【人権侵害の内容】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年度)をみると、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多く47.4%、次いで「職場での嫌がらせ」(24.2%)、「プライバシーの侵害」(20.0%)などとなっている。



注) 内閣府調査では無回答を除いた集計となっている。

性別・年齢別 自分の人権が侵害されたと思った内容

- ・性別では、男女とも「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代も「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多くなっている。また、20代では「容姿や身体的特徴に関すること」、「学校でのいじめ」、30代では「使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇」、50代では「職場での嫌がらせ」、80歳以上では「地域社会での嫌がらせ」が、それぞれ全体値より10ポイント以上高い値となっている。

	合計	問9 自分の人権が侵害されたと思った内容																							
		あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	公務員からの不当な取扱い	暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことをやらされたり、権利の行使を妨害された)	悪臭・騒音等の公害	差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱いをされた)	出身地、家柄等に関すること	国籍による差別や特定の民族に対する侮辱	容姿や身体的特徴に関すること	障害に関すること	疾病に関すること	性的指向や心の性に関すること(いわゆるLGBT)	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇	社会福祉施設等での施設職員からのプライバシーの侵害	プライバシーの侵害	嫌がらせ(性的セクシュアル・ハラスメント)	ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)	その他	なんとなく	答えたくない	無回答
全体	564	47.2	19.0	10.3	7.8	18.3	12.9	4.6	1.8	17.4	3.0	5.0	1.2	6.2	23.4	29.8	14.0	1.6	13.1	8.2	6.4	5.3	1.6	1.2	0.5
F 1 性別(総合)																									
男性	224	43.8	21.4	15.6	10.3	19.6	12.1	4.5	1.8	16.1	4.0	6.3	1.3	8.9	22.3	26.8	17.4	2.2	14.7	3.6	1.8	5.4	0.9	2.2	0.4
女性	330	49.4	17.3	7.0	6.4	17.6	13.6	4.8	1.8	17.9	2.1	3.6	0.6	4.5	24.2	30.9	11.8	1.2	12.4	10.9	9.1	5.5	2.1	0.6	0.6
F 2 年齢																									
20歳～29歳	50	58.0	18.0	4.0	12.0	20.0	8.0	4.0	2.0	38.0	2.0	4.0	4.0	8.0	48.0	28.0	16.0	0.0	18.0	12.0	6.0	4.0	2.0	2.0	0.0
30歳～39歳	100	54.0	21.0	15.0	11.0	11.0	14.0	6.0	5.0	23.0	3.0	4.0	1.0	3.0	28.0	31.0	30.0	3.0	14.0	8.0	4.0	5.0	0.0	1.0	0.0
40歳～49歳	118	52.5	22.9	8.5	7.6	22.0	14.4	5.9	0.8	19.5	3.4	9.3	0.0	4.2	28.8	31.4	13.6	0.8	9.3	11.0	4.2	6.8	1.7	0.0	0.0
50歳～59歳	103	40.8	18.4	5.8	5.8	20.4	11.7	1.0	0.0	13.6	2.9	4.9	1.0	2.9	17.5	39.8	9.7	1.9	15.5	6.8	7.8	4.9	1.0	1.9	0.0
60歳～69歳	96	35.4	15.6	15.6	6.3	14.6	15.6	4.2	2.1	10.4	2.1	2.1	0.0	5.2	18.8	24.0	11.5	1.0	11.5	7.3	7.3	3.1	2.1	1.0	3.1
70歳～79歳	72	41.7	15.3	12.5	6.9	20.8	9.7	8.3	1.4	6.9	2.8	5.6	4.2	13.9	8.3	25.0	5.6	1.4	13.9	5.6	9.7	8.3	2.8	1.4	0.0
80歳以上	19	57.9	15.8	0.0	5.3	21.1	10.5	0.0	0.0	10.5	5.3	0.0	0.0	21.1	15.8	10.5	0.0	0.0	15.8	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	0.0

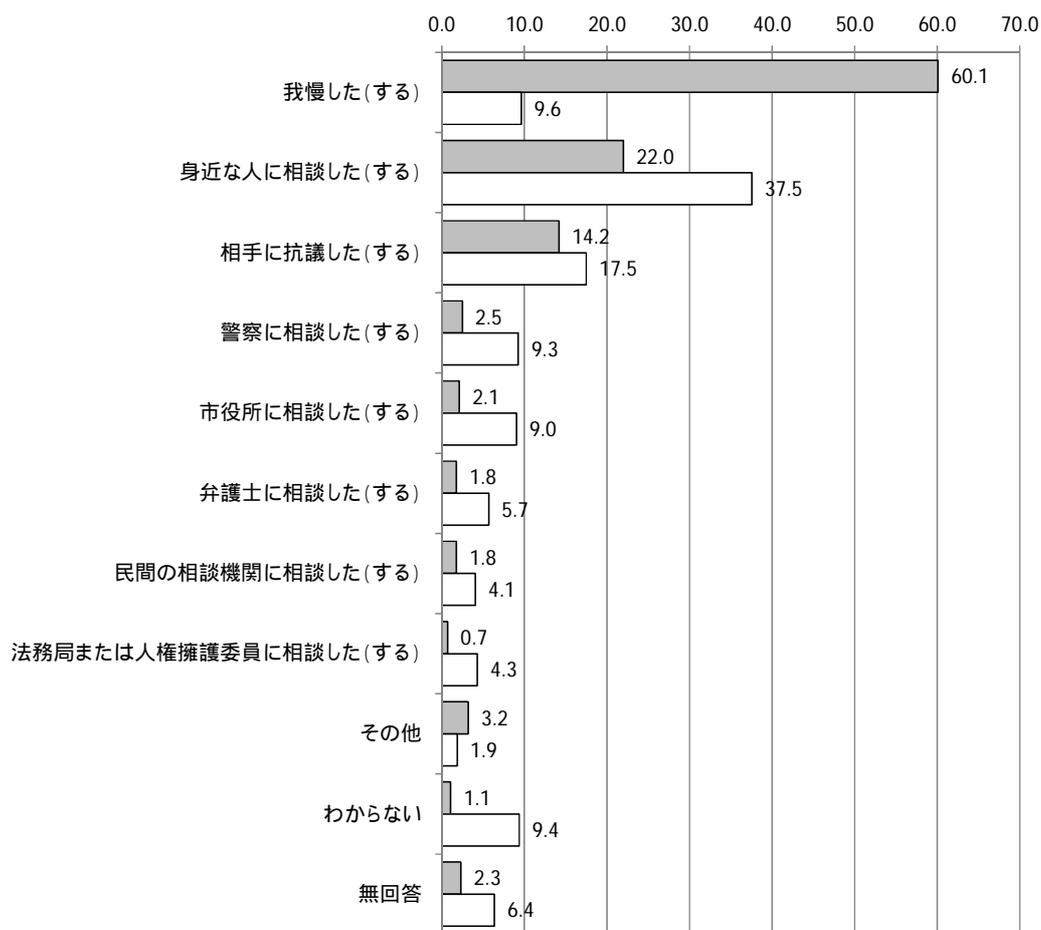
職業別 自己的人権が侵害されたと思った内容

- ・いずれの職業も「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多くなっている。
- ・学生では、「容姿や身体的特徴に関すること」、「疾病に関すること」、「性的指向や心の性に関すること（いわゆるLGBT）」、「地域社会での嫌がらせ」、「学校でのいじめ」、「プライバシーの侵害」、「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」が、それぞれ全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問9 自己的人権が侵害されたと思った内容																									
合計		あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	公務員からの不当な取扱	暴力、強迫、強要（社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことをやらされた）、権利の行使を妨害された	悪臭・騒音等の迷惑行為	差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱をされた）	出身地、家柄等に関すること	国籍による差別や特定の民族に対する侮辱	容姿や身体的特徴に関すること	障害に関すること	疾病に関すること	性的指向や心の性に関すること（いわゆるLGBT）	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	不当な待遇	使用者による時間外労働の強制等の	社会福祉施設等での施設職員からの	プライバシーの侵害	嫌がらせ	セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）	その他	なんとなく	答えたくない	無回答
	全体	564	47.2	19.0	10.3	7.8	18.3	12.9	4.6	1.8	17.4	3.0	5.0	1.2	6.2	23.4	29.8	14.0	1.6	13.1	8.2	6.4	5.3	1.6	1.2	0.5	
F3 職業	自営業	28	53.6	21.4	14.3	10.7	14.3	14.3	3.6	0.0	10.7	0.0	3.6	0.0	10.7	14.3	14.3	14.3	0.0	17.9	0.0	3.6	7.1	0.0	0.0	3.6	
	会社員・公務員など	199	47.7	26.6	12.1	9.0	18.6	14.1	5.0	3.5	18.6	1.5	4.5	1.0	3.5	24.1	33.7	17.6	1.5	13.6	7.5	4.5	5.0	0.5	1.5	0.0	
	パート・アルバイト・契約社員など	138	44.2	10.9	8.0	8.7	15.9	11.6	3.6	0.0	19.6	2.2	3.6	0.7	0.7	27.5	31.9	18.8	0.7	13.0	11.6	10.1	4.3	1.4	1.4	0.7	
	家事専業	79	49.4	16.5	5.1	2.5	20.3	12.7	6.3	1.3	13.9	3.8	2.5	0.0	11.4	16.5	25.3	7.6	1.3	5.1	7.6	7.6	7.6	5.1	0.0	0.0	
	学生	12	83.3	25.0	8.3	8.3	25.0	8.3	8.3	8.3	50.0	8.3	16.7	16.7	25.0	75.0	16.7	16.7	0.0	41.7	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	
	その他の職業	18	38.9	11.1	16.7	5.6	22.2	16.7	0.0	0.0	5.6	11.1	11.1	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	5.6	11.1	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	仕事はしていない	84	42.9	16.7	13.1	8.3	19.0	13.1	4.8	1.2	14.3	6.0	8.3	2.4	14.3	17.9	28.6	3.6	3.6	15.5	4.8	3.6	6.0	2.4	2.4	1.2	

問10 (問8で「ある」とお答えの方)自分の人権が侵害されたと思ったとき、どうしましたか。
 (問8で「ない」とお答えの方)もし、自分の人権が侵害された場合、どうしますか。
 (もっともあてはまるものに を1つ)

- ・人権侵害を受けたことが「ある」人の対応としては、「我慢した」が最も多く60.1%で、約6割である。次いで「身近な人に相談した」(22.0%)、「相手に抗議した」(14.2%)などとなっている。これ以外の対応については数値が低くなっている。
- ・人権侵害を受けたことが「ない」人が想定する対応としては、「身近な人に相談する」(37.5%)が最も多い。以下「相手に抗議する」(17.5%)、「我慢する」(9.6%)、「警察に相談する」(9.3%)、「市役所に相談する」(9.0%)などとなっている。



■ (人権が侵害されたと思ったことのある方) 自分の人権が侵害されたと思ったときの対応 (n=564)

□ (人権が侵害されたと思ったことのない方) もし、自分の人権が侵害された場合の対応 (n=863)

(自分の人権が侵害されたと思ったことのある方)

性別・年齢別 自分の人権が侵害されたと思ったときどうしたか

- ・性別では、男女とも「我慢した」が最も多くなっている。また、男性は女性より「相手に抗議した」で7.4ポイント、女性は男性より「身近な人に相談した」で11.5ポイント、それぞれ高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「我慢した」が最も多くなっている。

		合計	問10-1 (自分の人権が侵害されたと思ったことのある方) 自分の人権が侵害されたと思ったとき、どうしたか										
			我慢した	相手に抗議した	身近な人に相談した	弁護士に相談した	市役所に相談した	に法務局または人権擁護委員に相談した	民間の相談機関に相談した	警察に相談した	その他	わからない	無回答
	全体	564	60.1	14.2	22.0	1.8	2.1	0.7	1.8	2.5	3.2	1.1	2.3
F 1 性別 (総合)	男性	224	60.7	18.3	15.2	2.2	3.6	1.3	3.1	3.6	4.0	1.3	3.6
	女性	330	60.0	10.9	26.7	1.5	0.9	0.3	0.9	1.8	2.7	0.9	1.5
F 2 年齢	20歳～29歳	50	66.0	8.0	26.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	6.0	0.0	0.0
	30歳～39歳	100	64.0	17.0	23.0	0.0	1.0	0.0	3.0	1.0	2.0	1.0	2.0
	40歳～49歳	118	58.5	15.3	25.4	1.7	1.7	0.0	2.5	1.7	3.4	1.7	1.7
	50歳～59歳	103	61.2	11.7	24.3	2.9	0.0	1.9	0.0	2.9	1.0	0.0	1.9
	60歳～69歳	96	56.3	17.7	19.8	1.0	4.2	1.0	2.1	4.2	2.1	1.0	1.0
	70歳～79歳	72	55.6	12.5	16.7	5.6	6.9	1.4	2.8	1.4	6.9	1.4	6.9
	80歳以上	19	63.2	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	5.3	5.3	5.3

職業別 自分の人権が侵害されたと思ったときどうしたか

- ・いずれの職業でも「我慢した」が最も多くなっている。また、自営業では「相手に抗議した」、学生では「身近な人に相談した」の数値が、全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問10-1 (自分の人権が侵害されたと思ったことのある方) 自分の人権が侵害されたと思ったとき、どうしたか										
			我慢した	相手に抗議した	身近な人に相談した	弁護士に相談した	市役所に相談した	に法務局または人権擁護委員に相談した	民間の相談機関に相談した	警察に相談した	その他	わからない	無回答
	全体	564	60.1	14.2	22.0	1.8	2.1	0.7	1.8	2.5	3.2	1.1	2.3
F 3 職業	自営業	28	60.7	25.0	10.7	0.0	3.6	0.0	7.1	3.6	0.0	0.0	7.1
	会社員・公務員など	199	57.8	15.6	25.6	2.5	0.5	0.5	2.0	1.0	3.5	1.0	1.5
	パート・アルバイト・契約社員など	138	59.4	14.5	25.4	0.7	1.4	0.7	0.7	2.2	2.2	0.7	1.4
	家事専業	79	64.6	11.4	21.5	1.3	3.8	0.0	0.0	2.5	1.3	2.5	2.5
	学生	12	58.3	8.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0
	その他の職業	18	66.7	5.6	16.7	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0
	仕事はしていない	84	61.9	10.7	13.1	3.6	3.6	2.4	3.6	4.8	6.0	1.2	4.8

(自分の人権が侵害されたと思ったことのない方)

性別・年齢別 もし自分の人権が侵害された場合どうするか

- ・性別では、男性は「相手に抗議する」、女性は「身近な人に相談する」が最も多く、男女で傾向が分かれた。
- ・年齢別では、80歳以上では「相手に抗議する」、70代以下の世代では「身近な人に相談する」が最も多くなっている。

		合計	問10-2 (自分の人権が侵害されたと思ったことのない方)もし、自分の人権が侵害された場合、どうするか										
			我慢する	相手に抗議する	身近な人に相談する	弁護士に相談する	市役所に相談する	に法務局または人権擁護委員に相談する	民間の相談機関に相談する	警察に相談する	その他	わからない	無回答
	全体	863	9.6	17.5	37.5	5.7	9.0	4.3	4.1	9.3	1.9	9.4	6.4
F 1 性別 (総合)	男性	414	8.2	26.8	24.4	8.0	9.7	6.0	3.4	11.1	1.9	10.1	5.6
	女性	439	11.2	8.2	50.1	3.4	8.4	2.5	4.8	7.5	1.8	8.4	6.8
F 2 年齢	20歳～29歳	63	19.0	20.6	46.0	1.6	4.8	1.6	4.8	4.8	1.6	7.9	4.8
	30歳～39歳	84	16.7	14.3	41.7	2.4	2.4	1.2	2.4	2.4	0.0	11.9	7.1
	40歳～49歳	148	12.2	20.3	40.5	6.8	3.4	2.0	3.4	6.1	1.4	9.5	5.4
	50歳～59歳	129	10.9	22.5	45.7	6.2	9.3	2.3	5.4	6.2	0.8	10.9	2.3
	60歳～69歳	214	6.1	15.0	39.3	7.0	8.4	5.6	3.7	13.6	2.3	7.5	3.7
	70歳～79歳	181	3.9	13.8	26.0	6.6	17.1	8.8	5.5	13.8	3.3	9.4	11.0
	80歳以上	39	12.8	25.6	20.5	2.6	17.9	0.0	0.0	10.3	2.6	7.7	17.9

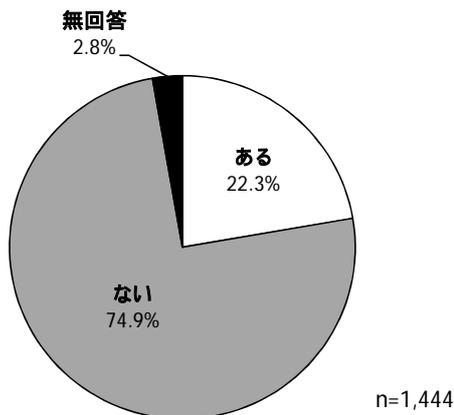
職業別 もし自分の人権が侵害された場合どうするか

- ・いずれの職業でも「身近な人に相談する」が最も多くなっている。また、学生では「相手に抗議する」、その他の職業で「警察に相談する」の数値が、全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問10-2 (自分の人権が侵害されたと思ったことのない方)もし、自分の人権が侵害された場合、どうするか										
			我慢する	相手に抗議する	身近な人に相談する	弁護士に相談する	市役所に相談する	に法務局または人権擁護委員に相談する	民間の相談機関に相談する	警察に相談する	その他	わからない	無回答
	全体	863	9.6	17.5	37.5	5.7	9.0	4.3	4.1	9.3	1.9	9.4	6.4
F 3 職業	自営業	54	5.6	22.2	29.6	11.1	7.4	3.7	1.9	5.6	5.6	11.1	9.3
	会社員・公務員など	231	12.1	21.6	36.4	6.5	4.3	2.2	3.0	6.9	0.9	10.8	5.6
	パート・アルバイト・契約社員など	151	11.9	19.9	47.0	2.0	5.3	2.6	4.0	2.6	2.0	6.0	6.6
	家事専業	175	9.7	5.7	47.4	4.6	9.7	2.9	4.6	10.9	2.9	9.1	7.4
	学生	17	11.8	29.4	47.1	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8
	その他の職業	33	9.1	18.2	39.4	6.1	12.1	3.0	12.1	21.2	3.0	12.1	0.0
	仕事はしていない	197	6.1	18.8	23.9	6.6	17.8	9.6	4.1	15.2	1.0	10.2	6.1

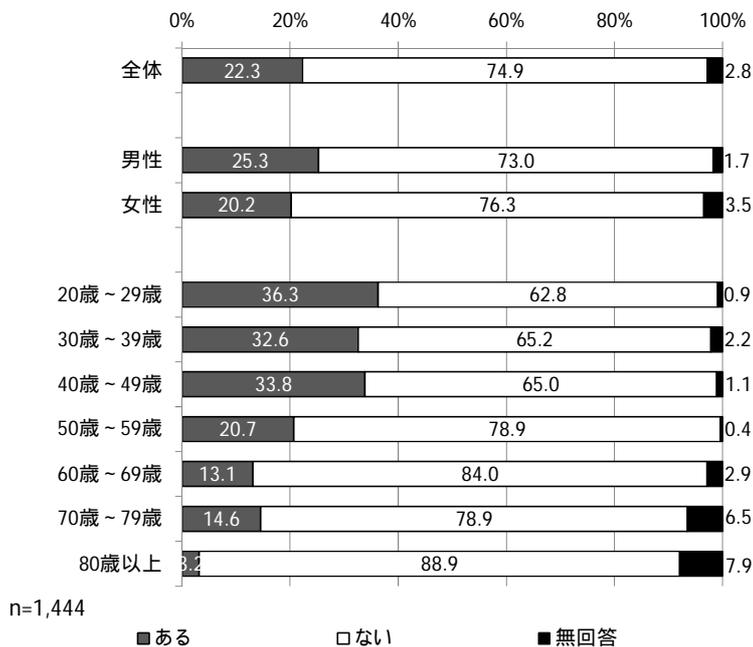
問 11 あなたはこれまでに、他人の人権を侵害してしまったと思うことがありますか。(は1つ)

・「ない」が74.9%と、全体の4分の3近くを占める。「ある」は22.3%である。



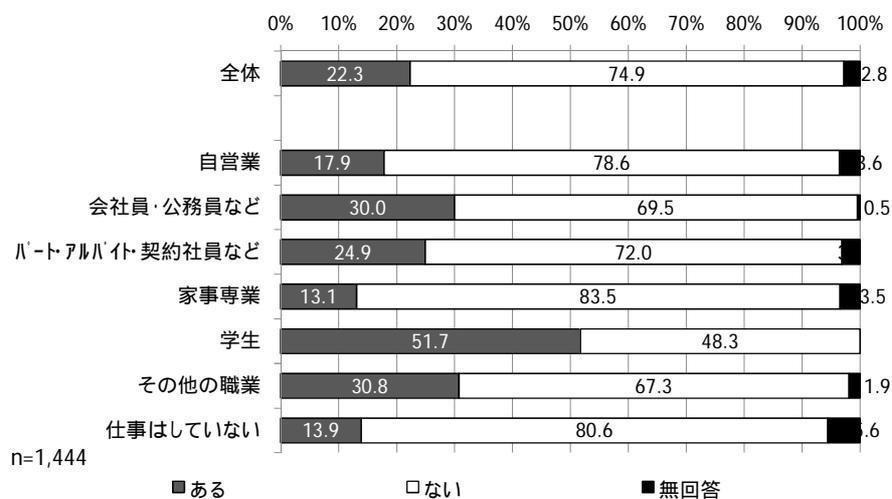
性別・年齢別 他人の人権を侵害してしまったと思うことの有無

- ・性別では、男女とも「ない」が7割以上を占める。男性は女性より「ある」が5.1ポイント高い。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「ない」の方が多く、50代から70代では8割前後を占める。「ある」は、40代までの世代では3割を超え、全体値より10ポイント以上高い値となっている。



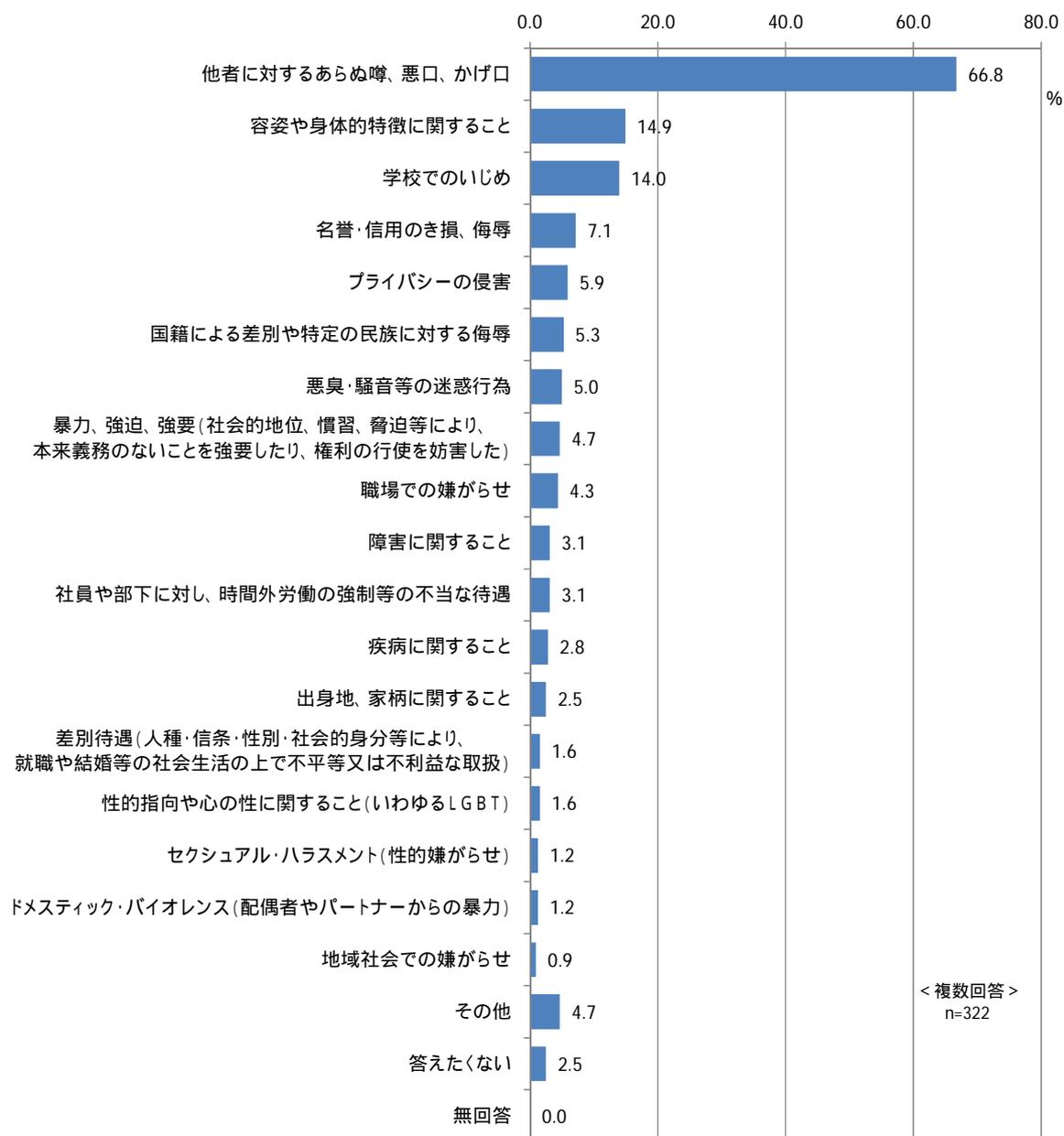
職業別 他人の人権を侵害してしまったと思うことの有無

- ・学生のみ「ある」の方が多く、5割を超えている。それ以外の職業では「ない」の方が多く、特に家事専業と仕事をしていない人では8割以上となっている。



問 12 それは、次のうちどのようなものですか。(問 11 で「ある」とお答えの方、あてはまるものすべてに)

・「他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口」が最も多く 66.8%で突出して多くなっている。次いで「容姿や身体的特徴に関すること」(14.9%)、「学校でのいじめ」(14.0%)などとなっている。



性別・年齢別 他人の人権を侵害してしまったと思った内容

- ・性別では、男女とも「他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口」が最も多く、男性は女性より「名誉・信用のき損、侮辱」が7.9ポイント、「容姿や身体的特徴に関すること」が7.7ポイント高い。
- ・年齢別では、サンプル数の少ない80歳以上を除き、「他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口」が最も多くなっている。30代で「学校でのいじめ」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問12 他人の人権を侵害してしまったと思った内容																					
合計		他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	来業務のないことを強要したり、権利の行使を妨害した	暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来業務のないことを強要したり、権利の行使を妨害した)	悪臭・騒音等の迷惑行為	差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱)	出身地、家柄に関すること	国籍による差別や特定の民族に対する侮辱	容姿や身体的特徴に関すること	障害に関すること	疾病に関すること	性的指向や心の性に関すること(いわゆるLGB)	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	社員や部下に対し、時間外労働の強制等の不当な待遇	プライバシーの侵害	セクシユアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)	ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)	その他	答えたくない	無回答
	全体	322	66.8	7.1	4.7	5.0	1.6	2.5	5.3	14.9	3.1	2.8	1.6	0.9	14.0	4.3	3.1	5.9	1.2	1.2	4.7	2.5	0.0
F 1 性別(総合)	男性	162	63.6	11.1	7.4	6.2	1.9	2.5	8.0	18.5	2.5	3.1	1.9	1.2	15.4	7.4	5.6	4.9	2.5	1.2	2.5	3.1	0.0
	女性	158	70.3	3.2	1.9	3.8	1.3	2.5	2.5	10.8	3.8	2.5	1.3	0.6	12.0	1.3	0.6	7.0	0.0	0.6	7.0	1.9	0.0
F 2 年齢	20歳～29歳	41	75.6	12.2	2.4	2.4	0.0	0.0	2.4	12.2	0.0	0.0	0.0	0.0	19.5	0.0	0.0	4.9	0.0	0.0	4.9	2.4	0.0
	30歳～39歳	60	56.7	8.3	6.7	5.0	1.7	5.0	5.0	21.7	5.0	0.0	1.7	0.0	26.7	8.3	5.0	6.7	1.7	0.0	3.3	1.7	0.0
	40歳～49歳	90	76.7	3.3	4.4	3.3	2.2	1.1	6.7	17.8	1.1	2.2	1.1	0.0	11.1	3.3	3.3	2.2	0.0	0.0	1.1	3.3	0.0
	50歳～59歳	48	64.6	10.4	4.2	6.3	0.0	2.1	4.2	10.4	6.3	6.3	2.1	0.0	10.4	0.0	2.1	12.5	2.1	0.0	6.3	0.0	0.0
	60歳～69歳	41	63.4	2.4	2.4	4.9	2.4	2.4	2.4	9.8	4.9	2.4	2.4	0.0	12.2	2.4	0.0	2.4	2.4	0.0	7.3	2.4	0.0
	70歳～79歳	38	60.5	7.9	7.9	10.5	2.6	5.3	10.5	13.2	2.6	7.9	2.6	7.9	2.6	13.2	7.9	7.9	2.6	7.9	10.5	2.6	0.0
	80歳以上	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

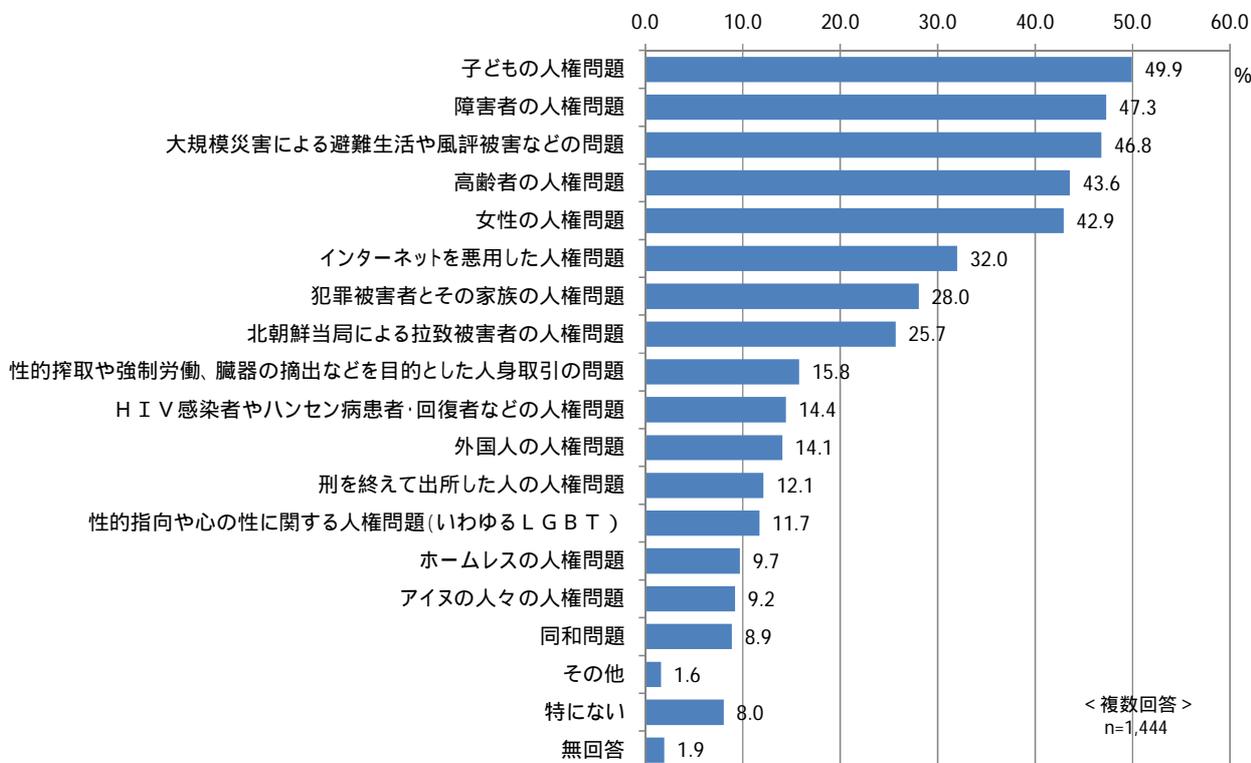
職業別 他人の人権を侵害してしまったと思った内容

- ・いずれも「他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口」が最も多くなっている。家事専業で「その他」、学生で「学校でのいじめ」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問12 他人の人権を侵害してしまったと思った内容																					
合計		他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	来業務のないことを強要したり、権利の行使を妨害した	暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来業務のないことを強要したり、権利の行使を妨害した)	悪臭・騒音等の迷惑行為	差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱)	出身地、家柄に関すること	国籍による差別や特定の民族に対する侮辱	容姿や身体的特徴に関すること	障害に関すること	疾病に関すること	性的指向や心の性に関すること(いわゆるLGB)	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	社員や部下に対し、時間外労働の強制等の不当な待遇	プライバシーの侵害	セクシユアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)	ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)	その他	答えたくない	無回答
	全体	322	66.8	7.1	4.7	5.0	1.6	2.5	5.3	14.9	3.1	2.8	1.6	0.9	14.0	4.3	3.1	5.9	1.2	1.2	4.7	2.5	0.0
F 3 職業	自営業	15	66.7	13.3	6.7	6.7	0.0	6.7	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	会社員・公務員など	129	71.3	8.5	5.4	5.4	0.8	2.3	4.7	20.9	1.6	1.6	0.8	0.0	16.3	5.4	4.7	5.4	1.6	0.0	0.8	2.3	0.0
	パート・アルバイト・契約社員など	72	72.2	1.4	2.8	1.4	1.4	1.4	2.8	11.1	5.6	2.8	1.4	0.0	13.9	2.8	0.0	8.3	0.0	1.4	5.6	2.8	0.0
	家事専業	34	73.5	2.9	0.0	8.8	0.0	0.0	2.9	11.8	5.9	0.0	2.9	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6	2.9	0.0
	学生	15	60.0	13.3	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
	その他の職業	16	50.0	6.3	12.5	0.0	6.3	6.3	12.5	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	18.8	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0
	仕事はしていない	40	47.5	12.5	5.0	7.5	5.0	5.0	10.0	12.5	5.0	10.0	2.5	5.0	12.5	10.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0

問 13 あなたは、人権に関わるさまざまな問題のうち、どのような人権問題に関心がありますか。
(あてはまるものすべてに)

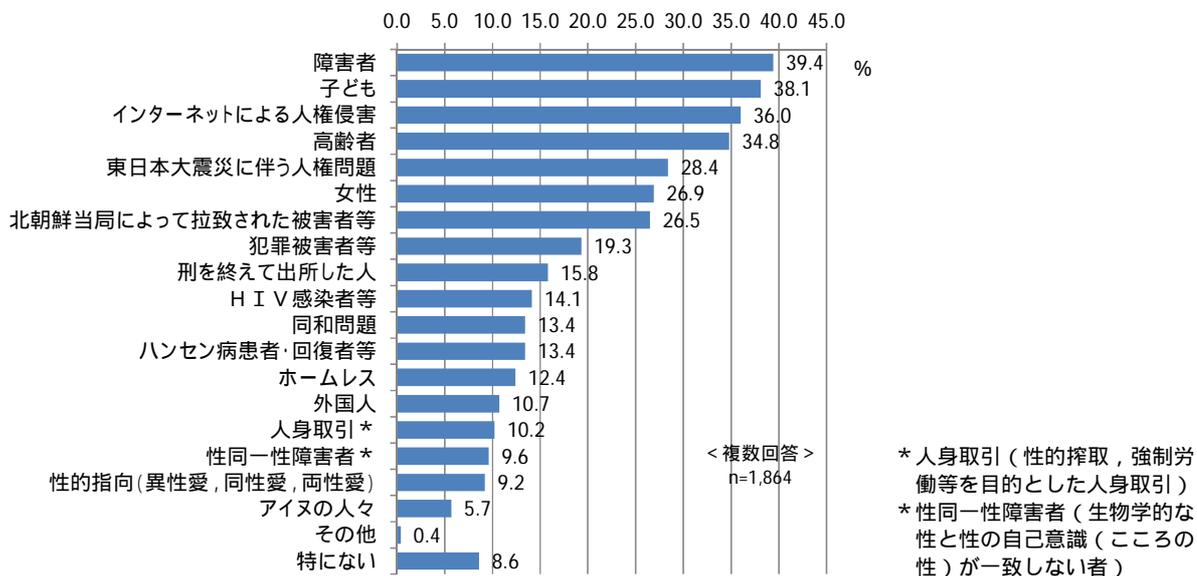
- ・「子どもの人権問題」が最も多く 49.9%で、全体の約半数となっている。続いて「障害者の人権問題」(47.3%)、「大規模災害による避難生活や風評被害などの問題」(46.8%)、「高齢者の人権問題」(43.6%)、「女性の人権問題」(42.9%)が4割を超えている。



< 参考 > 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【人権課題に対する関心】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「障害者」が最も多く 39.4%、次いで「子ども」が 38.1%、以下「インターネットによる人権侵害」(36.0%)、「高齢者」(34.8%)、「東日本大震災に伴う人権問題」(28.4%)などと続く。



性別・年齢別 関心のある人権問題

- ・性別では、男性は「子どもの人権問題」、女性は「女性の人権問題」が最も多く、男女で傾向が分かれた。
- ・年齢別では、50代以下の世代では「子どもの人権問題」、60代以上の世代では「高齢者の人権問題」が最も多く、60代を境に傾向が分かれた。また、70代では「北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題」の数値が全体値を大きく上回っているのが特徴的である。

		問13 関心のある人権問題																				
		合計	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障害者の人権問題	同和問題	アイヌの人々の人権問題	外国人の人権問題	HIV感染者やハンセン病患者・回復者などの人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	犯罪被害者とその家族の人権問題	インターネットを悪用した人権問題	北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題	ホームレスの人権問題	(いわゆるLGBT)	性的指向や心の性に関する人権問題	性的搾取や強制労働、臓器の摘出などを目的とした人身取引の問題	大規模災害による避難生活や風評被害などの問題	その他	特になし	無回答
	全体	1444	42.9	49.9	43.6	47.3	8.9	9.2	14.1	14.4	12.1	28.0	32.0	25.7	9.7	11.7	15.8	46.8	1.6	8.0	1.9	
F 1 性別 (統合)	男性	641	31.7	47.6	39.8	47.0	10.0	8.7	16.5	11.7	11.7	30.0	32.4	24.3	10.0	9.0	14.0	46.6	2.5	8.7	2.0	
	女性	782	52.2	52.0	46.8	47.6	7.7	9.1	11.8	16.4	12.3	26.3	31.7	26.2	9.5	13.8	16.8	47.1	0.9	7.3	1.8	
F 2 年齢	20歳～29歳	113	48.7	52.2	23.0	45.1	3.5	7.1	18.6	8.0	13.3	27.4	36.3	10.6	10.6	21.2	10.6	34.5	1.8	9.7	0.9	
	30歳～39歳	184	50.5	52.7	25.5	42.4	3.8	4.9	17.9	10.3	12.0	30.4	34.2	12.5	9.2	17.9	15.2	46.7	3.3	9.2	0.5	
	40歳～49歳	266	45.5	53.4	27.8	39.8	6.8	7.5	12.8	12.4	14.3	30.1	36.1	19.9	7.9	12.4	13.9	45.9	1.5	10.5	1.5	
	50歳～59歳	232	46.1	52.2	45.3	50.0	13.4	11.6	15.9	15.5	11.2	30.6	34.5	21.6	7.3	11.2	19.8	48.3	0.9	7.8	0.4	
	60歳～69歳	313	39.6	50.2	57.8	54.6	9.9	8.9	12.1	18.2	8.9	27.2	34.8	31.0	9.9	7.0	15.3	51.8	1.3	6.7	1.0	
	70歳～79歳	261	37.9	45.2	58.2	50.2	11.9	13.4	11.9	16.9	13.4	24.5	24.5	42.1	13.0	8.8	16.9	47.1	1.5	4.6	5.0	
	80歳以上	63	25.4	33.3	60.3	34.9	4.8	3.2	6.3	9.5	9.5	19.0	7.9	31.7	9.5	9.5	12.7	38.1	1.6	11.1	7.9	

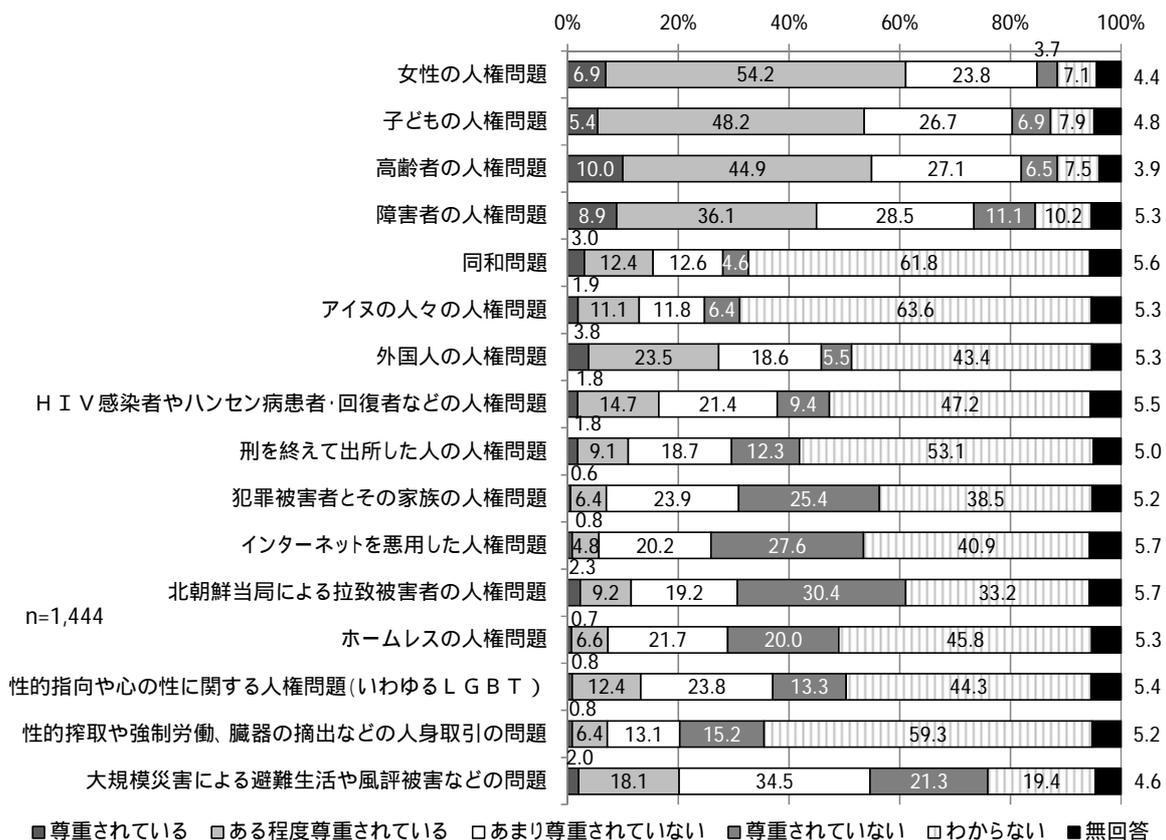
職業別 関心のある人権問題

- ・自営業では「大規模災害による避難生活や風評被害などの問題」、会社員・公務員など、パート・アルバイト・契約社員など、家事専業、学生では「子どもの人権問題」、その他の職業では「障害者の人権問題」、仕事をしていない人では「高齢者の人権問題」がそれぞれ最も多く、職業によって回答が分散した。また、自営業と仕事をしていない人で「北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題」、学生では「外国人の人権問題」、「インターネットを悪用した人権問題」、「ホームレスの人権問題」、「性的指向や心の性に関する人権問題(いわゆるLGBT)」、その他の職業では「女性の人権問題」、「高齢者の人権問題」、「性的指向や心の性に関する人権問題(いわゆるLGBT)」の数値が、それぞれ全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問13 関心のある人権問題																				
		合計	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障害者の人権問題	同和問題	アイヌの人々の人権問題	外国人の人権問題	HIV感染者やハンセン病患者・回復者などの人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	犯罪被害者とその家族の人権問題	インターネットを悪用した人権問題	北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題	ホームレスの人権問題	(いわゆるLGBT)	性的指向や心の性に関する人権問題	性的搾取や強制労働、臓器の摘出などを目的とした人身取引の問題	大規模災害による避難生活や風評被害などの問題	その他	特になし	無回答
	全体	1444	42.9	49.9	43.6	47.3	8.9	9.2	14.1	14.4	12.1	28.0	32.0	25.7	9.7	11.7	15.8	46.8	1.6	8.0	1.9	
F 3 職業	自営業	84	29.8	36.9	31.0	41.7	8.3	4.8	16.7	15.5	13.1	33.3	29.8	36.9	6.0	14.3	19.0	44.0	6.0	13.1	2.4	
	会社員・公務員など	430	41.6	51.4	33.3	44.0	8.1	7.2	15.3	10.0	11.6	32.8	35.3	16.5	9.5	9.3	13.7	45.6	1.6	8.1	0.7	
	パート/アルバイト/契約社員など	289	48.8	51.6	43.3	50.2	10.0	10.4	11.1	15.9	11.1	25.6	35.3	22.5	10.4	13.8	18.7	49.5	0.7	9.0	1.0	
	家事専業	260	48.1	53.1	51.5	46.5	9.2	10.8	13.8	18.5	14.6	26.5	32.7	31.5	8.8	11.5	17.7	47.3	0.8	7.3	1.2	
	学生	29	51.7	62.1	24.1	55.2	3.4	10.3	24.1	24.1	20.7	34.5	48.3	10.3	20.7	41.4	17.2	48.3	0.0	3.4	3.4	
	その他の職業	52	53.8	46.2	53.8	61.5	7.7	11.5	17.3	17.3	11.5	26.9	28.8	19.2	1.9	23.1	13.5	48.1	1.9	3.8	3.8	
	仕事をしていない	288	35.8	47.2	55.6	48.6	9.0	9.7	12.2	13.5	9.7	22.6	22.6	36.1	11.5	7.6	12.8	45.1	2.1	6.9	4.5	

問 14 あなたは、次の人権に関わるさまざまな問題について、今の日本の社会で、どの程度人権が尊重されていると思いますか。(それぞれ は1つ)

- ・「ある程度尊重されている」が最も多いのは「女性の人権問題」(54.2%)、「子どもの人権問題」(48.2%)、「高齢者の人権問題」(44.9%)、「障害者の人権問題」(36.1%)である。
- ・「あまり尊重されていない」が最も多いのは「大規模災害による避難生活や風評被害などの問題」(34.5%)である。
- ・それ以外の項目については「わからない」が最も多くなっており、特に「アイヌの人々の人権問題」(63.6%)、「同和問題」(61.8%)では6割以上の人が「わからない」としている。
- ・「尊重されている」と「ある程度尊重されている」をあわせて見てみると、上位5位は「女性の人権問題」(61.1%)、「高齢者の人権問題」(54.9%)、「子どもの人権問題」(53.6%)、「障害者の人権問題」(45.0%)、「外国人の人権問題」(27.3%)となっている。
- ・「あまり尊重されていない」と「尊重されていない」をあわせて見てみると、上位5位は「大規模災害による避難生活や風評被害などの問題」(55.8%)、「北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題」(49.6%)、「犯罪被害者とその家族の人権問題」(49.3%)、「インターネットを悪用した人権問題」(47.8%)、「ホームレスの人権問題」(41.7%)となっている。



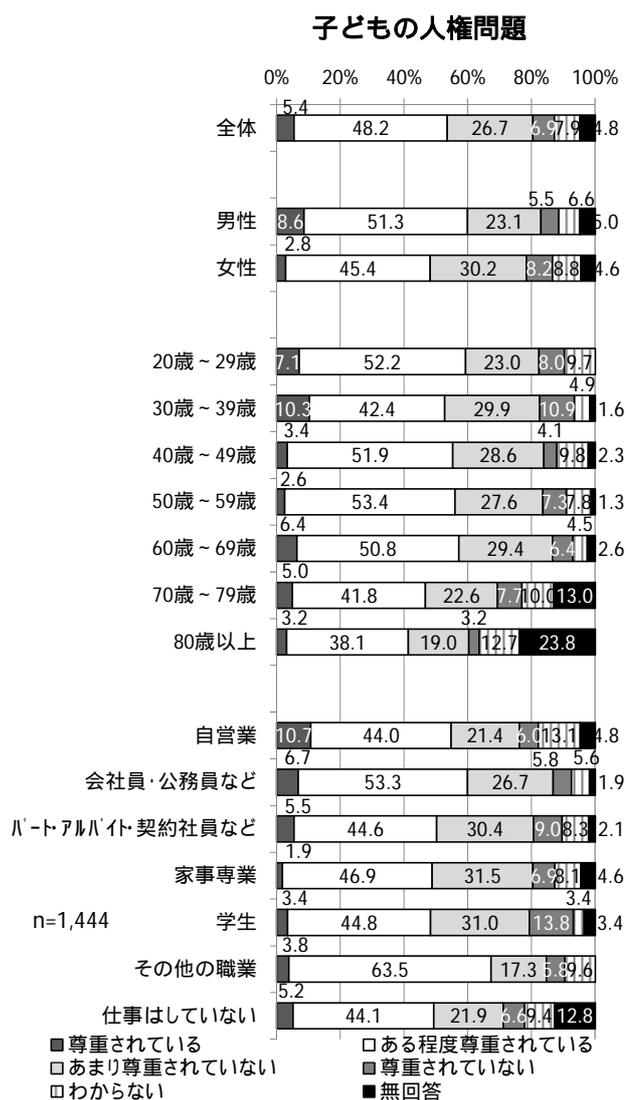
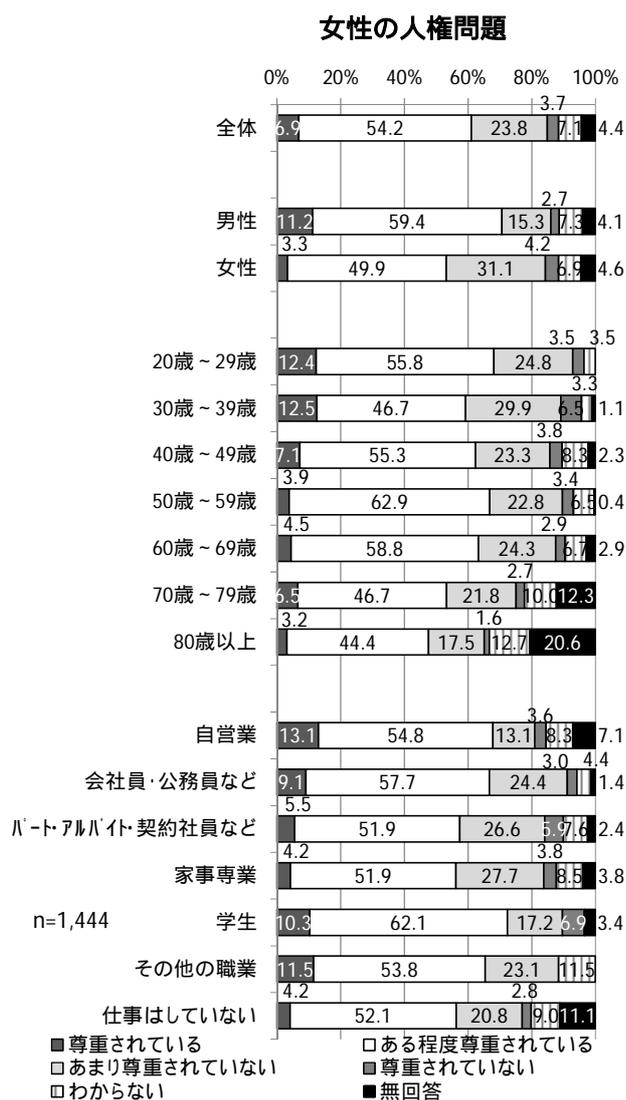
性別・年齢別・職業別 人権に関わる課題の尊重

(1) 女性の人権問題

- ・性別では、男女とも「ある程度尊重されている」が最も多く男性は女性より9.5ポイント高い一方、女性は「あまり尊重されていない」が男性より15.8ポイント高い。「尊重されている」と「ある程度尊重されている」を合わせて『尊重』、「尊重されていない」と「あまり尊重されていない」を合わせて『非尊重』としてみると、男性は『尊重』が7割を超え、女性より17.4ポイント高く、女性は『非尊重』が男性より17.3ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「ある程度尊重されている」が最も多くなっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「ある程度尊重されている」が最も多くなっている。学生では『尊重』が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

(2) 子どもの人権問題

- ・性別では、男女とも「ある程度尊重されている」が最も多い。男性は女性より『尊重』が11.7ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「ある程度尊重されている」が最も多くなっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「ある程度尊重されている」が最も多くなっている。また、その他の職業では『尊重』、学生では『非尊重』が全体値より10ポイント以上高い値となっている。



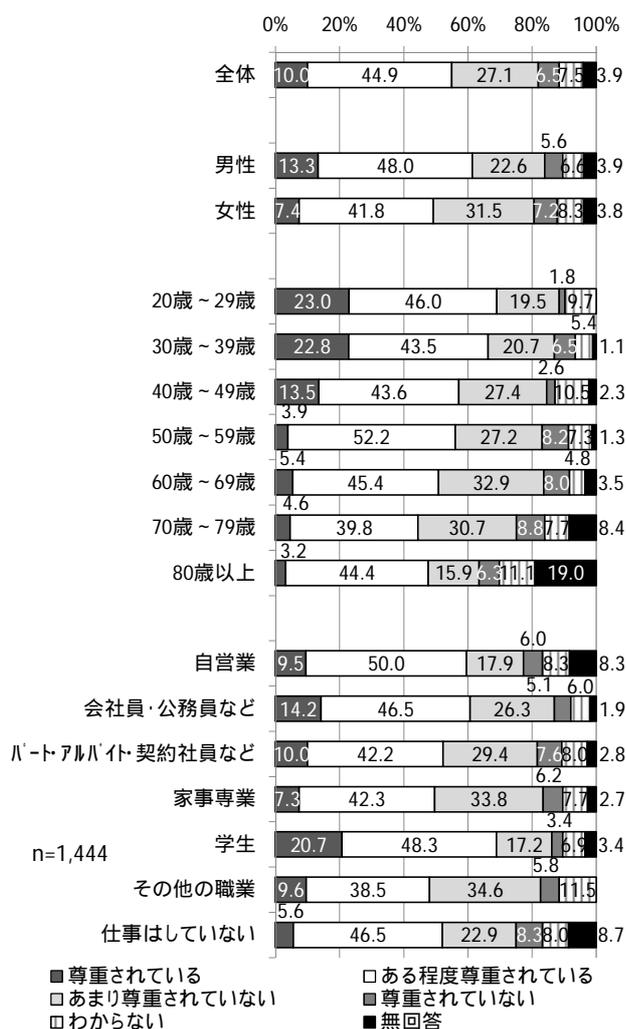
(3) 高齢者の人権問題

- ・性別では、男女とも「ある程度尊重されている」が最も多い。男性は女性より『尊重』が 12.1 ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「ある程度尊重されている」が最も多くなっている。また、20 代、30 代では「尊重されている」が全体値より 10 ポイント以上高い値となっており、『尊重』の数値も高くなっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「ある程度尊重されている」が最も多くなっている。また、学生では「尊重されている」が全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

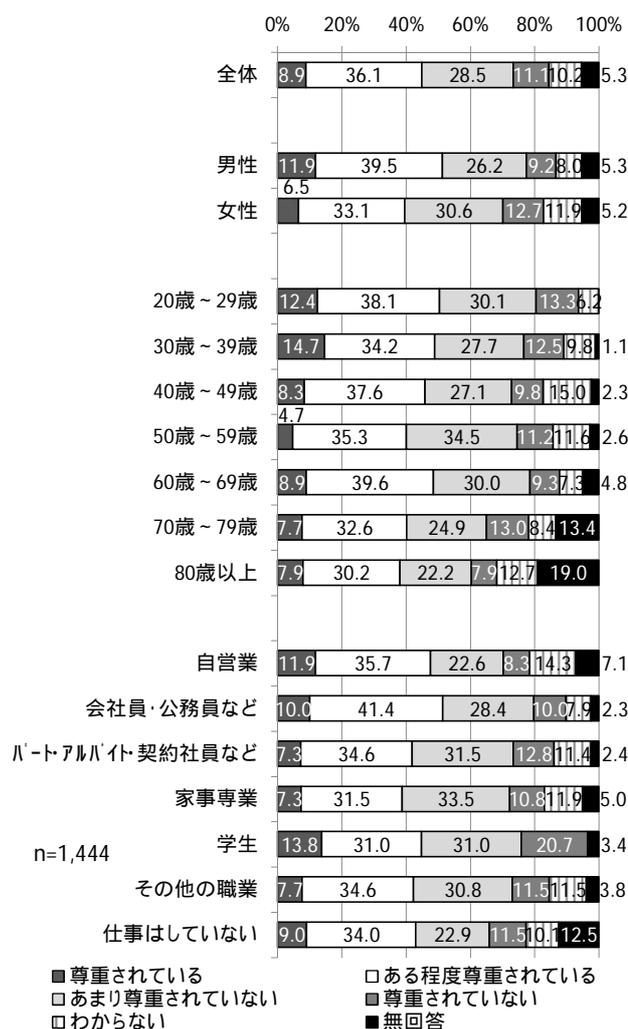
(4) 障害者の人権問題

- ・性別では、男女とも「ある程度尊重されている」が最も多い。男性は女性より『尊重』が 11.8 ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「ある程度尊重されている」が最も多くなっている。
- ・職業別では、家事専業では「あまり尊重されていない」が最も多く、学生では「ある程度尊重されている」、「あまり尊重されていない」が同率、それ以外の職業では「ある程度尊重されている」が最も多くなっている。また、学生では『非尊重』の数値が全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

高齢者の人権問題



障害者の人権問題

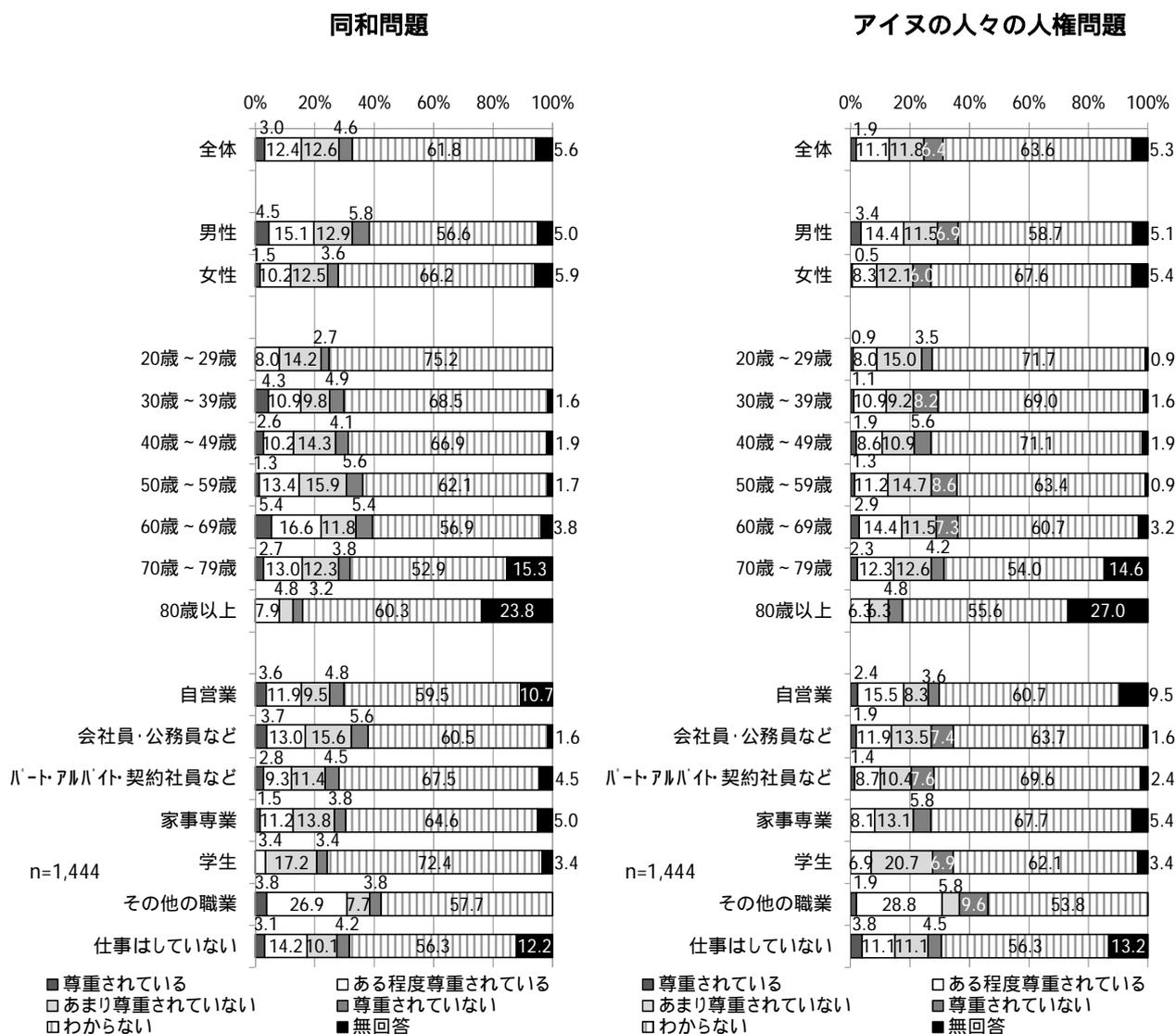


(5) 同和問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多く、女性は男性より9.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「わからない」が最も多い。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多い。また、その他の職業では「ある程度尊重されている」が全体値より10ポイント以上高い値となっており、『尊重』の数値も高くなっている。

(6) アイヌの人々の人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多く、女性は男性より8.9ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「わからない」が最も多い。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多い。また、その他の職業では「ある程度尊重されている」が全体値より10ポイント以上高い値となっており、『尊重』の数値も高くなっている。



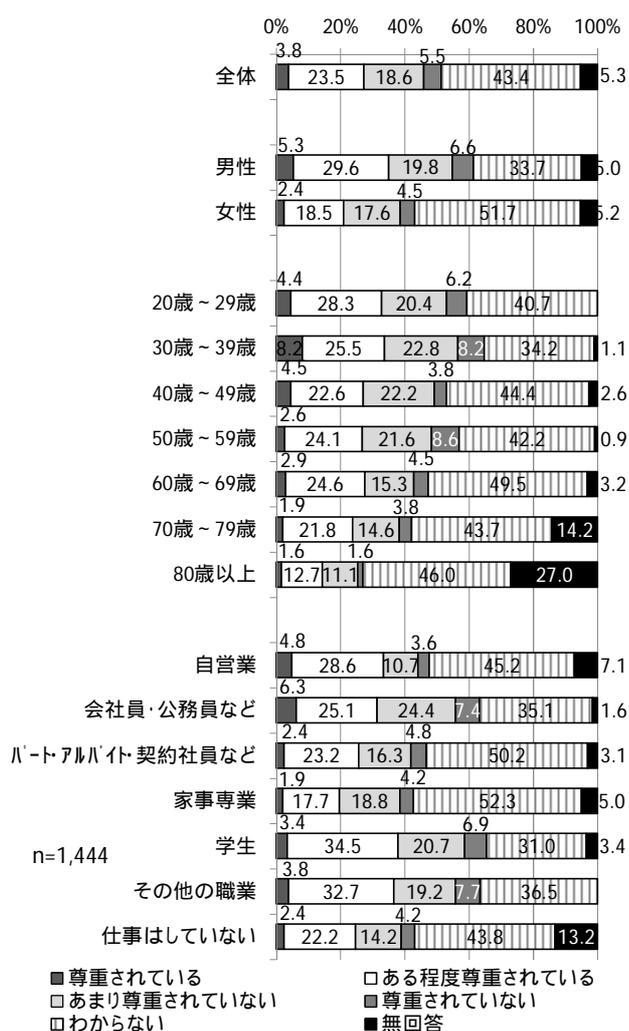
(7) 外国人の人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多く、特に女性は男性より 18.0 ポイント高くなっている。また、男性は女性より「ある程度尊重されている」が 11.1 ポイント高く、『尊重』の数値も 14 ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「わからない」が最も多い。
- ・職業別では、学生では「ある程度尊重されている」、それ以外の職業では「わからない」が最も多い。また、学生は『尊重』の数値も全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

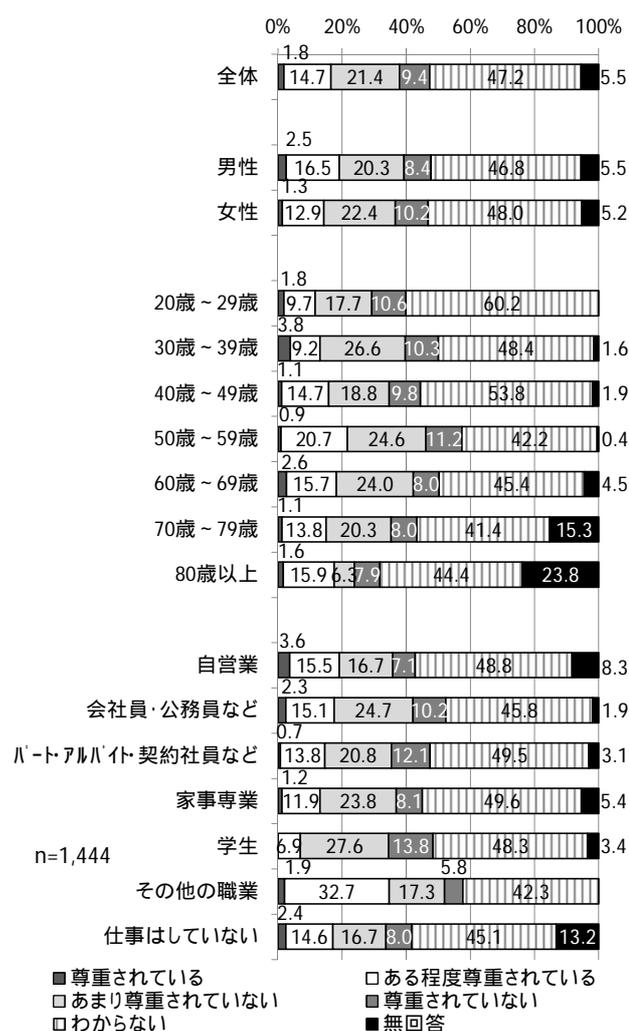
(8) HIV感染者やハンセン病患者・回復者などの人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多く、大きな男女差は見られない。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「わからない」が最も多い。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多い。また、その他の職業では「ある程度尊重されている」が全体値より 10 ポイント以上高い値となっており、『尊重』の数値も高くなっている。また、学生では『非尊重』の数値が全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

外国人の人権問題



HIV感染者やハンセン病患者・回復者などの人権問題



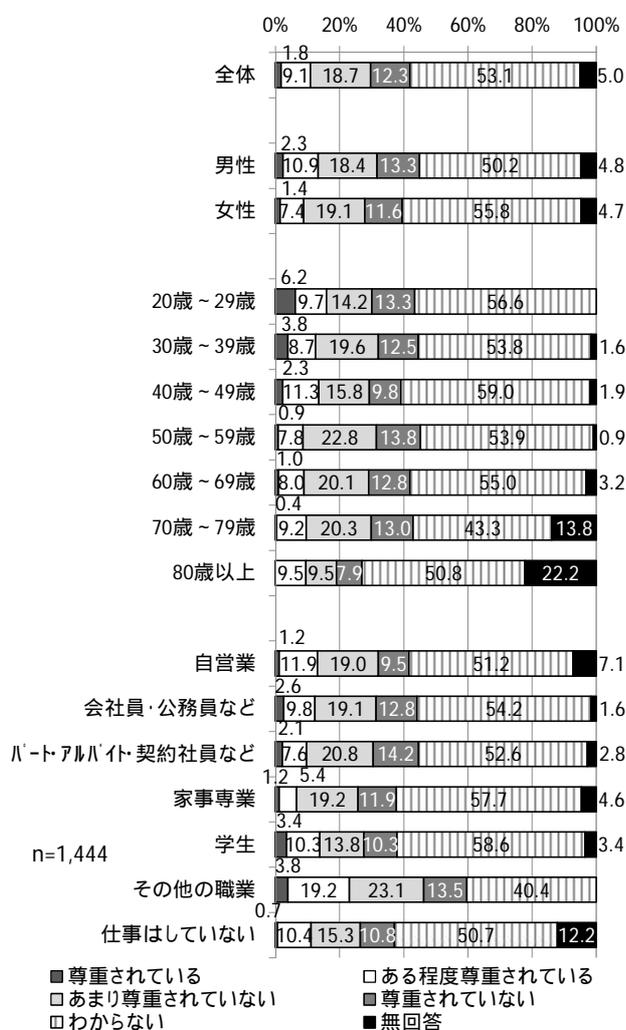
(9) 刑を終えて出所した人の人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多く、さほど大きな男女差は見られない。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「わからない」が最も多い。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多い。また、その他の職業では「ある程度尊重されている」が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

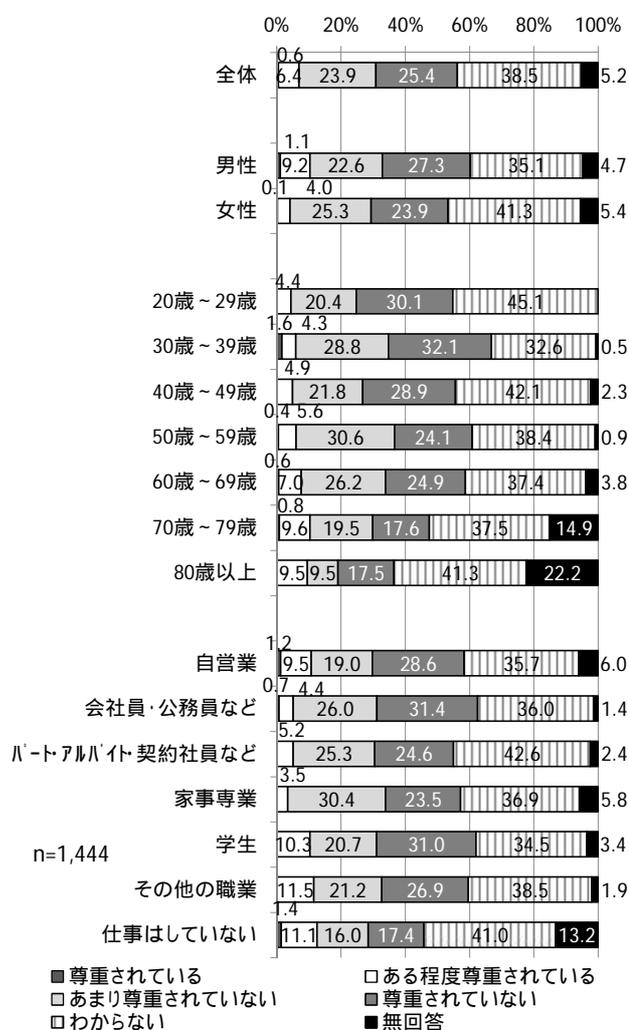
(10) 犯罪被害者とその家族の人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多い。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「わからない」が最も多い。また、30代では『非尊重』の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多い。

刑を終えて出所した人の人権問題



犯罪被害者とその家族の人権問題



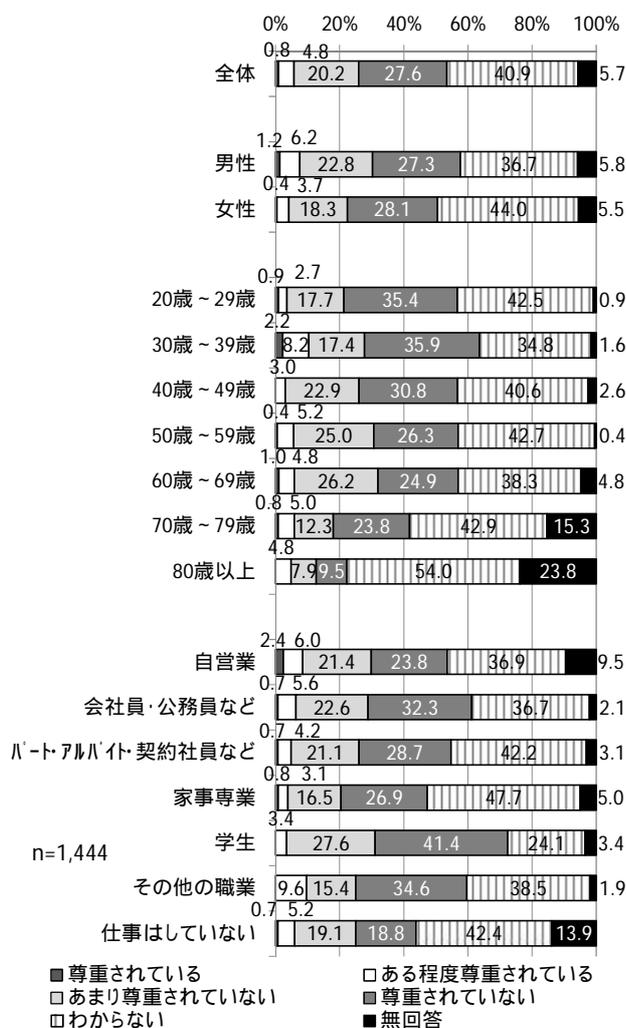
(11) インターネットを悪用した人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多い。
- ・年齢別では、30代のみ「尊重されていない」、それ以外の世代では「わからない」が最も多い。
- ・職業別では、学生のみ「尊重されていない」、それ以外の職業では「わからない」が最も多い。また、学生では『非尊重』の数値が全体値より20ポイント以上高い値となっている。

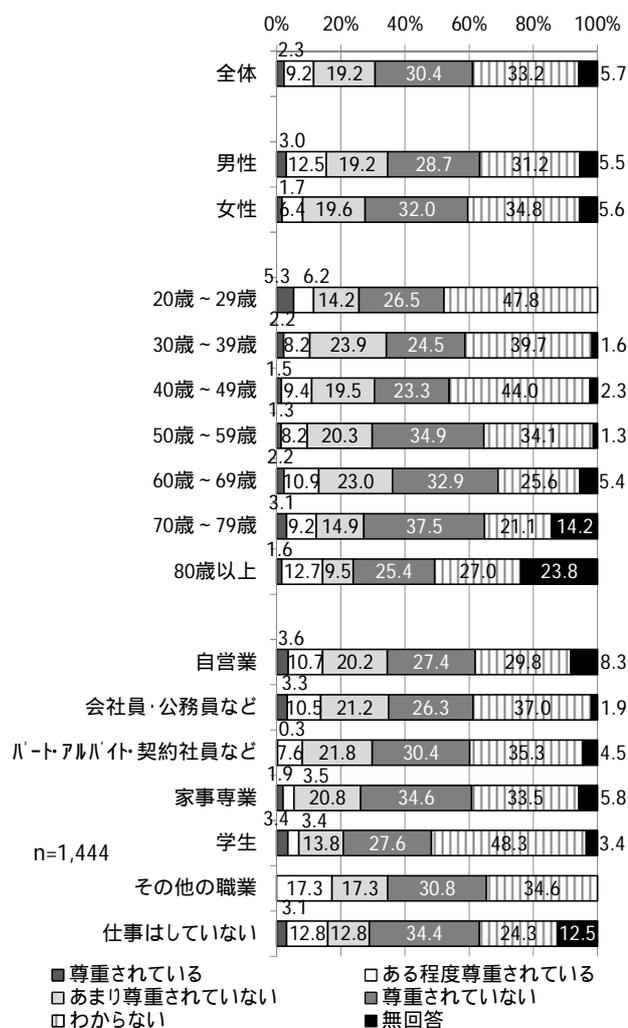
(12) 北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多い。
- ・年齢別では、50代から70代までの世代では「尊重されていない」、それ以外の世代では「わからない」が最も多い。
- ・職業別では、家事専業と仕事をしていない人では「尊重されていない」、それ以外の職業では「わからない」が最も多い。

インターネットを悪用した人権問題



北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題



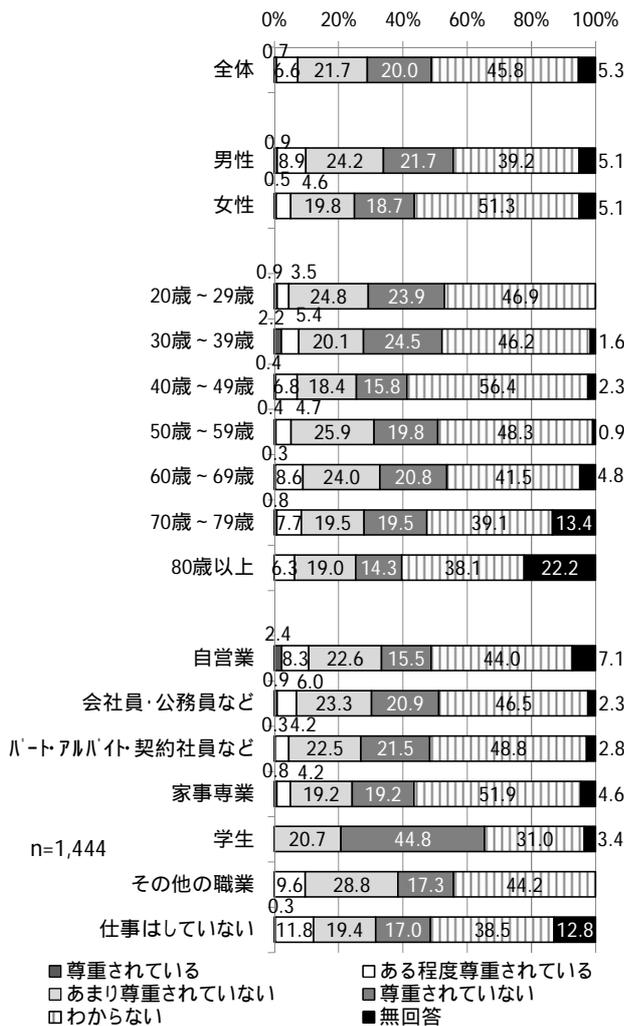
(13) ホームレスの人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多く、特に女性では男性を 12.1 ポイント上回っている。
- ・年齢別では、いずれの世代も「わからない」が最も多い。
- ・職業別では、学生のみ「尊重されていない」、それ以外の職業では「わからない」が最も多い。また、学生では『非尊重』の数値が全体値より 20 ポイント以上高い値となっている。

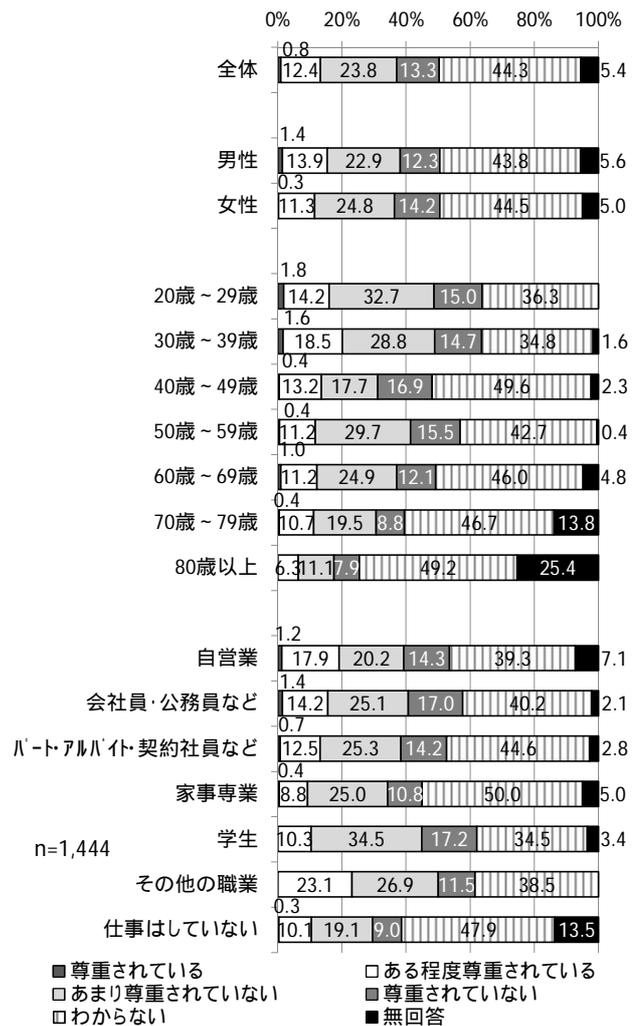
(14) 性的指向や心の性に関する人権問題（いわゆる L G B T）

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多く、大きな男女差は見られなかった。
- ・年齢別では、いずれの世代も「わからない」が最も多い。また、20代では『非尊重』の数値が全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。
- ・職業別では、学生では「あまり尊重されていない」と「わからない」が同率、それ以外の職業では「わからない」が最も多い。その他の職業では「ある程度尊重されている」の数値が全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。また、学生では『非尊重』の数値が全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

ホームレスの人権問題



性的指向や心の性に関する人権問題（いわゆる L G B T）



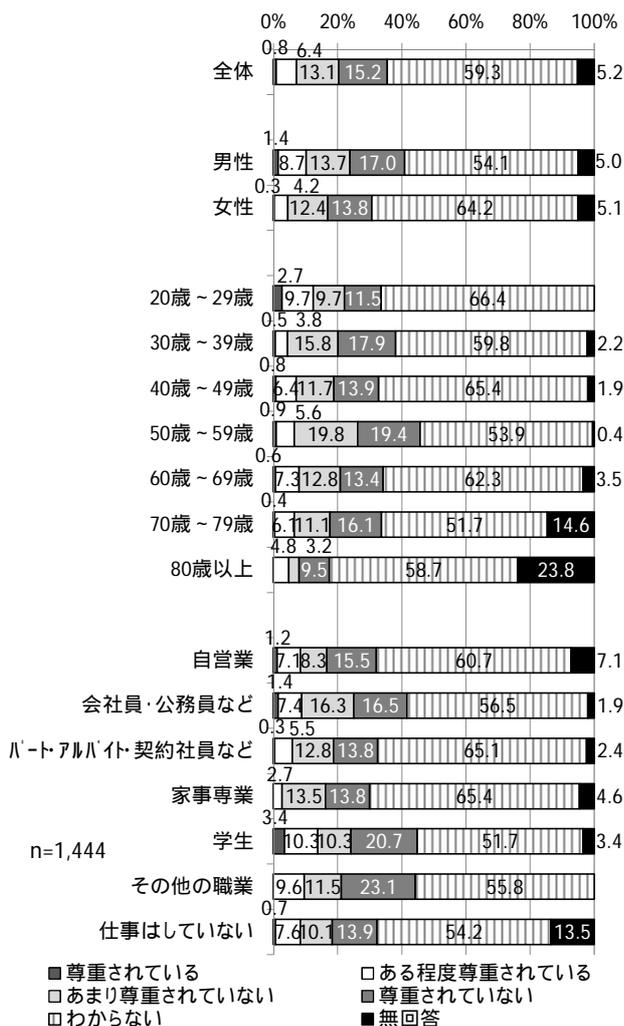
(15) 性的搾取や強制労働、臓器の摘出などの人身取引の問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多く、特に女性では男性を 10.1 ポイント上回っている。
- ・年齢別では、いずれの世代も「わからない」が最も多い。また、50 代では『非尊重』の数値が全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多い。

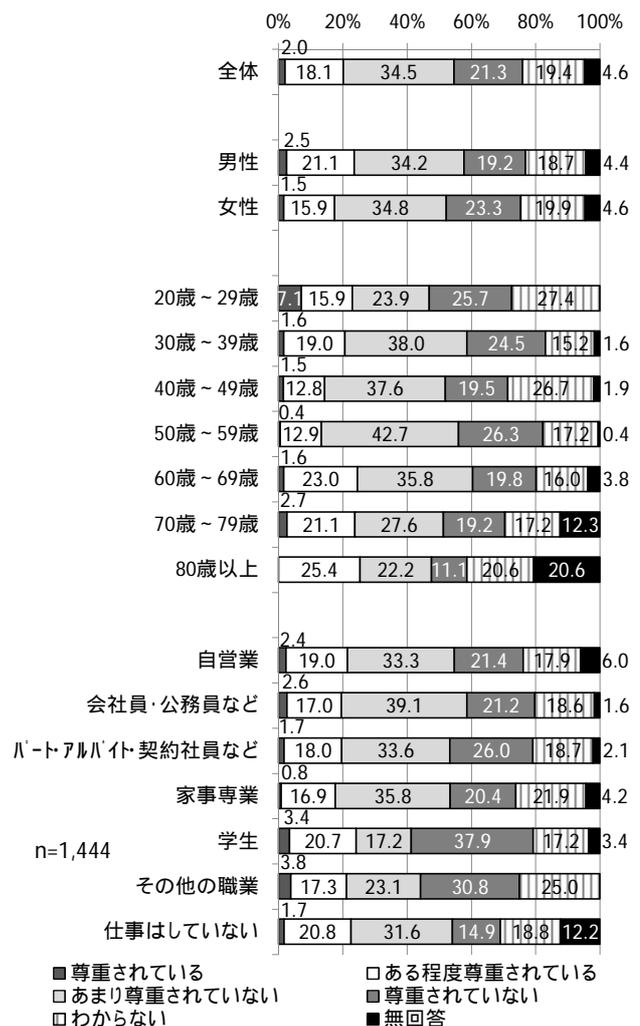
(16) 大規模災害による避難生活や風評被害などの問題

- ・性別では、男女とも「あまり尊重されていない」が最も多い。
- ・年齢別では、20 代では「わからない」、80 歳以上では「ある程度尊重されている」、それ以外の世代では「あまり尊重されていない」が最も多くなっている。また、50 代では『非尊重』の数値が全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。
- ・職業別では、学生、その他の職業では「尊重されていない」、それ以外の職業では「あまり尊重されていない」が最も多い。

性的搾取や強制労働、臓器の摘出などの人身取引の問題



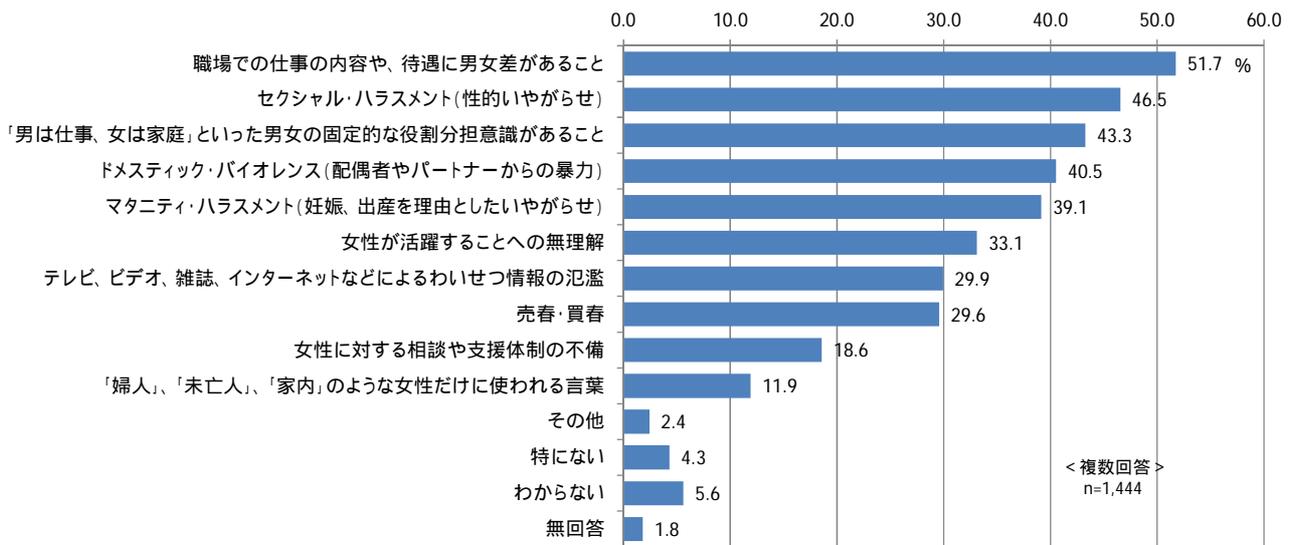
大規模災害による避難生活や風評被害などの問題



2. 女性の人権について

問 15 あなたは、女性の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに)

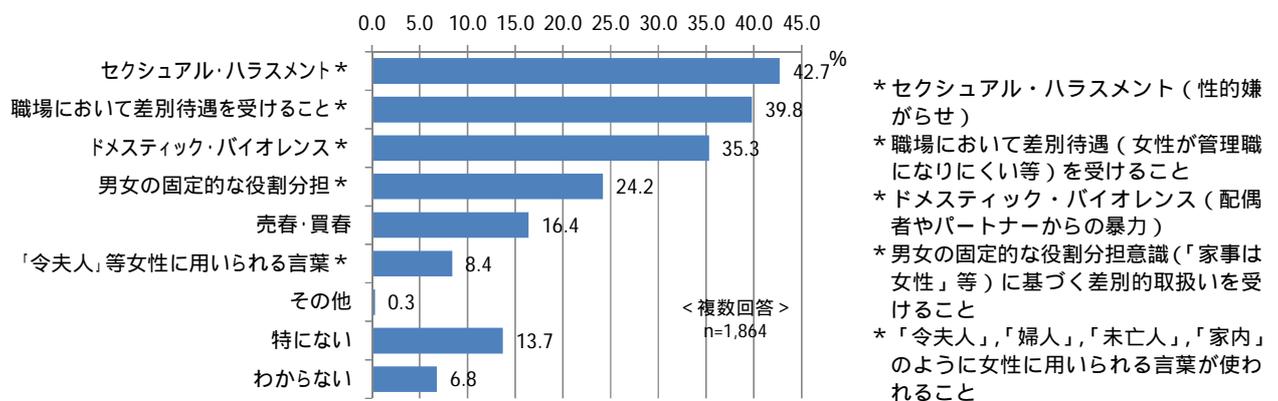
- ・「職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること」が最も多く 51.7%で、半数以上となっている。次いで「セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)」が 46.5%、以下「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること(43.3%)、「ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)」(40.5%)などとなっている。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【女性に関する人権問題】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「セクシュアル・ハラスメント」が最も多く 42.7%、以下「職場において差別待遇を受けること」(39.8%)、「ドメスティック・バイオレンス」(35.3%)、「男女の固定的な役割分担」(24.2%)などとなっている。



性別・年齢別 女性の人権に関して問題だと思うこと

- 性別では、男女とも「職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること」が最も多くなっている。また、女性は男性より「マタニティ・ハラスメント(妊娠、出産を理由としたいやがらせ)」で13.6ポイント、「『男は仕事、女は家庭』といった男女の固定的な役割分担意識があること」で10.1ポイント、「女性が活躍することへの無理解」で9.1ポイント高いなど、「その他」「特にない」「わからない」以外のすべての項目で、男性の数値を上回っている。
- 年齢別では、20代と50代では「セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)」、30代では「マタニティ・ハラスメント(妊娠、出産を理由としたいやがらせ)」、それ以外の世代では「職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること」が最も多くなっている。また、70代では「テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどによるわいせつ情報の氾濫」、80歳以上では「『婦人』、『未亡人』、『家内』のような女性だけに使われる言葉」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっており、世代による傾向の違いが見られた。

		問15 女性の人権に関して問題だと思うこと																		
		合計	分 担 意 識 が あ る こ と	「 男 は 仕 事 、 女 は 家 庭 」 と い っ た 男 女 の 固 定 的 な 役 割 分 担 意 識 が あ る こ と	職 場 で の 仕 事 の 内 容 や 、 待 遇 に 男 女 差 が あ る こ と	(セ ク シ ャ ル ・ ハ ラ ス メ ン ト (性 的 い や が ら せ)	か ら の 暴 力 (ド メ ス テ ィ ッ ク ・ パ イ オ レ ン ス)	売 春 ・ 買 春	「 家 内 」 の よ う な 女 性 だ け に 使 わ れ る 言 葉	「 婦 人 」 、 「 未 亡 人 」 、 「 家 内 」 の よ う な 女 性 だ け に 使 わ れ る 言 葉	い せ つ 情 報 の 氾 濫	テ レ ビ 、 ビ デ オ 、 雑 誌 、 イ ン タ ー ネ ッ ト な ど に よ る わ い せ つ 情 報 の 氾 濫	(妊 娠 、 出 産 を 理 由 と し た い や が ら せ)	マ タ ニ テ ィ ・ ハ ラ ス メ ン ト	女 性 に 対 す る 相 談 や 支 援 体 制 の 不 備	理 解 女 性 が 活 躍 す る こ と へ の 無 理 解	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
	全体	1444	43.3	51.7	46.5	40.5	29.6	11.9	29.9	39.1	18.6	33.1	2.4	4.3	5.6	1.8				
F 1 性別 (統合)	男性	641	37.9	47.7	44.6	35.7	28.4	10.6	26.1	31.8	15.9	28.1	2.5	5.0	7.8	1.7				
	女性	782	48.0	55.2	48.1	44.6	30.6	13.0	32.9	45.4	21.0	37.2	2.3	3.6	3.7	1.8				
F 2 年齢	20歳～29歳	113	46.0	49.6	51.3	37.2	23.0	8.8	18.6	47.8	15.0	34.5	6.2	2.7	5.3	0.0				
	30歳～39歳	184	44.6	47.8	46.2	37.5	23.9	9.2	14.7	59.2	20.1	35.3	6.0	3.8	2.7	1.1				
	40歳～49歳	266	44.7	49.2	47.0	40.6	24.4	10.9	25.9	39.5	16.2	31.6	1.9	6.4	6.4	1.1				
	50歳～59歳	232	47.8	52.6	57.3	50.0	33.6	10.8	24.6	39.7	21.1	31.0	1.7	2.2	4.3	0.9				
	60歳～69歳	313	40.6	55.6	44.1	39.9	34.5	10.5	36.4	36.1	19.5	33.5	1.0	4.8	5.4	1.3				
	70歳～79歳	261	41.0	55.6	40.6	38.3	32.2	15.3	44.1	28.0	20.3	33.3	1.1	4.2	6.5	4.6				
	80歳以上	63	38.1	42.9	33.3	31.7	28.6	22.2	39.7	20.6	7.9	33.3	1.6	4.8	12.7	4.8				

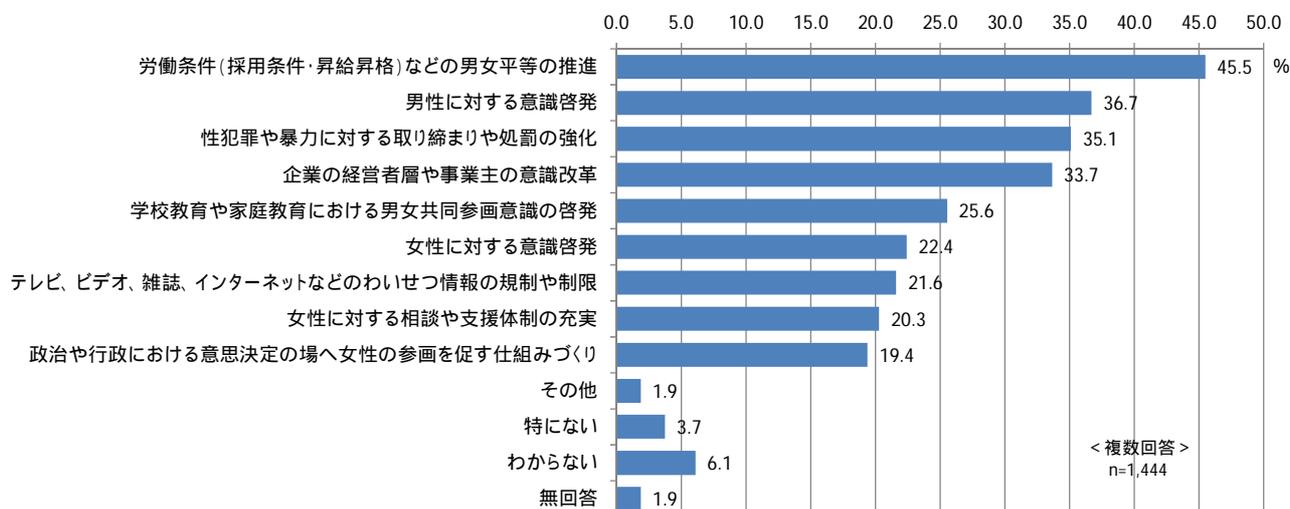
職業別 女性の人権に関して問題だと思うこと

- パート・アルバイト・契約社員などでは「『男は仕事、女は家庭』といった男女の固定的な役割分担意識があること」、「職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること」、学生では「『男は仕事、女は家庭』といった男女の固定的な役割分担意識があること」、「セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)」が同率、その他の職業では「セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)」が最も多い。それ以外では「職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること」が最も多くなっている。また、家事専業では「テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどによるわいせつ情報の氾濫」、学生では「マタニティ・ハラスメント(妊娠、出産を理由としたいやがらせ)」、「女性が活躍することへの無理解」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問15 女性の人権に関して問題だと思うこと																		
		合計	分 担 意 識 が あ る こ と	「 男 は 仕 事 、 女 は 家 庭 」 と い っ た 男 女 の 固 定 的 な 役 割 分 担 意 識 が あ る こ と	職 場 で の 仕 事 の 内 容 や 、 待 遇 に 男 女 差 が あ る こ と	(セ ク シ ャ ル ・ ハ ラ ス メ ン ト (性 的 い や が ら せ)	か ら の 暴 力 (ド メ ス テ ィ ッ ク ・ パ イ オ レ ン ス)	売 春 ・ 買 春	「 家 内 」 の よ う な 女 性 だ け に 使 わ れ る 言 葉	「 婦 人 」 、 「 未 亡 人 」 、 「 家 内 」 の よ う な 女 性 だ け に 使 わ れ る 言 葉	い せ つ 情 報 の 氾 濫	テ レ ビ 、 ビ デ オ 、 雑 誌 、 イ ン タ ー ネ ッ ト な ど に よ る わ い せ つ 情 報 の 氾 濫	(妊 娠 、 出 産 を 理 由 と し た い や が ら せ)	マ タ ニ テ ィ ・ ハ ラ ス メ ン ト	女 性 に 対 す る 相 談 や 支 援 体 制 の 不 備	理 解 女 性 が 活 躍 す る こ と へ の 無 理 解	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
	全体	1444	43.3	51.7	46.5	40.5	29.6	11.9	29.9	39.1	18.6	33.1	2.4	4.3	5.6	1.8				
F 3 職業	自営業	84	36.9	45.2	33.3	29.8	31.0	9.5	25.0	26.2	13.1	35.7	2.4	6.0	10.7	1.2				
	会社員・公務員など	430	41.4	50.0	47.9	37.2	26.0	9.5	20.5	39.8	17.0	30.5	4.2	4.7	4.0	0.9				
	パート・アルバイト・契約社員など	289	51.6	51.6	46.7	46.0	31.5	14.5	28.7	43.3	20.8	34.6	2.1	4.5	3.5	1.4				
	家事専業	260	40.4	55.0	51.5	48.1	31.9	11.5	40.8	43.5	20.8	33.1	1.5	2.3	5.0	2.7				
	学生	29	62.1	51.7	62.1	41.4	27.6	17.2	24.1	51.7	17.2	44.8	6.9	0.0	3.4	3.4				
	その他の職業	52	44.2	40.4	50.0	46.2	21.2	9.6	21.2	38.5	13.5	34.6	1.9	0.0	15.4	0.0				
	仕事はしていない	288	41.0	56.6	41.3	35.1	31.9	13.2	39.2	33.0	19.8	33.3	0.3	5.9	8.0	2.8				

問 16 あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(は3つまで)

- ・「労働条件(採用条件・昇給昇格)などの男女平等の推進」が最も多く45.5%となっている。以下「男性に対する意識啓発」(36.7%)、「性犯罪や暴力に対する取り締まりや処罰の強化」(35.1%)、「企業の経営者層や事業主の意識改革」(33.7%)などとなっている。



性別・年齢別 女性の人権を守るために必要なこと

- ・性別では、男女とも「労働条件(採用条件・昇給昇格)などの男女平等の推進」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、40代では「性犯罪や暴力に対する取り締まりや処罰の強化」、それ以外の世代では「労働条件(採用条件・昇給昇格)などの男女平等の推進」が最も多くなっている。また、70代では「テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどのわいせつ情報の規制や制限」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		問16 女性の人権を守るためには、必要だと思うこと																		
		合計	男性に対する意識啓発	女性に対する意識啓発	進昇格(労働条件)などの採用条件・昇給	労働条件(採用条件・昇給昇格)などの男女平等の推進	学校教育や家庭教育における男女共同参画意識の啓発	学校や家庭教育における男女共同参画意識の啓発	インターネットなどの規制や制限	テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどのわいせつ情報の規制や制限	仕組みづくり	政治や行政における参画を促す	性犯罪や暴力に対する取り締まりや処罰の強化	制の充実	女性に対する相談や支援体制	企業の経営者層や事業主の意識改革	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1444	36.7	22.4	45.5	25.6	21.6	19.4	35.1	20.3	33.7	1.9	3.7	6.1	1.9					
F 1 性別(統合)	男性	641	38.5	25.7	45.1	24.5	17.8	20.0	32.3	18.1	32.0	1.7	4.8	7.6	1.6					
	女性	782	35.2	19.9	45.8	26.5	24.8	19.1	37.3	22.4	34.9	2.0	2.7	4.7	2.0					
F 2 年齢	20歳～29歳	113	35.4	23.0	48.7	25.7	13.3	13.3	28.3	23.9	31.0	2.7	2.7	8.0	0.0					
	30歳～39歳	184	43.5	26.6	44.0	21.2	8.7	16.3	30.4	24.5	34.8	5.4	4.9	4.3	1.6					
	40歳～49歳	266	39.1	20.7	41.4	26.3	19.9	15.8	42.1	17.7	33.8	2.6	4.1	6.0	0.8					
	50歳～59歳	232	43.1	24.6	45.3	25.4	21.6	16.8	34.5	19.0	39.7	0.9	3.4	5.6	0.0					
	60歳～69歳	313	35.5	20.8	50.2	30.0	25.6	22.7	33.2	19.5	34.8	1.0	2.9	4.8	1.9					
	70歳～79歳	261	27.6	21.8	44.4	23.0	31.8	24.9	38.7	21.1	28.7	0.4	2.7	7.7	5.0					
	80歳以上	63	30.2	20.6	42.9	23.8	17.5	25.4	27.0	15.9	23.8	1.6	9.5	9.5	4.8					

職業別 女性の人権を守るために必要なこと

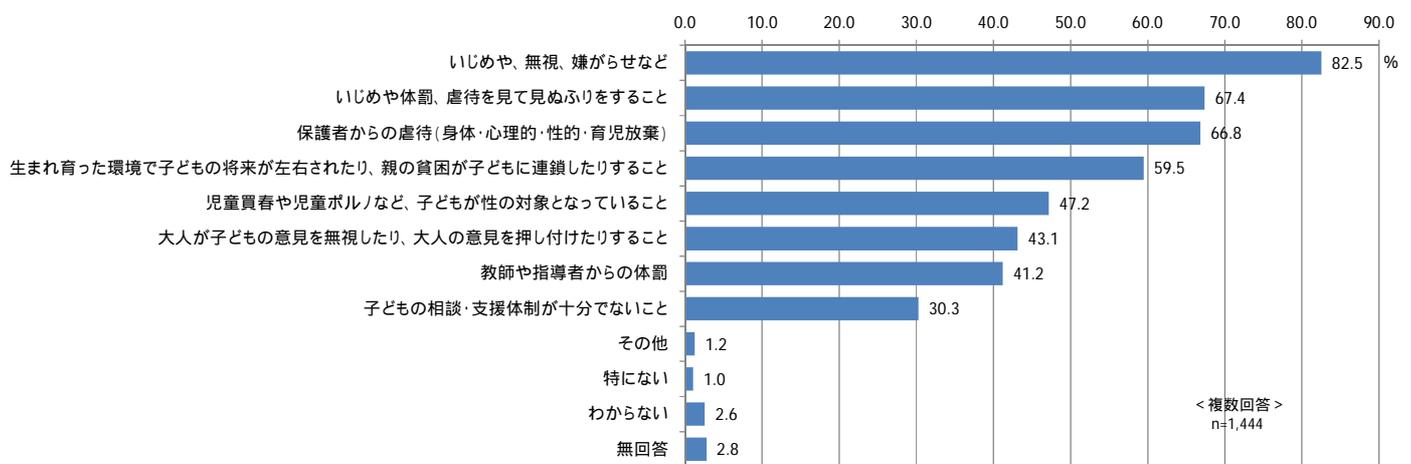
- ・その他の職業でのみ「男性に対する意識啓発」が最も多いが、それ以外の職業では「労働条件（採用条件・昇給昇格）などの男女平等の推進」が最も多くなっている。また、学生では「学校教育や家庭教育における男女共同参画意識の啓発」、その他の職業で「女性に対する意識啓発」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問16 女性の人権を守るためには、必要だと思うこと																	
		合計	男性に対する意識啓発	女性に対する意識啓発	進昇格）などの採用条件・昇給	労働条件（採用条件・昇給）	学校教育や家庭教育における男女共同参画意識の啓発	情報規制や制限	テレビ、ネットなどのわいせつ情報	仕組みづくり	政治や行政における意思決定	締め切りや暴力に対する取り	性犯罪や処罰の強化	女性の充実	女性に対する相談や支援体制	企業の経営者層や事業主の意識改革	その他	特にな	わからない
F3 職業	全体	1444	36.7	22.4	45.5	25.6	21.6	19.4	35.1	20.3	33.7	1.9	3.7	6.1	1.9				
	自営業	84	34.5	26.2	40.5	22.6	15.5	16.7	28.6	19.0	29.8	3.6	3.6	8.3	1.2				
	会社員・公務員など	430	41.2	25.1	46.7	24.0	16.5	15.3	33.0	20.7	35.6	3.0	5.6	4.0	0.9				
	パート・アルバイト・契約社員など	289	41.5	20.4	44.6	27.0	21.8	20.1	38.4	19.7	36.7	0.7	3.1	5.5	1.4				
	家事専業	260	31.2	18.5	43.1	27.7	30.4	18.5	39.2	21.5	34.6	1.5	0.8	6.5	2.3				
	学生	29	17.2	17.2	51.7	44.8	13.8	20.7	34.5	17.2	27.6	3.4	0.0	6.9	3.4				
	その他の職業	52	46.2	36.5	36.5	26.9	23.1	21.2	30.8	25.0	34.6	5.8	0.0	7.7	0.0				
	仕事はしていない	288	30.6	21.2	49.3	23.3	24.0	26.4	33.3	19.1	28.1	0.3	5.2	8.7	3.5				

3. 子どもの人権について

問 17 あなたは、子どもの人権に関することで、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに)

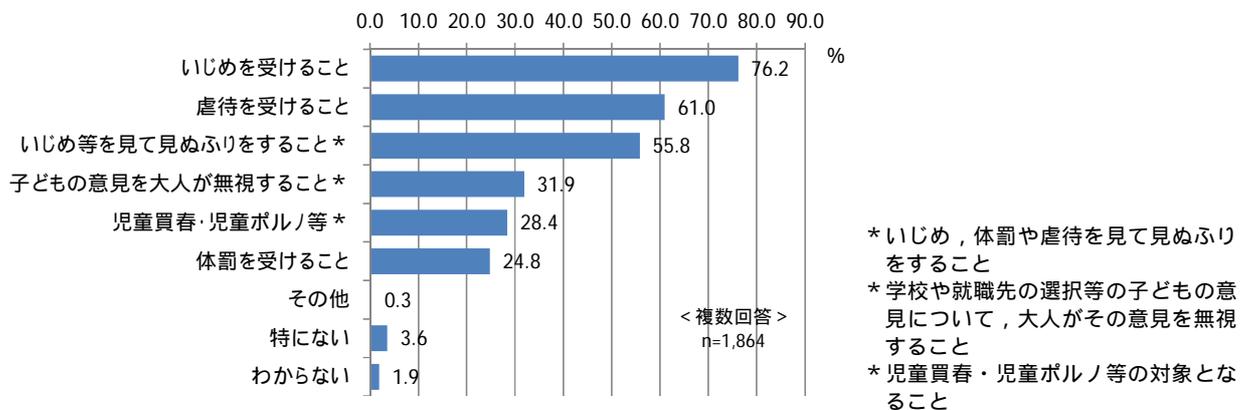
- ・「いじめや、無視、嫌がらせなど」が最も多く 82.5%で、8割以上に達している。次いで「いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをする事」(67.4%)、「保護者からの虐待(身体・心理的・性的・育児放棄)」(66.8%)についても6割以上、「生まれ育った環境で子どもの将来が左右されたり、親の貧困が子どもに連鎖したりすること」(59.5%)、「児童買春や児童ポルノなど、子どもが性的対象となっていること」(47.2%)、「大人が子どもの意見を無視したり、大人の意見を押し付けたりすること」(43.1%)、「教師や指導者からの体罰」(41.2%)についても4割以上となっているなど、子どもの人権に関する問題点は多岐にわたって認識されている。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

(Q7) 子どもに関する人権問題

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「いじめを受けること」が最も多く 76.2%、以下「虐待を受けること」(61.0%)、「いじめ等を見て見ぬふりをする事」(55.8%)、「子どもの意見を大人が無視すること」(31.9%)などとなっている。



性別・年齢別 子どもの人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「いじめや、無視、嫌がらせなど」が最も多くなっている。また、女性は男性より「児童買春や児童ポルノなど、子どもが性の対象となっていること」が9.4ポイント高いなど、「その他」「特にない」以外のすべての項目で、男性の数値を上回っている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「いじめや、無視、嫌がらせなど」が最も多くなっている。また、20代では「大人が子どもの意見を無視したり、大人の意見を押し付けたりすること」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問17 子どもの人権に関して問題だと思うこと														
			ない いじめや、 無視、 嫌がらせ	教師や 指導者から の体罰	心理的・ 性的・ 育児放棄	保護者から の虐待(身体・ 性的)	見ぬふり をする こと	いじめや 体罰、 虐待を 見て	付いたり する こと	大人が 子どもの 意見を 無視 したり、 大人の 意見を 押し 付けたり すること	な っ て い る こ と	児童買 春や 児童ポ ルノな ど、子 どもが 性の対 象とな ること	児童買 春や 児童ポ ルノな ど、子 どもが 性的対 象とな ること	生まれ 育った 環境で 子どもの 将来が 左右さ れたり、 親の貧 困が子 どもに 連鎖し たりす ること	十分で ないこ と	子どもの 相談・ 支援体 制が	その他
	全体	1444	82.5	41.2	66.8	67.4	43.1	47.2	59.5	30.3	1.2	1.0	2.6	2.8			
F 1 性別 (総合)	男性	641	81.7	37.6	64.0	65.7	41.0	42.1	55.7	27.8	1.6	1.6	2.5	2.2			
	女性	782	83.6	44.5	69.3	69.3	45.1	51.5	62.8	32.6	1.0	0.5	2.6	2.9			
F 2 年齢	20歳～29歳	113	83.2	43.4	65.5	71.7	61.1	36.3	56.6	25.7	0.9	0.9	0.9	1.8			
	30歳～39歳	184	78.8	34.8	71.7	61.4	47.8	48.9	57.6	31.0	1.6	0.5	2.2	2.7			
	40歳～49歳	266	85.0	39.5	65.8	63.2	41.7	49.6	61.3	24.4	0.8	1.9	1.5	1.1			
	50歳～59歳	232	84.9	40.9	72.8	69.8	41.4	51.7	63.4	30.6	0.9	0.9	3.4	1.3			
	60歳～69歳	313	84.0	42.5	68.7	71.6	38.7	46.0	62.6	33.2	1.3	0.6	1.3	3.2			
	70歳～79歳	261	80.8	45.6	61.3	69.3	41.8	47.5	54.8	33.7	2.3	0.8	4.2	4.2			
	80歳以上	63	77.8	39.7	55.6	57.1	36.5	41.3	50.8	30.2	0.0	1.6	6.3	6.3			

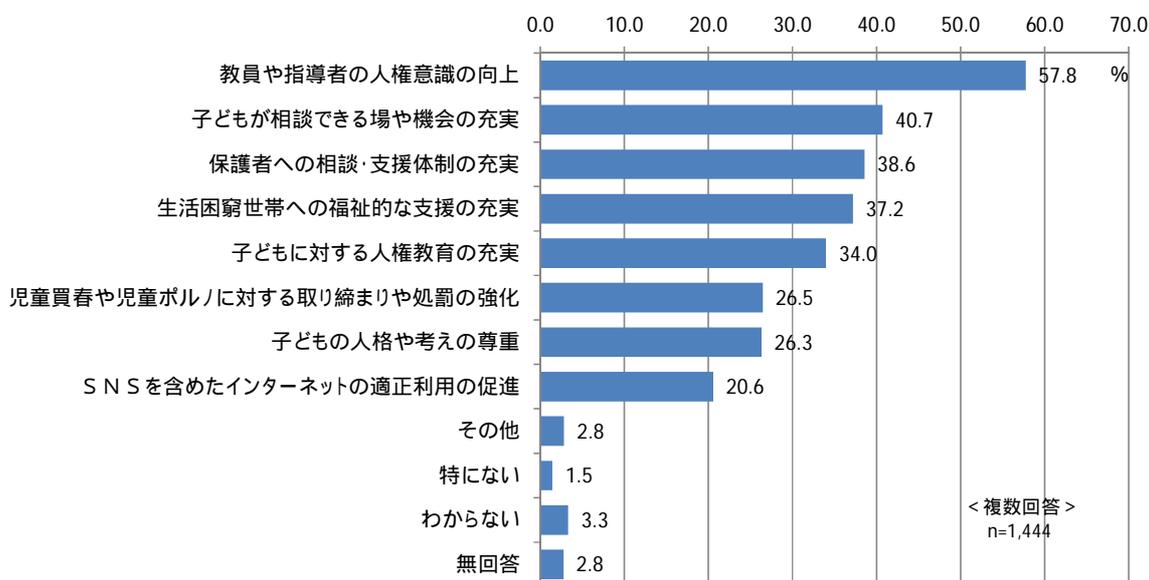
職業別 子どもの人権に関して問題だと思うこと

- ・学生では「いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをする事」、それ以外の職業では「いじめや、無視、嫌がらせなど」が最も多くなっている。また、学生では「大人が子どもの意見を無視したり、大人の意見を押し付けたりすること」の数値が全体値に比べて20ポイント以上高い値となっている。

		合計	問17 子どもの人権に関して問題だと思うこと														
			ない いじめや、 無視、 嫌がらせ	教師や 指導者から の体罰	心理的・ 性的・ 育児放棄	保護者から の虐待(身体・ 性的)	見ぬふり をする こと	いじめや 体罰、 虐待を 見て	付いたり する こと	大人が 子どもの 意見を 無視 したり、 大人の 意見を 押し 付けたり すること	な っ て い る こ と	児童買 春や 児童ポ ルノな ど、子 どもが 性の対 象とな ること	児童買 春や 児童ポ ルノな ど、子 どもが 性的対 象とな ること	生まれ 育った 環境で 子どもの 将来が 左右さ れたり、 親の貧 困が子 どもに 連鎖し たりす ること	十分で ないこ と	子どもの 相談・ 支援体 制が	その他
	全体	1444	82.5	41.2	66.8	67.4	43.1	47.2	59.5	30.3	1.2	1.0	2.6	2.8			
F 3 職業	自営業	84	79.8	38.1	59.5	66.7	47.6	47.6	51.2	26.2	0.0	0.0	4.8	0.0			
	会社員・公務員など	430	83.5	35.3	66.3	66.0	42.6	44.2	60.0	26.7	2.1	1.2	1.6	2.3			
	パート・アルバイト・契約社員など	289	87.2	46.4	74.7	73.4	44.3	52.9	62.3	34.3	0.3	1.4	1.0	1.0			
	家事専業	260	81.5	46.2	66.2	68.1	41.5	50.0	58.1	30.8	0.8	0.0	3.5	5.4			
	学生	29	72.4	48.3	69.0	75.9	69.0	31.0	62.1	34.5	0.0	0.0	3.4	0.0			
	その他の職業	52	80.8	32.7	71.2	59.6	46.2	50.0	65.4	28.8	0.0	0.0	3.8	3.8			
	仕事はしていない	288	80.6	42.0	62.2	64.2	40.3	44.8	58.3	33.0	2.1	1.7	3.5	3.1			

問 18 あなたは、子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3 つまで)

- ・「教員や指導者の人権意識の向上」が最も多く 57.8%となっている。次いで「子どもが相談できる場や機会の充実」が 40.7%である。以下「保護者への相談・支援体制の充実」(38.6%)、「生活困窮世帯への福祉的な支援の充実」(37.2%)、「子どもに対する人権教育の充実」(34.0%)についても3割以上となっている。



性別・年齢別 子どもの人権を守るために必要なこと

- ・性別では、男女とも「教員や指導者の人権意識の向上」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「教員や指導者の人権意識の向上」が最も多くなっている。また、20代では「子どもの人格や考えの尊重」、「SNSを含めたインターネットの適正利用の促進」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		問18 子どもの人権を守るために必要だと思うこと												
		合計	子どもに対する人権教育の充実	教員や指導者の人権意識の向上	保護者への相談・支援体制の充実	子どもの人格や考えの尊重	生活困窮世帯への福祉的な支援の充実	児童買春や児童ポルノの処罰強化	子どもが相談できる場や機会の充実	SNSを含めたインターネットの適正利用の促進	その他	特にない	わからない	無回答
	全体	1444	34.0	57.8	38.6	26.3	37.2	26.5	40.7	20.6	2.8	1.5	3.3	2.8
F 1 性別 (総合)	男性	641	35.7	56.6	39.3	25.4	37.4	24.8	39.9	17.9	2.3	2.2	3.4	2.2
	女性	782	32.7	58.7	37.9	27.4	37.1	28.0	41.6	23.0	3.2	0.8	3.3	2.9
F 2 年齢	20歳～29歳	113	38.1	55.8	38.1	37.2	31.0	17.7	35.4	32.7	5.3	0.9	2.7	1.8
	30歳～39歳	184	33.7	47.3	42.9	30.4	37.0	27.2	41.8	26.1	4.3	1.1	1.6	2.7
	40歳～49歳	266	38.3	53.0	31.2	27.1	36.8	24.8	31.2	25.9	4.5	2.6	2.3	1.1
	50歳～59歳	232	34.9	59.9	43.1	25.0	38.8	27.6	45.7	22.8	2.6	0.9	4.7	1.3
	60歳～69歳	313	31.0	60.1	39.9	21.7	37.4	25.9	42.8	16.6	1.3	0.6	2.6	2.9
	70歳～79歳	261	33.3	65.1	37.9	24.9	40.6	30.7	45.6	12.6	1.9	1.9	4.2	4.6
	80歳以上	63	23.8	63.5	31.7	27.0	33.3	31.7	38.1	6.3	0.0	1.6	7.9	6.3

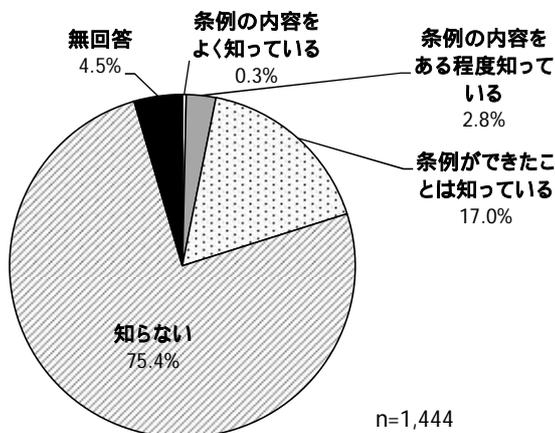
職業別 子どもの人権を守るために必要なこと

- ・その他の職業では「保護者への相談・支援体制の充実」、それ以外の職業では「教員や指導者の人権意識の向上」が最も多くなっている。また、学生では「子どもの人格や考えの尊重」、「SNSを含めたインターネットの適正利用の促進」の数値が全体値に比べて 10 ポイント以上高い値となっている。

		合計	問18 子どもの人権を守るために必要だと思うこと											
			充 子 実 ども に 対 す る 人 権 教 育 の	向 上 教 員 や 指 導 者 の 人 権 意 識 の	の 保 護 者 へ の 相 談 ・ 支 援 体 制 の 充 実	子 ど も の 人 格 や 考 え の 尊 重	支 援 の 充 実	生 活 困 窮 世 帯 へ の 福 祉 的 な	化 す る 取 り 締 まり や 処 罰 の 強 対	児 童 買 春 や 児 童 ポ ル ノ に	会 の 充 実	子 ど も が 相 談 で き る 場 や 機	ネ ッ ト の 適 正 利 用 の 促 進	そ の 他
	全体	1444	34.0	57.8	38.6	26.3	37.2	26.5	40.7	20.6	2.8	1.5	3.3	2.8
F 3 職業	自営業	84	36.9	58.3	41.7	21.4	32.1	27.4	32.1	14.3	2.4	1.2	7.1	0.0
	会社員・公務員など	430	35.1	53.3	37.7	26.5	39.3	24.0	39.5	25.1	3.7	1.9	2.3	2.1
	パート・アルバイト・契約社員など	289	38.8	61.2	40.8	28.7	34.6	29.1	42.6	24.6	1.7	1.7	2.1	1.0
	家事専業	260	31.9	58.5	35.4	25.4	35.8	29.6	39.6	20.8	3.5	0.4	4.2	5.4
	学生	29	37.9	62.1	44.8	48.3	37.9	13.8	31.0	34.5	3.4	0.0	3.4	0.0
	その他の職業	52	28.8	44.2	48.1	26.9	40.4	26.9	42.3	15.4	3.8	0.0	3.8	3.8
	仕事はしていない	288	29.9	62.5	36.8	24.7	38.9	26.4	45.5	11.8	2.1	1.7	3.8	3.5

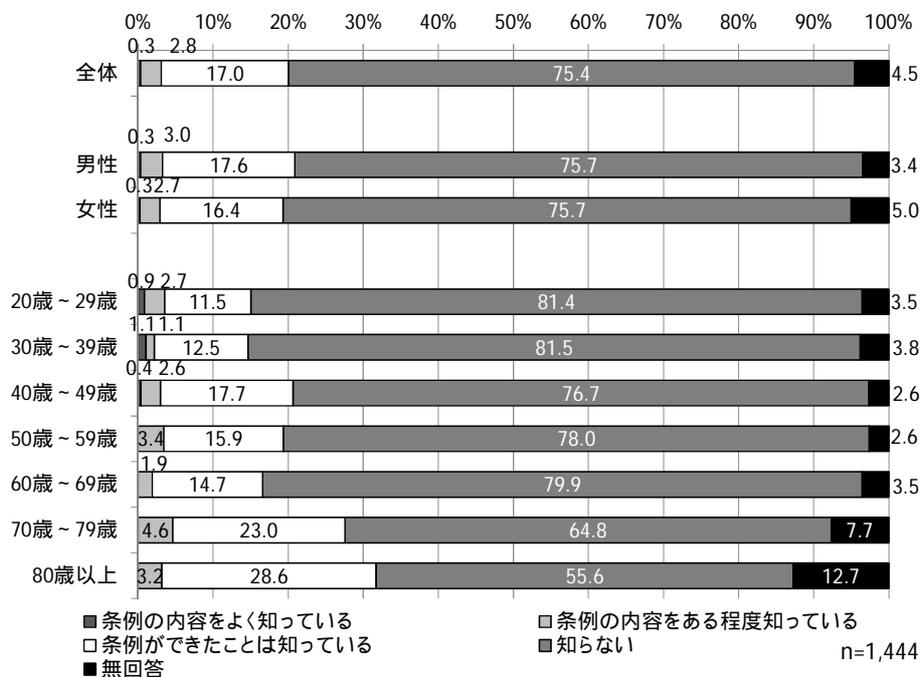
問 19 あなたは、相模原市子どもの権利条例（平成 27 年 4 月 1 日施行）を知っていますか。（は1つ）

- ・「知らない」が75.4%で、全体の約4分の3を占めている。次いで「条例ができたことは知っている」が17.0%である。「条例の内容をある程度知っている」が2.8%、「条例の内容をよく知っている」は0.3%にとどまっている。



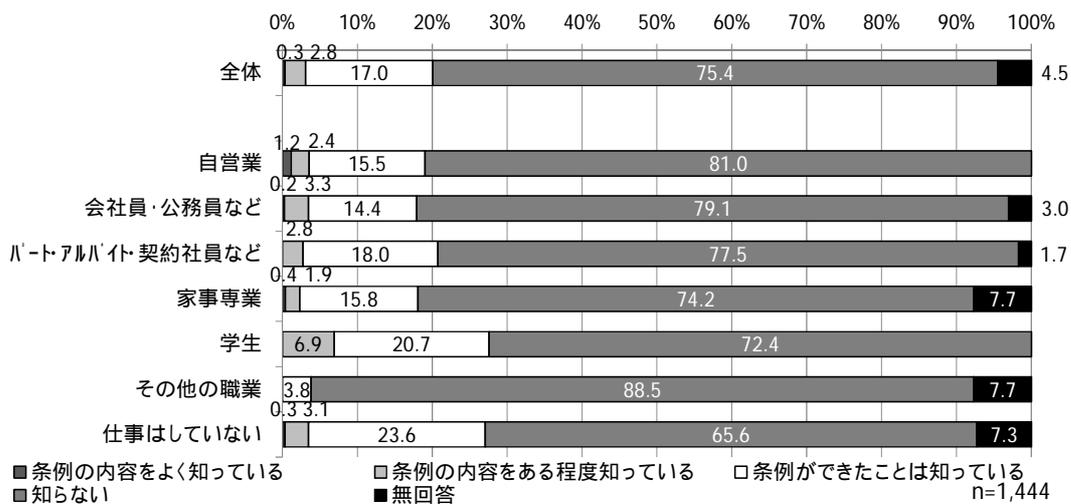
性別・年齢別 相模原市子どもの権利条例の認知度

- ・性別では、男女とも「知らない」が全体の4分の3を占め、男女による差異はなかった。
- ・年齢別では、いずれの世代も「知らない」が最も多くなっている。また、80歳以上では「条例ができたことは知っている」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。



職業別 相模原市子どもの権利条例の認知度

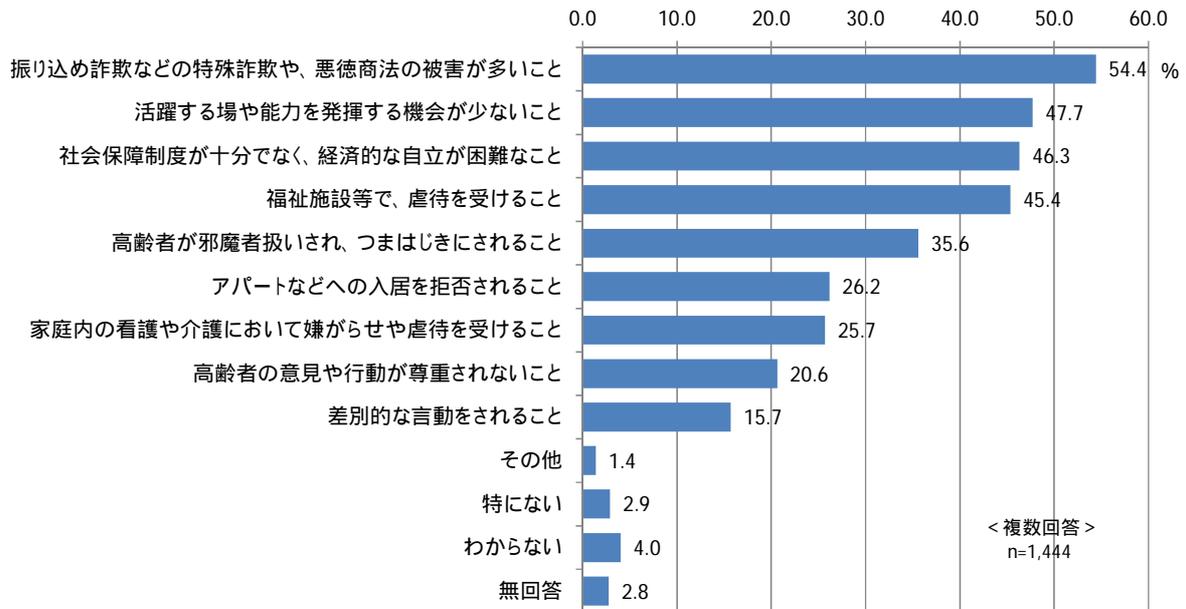
・いずれの職業でも「知らない」が最も多く、特にその他の職業で突出して多くなっている。



4. 高齢者の人権について

問 20 あなたは、高齢者の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

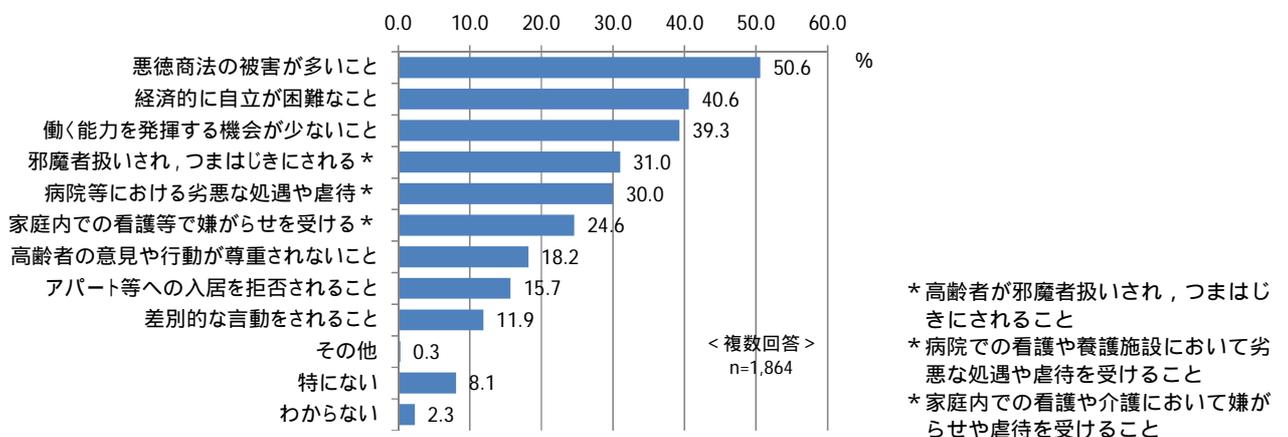
- ・「振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと」が最も多く 54.4%で、半数以上となっている。次いで「活躍する場や能力を発揮する機会が少ないこと」(47.7%)、「社会保障制度が十分でなく、経済的な自立が困難なこと」(46.3%)、「福祉施設等で、虐待を受けること」(45.4%) などとなっている。



< 参考 > 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【高齢者に関する人権問題】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「悪徳商法の被害が多いこと」が最も多く 50.6%、次いで「経済的に自立が困難なこと」(40.6%)、「働く能力を発揮する機会が少ないこと」(39.3%)、「邪魔者扱いされ、つまはじきにされる」(31.0%)、「病院等における劣悪な処遇や虐待」(30.0%) などとなっている。



性別・年齢別 高齢者の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと」が最も多い。また、女性は男性より「福祉施設等で、虐待を受けること」が 12.7 ポイント、「家庭内の看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること」が 12.5 ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、30 代で「福祉施設等で、虐待を受けること」、60 代で「活躍する場や能力を發揮する機会が少ないこと」、それ以外の世代では「振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと」が最も多くなっている。

		合計	問20 高齢者の人権に関して問題だと思うこと														
			活躍する場や能力を發揮すること	差別的な言動をされること	いじめや悪徳商法などの被害が多いこと	振り込め詐欺などの特殊詐欺	否されることへの入居を拒否されること	アパートなどへの入居を拒否されること	家庭内の看護や介護を受けること	福祉施設等で、虐待を受けること	つまはじきにされること	高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること	高齢者の意見や行動が尊重されないこと	こと、経済的自立が困難なこと	社会保障制度が十分でない	その他	特にな
全体		1444	47.7	15.7	54.4	26.2	25.7	45.4	35.6	20.6	46.3	1.4	2.9	4.0	2.8		
F 1 性別 (統合)	男性	641	48.4	14.5	52.4	23.1	19.0	38.5	34.6	16.2	42.6	1.9	4.5	3.7	2.5		
	女性	782	47.4	16.8	56.6	28.6	31.5	51.2	36.4	24.3	49.5	1.0	1.7	4.3	2.7		
F 2 年齢	20歳～29歳	113	28.3	15.0	54.0	20.4	30.1	38.9	33.6	13.3	32.7	1.8	6.2	6.2	2.7		
	30歳～39歳	184	41.8	11.4	50.0	21.2	34.8	53.3	28.3	14.1	34.2	1.6	3.3	6.5	3.3		
	40歳～49歳	266	49.2	16.5	61.7	30.5	26.3	48.9	35.0	16.5	47.4	1.5	4.1	3.4	0.8		
	50歳～59歳	232	50.0	16.8	58.6	33.2	27.2	52.2	40.5	17.2	49.6	1.7	1.3	3.9	1.3		
	60歳～69歳	313	61.3	14.7	47.3	27.2	21.1	41.2	36.7	24.9	52.7	0.6	1.9	2.6	2.6		
	70歳～79歳	261	42.1	17.2	56.3	20.3	23.4	41.4	37.9	28.0	50.2	1.5	2.3	3.4	4.6		
	80歳以上	63	41.3	19.0	54.0	25.4	15.9	34.9	31.7	30.2	39.7	1.6	4.8	4.8	6.3		

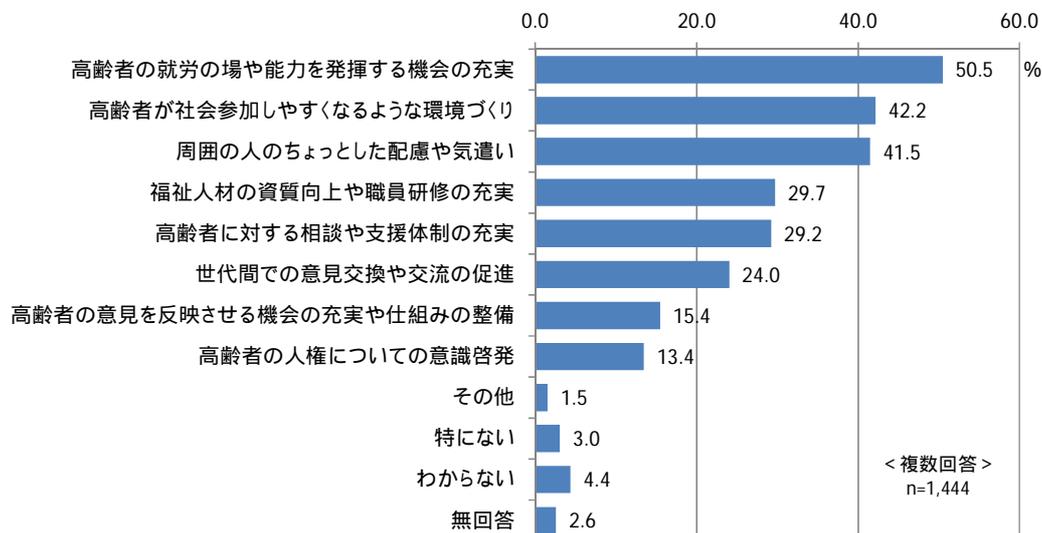
職業別 高齢者の人権に関して問題だと思うこと

- ・その他の職業のみ「活躍する場や能力を發揮する機会が少ないこと」、それ以外の職業では「振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと」が最も多い。また、学生では「アパートなどへの入居を拒否されること」、その他の職業では「高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること」の数値が全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

		合計	問20 高齢者の人権に関して問題だと思うこと														
			活躍する場や能力を發揮すること	差別的な言動をされること	いじめや悪徳商法などの被害が多いこと	振り込め詐欺などの特殊詐欺	否されることへの入居を拒否されること	アパートなどへの入居を拒否されること	家庭内の看護や介護を受けること	福祉施設等で、虐待を受けること	つまはじきにされること	高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること	高齢者の意見や行動が尊重されないこと	こと、経済的自立が困難なこと	社会保障制度が十分でない	その他	特にな
全体		1444	47.7	15.7	54.4	26.2	25.7	45.4	35.6	20.6	46.3	1.4	2.9	4.0	2.8		
F 3 職業	自営業	84	44.0	13.1	60.7	26.2	19.0	48.8	28.6	19.0	47.6	0.0	1.2	4.8	1.2		
	会社員・公務員など	430	47.9	14.9	53.3	26.0	24.2	44.4	34.7	13.7	39.5	2.3	4.4	3.3	2.6		
	パート・アルバイト・契約社員など	289	53.3	17.0	55.7	28.0	33.2	52.9	40.5	22.8	54.7	1.0	1.4	3.1	1.0		
	家事専業	260	44.6	13.1	53.8	25.8	26.9	47.7	31.9	26.2	44.2	0.8	1.5	6.9	5.0		
	学生	29	27.6	17.2	55.2	37.9	34.5	41.4	41.4	17.2	48.3	0.0	3.4	3.4	0.0		
	その他の職業	52	53.8	17.3	44.2	19.2	28.8	42.3	48.1	26.9	48.1	1.9	0.0	5.8	3.8		
	仕事はしていない	288	46.5	18.1	56.3	25.0	20.1	38.2	35.1	23.6	49.3	1.4	4.2	2.8	2.8		

問21 あなたは、高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3 つまで)

- ・「高齢者の就労の場や能力を發揮する機会の充実」が最も多く 50.5% で、約半数となっている。次いで「高齢者が社会参加しやすくなるような環境づくり」(42.2%)、「周囲の人のちょっとした配慮や気遣い」(41.5%)が4割以上となっている。



性別・年齢別 高齢者の人権を守るために必要なこと

- ・性別では、男女とも「高齢者の就労の場や能力を發揮する機会の充実」が最も多い。また、女性は男性より「周囲の人のちょっとした配慮や気遣い」が10.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、20代と80歳以上で「周囲の人のちょっとした配慮や気遣い」、70代で「高齢者が社会参加しやすくなるような環境づくり」、それ以外の世代では「高齢者の就労の場や能力を發揮する機会の充実」が最も多くなっている。また、80歳以上では「高齢者の人権についての意識啓発」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

	合計	問21 高齢者の人権を守るために必要だと思うこと											
		発 揮 す る 機 会 の 充 実 や 能 力 を	識 高 齢 者 の 人 権 に つ い て の 意	の 世 代 間 で の 意 見 交 換 や 交 流	研 修 社 会 の 人 材 の 資 質 向 上 や 職 員	機 会 の 充 実 や 見 解 を 反 映 さ せ る	な 高 齢 者 が よ う な 社 会 参 加 し やす く	体 制 の 充 実 に 対 す る 相 談 や 支 援	慮 周 圍 の 人 の ち よ つ と し た 配	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	1444	50.5	13.4	24.0	29.7	15.4	42.2	29.2	41.5	1.5	3.0	4.4	2.6
F 1 性別 (統合)													
男性	641	52.9	14.2	23.9	27.3	17.8	39.6	27.1	35.9	1.2	5.3	4.2	2.2
女性	782	48.8	12.8	24.3	31.6	13.0	44.1	30.6	46.4	1.8	1.3	4.5	2.6
F 2 年齢													
20歳～29歳	113	37.2	4.4	23.0	22.1	8.0	30.1	22.1	44.2	5.3	7.1	7.1	1.8
30歳～39歳	184	48.9	12.0	26.1	31.5	9.8	38.6	24.5	41.8	2.2	3.8	5.4	2.7
40歳～49歳	266	53.4	10.9	22.6	28.9	15.4	41.7	21.8	44.0	2.3	3.8	4.9	0.8
50歳～59歳	232	52.2	15.9	23.3	37.5	11.6	44.0	37.5	43.5	1.3	0.4	3.9	1.3
60歳～69歳	313	62.3	12.8	22.4	27.8	16.0	46.6	31.0	39.9	0.0	2.9	2.2	2.9
70歳～79歳	261	44.1	16.9	27.6	30.3	21.5	44.8	32.6	38.3	1.1	2.7	3.8	3.8
80歳以上	63	33.3	23.8	22.2	19.0	25.4	34.9	30.2	38.1	0.0	3.2	7.9	6.3

職業別 高齢者の人権を守るために必要なこと

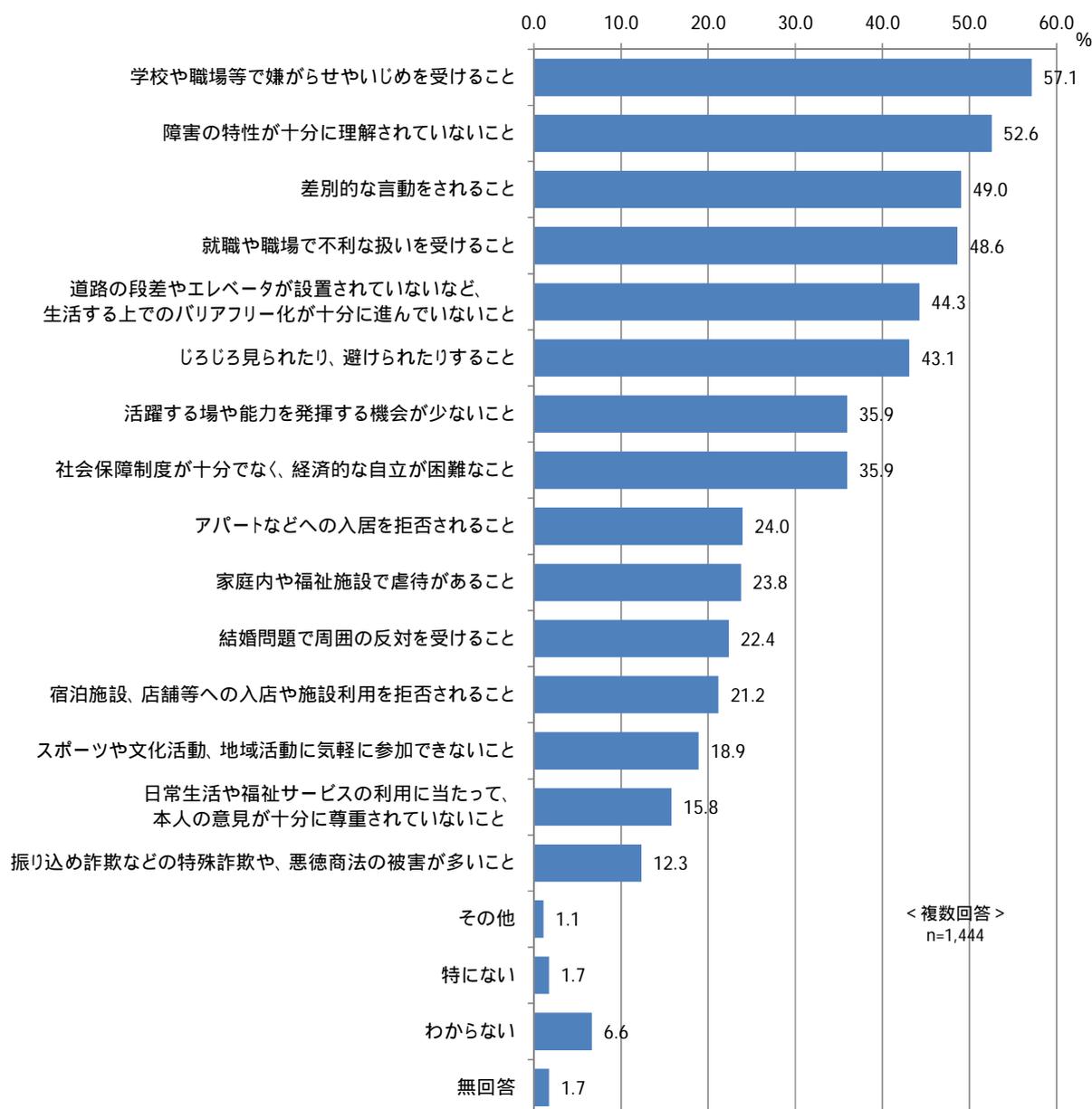
- ・学生では「周囲の人のちょっとした配慮や気遣い」、それ以外の職業では「高齢者の就労の場や能力を発揮する機会の充実」が最も多くなっている。また、学生では「特にない」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問21 高齢者の人権を守るために必要だと思うこと											
			高齢者の就労の場や能力を発揮する機会の充実	高齢者の人権についての意識啓発	世代間での意見交換や交流の促進	福祉の充実	研究会の充実	高齢者の意見を反映させる仕組みの整備	高齢者が社会参加しやすくなるような環境づくり	高齢者に対する相談や支援体制の充実	周囲の人のちょっとした配慮や気遣い	その他	特にない	わからない
F3 職業	全体	1444	50.5	13.4	24.0	29.7	15.4	42.2	29.2	41.5	1.5	3.0	4.4	2.6
	自営業	84	51.2	11.9	17.9	26.2	13.1	42.9	22.6	46.4	1.2	3.6	6.0	1.2
	会社員・公務員など	430	54.4	11.9	25.6	28.6	13.5	40.2	26.0	43.0	1.9	3.5	3.5	2.1
	パート・アルバイト・契約社員など	289	57.1	10.4	23.9	32.9	14.2	45.0	32.5	45.0	2.1	2.4	3.1	1.0
	家事専業	260	45.8	13.5	21.9	31.5	14.2	41.5	30.8	40.8	1.9	0.8	7.3	4.6
	学生	29	31.0	10.3	31.0	27.6	10.3	34.5	17.2	55.2	3.4	13.8	0.0	0.0
	その他の職業	52	50.0	23.1	30.8	30.8	15.4	46.2	25.0	42.3	0.0	1.9	3.8	3.8
	仕事はしていない	288	44.8	18.1	24.3	27.4	20.5	42.7	32.6	33.7	0.3	4.2	4.2	2.8

5 . 障害のある人の人権について

問 22 あなたは、障害のある人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに)

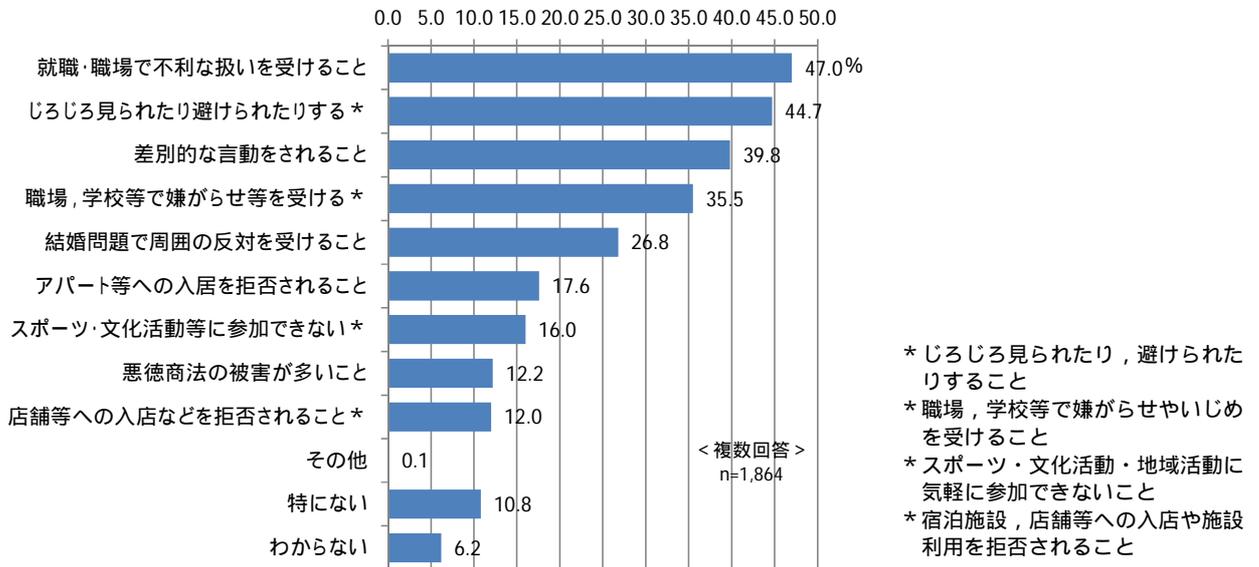
- ・「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」が 57.1%で最も多く、次いで「障害の特性が十分に理解されていないこと」が 52.6%で、これらは 5 割以上となっている。以下「差別的な言動をされること」(49.0%)、「就職や職場で不利な扱いを受けること」(48.6%)、「道路の段差やエレベータが設置されていないなど、生活する上でのバリアフリー化が十分に進んでいないこと」(44.3%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(43.1%)が 4 割以上となっている。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【障害者に関する人権問題】

・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「就職・職場で不利な扱いを受けること」が最も多く 47.0%、次いで「じろじろ見られたり避けられたりする」が 44.7%となっている。以下「差別的な言動をされること」(39.8%)、「職場,学校等で嫌がらせ等を受ける」(35.5%)、「結婚問題で周囲の反対を受けること」(26.8%)などとなっている。



性別・年齢別 障害のある人の人権に関して問題だと思うこと

- 性別では、男女とも「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」が最も多くなっている。また、女性は男性より「じろじろ見られたり、避けられたりすること」で 11.1 ポイント、「道路の段差やエレベータが設置されていないなど、生活する上でのバリアフリー化が十分に進んでいないこと」で 9.9 ポイント男性より高くなっている。
- 年齢別では、20代は「差別的な言動をされること」、30代、40代、70代で「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」、50代、60代で「障害の特性が十分に理解されていないこと」、80歳以上で「道路の段差やエレベータが設置されていないなど、生活する上でのバリアフリー化が十分に進んでいないこと」が、それぞれ最も高くなっている。また、20代で「じろじろ見られたり、避けられたりすること」、80歳以上で「振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと」の数値が全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

		問22 障害のある人の人権に関して問題だと思うこと																				
合計		学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	商法の被害が多いこと	振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳	とアパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	活躍する場や能力を発揮する機会が少ないこと	障害の特性が十分に理解されていないこと	家庭内や福祉施設で虐待があること	本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や福祉サービスの利用に当たって	道路の段差やエレベータが設置されていないなど、生活する上でのバリアフリー化が十分に進んでいないこと	社会保障制度が十分でなく、経済的な自立が困難なこと	その他	特にな	わからない	無回答
	全体	1444	57.1	22.4	48.6	49.0	12.3	24.0	21.2	18.9	43.1	35.9	52.6	23.8	15.8	44.3	35.9	1.1	1.7	6.6	1.7	
F 1 性別 (統合)	男性	641	54.4	21.5	46.8	44.6	11.7	20.0	18.6	19.3	37.1	37.8	47.9	19.2	15.4	38.8	35.3	1.4	3.0	7.3	1.1	
	女性	782	59.6	23.4	50.3	52.8	12.9	27.2	23.3	18.9	48.2	34.8	56.8	27.5	16.1	48.7	36.4	0.9	0.8	5.8	2.2	
F 2 年齢	20歳～29歳	113	61.9	23.0	46.0	62.8	8.8	22.1	18.6	23.0	56.6	22.1	52.2	27.4	17.7	37.2	24.8	2.7	2.7	4.4	0.0	
	30歳～39歳	184	62.5	27.7	44.0	58.2	13.0	21.2	23.4	21.7	45.7	29.3	56.5	27.7	15.2	40.8	30.4	1.1	1.6	2.2	1.1	
	40歳～49歳	266	56.8	18.8	46.2	49.6	11.7	24.1	23.7	16.9	49.6	33.8	53.0	23.3	15.0	42.5	30.1	0.8	1.9	9.0	0.8	
	50歳～59歳	232	55.2	24.6	49.6	50.0	11.6	26.7	23.3	18.1	40.5	40.9	56.9	24.1	16.4	41.4	41.8	1.7	0.4	7.3	1.7	
	60歳～69歳	313	52.1	20.4	51.8	43.8	9.3	21.7	16.9	18.5	39.6	41.2	56.9	20.4	16.0	47.6	35.8	0.6	2.6	6.1	1.3	
	70歳～79歳	261	61.3	23.8	51.0	46.7	14.9	27.6	22.6	19.5	41.4	39.1	44.4	25.3	16.5	47.5	45.6	0.8	0.8	8.4	2.7	
	80歳以上	63	50.8	17.5	50.8	30.2	23.8	19.0	14.3	12.7	19.0	31.7	36.5	15.9	9.5	52.4	34.9	0.0	4.8	4.8	9.5	

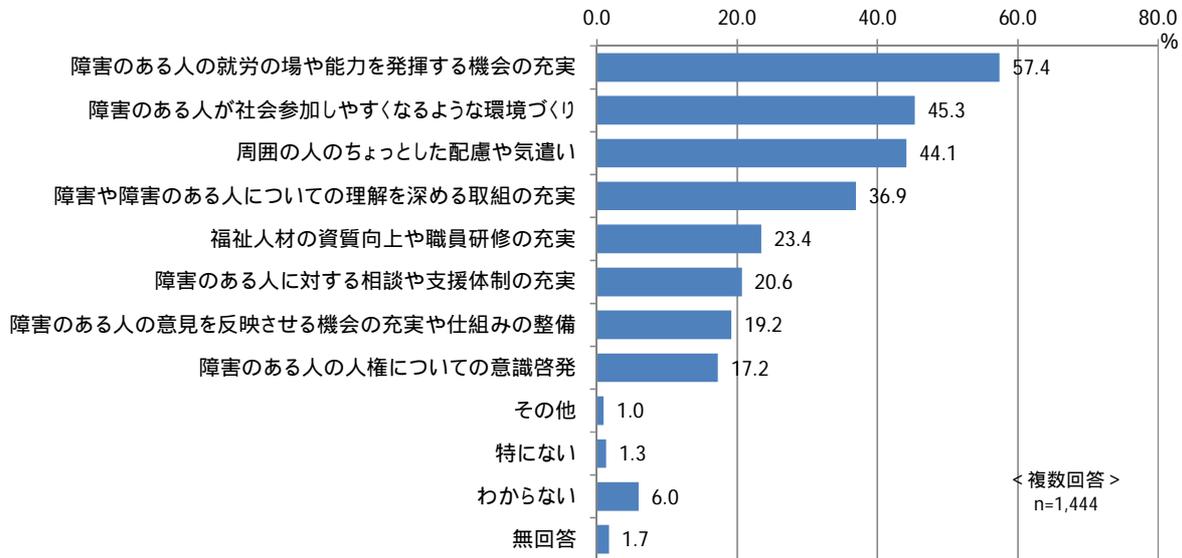
職業別 障害のある人の人権に関して問題だと思うこと

- 自営業とその他の職業で「障害の特性が十分に理解されていないこと」、それ以外の職業では「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」がそれぞれ最も多くなっている。また、その他の職業では「差別的な言動をされること」、学生では「差別的な言動をされること」、「アパートなどへの入居を拒否されること」、「宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること」、「スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと」、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」、「障害の特性が十分に理解されていないこと」、「日常生活や福祉サービスの利用に当たって、本人の意見が十分に尊重されていないこと」の各項目が、それぞれ全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

		問22 障害のある人の人権に関して問題だと思うこと																				
合計		学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	商法の被害が多いこと	振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳	とアパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	活躍する場や能力を発揮する機会が少ないこと	障害の特性が十分に理解されていないこと	家庭内や福祉施設で虐待があること	本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や福祉サービスの利用に当たって	道路の段差やエレベータが設置されていないなど、生活する上でのバリアフリー化が十分に進んでいないこと	社会保障制度が十分でなく、経済的な自立が困難なこと	その他	特にな	わからない	無回答
	全体	1444	57.1	22.4	48.6	49.0	12.3	24.0	21.2	18.9	43.1	35.9	52.6	23.8	15.8	44.3	35.9	1.1	1.7	6.6	1.7	
F 3 職業	自営業	84	50.0	11.9	40.5	32.1	16.7	23.8	19.0	19.0	32.1	35.7	51.2	23.8	15.5	40.5	38.1	0.0	2.4	13.1	2.4	
	会社員・公務員など	430	56.0	23.3	49.1	53.7	9.5	22.3	19.8	19.1	46.3	35.8	52.6	21.9	13.5	38.1	31.2	1.2	2.3	5.3	0.5	
	パート・アルバイト・契約社員など	289	63.0	23.5	49.1	51.9	13.8	26.6	24.2	22.8	47.4	39.1	59.2	27.3	20.8	49.8	36.0	1.0	1.4	4.5	1.0	
	家事専業	260	53.5	23.5	47.3	47.3	12.3	24.6	22.7	15.8	40.4	32.3	53.1	25.8	12.3	44.6	38.5	1.2	0.4	8.5	3.5	
	学生	29	75.9	31.0	48.3	65.5	10.3	37.9	34.5	37.9	69.0	34.5	69.0	31.0	31.0	31.0	34.5	6.9	0.0	0.0	3.4	
	その他の職業	52	53.8	30.8	46.2	59.6	7.7	25.0	17.3	15.4	51.9	42.3	65.4	23.1	21.2	36.5	42.3	0.0	0.0	7.7	0.0	
	仕事はしていない	288	57.3	20.1	52.1	43.1	14.6	21.9	18.8	16.7	36.5	35.4	42.4	20.5	14.9	51.0	38.9	1.0	2.4	7.6	2.8	

問23 あなたは、障害のある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(は3つまで)

- ・「障害のある人の就労の場や能力を發揮する機会の充実」が57.4%で最も多くなっている。次いで「障害のある人が社会参加しやすくなるような環境づくり」(45.3%)、「周囲の人のちょっとした配慮や気遣い」(44.1%)が4割以上、「障害や障害のある人についての理解を深める取組の充実」(36.9%)が3割以上となっている。



性別・年齢別 障害のある人の人権を守るために必要なこと

- ・性別では、男女とも「障害のある人の就労の場や能力を發揮する機会の充実」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、20代は「障害や障害のある人についての理解を深める取組の充実」、80歳以上は「障害のある人が社会参加しやすくなるような環境づくり」、それ以外の世代では「障害のある人の就労の場や能力を發揮する機会の充実」が、それぞれ最も高くなっている。

	合計	問23 障害のある人の人権を守るために必要だと思うこと											
		能力を發揮する人の就労の充実や	障害の意識ある人の人権について	理解や害を深める取組の充実	福祉人材の資質向上や職員研修の充実	の整備する機会の人や見込み	りや害のある人が社会参加しやすくなるような環境づくり	や支援体制のある人に対する相談	慮や周囲の人のちょっとした配慮	その他	特にない	わからない	無回答
全体	1444	57.4	17.2	36.9	23.4	19.2	45.3	20.6	44.1	1.0	1.3	6.0	1.7
F 1 性別 (統合)													
男性	641	59.1	18.6	36.0	24.0	19.8	44.9	20.0	40.9	0.9	2.2	6.1	0.9
女性	782	55.9	15.9	37.5	22.4	18.5	45.7	21.2	47.1	1.0	0.6	5.6	2.3
F 2 年齢													
20歳～29歳	113	44.2	15.9	53.1	23.0	16.8	46.0	18.6	40.7	1.8	1.8	4.4	0.0
30歳～39歳	184	51.6	17.4	40.2	25.5	20.1	40.2	17.4	45.1	2.2	1.6	2.7	1.6
40歳～49歳	266	54.1	15.4	35.7	21.1	18.8	42.1	16.2	46.2	0.4	1.1	8.3	0.4
50歳～59歳	232	62.5	18.5	34.5	21.6	20.3	43.1	23.7	48.3	1.7	0.4	5.2	1.7
60歳～69歳	313	61.3	17.9	35.1	24.6	21.1	49.5	23.6	40.6	1.0	1.6	5.1	1.6
70歳～79歳	261	64.4	17.6	35.2	25.7	16.9	47.9	21.8	44.8	0.0	1.1	6.5	2.3
80歳以上	63	42.9	15.9	27.0	17.5	15.9	44.4	19.0	34.9	0.0	3.2	12.7	9.5

職業別 障害のある人の人権を守るために必要なこと

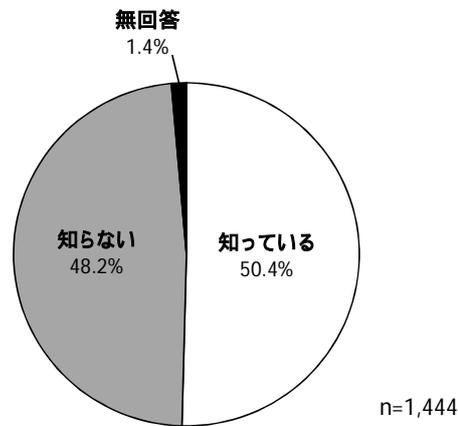
- ・学生は「障害や障害のある人についての理解を深める取組の充実」、それ以外の職業では「障害のある人の就労の場や能力を發揮する機会の充実」が最も多くなっている。また、その他の職業では「障害のある人の人権についての意識啓発」の数値が全体値に比べて 10 ポイント以上高い値となっている。

		合計	問23 障害のある人の人権を守るために必要だと思うこと												
			能 障 害 を の 発 揮 す る 機 会 の 充 実 や	て 障 害 の 意 識 啓 発	実 理 解 を 深 め る 取 組 の 充 実	障 害 や 障 害 の 有 る 人 の 取 組 の 充 実	研 修 材 の 充 実	福 祉 材 の 充 実	の 整 備	さ 整 備 の 充 実	り 障 害 の 有 る 人 の 意 見 を 反 映	や 障 害 の 有 る 人 が 社 会 参 加 し	障 害 の 有 る 人 に 対 す る 相 談	慮 周 圍 の 人 の ち よ つ と し た 配	そ の 他
F 3 職業	全体	1444	57.4	17.2	36.9	23.4	19.2	45.3	20.6	44.1	1.0	1.3	6.0	1.7	
	自営業	84	56.0	16.7	34.5	23.8	21.4	28.6	23.8	40.5	1.2	2.4	7.1	1.2	
	会社員・公務員など	430	58.8	18.8	37.4	24.4	18.4	45.6	15.8	48.4	1.6	1.6	3.7	0.7	
	パート・アルバイト・契約社員など	289	58.5	14.5	38.1	20.1	22.5	48.8	23.5	46.4	0.7	0.7	4.2	1.4	
	家事専業	260	54.6	14.6	36.5	25.0	15.4	44.2	21.9	41.9	0.8	0.4	8.8	3.1	
	学生	29	48.3	10.3	62.1	24.1	27.6	44.8	24.1	34.5	0.0	0.0	3.4	0.0	
	その他の職業	52	63.5	30.8	42.3	15.4	17.3	48.1	17.3	38.5	1.9	0.0	7.7	1.9	
仕事はしていない	288	56.9	18.1	31.9	24.7	18.8	46.5	22.9	41.0	0.3	2.4	8.0	2.8		

6 . 同和問題（部落差別）について

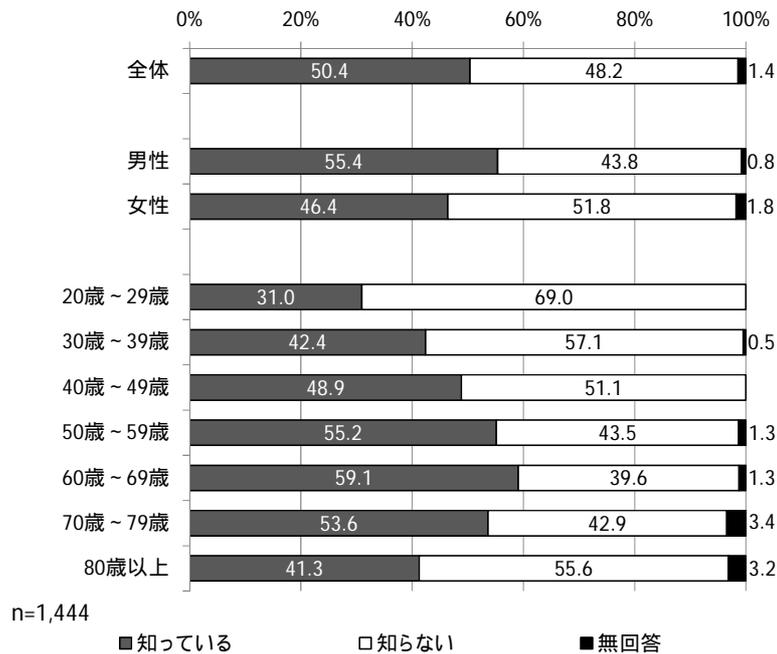
問 24 あなたは、同和問題を知っていますか。（ は1つ）

- ・「知っている」が50.4%、「知らない」が48.2%でほぼ同率となっている。



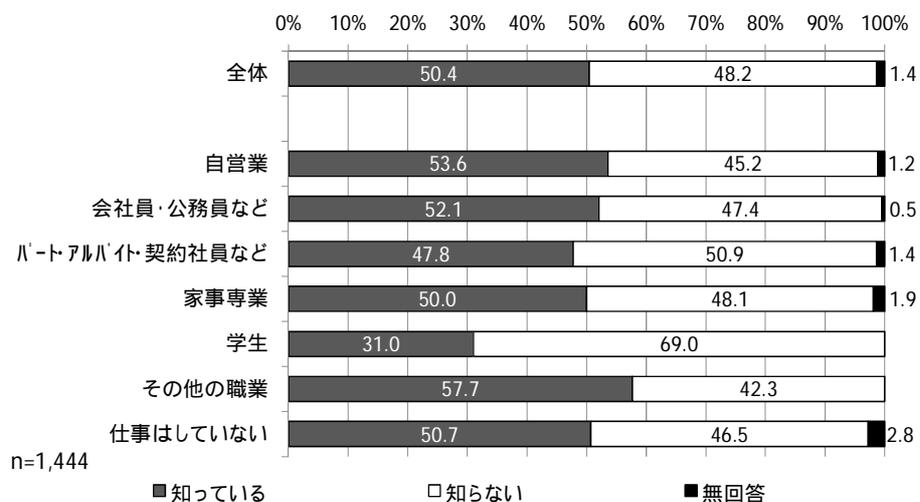
性別・年齢別 同和問題の認知度

- ・性別では、男性は「知っている」、女性は「知らない」の方が多くなっている。
- ・年齢別では、50代から70代までの世代では「知っている」、40代以下の世代と80歳以上では「知らない」の方が多くなっている。



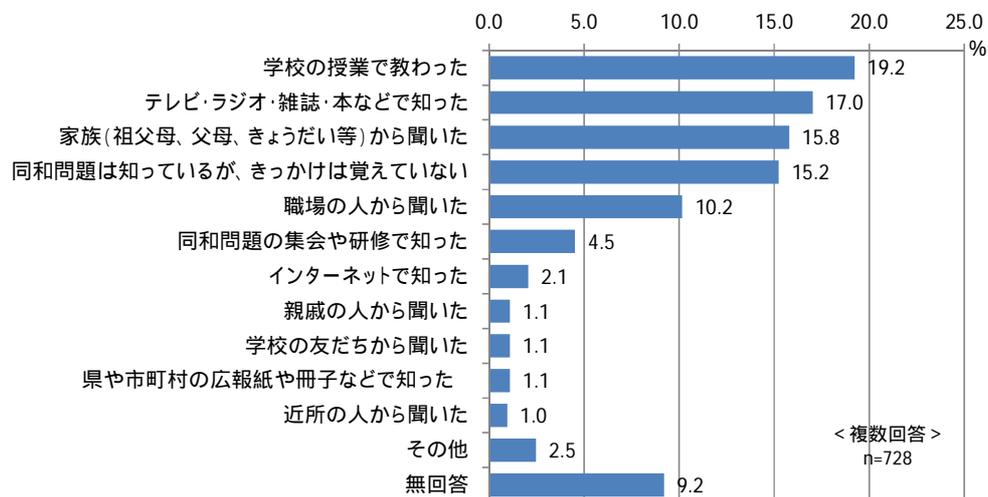
職業別 同和問題の認知度

- ・パート・アルバイト・契約社員など、学生では「知らない」、それ以外の職業では「知っている」の方が多くなっている。



問 25 あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。（問 24 で「知っている」とお答えの方、 は1つ）

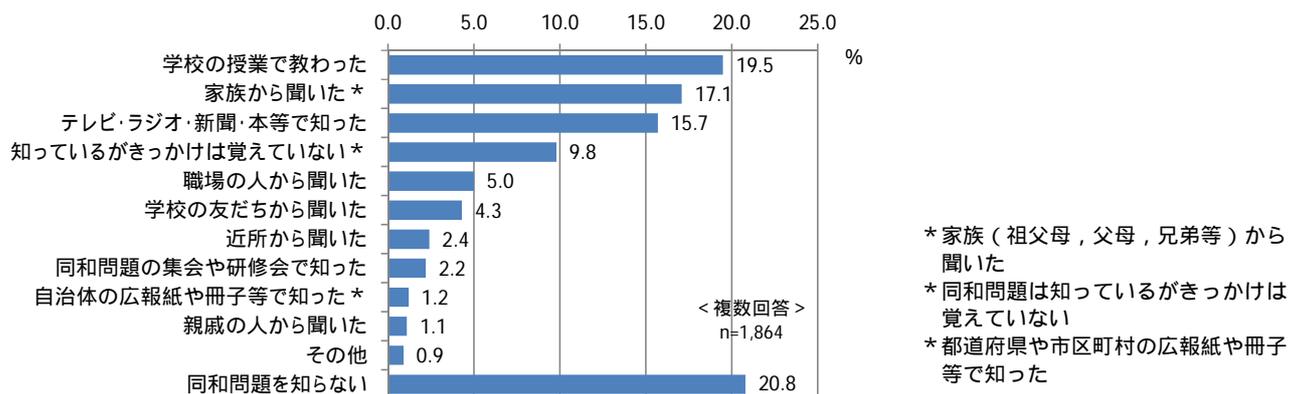
- ・「学校の授業で教わった」（19.2%）が最も多い。次いで「テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った」（17.0%）、「家族（祖父母、父母、きょうだい等）から聞いた」（15.8%）、「同和問題は知っているが、きっかけは覚えていない」（15.2%）、「職場の人から聞いた」（10.2%）などとなっている。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【同和問題を知ったきっかけ】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「同和問題を知らない」が 20.8%で最も多い。同和問題を初めて知ったきっかけとして最も多いのは「学校の授業で教わった」の 19.5%、以下「家族から聞いた」(17.1%)、「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」(15.7%)などとなっている。



性別・年齢別 同和問題について初めて知ったきっかけ

- ・性別では、男女とも「学校の授業で教わった」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、50代以下の世代では「学校の授業で教わった」、60代では「テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った」、70代では「家族（祖父母、父母、きょうだい等）から聞いた」、80歳以上では「同和問題は知っているが、きっかけは覚えていない」の方が多くなっている。

		合計	問25 同和問題について初めて知ったきっかけ												
			う家族(祖父母、きょうだい等)から聞いた	親戚の人から聞いた	近所の人から聞いた	職場の人から聞いた	学校の友だちから聞いた	学校の授業で教わった	テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った	同和問題の集いや研修で知った	県や市町村の広報紙や冊子などで知った	インターネットで知った	同和問題は知っているが、きっかけは覚えていない	その他	無回答
全体		728	15.8	1.1	1.0	10.2	1.1	19.2	17.0	4.5	1.1	2.1	15.2	2.5	9.2
F 1 性別(総合)	男性	355	12.4	0.3	0.6	14.1	1.4	17.5	16.3	5.4	1.7	2.3	15.8	2.5	9.9
	女性	363	18.2	1.9	1.1	6.1	0.8	21.5	17.9	3.6	0.6	1.9	15.2	2.5	8.8
F 2 年齢	20歳～29歳	35	5.7	0.0	0.0	2.9	0.0	60.0	8.6	2.9	0.0	8.6	5.7	0.0	5.7
	30歳～39歳	78	15.4	1.3	0.0	7.7	1.3	34.6	15.4	1.3	0.0	9.0	5.1	1.3	7.7
	40歳～49歳	130	14.6	0.8	0.8	10.8	0.0	29.2	13.8	3.1	0.8	1.5	11.5	0.8	12.3
	50歳～59歳	128	12.5	0.0	0.0	8.6	1.6	22.7	18.0	4.7	0.8	0.8	15.6	2.3	12.5
	60歳～69歳	185	16.8	1.1	0.5	10.3	1.1	8.6	22.2	5.4	1.6	0.5	20.5	4.3	7.0
	70歳～79歳	140	20.0	2.1	2.9	14.3	2.1	5.7	15.0	6.4	2.1	0.7	16.4	3.6	8.6
	80歳以上	26	23.1	3.8	0.0	7.7	0.0	3.8	23.1	0.0	0.0	0.0	30.8	0.0	7.7

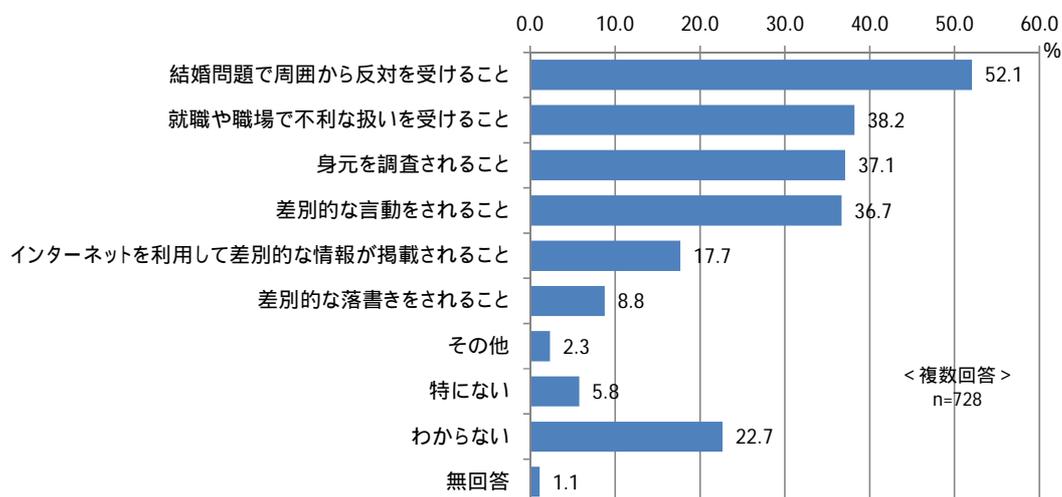
職業別 同和問題について初めて知ったきっかけ

- ・自営業、パート・アルバイト・契約社員などでは「テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った」、会社員・公務員など、学生、その他の職業では「学校の授業で教わった」、家事専業では「家族（祖父母、父母、きょうだい等）から聞いた」、仕事をしていない人では「同和問題は知っているが、きっかけは覚えていない」が最も多くなっている。

		合計	問25 同和問題について初めて知ったきっかけ												
			う家族(祖父母、きょうだい等)から聞いた	親戚の人から聞いた	近所の人から聞いた	職場の人から聞いた	学校の友だちから聞いた	学校の授業で教わった	テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った	同和問題の集いや研修で知った	県や市町村の広報紙や冊子などで知った	インターネットで知った	同和問題は知っているが、きっかけは覚えていない	その他	無回答
全体		728	15.8	1.1	1.0	10.2	1.1	19.2	17.0	4.5	1.1	2.1	15.2	2.5	9.2
F 3 職業	自営業	45	15.6	0.0	0.0	6.7	0.0	20.0	22.2	4.4	4.4	0.0	15.6	4.4	6.7
	会社員・公務員など	224	12.1	0.9	0.4	11.6	0.9	28.6	13.8	4.5	0.4	2.7	11.6	1.3	11.2
	パート・アルバイト・契約社員など	138	13.8	1.4	0.0	9.4	0.7	17.4	22.5	5.8	0.7	4.3	13.8	2.9	7.2
	家事専業	130	23.8	1.5	1.5	3.8	1.5	16.2	18.5	3.1	0.0	1.5	16.9	2.3	9.2
	学生	9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2
	その他の職業	30	20.0	0.0	0.0	6.7	0.0	26.7	10.0	0.0	3.3	0.0	20.0	6.7	6.7
	仕事はしていない	146	15.8	1.4	2.1	15.8	2.1	6.2	16.4	5.5	2.1	0.0	21.2	2.7	8.9

問 26 あなたは、同和問題について、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(問 24 で「知っている」とお答えの方、あてはまるものすべてに)

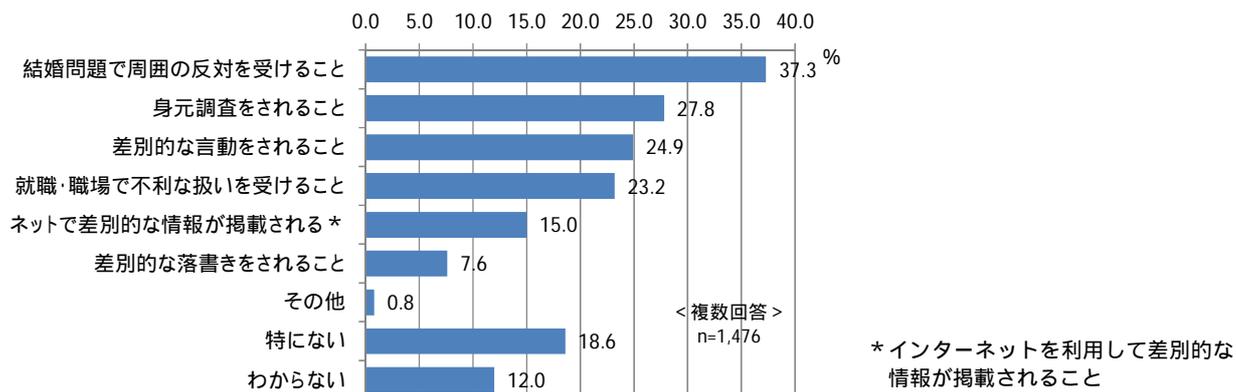
- ・「結婚問題で周囲から反対を受けること」が最も多く 52.1% で、半数を超えている。次いで「就職や職場で不利な扱いを受けること」(38.2%)、「身元を調査されること」(37.1%)、「差別的な言動をされること」(36.7%) などとなっている。なお、「わからない」も 22.7% と、2 割を超えている。



< 参考 > 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【同和問題に関する人権問題】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「結婚問題で周囲の反対を受けること」が最も多く 37.3% となっている。次いで「身元調査をされること」が 27.8% である。以下「差別的な言動をされること」(24.9%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(23.2%) などとなっている。



性別・年齢別 同和問題について、現在起きていると思う人権問題

- ・性別では、男女とも「結婚問題で周囲から反対を受けること」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、80歳以上では「身元を調査されること」、70代以下の世代では「結婚問題で周囲から反対を受けること」が最も多くなっている。また、20代では「インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること」、30代では「差別的な言動をされること」、80歳以上では「わからない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問26 同和問題について、現在、起きていると思う人権問題									
			受ける問題と	就職や職場で不利な扱いを	差別的な言動をされること	と差別的な落書きをされること	身元を調査されること	差別的な情報が掲載されること	インターネットを利用して	その他	特にな	わからない
	全体	728	52.1	38.2	36.7	8.8	37.1	17.7	2.3	5.8	22.7	1.1
F 1 性別 (総合)	男性	355	49.3	34.1	34.1	9.0	34.9	17.2	3.1	8.5	22.0	1.1
	女性	363	55.4	43.0	39.7	8.8	39.9	18.7	1.7	2.5	23.1	0.8
F 2 年齢	20歳～29歳	35	60.0	42.9	45.7	14.3	31.4	37.1	2.9	5.7	11.4	0.0
	30歳～39歳	78	53.8	42.3	47.4	12.8	35.9	20.5	3.8	7.7	19.2	0.0
	40歳～49歳	130	48.5	39.2	39.2	11.5	38.5	20.8	1.5	5.4	23.8	0.0
	50歳～59歳	128	60.2	43.0	37.5	7.0	35.9	15.6	1.6	2.3	22.7	0.8
	60歳～69歳	185	48.6	33.0	33.0	7.0	34.6	18.9	3.8	5.4	25.4	1.6
	70歳～79歳	140	54.3	40.0	33.6	8.6	43.6	11.4	1.4	7.9	20.0	2.1
	80歳以上	26	34.6	23.1	26.9	0.0	38.5	7.7	0.0	3.8	34.6	3.8

職業別 同和問題について、現在起きていると思う人権問題

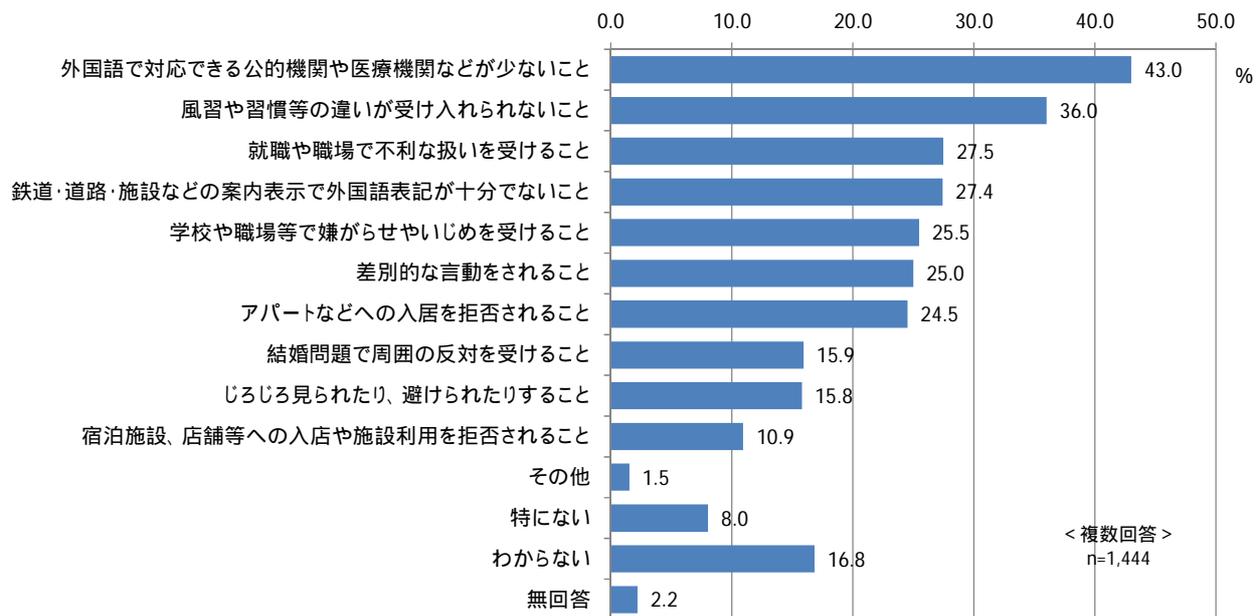
- ・いずれの職業でも「結婚問題で周囲から反対を受けること」が最も多くなっている。なおサンプル数が少ないが、学生では「差別的な言動をされること」、「身元を調査されること」、「インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること」も同率となっている。

		合計	問26 同和問題について、現在、起きていると思う人権問題									
			受ける問題と	就職や職場で不利な扱いを	差別的な言動をされること	と差別的な落書きをされること	身元を調査されること	差別的な情報が掲載されること	インターネットを利用して	その他	特にな	わからない
	全体	728	52.1	38.2	36.7	8.8	37.1	17.7	2.3	5.8	22.7	1.1
F 3 職業	自営業	45	44.4	28.9	35.6	4.4	31.1	13.3	2.2	13.3	17.8	2.2
	会社員・公務員など	224	52.7	39.7	39.3	10.7	36.2	19.2	2.7	7.6	20.5	0.4
	パート・アルバイト・契約社員など	138	58.0	45.7	37.7	10.1	38.4	20.3	2.2	3.6	23.9	0.7
	家事専業	130	54.6	41.5	36.9	6.2	40.0	16.9	1.5	0.8	23.1	2.3
	学生	9	55.6	44.4	55.6	22.2	55.6	55.6	0.0	0.0	11.1	0.0
	その他の職業	30	50.0	30.0	46.7	10.0	30.0	10.0	6.7	6.7	20.0	0.0
	仕事はしていない	146	47.3	30.1	30.1	7.5	37.7	15.1	2.1	6.2	27.4	1.4

7. 外国人の人権について

問 27 あなたは、外国人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

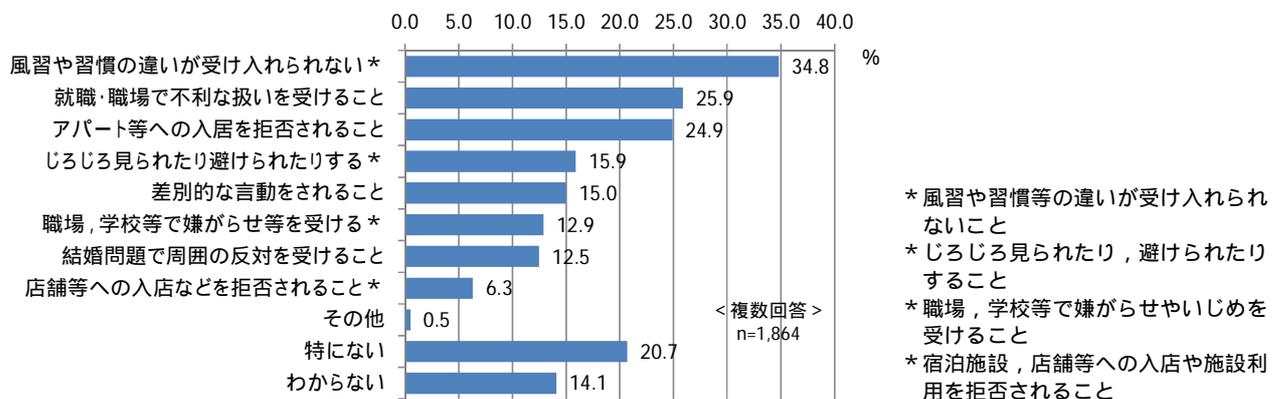
- ・「外国語で対応できる公的機関や医療機関などが少ないこと」が43.0%で最も多く、4割以上となっている。次いで「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」が36.0%である。以下「就職や職場で不利な扱いを受けること」(27.5%)、「鉄道・道路・施設などの案内表示で外国語表記が十分でないこと」(27.4%)、「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」(25.5%)、「差別的な言動をされること」(25.0%)、「アパートなどへの入居を拒否されること」(24.5%)などとなっている。「わからない」は16.8%である。



< 参考 > 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【外国人に関する人権問題】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「風習や習慣の違いが受け入れられない」が 34.8%で最も多い。次いで「就職・職場で不利な扱いを受けること」(25.9%)、「アパート等への入居を拒否されること」(24.9%)、「特になし」(20.7%)などとなっている。



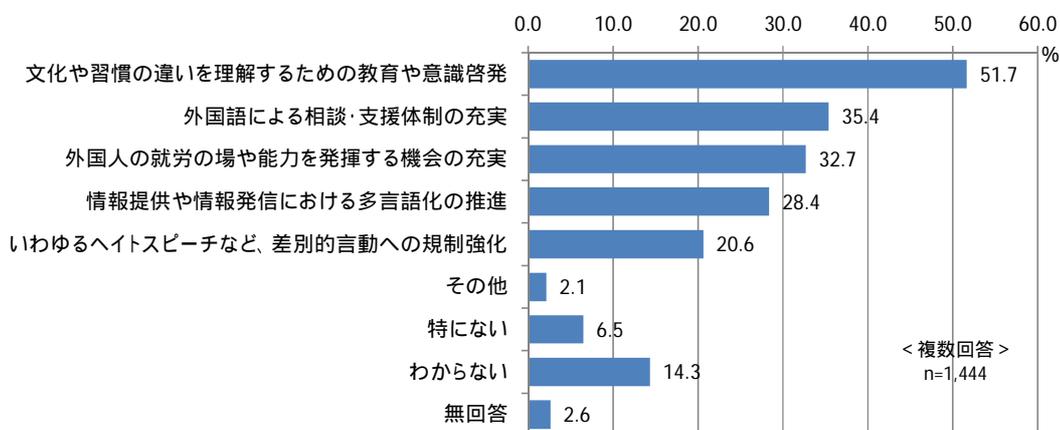
性別・年齢別 外国人の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「外国語で対応できる公的機関や医療機関などが少ないこと」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「外国語で対応できる公的機関や医療機関などが少ないこと」が最も多くなっているほか、80歳以上では「わからない」も同率となっている。

		問27 外国人の人権に関して問題だと思うこと																						
		合計	い	け	結	受	就	差	否	ア	と	宿	入	風	ら	じ	こ	外	内	鉄	そ	特	わ	無
			学校	ける	婚	ける	職	別的	さ	パ	や	泊	れ	習	ら	ろ	こ	国	で	道	他	に	か	回
			じめ	るこ	問	るこ	場	な	さ	ー	施	施	れ	や	た	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			めを	るこ	題	場	で	言	さ	ト	設	設	れ	や	た	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			受	るこ	で	で	不	動	さ	な	利	等	の	の	ら	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			け	るこ	周	利	利	を	さ	な	な	へ	の	違	た	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			が	ら	囲	な	な	さ	さ	な	な	の	入	い	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ	や	の	扱	を	さ	さ	な	入	居	を	が	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		反	い	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		対	を	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		を	受	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			や		受	る	る	る	ら	な	を	拒	を	受	り	ろ	こ	語	内	道		に	か	回
			せ		受																			

問 28 あなたは、外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3 つまで)

- ・「文化や習慣の違いを理解するための教育や意識啓発」(51.7%)が最も多い。次いで「外国語による相談・支援体制の充実」(35.4%)、「外国人の就労の場や能力を發揮する機会の充実」(32.7%)が3割以上となっている。



性別・年齢別 外国人の人権を守るために必要なこと

- ・性別では、男女とも「文化や習慣の違いを理解するための教育や意識啓発」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「文化や習慣の違いを理解するための教育や意識啓発」が最も多くなっているほか、80歳以上では「わからない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問28 外国人の人権を守るために必要だと思うこと								
			外国人の就労の場や能力を發揮する機会の充実	文化や習慣の違いを理解するための教育や意識啓発	情報提供や情報発信における多言語化の推進	外国語による相談・支援体制の充実	いわゆるヘイトスピーチなど、差別的言動への規制強化	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1444	32.7	51.7	28.4	35.4	20.6	2.1	6.5	14.3	2.6
F 1 性別 (統合)	男性	641	33.1	52.1	27.5	32.1	22.0	2.3	8.9	13.7	2.0
	女性	782	32.9	51.8	29.4	38.5	19.7	2.0	4.5	14.7	2.8
F 2 年齢	20歳～29歳	113	28.3	51.3	37.2	32.7	21.2	4.4	7.1	6.2	0.9
	30歳～39歳	184	28.8	51.1	29.9	33.7	22.3	4.9	7.1	9.8	1.1
	40歳～49歳	266	30.5	50.4	22.9	32.0	20.3	3.4	11.7	13.9	0.4
	50歳～59歳	232	28.9	50.4	31.9	39.7	22.4	2.2	4.3	14.2	1.7
	60歳～69歳	313	38.3	57.2	26.5	38.3	18.5	0.0	5.4	14.7	1.6
	70歳～79歳	261	37.9	51.7	29.9	35.6	24.1	1.1	4.2	16.9	6.9
	80歳以上	63	28.6	44.4	23.8	30.2	9.5	0.0	3.2	28.6	7.9

職業別 外国人の人権を守るために必要なこと

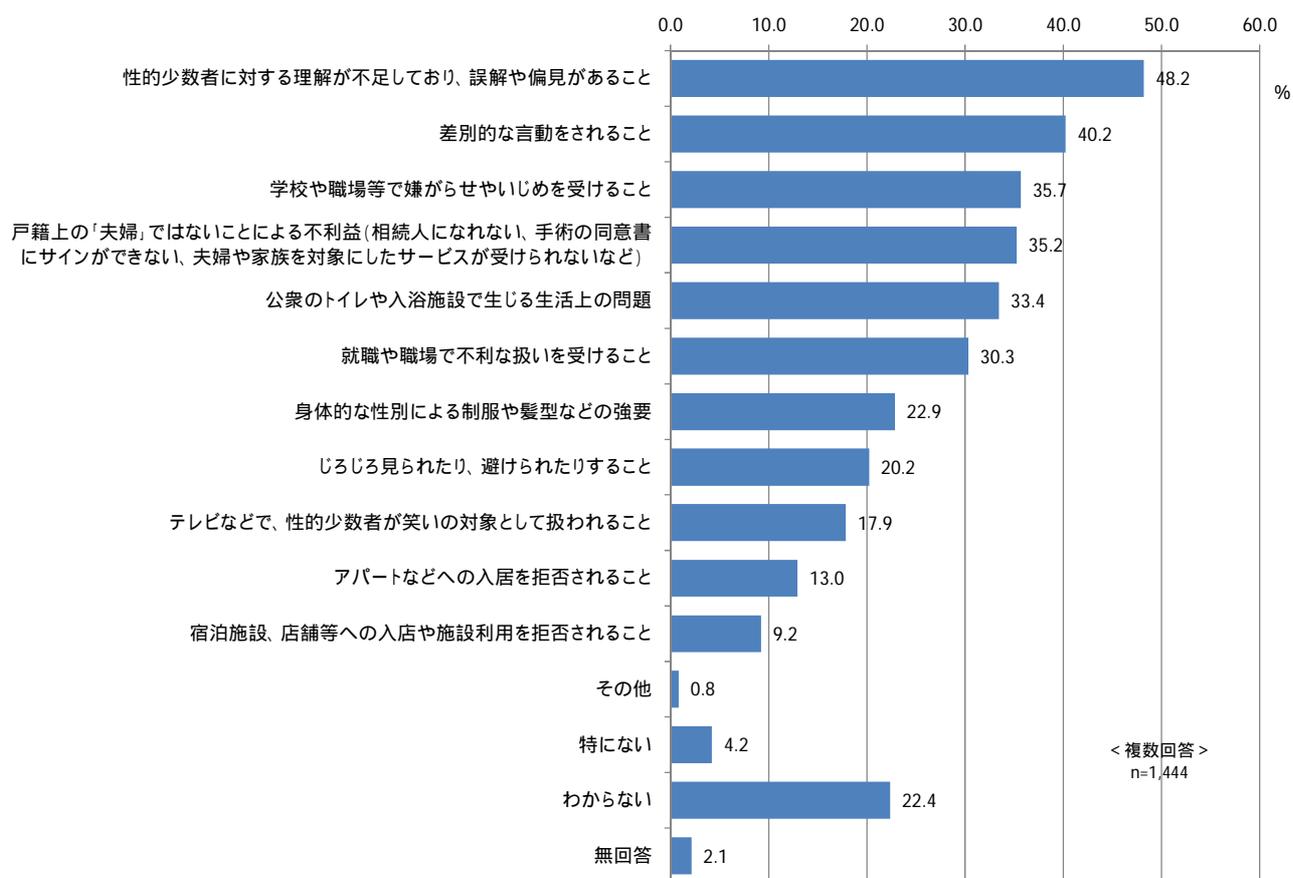
- ・いずれの職業でも「文化や習慣の違いを理解するための教育や意識啓発」が最も多くなっている。また、学生では「情報提供や情報発信における多言語化の推進」、「いわゆるヘイトスピーチなど、差別的言動への規制強化」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問28 外国人の人権を守るために必要だと思うこと								
			外国人の就労の機会や能力を	文化や習慣の違いを理解する	情報提供や情報発信における	外国語による相談・支援体制の充実	化、差別的言動への規制強化	その他	特になし	わからない	無回答
全体		1444	32.7	51.7	28.4	35.4	20.6	2.1	6.5	14.3	2.6
F 3 職業	自営業	84	32.1	39.3	20.2	21.4	20.2	4.8	13.1	22.6	2.4
	会社員・公務員など	430	30.7	53.0	28.4	32.6	20.0	2.3	10.2	9.8	1.2
	パート・アルバイト・契約社員など	289	32.5	50.2	31.5	40.5	20.8	2.1	6.2	13.1	1.7
	家事専業	260	32.7	52.7	25.4	38.8	18.5	1.9	1.2	18.1	3.8
	学生	29	37.9	58.6	44.8	31.0	37.9	10.3	0.0	3.4	0.0
	その他の職業	52	26.9	50.0	30.8	40.4	19.2	3.8	1.9	17.3	3.8
	仕事はしていない	288	36.8	54.2	29.2	35.1	22.9	0.3	5.2	16.7	4.5

8 . 性的少数者の人権について

問 29 あなたは、いわゆるLGBTなどの性的少数者の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに)

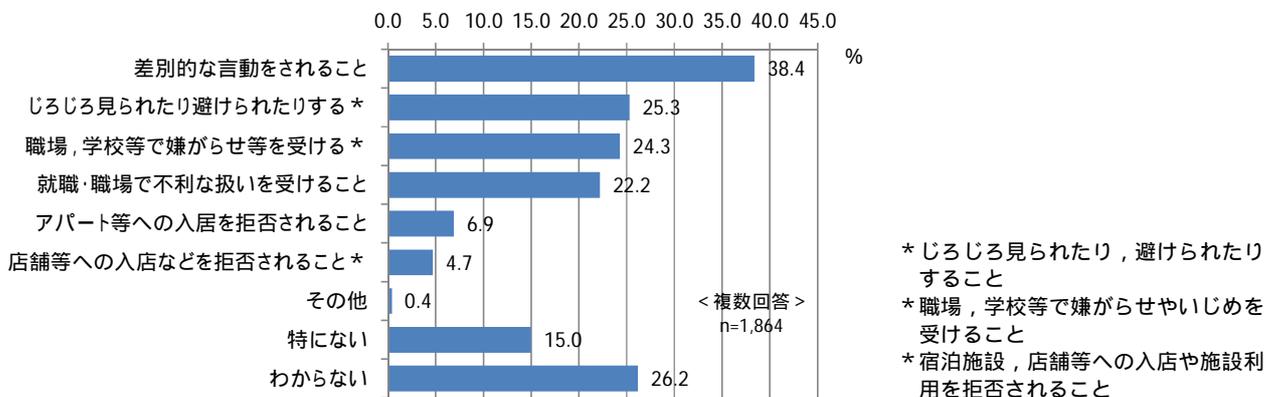
- ・「性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」が48.2%で最も多い。次いで「差別的な言動をされること」が40.2%である。以下「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」(35.7%)、「戸籍上の『夫婦』ではないことによる不利益(相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦や家族を対象にしたサービスが受けられないなど)」(35.2%)、「公衆のトイレや入浴施設で生じる生活上の問題」(33.4%)、「就職や職場で不利な扱いを受けること」(30.3%)などとなっている。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【性的指向に関する人権問題】

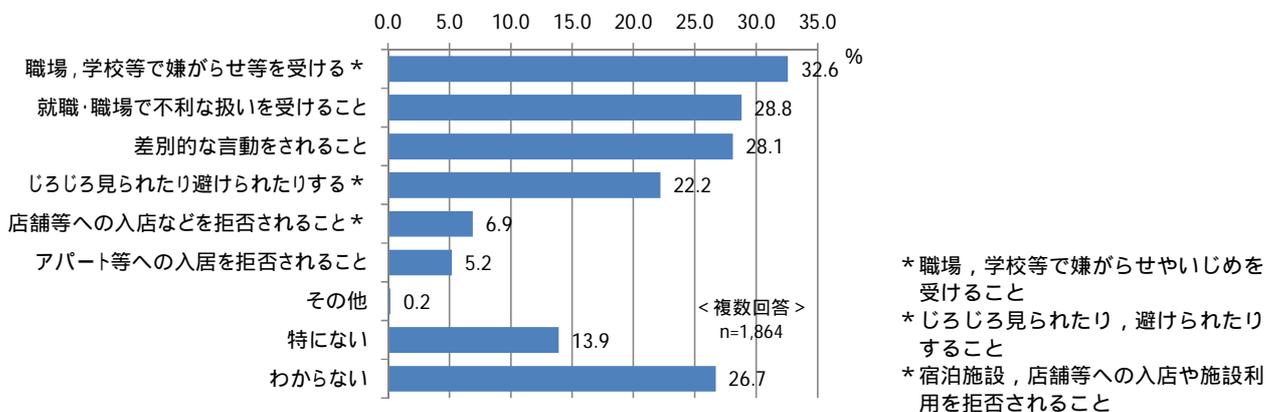
・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「差別的な言動をされること」が最も多く 38.4%で、これに「わからない」が 26.2%で続く。以下「じろじろ見られたり避けられたりする」(25.3%)、「職場, 学校等で嫌がらせ等を受ける」(24.3%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(22.2%) などとなっている。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【性同一性障害者に関する人権問題】

・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「職場, 学校等で嫌がらせ等を受ける」が 32.6%、以下「就職・職場で不利な扱いを受けること」(28.8%)、「差別的な言動をされること」(28.1%) などとなっている。「わからない」は 26.7%である。



性別・年齢別 L G B Tなどの性的少数者の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」が最も多くなっている。また女性は男性より「戸籍上の『夫婦』ではないことによる不利益（相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦や家族を対象にしたサービスが受けられないなど）」が 10.7 ポイント、「公衆のトイレや入浴施設で生じる生活上の問題」が 10.6 ポイント、「身体的な性別による制服や髪型などの強要」が 10.4 ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、80 歳以上では「わからない」、70 代以下の世代では「性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」が最も多くなっている。また、20 代では「戸籍上の『夫婦』ではないことによる不利益（相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦や家族を対象にしたサービスが受けられないなど）」、「テレビなどで、性的少数者が笑いの対象として扱われること」、30 代では「戸籍上の『夫婦』ではないことによる不利益（相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦や家族を対象にしたサービスが受けられないなど）」、「公衆のトイレや入浴施設で生じる生活上の問題」、「身体的な性別による制服や髪型などの強要」が、それぞれ全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

		合計	問29 L G B Tなどの性的少数者の人権に関して問題だと思うこと														
			と学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること	や家族を対象にしたサービスが受けられないなど)	戸籍上の「夫婦」ではないことによる不利益(相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦)	公衆のトイレや入浴施設で生じる生活上の問題	身体的な性別による制服や髪型などの強要	テレビなどで、性的少数者が笑いの対象として扱われること	その他	特にな	わからない
全体		1444	35.7	30.3	40.2	13.0	9.2	20.2	48.2	35.2	33.4	22.9	17.9	0.8	4.2	22.4	2.1
F 1 性別 (統合)	男性	641	32.1	27.1	37.6	11.4	8.7	19.0	44.1	29.6	27.8	17.3	15.9	1.2	5.9	24.2	1.9
	女性	782	38.6	33.0	42.8	14.3	9.5	21.2	52.3	40.3	38.4	27.7	19.4	0.5	2.7	20.8	2.0
F 2 年齢	20歳～29歳	113	45.1	28.3	45.1	10.6	8.8	21.2	64.6	48.7	37.2	32.7	33.6	0.0	2.7	13.3	0.9
	30歳～39歳	184	44.6	27.7	47.3	11.4	10.3	25.5	58.7	49.5	44.6	37.0	21.2	0.0	4.9	10.9	1.1
	40歳～49歳	266	36.1	28.9	42.1	14.7	9.0	21.1	47.7	38.7	34.2	29.3	17.3	0.0	4.5	21.1	0.0
	50歳～59歳	232	35.3	30.2	45.3	13.4	10.3	19.8	47.8	34.5	36.6	24.6	20.3	1.7	2.2	22.8	0.4
	60歳～69歳	313	35.8	36.1	40.6	13.4	9.3	18.8	50.2	31.3	31.9	15.7	14.1	1.0	3.8	23.6	1.3
	70歳～79歳	261	29.9	27.2	32.2	13.0	9.2	19.2	39.8	25.3	25.7	12.6	13.0	1.9	5.7	30.3	4.6
	80歳以上	63	19.0	33.3	22.2	12.7	1.6	14.3	22.2	23.8	23.8	12.7	14.3	0.0	4.8	36.5	12.7

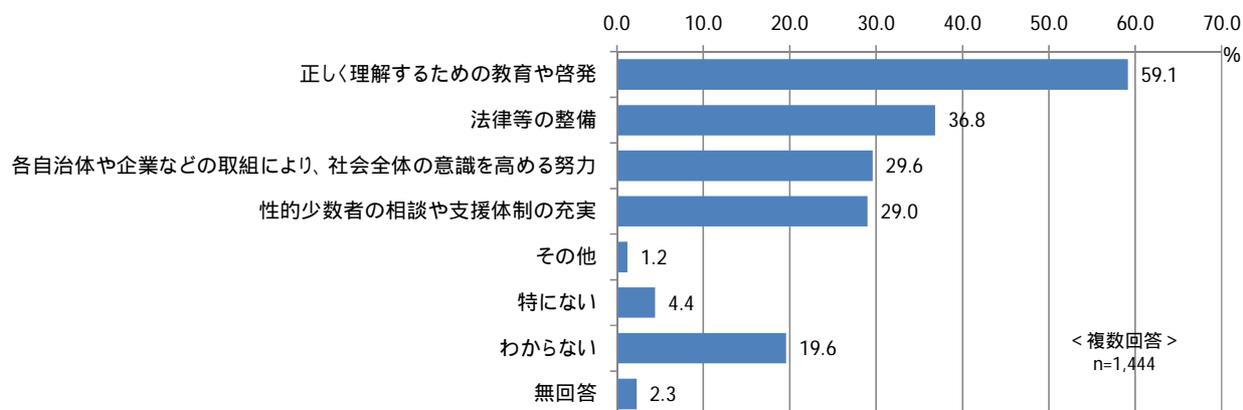
職業別 L G B Tなどの性的少数者の人権に関して問題だと思うこと

- ・その他の職業では「差別的な言動をされること」、それ以外の職業では「性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」が最も多くなっている。また、学生では「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」、「差別的な言動をされること」、「戸籍上の『夫婦』ではないことによる不利益（相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦や家族を対象にしたサービスが受けられないなど）」、「身体的な性別による制服や髪型などの強要」、「テレビなどで、性的少数者が笑いの対象として扱われること」の各項目についても、全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

		問29 L G B Tなどの性的少数者の人権に関して問題だと思うこと															
		合計	と学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アルバイトなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること	戸籍上の「夫婦」ではないことによる不利益（相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦や家族を対象にしたサービスが受けられないなど）	公衆のトイレや入浴施設で生じる生活上の問題	身体的な性別による制服や髪型などの強要	テレビなどで、性的少数者が笑いの対象として扱われること	その他	特にない	わからない	無回答
	全体	1444	35.7	30.3	40.2	13.0	9.2	20.2	48.2	35.2	33.4	22.9	17.9	0.8	4.2	22.4	2.1
F 3	職業																
	自営業	84	32.1	23.8	36.9	14.3	6.0	16.7	39.3	26.2	26.2	19.0	15.5	2.4	6.0	25.0	1.2
	会社員・公務員など	430	32.8	28.4	40.2	10.9	9.5	20.5	50.9	37.0	34.9	24.7	17.0	0.5	5.3	19.1	0.7
	パート・アルバイト・契約社員など	289	42.2	33.2	46.0	14.9	8.7	23.5	53.6	42.6	38.1	30.8	21.5	0.3	2.8	18.0	1.4
	家事専業	260	35.8	30.0	39.6	11.9	7.7	17.3	47.3	33.1	35.4	20.4	13.5	1.5	2.7	25.4	2.7
	学生	29	69.0	34.5	51.7	17.2	13.8	20.7	75.9	65.5	34.5	51.7	48.3	0.0	0.0	3.4	0.0
	その他の職業	52	30.8	32.7	51.9	13.5	9.6	25.0	48.1	32.7	30.8	21.2	23.1	0.0	7.7	17.3	3.8
仕事はしていない	288	32.6	32.3	33.7	14.6	10.8	19.8	39.9	27.8	28.1	13.5	16.7	1.0	4.5	30.9	4.2	

問30 あなたは、性的少数者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(は3つまで)

- ・「正しく理解するための教育や啓発」が最も多く59.1%で、6割近くに達している。次いで「法律等の整備」が36.8%である。



性別・年齢別 性的少数者の人権を守るために必要なこと

- ・性別では、男女とも「正しく理解するための教育や啓発」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「正しく理解するための教育や啓発」が最も多くなっている。また、30代では「法律等の整備」、80歳以上では「わからない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問30 性的少数者の人権を守るために必要だと思うこと							
			や啓発 正しく 理解 する ため の 教 育	性的 少 数 者 の 相 談 や 支 援 体 制 の 充 実	法 律 等 の 整 備	高 め る 努 力 各 自 治 体 や 社 会 全 体 の 意 識 取 組	其 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1444	59.1	29.0	36.8	29.6	1.2	4.4	19.6	2.3
F 1 性別 (統合)	男性	641	54.8	28.7	35.6	27.5	1.2	6.7	20.7	2.2
	女性	782	62.8	29.4	37.9	31.5	1.3	2.6	18.8	2.0
F 2 年齢	20歳～29歳	113	58.4	28.3	45.1	25.7	3.5	3.5	13.3	0.9
	30歳～39歳	184	69.6	32.1	47.3	28.8	3.3	3.3	8.7	1.1
	40歳～49歳	266	63.9	24.4	39.5	27.1	0.4	6.0	16.9	0.0
	50歳～59歳	232	59.9	28.4	38.4	29.3	0.4	3.0	20.3	1.3
	60歳～69歳	313	61.0	30.7	33.5	34.2	0.3	3.8	20.1	1.6
	70歳～79歳	261	49.0	31.4	30.3	31.4	1.9	5.7	27.2	5.0
	80歳以上	63	42.9	28.6	25.4	19.0	0.0	3.2	38.1	9.5

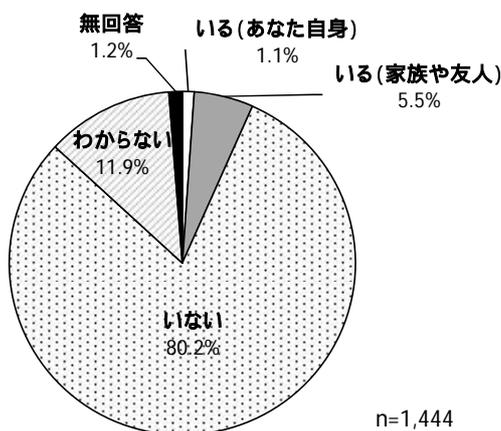
職業別 性的少数者の人権を守るために必要なこと

- ・いずれの職業でも「正しく理解するための教育や啓発」が最も多くなっている。また、学生では「法律等の整備」、その他の職業では「各自治体や企業などの取組により、社会全体の意識を高める努力」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問30 性的少数者の人権を守るために必要だと思うこと							
			や正しく啓発し理解するための教育	性的少数者の相談や支援体制の充実	法律等の整備	高める努力により、社会全体の意識を	各自治体や企業などの取組	その他	特になし	わからない
	全体	1444	59.1	29.0	36.8	29.6	1.2	4.4	19.6	2.3
F 3 職業	自営業	84	52.4	32.1	32.1	26.2	0.0	3.6	23.8	2.4
	会社員・公務員など	430	60.5	28.1	38.8	26.5	1.6	5.8	15.1	0.7
	パート・アルバイト・契約社員など	289	63.7	29.4	43.9	28.0	1.4	4.5	16.6	1.7
	家事専業	260	60.4	27.7	31.5	28.8	1.2	3.1	23.5	2.7
	学生	29	79.3	37.9	58.6	34.5	3.4	0.0	3.4	0.0
	その他の職業	52	57.7	26.9	36.5	40.4	3.8	5.8	19.2	3.8
	仕事はしていない	288	52.1	30.6	31.9	34.7	0.3	3.8	26.0	4.2

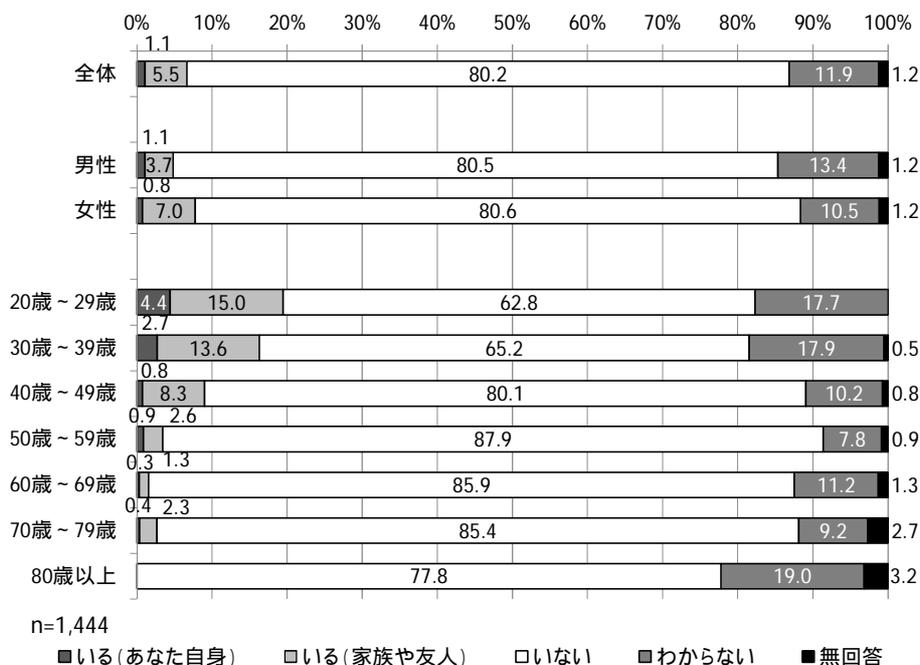
問 31 あなた自身、または、あなたの家族や友人にいわゆるLGBTなどの性的少数者の人はいますか。(は1つ)

- ・「いる(あなた自身)」と「いる(家族や友人)」を合わせると、自分を含めて身近に性的少数者がいると答えた割合は6.6%となっている。
- ・「いない」が80.2%で最も多く、全体の約8割である。次いで「わからない」が11.9%で、約1割である。以下「いる(家族や友人)」(5.5%)、「いる(あなた自身)」(1.1%)となっている。



性別・年齢別 身近なLGBTなどの性的少数者の有無

- ・性別では、男女とも「いない」が約8割で、大きな男女の差異は見られなかった。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「いない」が最も多くなっている。「いる(あなた自身)」、「いる(家族や友人)」の数値は20代から40代で高い傾向にある。



職業別 身近なLGBTなどの性的少数者の有無

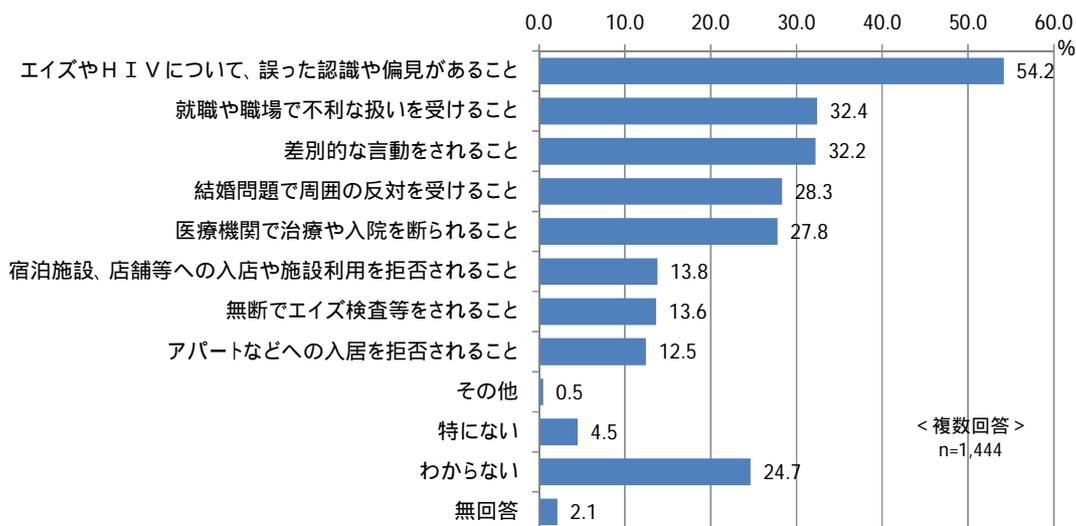
- ・いずれの職業でも「いない」が最も多くなっている。また、学生では「いる（家族や友人）」の数値が、全体値より 10 ポイント以上高い値となっているほか、「いる（あなた自身）」の数値も 1 割を超えている。

	合計	問31 家族や友人にLGBTなどの性的少数者の方がいるか				
		いる（あなた自身）	いる（家族や友人）	いない	わからない	無回答
全体	1444	1.1	5.5	80.2	11.9	1.2
F 3 職業						
自営業	84	0.0	4.8	79.8	15.5	0.0
会社員・公務員など	430	1.9	7.4	76.3	13.7	0.7
パート・アルバイト・契約社員など	289	0.7	7.3	83.7	7.6	0.7
家事専業	260	0.0	3.1	85.0	9.6	2.3
学生	29	10.3	20.7	51.7	17.2	0.0
その他の職業	52	3.8	9.6	61.5	17.3	7.7
仕事はしていない	288	0.3	1.4	85.1	12.2	1.0

9. エイズ患者やHIV感染者の人権について

問 32 あなたは、エイズ患者やHIV（エイズウイルス）の感染者の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思えますか。（あてはまるものすべてに ）

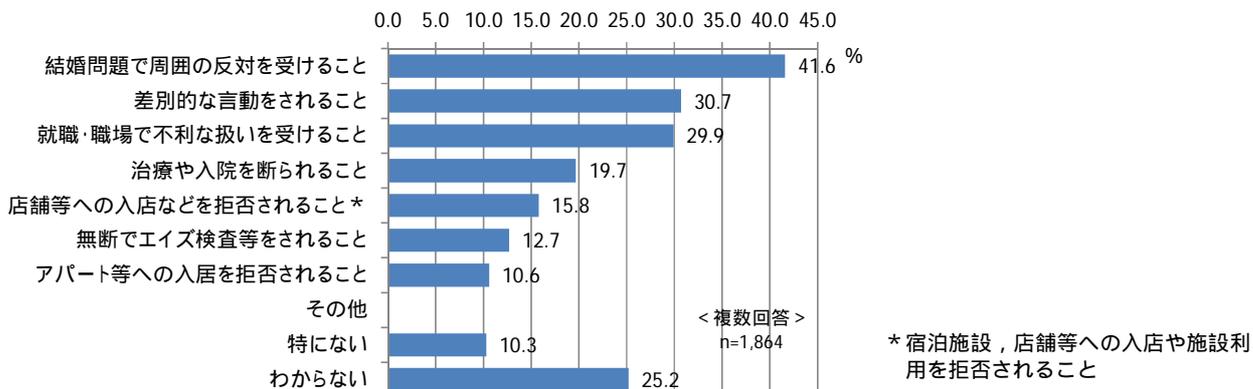
- ・「エイズやHIVについて、誤った認識や偏見があること」が最も多く54.2%で、半数以上となっている。次いで「就職や職場で不利な扱いを受けること」（32.4%）、「差別的な言動をされること」（32.2%）、「結婚問題で周囲の反対を受けること」（28.3%）、「医療機関で治療や入院を断られること」（27.8%）、「わからない」（24.7%）などとなっている。



< 参考 > 内閣府「人権擁護に関する世論調査」（平成 24 年度）

【HIV感染者等に関する人権問題】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」（平成 24 年度）をみると、「結婚問題で周囲の反対を受けること」が41.6%で最も多い。以下「差別的な言動をされること」（30.7%）、「就職・職場で不利な扱いを受けること」（29.9%）、「わからない」（25.2%）などとなっている。



性別・年齢別 エイズ患者やH I Vの感染者の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「エイズやH I Vについて、誤った認識や偏見があること」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「エイズやH I Vについて、誤った認識や偏見があること」が最も多くなっている。20代では「わからない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問32 エイズ患者やH I Vの感染者の人権に関して問題だと思うこと													
			けること	結婚問題で周囲の反対を受	受けること	就職や職場で不利な扱いを	られること	医療機関で治療や入院を断	る無断でエイズ検査等をされ	差別的な言動をされること	否されること	アパートなどへの入居を拒	とや施設利用を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店	と誤った認識や偏見があるこ	その他
	全体	1444	28.3	32.4	27.8	13.6	32.2	12.5	13.8	54.2	0.5	4.5	24.7	2.1		
F 1 性別 (総合)	男性	641	26.1	31.0	24.5	11.1	30.4	10.0	12.8	50.5	0.5	7.3	25.7	1.4		
	女性	782	30.4	33.9	30.7	15.7	33.9	14.6	14.6	57.9	0.5	2.3	23.4	2.3		
F 2 年齢	20歳～29歳	113	23.9	17.7	23.0	8.8	32.7	7.1	14.2	54.0	0.0	4.4	35.4	0.0		
	30歳～39歳	184	26.6	33.2	29.3	12.0	33.2	14.1	15.8	59.2	0.5	6.0	16.3	1.1		
	40歳～49歳	266	27.4	33.1	32.7	16.2	37.2	15.0	15.4	61.7	0.0	4.1	19.5	0.4		
	50歳～59歳	232	29.7	33.6	32.8	13.8	37.5	13.8	17.7	58.2	1.7	2.6	22.8	0.4		
	60歳～69歳	313	30.7	34.5	26.5	12.8	28.8	10.2	12.5	53.7	0.3	4.8	24.3	2.9		
	70歳～79歳	261	30.3	34.9	23.8	15.3	29.1	14.2	11.5	46.0	0.4	4.6	30.7	4.2		
	80歳以上	63	20.6	31.7	17.5	14.3	19.0	7.9	3.2	36.5	0.0	6.3	33.3	6.3		

職業別 エイズ患者やH I Vの感染者の人権に関して問題だと思うこと

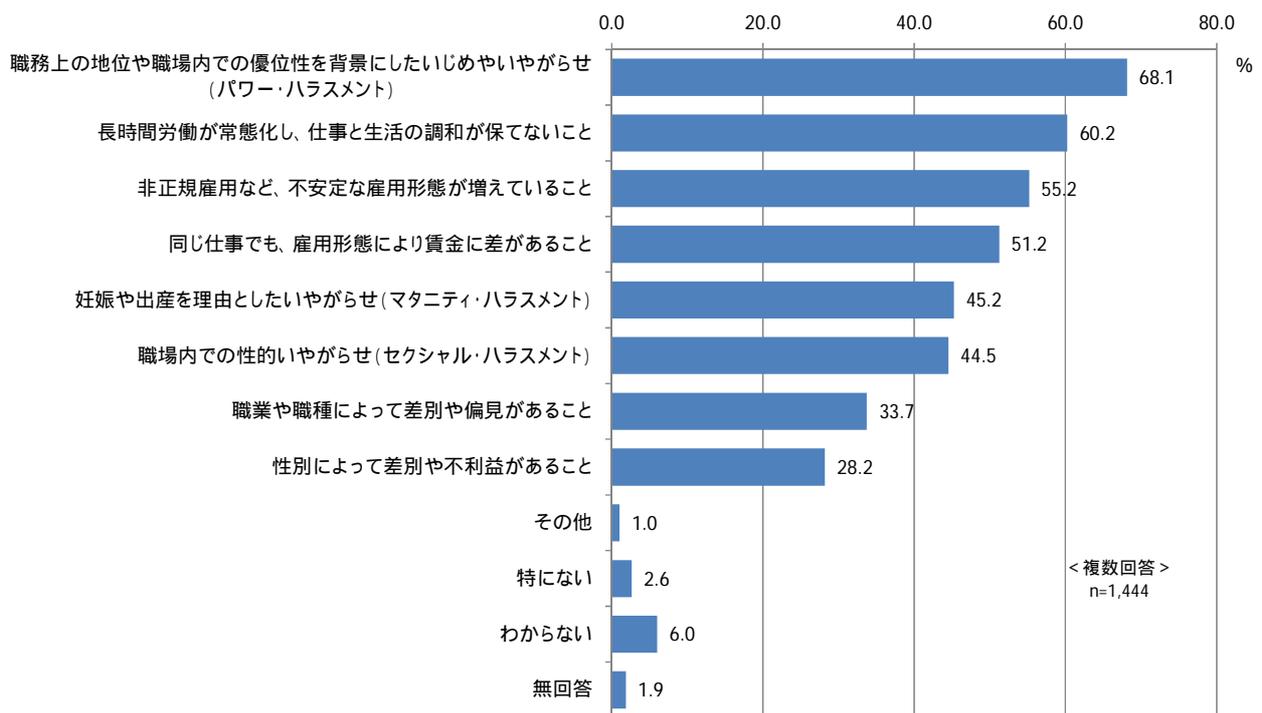
- ・いずれの職業でも「エイズやH I Vについて、誤った認識や偏見があること」が最も多くなっている。学生では「差別的な言動をされること」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問32 エイズ患者やH I Vの感染者の人権に関して問題だと思うこと													
			けること	結婚問題で周囲の反対を受	受けること	就職や職場で不利な扱いを	られること	医療機関で治療や入院を断	る無断でエイズ検査等をされ	差別的な言動をされること	否されること	アパートなどへの入居を拒	とや施設利用を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店	と誤った認識や偏見があるこ	その他
	全体	1444	28.3	32.4	27.8	13.6	32.2	12.5	13.8	54.2	0.5	4.5	24.7	2.1		
F 3 職業	自営業	84	19.0	25.0	25.0	9.5	26.2	13.1	9.5	56.0	0.0	6.0	28.6	3.6		
	会社員・公務員など	430	25.6	31.9	27.0	12.6	32.1	10.5	15.1	56.0	0.5	7.0	21.9	0.9		
	パート・アルバイト・契約社員など	289	31.1	34.9	30.4	15.2	34.6	15.6	15.9	58.5	0.3	2.8	23.9	1.4		
	家事専業	260	31.9	34.6	30.4	13.8	31.9	13.1	10.8	55.8	0.8	3.5	19.2	3.8		
	学生	29	37.9	31.0	31.0	13.8	51.7	10.3	17.2	69.0	0.0	0.0	17.2	0.0		
	その他の職業	52	28.8	25.0	30.8	11.5	30.8	5.8	15.4	53.8	0.0	1.9	30.8	1.9		
	仕事はしていない	288	28.1	32.6	24.3	14.9	30.6	13.5	13.2	44.8	0.7	4.2	32.6	2.4		

10. 働く人の人権について

問 33 あなたは、働く人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに)

- ・「職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ(パワー・ハラスメント)」が最も多く 68.1%と、7割近くに達している。次いで「長時間労働が常態化し、仕事と生活の調和が保てないこと」(60.2%)が約6割、「非正規雇用など、不安定な雇用形態が増えていること」(55.2%)、「同じ仕事でも、雇用形態により賃金に差があること」(51.2%)も5割以上となっている。



性別・年齢別 働く人の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ(パワー・ハラスメント)」が最も多い。また、女性は男性より「妊娠や出産を理由としたいいやがらせ(マタニティ・ハラスメント)」、「性別によって差別や不利益があること」が9.6ポイント高い。
- ・年齢別では、80歳以上では「長時間労働が常態化し、仕事と生活の調和が保てないこと」、70代以下の世代では「職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ(パワー・ハラスメント)」が最も多くなっている。30代では「妊娠や出産を理由としたいいやがらせ(マタニティ・ハラスメント)」、50代では「職場内での性的いやがらせ(セクシャル・ハラスメント)」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		問33 働く人の人権に関して問題だと思うこと															
		合計	職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ(パワー・ハラスメント)	職場内での性的いやがらせ(セクシャル・ハラスメント)	妊娠や出産を理由としたハラスメント	長時間労働が常態化し、仕事と生活の調和が保てないこと	長時間労働が増えていること	非正規雇用など、不安定な雇用形態が増えていること	より賃金に差があること	同じ仕事でも、雇用形態に	偏見があること	職業や職種によって差別や	性別によって差別や不利益があること	その他	特にな	わからない	無回答
	全体	1444	68.1	44.5	45.2	60.2	55.2	51.2	33.7	28.2	1.0	2.6	6.0	1.9			
F 1 性別(総合)	男性	641	69.0	42.1	40.1	59.6	54.4	46.6	31.7	22.9	1.6	3.9	5.3	0.8			
	女性	782	68.0	46.8	49.7	60.9	55.9	55.2	35.4	32.5	0.6	1.7	6.5	2.4			
F 2 年齢	20歳～29歳	113	74.3	46.0	52.2	69.9	49.6	43.4	43.4	31.0	3.5	0.9	5.3	0.0			
	30歳～39歳	184	76.1	48.4	56.0	68.5	53.3	52.7	34.8	31.5	1.1	3.3	1.6	0.5			
	40歳～49歳	266	69.2	42.5	42.9	61.7	51.1	46.6	29.7	23.7	1.1	2.6	5.3	0.8			
	50歳～59歳	232	75.0	55.2	50.4	60.3	53.4	53.9	37.1	28.4	2.2	1.3	3.9	0.9			
	60歳～69歳	313	67.1	43.1	40.3	55.9	63.3	55.9	33.2	27.5	0.0	3.8	4.5	2.2			
	70歳～79歳	261	59.0	37.5	42.5	54.0	55.2	51.0	31.8	29.9	0.4	2.7	11.5	3.1			
	80歳以上	63	52.4	38.1	31.7	63.5	55.6	54.0	30.2	30.2	0.0	3.2	15.9	6.3			

職業別 働く人の人権に関して問題だと思うこと

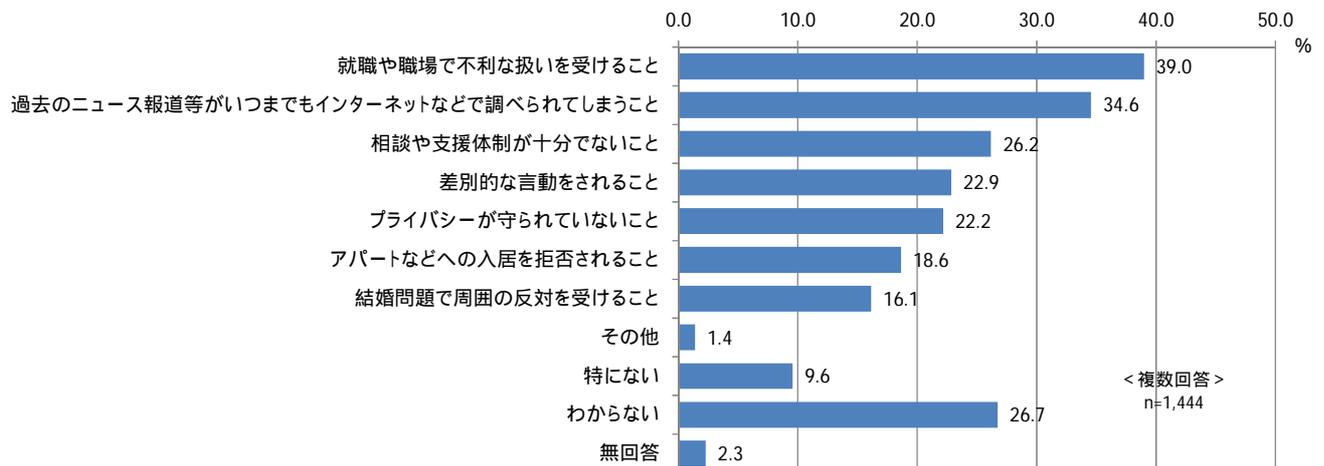
- ・いずれの職業でも「職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ(パワー・ハラスメント)」が最も多くなっている。パート・アルバイト・契約社員などでは「非正規雇用など、不安定な雇用形態が増えていること」、学生では「職場内での性的いやがらせ(セクシャル・ハラスメント)」、「妊娠や出産を理由としたいいやがらせ(マタニティ・ハラスメント)」、「長時間労働が常態化し、仕事と生活の調和が保てないこと」、「非正規雇用など、不安定な雇用形態が増えていること」、「職業や職種によって差別や偏見があること」、「性別によって差別や不利益があること」の各項目の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		問33 働く人の人権に関して問題だと思うこと															
		合計	職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ(パワー・ハラスメント)	職場内での性的いやがらせ(セクシャル・ハラスメント)	妊娠や出産を理由としたハラスメント	長時間労働が常態化し、仕事と生活の調和が保てないこと	長時間労働が増えていること	非正規雇用など、不安定な雇用形態が増えていること	より賃金に差があること	同じ仕事でも、雇用形態に	偏見があること	職業や職種によって差別や	性別によって差別や不利益があること	その他	特にな	わからない	無回答
	全体	1444	68.1	44.5	45.2	60.2	55.2	51.2	33.7	28.2	1.0	2.6	6.0	1.9			
F 3 職業	自営業	84	58.3	39.3	38.1	57.1	47.6	35.7	23.8	23.8	0.0	8.3	8.3	4.8			
	会社員・公務員など	430	73.0	43.3	42.8	60.9	48.6	48.6	36.5	24.9	1.6	2.3	2.3	0.7			
	パート・アルバイト・契約社員など	289	72.0	49.1	50.2	63.0	65.7	58.8	34.6	31.8	1.0	1.7	2.8	1.0			
	家事専業	260	64.6	45.8	46.5	59.6	56.2	51.9	33.5	29.2	0.8	1.9	9.6	2.7			
	学生	29	86.2	69.0	62.1	72.4	65.5	51.7	62.1	48.3	3.4	0.0	3.4	0.0			
	その他の職業	52	67.3	42.3	40.4	57.7	40.4	48.1	25.0	17.3	1.9	1.9	13.5	3.8			
	仕事はしていない	288	62.2	41.0	44.8	57.3	57.3	52.8	30.9	30.2	0.3	3.5	9.7	2.1			

11. 刑を終えて出所した人の人権について

問 34 あなたは、刑を終えて出所した人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

- ・「就職や職場で不利な扱いを受けること」が39.0%で最も多く、約4割となっている。次いで「過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」が34.6%である。一方「わからない」を挙げた人も26.7%にのぼる。



性別・年齢別 刑を終えて出所した人の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「就職や職場で不利な扱いを受けること」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、20代では「過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」が最も多く、30代では「就職や職場で不利な扱いを受けること」と「過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」が同率、40代以上の世代では「就職や職場で不利な扱いを受けること」が最も多く、30代を境に傾向が分かれた。

		問34 刑を終えて出所した人の人権に関して問題だと思うこと											
		合計	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	プライバシーが守られていないこと	過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと	相談や支援体制が十分でないこと	その他	特にない	わからない	無回答
	全体	1444	16.1	39.0	22.9	18.6	22.2	34.6	26.2	1.4	9.6	26.7	2.3
F 1 性別 (総合)	男性	641	14.8	35.3	20.6	15.8	21.7	30.7	26.1	2.0	13.1	27.3	1.6
	女性	782	17.3	42.3	24.6	21.1	22.8	38.2	26.5	0.9	6.9	26.0	2.4
F 2 年齢	20歳～29歳	113	11.5	27.4	19.5	12.4	28.3	41.6	17.7	2.7	17.7	23.0	0.0
	30歳～39歳	184	10.9	29.9	18.5	12.5	22.8	29.9	21.7	1.1	19.0	19.6	1.1
	40歳～49歳	266	12.8	33.8	18.8	18.4	20.3	33.1	17.3	2.3	13.5	30.1	1.5
	50歳～59歳	232	14.2	40.9	25.0	20.3	17.7	36.6	25.9	2.2	5.6	27.2	1.3
	60歳～69歳	313	17.6	45.4	23.3	17.6	21.4	37.1	31.6	0.6	7.7	26.2	2.6
	70歳～79歳	261	24.1	46.7	28.0	26.1	25.3	33.0	34.9	0.8	3.8	28.0	3.1
	80歳以上	63	20.6	41.3	27.0	19.0	25.4	33.3	31.7	0.0	0.0	34.9	6.3

職業別 刑を終えて出所した人の人権に関して問題だと思うこと

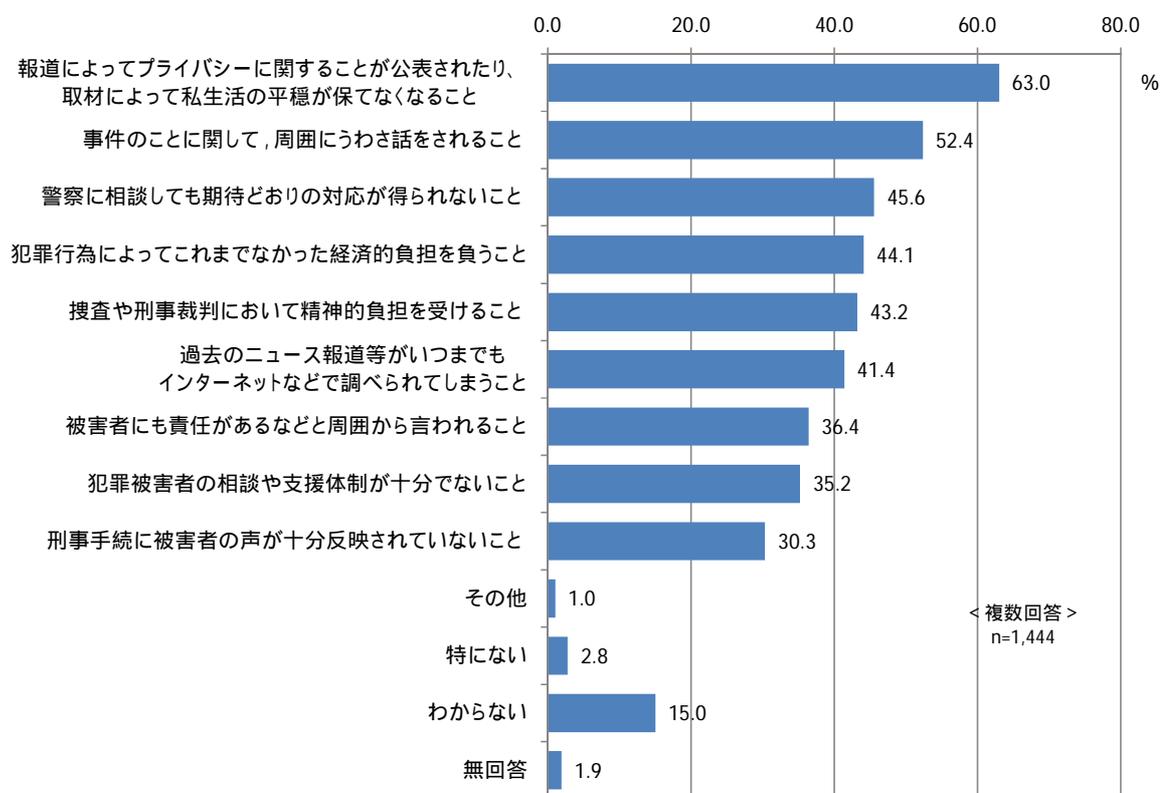
- ・学生では「過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」、それ以外の職業では「就職や職場で不利な扱いを受けること」が最も多くなっている。また、学生で「プライバシーが守られていないこと」、その他の職業で「差別的な言動をされること」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問34 刑を終えて出所した人の人権に関して問題だと思うこと										
			結婚問題で周囲の反対を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アルバイトなどへの入居を拒否されること	アパートなどへの入居を拒否されること	プライバシーが守られていないこと	過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと	過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられていないこと	相談や支援体制が十分でないこと	その他	特になし
	全体	1444	16.1	39.0	22.9	18.6	22.2	34.6	26.2	1.4	9.6	26.7	2.3
F 3 職業	自営業	84	13.1	32.1	22.6	16.7	19.0	22.6	20.2	2.4	16.7	23.8	3.6
	会社員・公務員など	430	12.3	33.3	19.3	15.6	21.4	32.6	22.3	2.3	14.4	25.1	1.6
	パート・アルバイト・契約社員など	289	14.5	40.1	21.5	21.1	22.1	36.7	28.7	1.4	9.3	26.6	1.7
	家事専業	260	18.1	43.5	25.0	17.7	18.1	36.9	26.2	0.4	6.2	28.8	3.5
	学生	29	13.8	37.9	20.7	17.2	44.8	65.5	17.2	0.0	13.8	10.3	0.0
	その他の職業	52	13.5	38.5	34.6	15.4	26.9	26.9	26.9	1.9	3.8	25.0	1.9
	仕事はしていない	288	23.3	45.1	25.7	23.3	25.0	35.8	32.3	0.7	4.5	29.5	2.1

12. 犯罪被害者等の人権について

問 35 あなたは、犯罪被害者やその家族の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

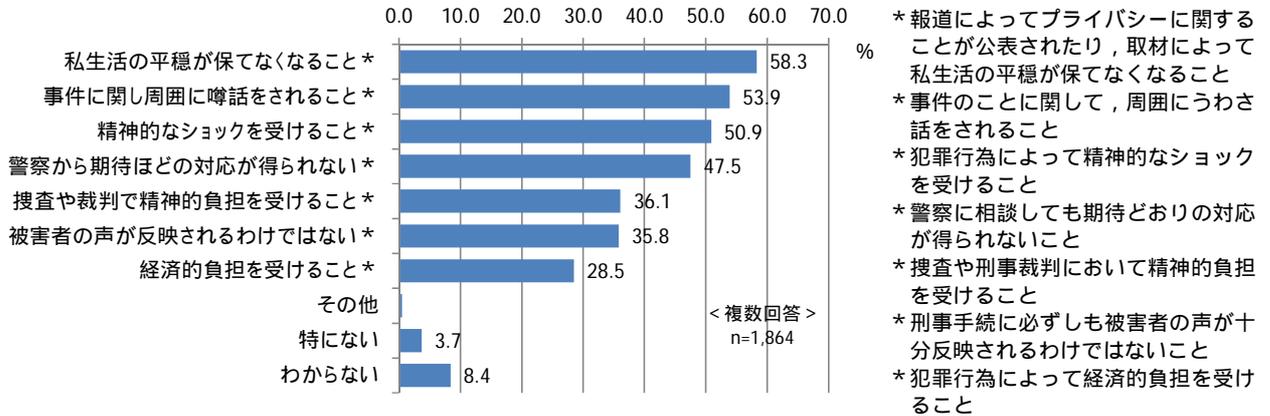
- ・「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる事」が63.0%で、最も多くなっている。次いで「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」が52.4%となっている。以下「警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと」(45.6%)、「犯罪行為によってこれまでなかった経済的負担を負うこと」(44.1%)、「捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」(43.2%)、「過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」(41.4%)が4割以上となっているなど、回答は分散した。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年度)

【犯罪被害者等に関する人権問題】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年度)をみると、「私生活の平穏が保てなくなる」とが58.3%、「事件に関し周囲に噂話をされること」が53.9%、「精神的なショックを受けること」が50.9%で、いずれも5割以上となっている。これに「警察から期待ほどの対応が得られない」(47.5%)などが続いている。



性別・年齢別 犯罪被害者やその家族の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が最も多くなっている。また、30代では「被害者にも責任があるなどと周囲から言われること」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

	合計	問35 犯罪被害者やその家族の人権に関して問題だと思うこと												
		担 犯 罪 行 為 に よ っ て こ れ ま で な か っ た 経 済 的 負 担 を 受 け る こ と	事 件 の こ と に 関 し て 、 周 圍 に う わ さ 話 を さ れ る こ と	警 察 に 相 談 し て も 期 待 ど お り の 対 応 が 得 ら れ な い こ と	捜 査 や 刑 事 裁 判 に お い て 精 神 的 負 担 を 受 け る こ と	刑 事 手 続 に 被 害 者 の 声 が 十 分 反 映 さ れ て い な い こ と	報 道 に よ っ て プ ラ イ バ シ ー に 関 する こ と が 公 表 さ れ た り 、 取 材 に よ っ て 私 生 活 の 平 穏 が 保 て な く な る こ と	被 害 者 に も 責 任 が あ る な ど と 周 圍 か ら 言 わ れ る こ と	過 去 の ニ ュ ー ス 報 道 等 が い つ ま で も イ ン タ ー ネ ッ ト な ど で 調 べ ら れ て し ま う こ と	と 犯 罪 被 害 者 の 相 談 や 支 援 体 制 が 十 分 で な い こ と	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	1444	44.1	52.4	45.6	43.2	30.3	63.0	36.4	41.4	35.2	1.0	2.8	15.0	1.9
F 1 性別 (統合)														
男性	641	47.0	49.0	43.4	40.9	30.4	59.9	35.1	37.8	33.1	2.0	4.2	13.9	1.2
女性	782	42.1	55.5	47.8	45.4	30.8	65.7	37.7	44.8	37.2	0.3	1.7	15.7	2.2
F 2 年齢														
20歳～29歳	113	38.9	61.1	45.1	42.5	27.4	67.3	41.6	47.8	22.1	0.9	3.5	13.3	0.0
30歳～39歳	184	47.8	57.1	51.6	51.1	34.8	69.6	47.8	46.7	35.9	1.1	3.3	9.2	1.1
40歳～49歳	266	47.0	53.0	49.2	43.6	35.3	63.2	39.8	48.1	37.2	0.8	3.4	15.0	1.1
50歳～59歳	232	45.3	56.9	49.6	47.4	34.1	68.5	42.7	45.3	37.9	2.2	1.3	13.8	0.4
60歳～69歳	313	43.1	51.8	41.2	44.7	28.8	63.9	33.2	38.7	36.7	0.6	2.6	16.0	1.9
70歳～79歳	261	44.1	43.7	41.4	34.9	25.7	53.3	24.1	31.8	35.2	1.1	2.7	18.4	3.4
80歳以上	63	33.3	46.0	41.3	34.9	17.5	54.0	25.4	30.2	30.2	0.0	4.8	20.6	6.3

職業別 犯罪被害者やその家族の人権に関して問題だと思うこと

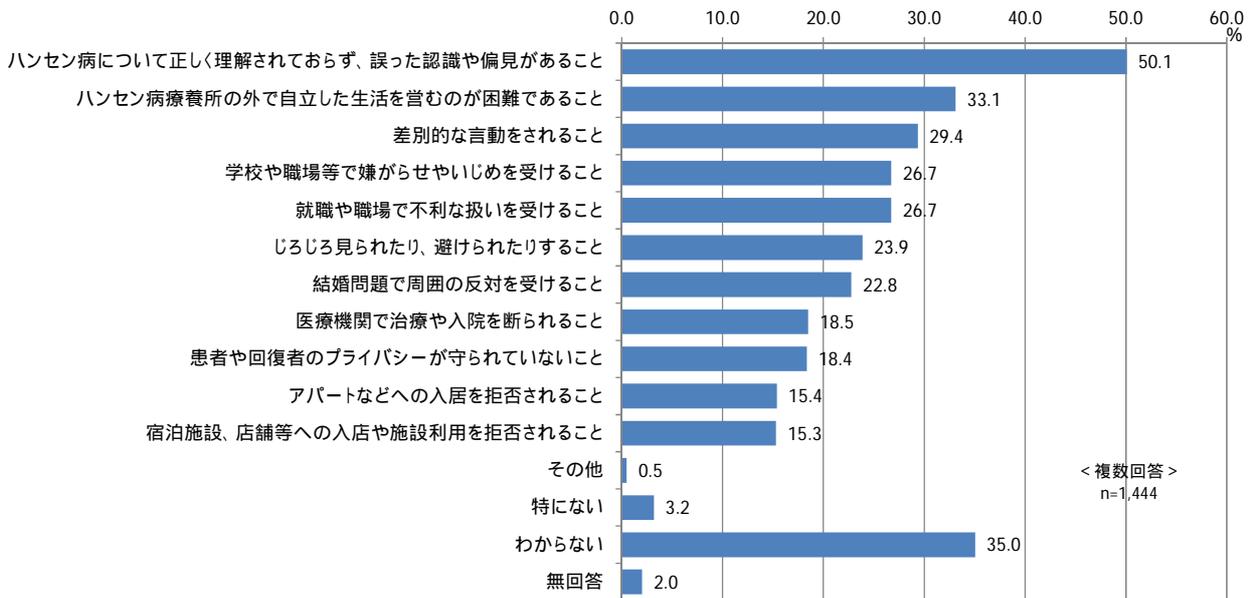
- ・いずれの職業でも「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が最も多くなっている。また、学生では「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」、「捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」、「刑事手続に被害者の声が十分反映されていないこと」、「過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」の数値が全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

		問35 犯罪被害者やその家族の人権に関して問題だと思うこと													
		合計	犯罪行為によってこれまでになかった経済的負担を負うこと	事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること	警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	刑事手続に被害者の声が十分反映されていないこと	報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること	被害者にも責任があるなどと周囲から言われること	過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと	と犯罪被害者の相談や支援体制が十分でないこと	その他	特になし	わからない	無回答
	全体	1444	44.1	52.4	45.6	43.2	30.3	63.0	36.4	41.4	35.2	1.0	2.8	15.0	1.9
F 3 職業	自営業	84	40.5	40.5	45.2	33.3	36.9	51.2	32.1	40.5	34.5	3.6	6.0	14.3	2.4
	会社員・公務員など	430	46.0	55.3	46.3	44.7	31.2	64.4	42.1	43.7	33.7	1.9	4.2	13.3	1.2
	パート・アルバイト・契約社員など	289	51.9	54.7	50.9	48.4	34.3	67.5	40.1	46.7	41.2	0.0	1.7	12.5	1.7
	家事専業	260	37.3	50.0	46.9	38.8	25.8	61.9	35.0	39.2	36.2	0.0	1.2	18.5	3.1
	学生	29	41.4	72.4	55.2	58.6	41.4	86.2	34.5	62.1	27.6	0.0	0.0	3.4	0.0
	その他の職業	52	40.4	50.0	48.1	46.2	34.6	69.2	30.8	36.5	30.8	1.9	0.0	19.2	0.0
	仕事はしていない	288	41.7	49.3	37.2	41.0	25.7	58.0	28.1	34.4	32.3	1.0	3.1	17.7	2.4

13. ハンセン病患者や回復者の人権について

問 36 あなたは、ハンセン病患者や回復者の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

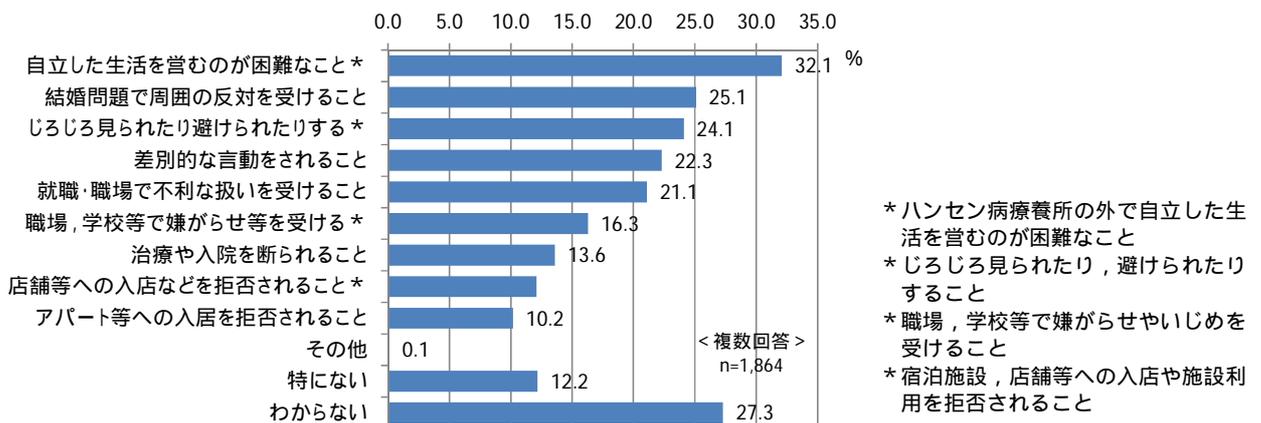
- ・「ハンセン病について正しく理解されておらず、誤った認識や偏見があること」が50.1%で最も多く、約半数となっている。次いで「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難であること」が33.1%である。以下「差別的な言動をされること」(29.4%)、「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」、「就職や職場で不利な扱いを受けること」(ともに26.7%)などとなっている。なお、「わからない」が35.0%と高い数値になっている。



< 参考 > 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【ハンセン病患者等に関する人権問題】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「自立した生活を営むのが困難なこと」が最も多く32.1%である。次いで「わからない」が27.3%となっている。以下「結婚問題で周囲の反対を受けること」(25.1%)、「じろじろ見られたり避けられたりする」(24.1%)、「差別的な言動をされること」(22.3%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(21.1%)などとなっている。



性別・年齢別 ハンセン病患者や回復者の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「ハンセン病について正しく理解されておらず、誤った認識や偏見があること」が最も多くなっている。また、女性は「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難であること」が男性より10.0ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、20代では「わからない」、30代以上の世代では「ハンセン病について正しく理解されておらず、誤った認識や偏見があること」が最も多くなっている。

		問36 ハンセン病患者や回復者の人権に関して問題だと思うこと																
合計		い 学校 や 職場 等 で 嫌 が ら せ や い じ め を 受 け る こ と	結 婚 問 題 で 周 囲 の 反 対 を 受 ける こ と	就 職 や 職 場 で 不 利 な 扱 い を 受 ける こ と	医 療 機 関 で 治 療 や 入 院 を 断 ら れる こ と	立 ち 上 げ た 生 活 を 営 む の が 困 難 な こ と	差 別 的 な 言 動 を さ れ る こ と	否 さ れ る こ と	ア パ ー ト な ど へ の 入 居 を 拒 否 さ れ る こ と	と 宿 泊 施 設 、 店 舗 等 へ の 入 店 を 拒 否 さ れ る こ と	じ ろ じ ろ 見 ら れ た り 、 避 け ら れ た り す る こ と	あ る こ と	ハ ン セ ン 病 に つ い て 正 し く 理 解 さ れ て お ら ず 、 誤 っ た 認 識 や 偏 見 が あ る こ と	患 者 や 回 復 者 の プ ラ イ バ ー シ ー が 守 ら れ て い な い こ と	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1444	26.7	22.8	26.7	18.5	33.1	29.4	15.4	15.3	23.9	50.1	18.4	0.5	3.2	35.0	2.0	
F 1 性別 (総合)	男性	641	23.2	19.8	22.9	14.5	27.9	25.7	12.5	11.7	20.0	47.3	14.7	0.6	4.5	37.3	1.6	
	女性	782	29.3	25.2	30.1	21.7	37.9	32.4	17.8	18.2	27.1	52.9	21.6	0.4	2.0	33.1	2.2	
F 2 年齢	20歳～29歳	113	21.2	8.8	10.6	11.5	21.2	20.4	6.2	9.7	11.5	33.6	10.6	0.0	3.5	49.6	1.8	
	30歳～39歳	184	22.8	15.8	23.9	16.3	27.7	25.5	13.6	15.2	25.0	48.9	13.6	0.5	3.3	35.9	1.1	
	40歳～49歳	266	26.7	18.0	21.1	21.1	28.2	28.9	16.2	15.0	24.1	46.6	15.8	0.4	3.0	38.7	0.4	
	50歳～59歳	232	28.4	26.3	28.0	21.6	36.6	30.2	17.2	17.7	26.7	55.2	19.8	0.4	3.0	34.9	0.4	
	60歳～69歳	313	26.8	26.8	31.6	17.6	36.7	34.8	13.7	12.8	22.4	56.5	19.2	0.3	3.2	27.8	3.2	
	70歳～79歳	261	28.7	29.5	34.9	19.5	39.8	31.0	18.8	18.8	27.6	51.7	23.8	1.1	3.4	32.2	3.1	
	80歳以上	63	31.7	28.6	25.4	14.3	34.9	22.2	22.2	15.9	25.4	42.9	27.0	0.0	1.6	38.1	6.3	

職業別 ハンセン病患者や回復者の人権に関して問題だと思うこと

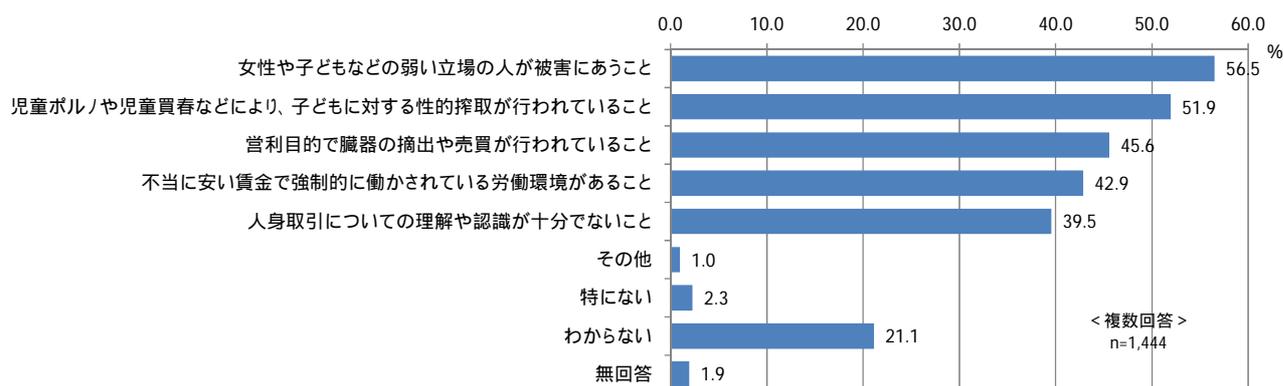
- ・いずれの職業でも「ハンセン病について正しく理解されておらず、誤った認識や偏見があること」が最も多くなっている。また、学生では「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」、その他の職業では「差別的な言動をされること」、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問36 ハンセン病患者や回復者の人権に関して問題だと思うこと																
合計		い 学校 や 職場 等 で 嫌 が ら せ や い じ め を 受 け る こ と	結 婚 問 題 で 周 囲 の 反 対 を 受 ける こ と	就 職 や 職 場 で 不 利 な 扱 い を 受 ける こ と	医 療 機 関 で 治 療 や 入 院 を 断 ら れる こ と	立 ち 上 げ た 生 活 を 営 む の が 困 難 な こ と	差 別 的 な 言 動 を さ れ る こ と	否 さ れ る こ と	ア パ ー ト な ど へ の 入 居 を 拒 否 さ れ る こ と	と 宿 泊 施 設 、 店 舗 等 へ の 入 店 を 拒 否 さ れ る こ と	じ ろ じ ろ 見 ら れ た り 、 避 け ら れ た り す る こ と	あ る こ と	ハ ン セ ン 病 に つ い て 正 し く 理 解 さ れ て お ら ず 、 誤 っ た 認 識 や 偏 見 が あ る こ と	患 者 や 回 復 者 の プ ラ イ バ ー シ ー が 守 ら れ て い な い こ と	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1444	26.7	22.8	26.7	18.5	33.1	29.4	15.4	15.3	23.9	50.1	18.4	0.5	3.2	35.0	2.0	
F 3 職業	自営業	84	25.0	14.3	22.6	22.6	26.2	29.8	17.9	15.5	21.4	57.1	19.0	1.2	2.4	31.0	2.4	
	会社員・公務員など	430	22.8	18.4	21.9	15.8	27.2	26.0	12.3	12.3	22.1	47.0	14.0	0.5	4.4	38.4	0.7	
	パート・アルバイト・契約社員など	289	28.4	25.3	28.7	21.8	36.3	29.8	15.6	17.3	23.9	54.3	20.1	0.0	4.2	31.8	2.1	
	家事専業	260	26.9	26.2	31.5	20.0	37.7	29.6	17.3	15.8	24.6	51.5	20.8	0.8	1.2	35.0	2.3	
	学生	29	44.8	17.2	17.2	20.7	37.9	31.0	13.8	13.8	24.1	58.6	20.7	0.0	0.0	24.1	3.4	
	その他の職業	52	19.2	23.1	25.0	11.5	38.5	44.2	9.6	13.5	38.5	48.1	17.3	0.0	0.0	32.7	0.0	
	仕事はしていない	288	30.9	26.7	30.2	17.4	35.1	30.6	18.8	17.7	24.3	46.9	20.8	0.7	3.1	36.1	3.8	

14. 人身取引に関する人権問題について

問37 あなたは、人身取引に関することで、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに)

- ・「女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと」が56.5%、「児童ポルノや児童買春などにより、子どもに対する性的搾取が行われていること」が51.9%で、ともに半数以上となっている。次いで「営利目的で臓器の摘出や売買が行われていること」(45.6%)、「不当に安い賃金で強制的に働かされている労働環境があること」(42.9%)、「人身取引についての理解や認識が十分でないこと」(39.5%)と続き、「わからない」は21.1%である。



性別・年齢別 人身取引に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと」が最も多くなっている。

		問37 人身取引に関して問題だと思うこと									
		合計	認識が十分でないこと	児童ポルノや児童買春などにより、子どもに対する性的搾取が行われていること	働かされている賃金で強制的に	場の人や子どもなど弱い立場	営利目的で臓器の摘出や売	その他	特になし	わからない	無回答
	全体	1444	39.5	51.9	42.9	56.5	45.6	1.0	2.3	21.1	1.9
F 1 性別 (統合)	男性	641	39.5	47.4	40.9	52.6	42.4	1.2	3.0	22.6	1.7
	女性	782	40.0	56.0	44.9	60.2	48.5	0.8	1.8	19.6	1.9
F 2 年齢	20歳～29歳	113	33.6	42.5	40.7	49.6	38.9	1.8	1.8	23.0	0.0
	30歳～39歳	184	38.0	54.9	46.7	60.9	47.3	1.6	2.2	15.2	1.1
	40歳～49歳	266	44.0	52.3	44.7	54.5	41.0	1.9	2.3	21.1	0.4
	50歳～59歳	232	35.3	57.3	43.5	59.9	54.3	0.9	3.0	21.6	0.4
	60歳～69歳	313	40.3	55.6	43.1	60.4	48.6	0.3	1.9	17.6	3.2
	70歳～79歳	261	43.3	48.3	39.8	53.6	44.1	0.4	1.9	26.1	3.1
	80歳以上	63	33.3	39.7	36.5	49.2	30.2	0.0	4.8	28.6	7.9

職業別 人身取引に関して問題だと思うこと

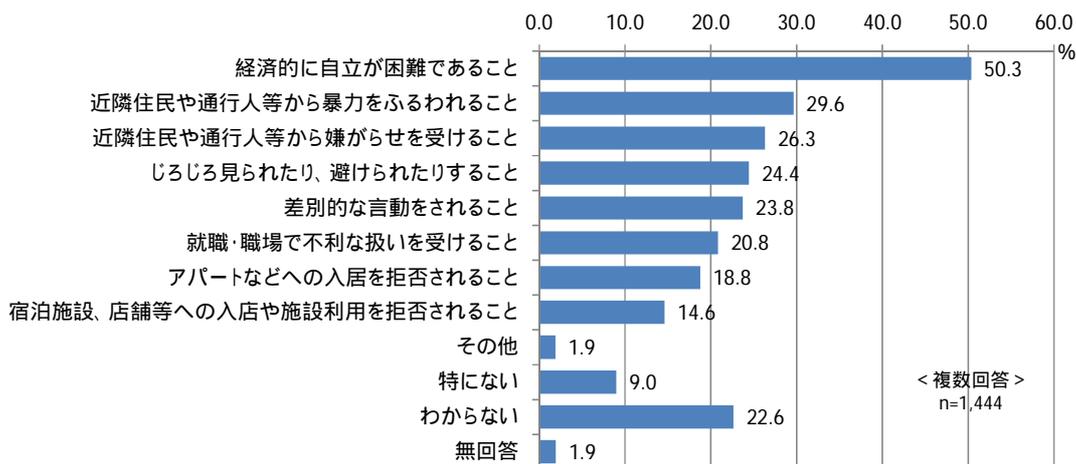
- ・パート・アルバイト・契約社員などでは「児童ポルノや児童買春などにより、子どもに対する性的搾取が行われていること」が最も多く、学生では「不当に安い賃金で強制的に働かされている労働環境があること」と「女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと」が同率、それ以外の職業では「女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと」が最も多くなっている。また、学生では「人身取引についての理解や認識が十分でないこと」、「営利目的で臓器の摘出や売買が行われていること」についても全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問37 人身取引に関して問題だと思うこと								
			人身取引についての理解や認識が十分でないこと	児童ポルノや児童買春などにより、子どもに対する性的搾取が行われていること	児童ポルノや児童買春などにより、子どもに対する性的搾取が行われていること	不当に安い賃金で強制的に働かされている労働環境があること	女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと	営利目的で臓器の摘出や売買が行われていること	その他	特になし	わからない
全体		1444	39.5	51.9	42.9	56.5	45.6	1.0	2.3	21.1	1.9
F 3 職業	自営業	84	40.5	46.4	45.2	50.0	47.6	1.2	3.6	21.4	3.6
	会社員・公務員など	430	37.9	49.3	43.5	54.7	44.7	0.9	3.5	19.8	0.9
	パート・アルバイト・契約社員など	289	41.2	60.2	45.0	59.9	45.3	1.0	2.1	19.4	1.4
	家事専業	260	37.7	55.0	40.0	58.5	45.8	0.8	1.5	21.2	2.7
	学生	29	58.6	58.6	62.1	62.1	58.6	3.4	0.0	6.9	0.0
	その他の職業	52	32.7	48.1	48.1	65.4	50.0	3.8	0.0	17.3	0.0
	仕事はしていない	288	41.7	46.9	39.6	53.8	44.1	0.3	1.7	26.4	3.5

15. ホームレスの人権について

問 38 あなたは、ホームレスの人権に関する事で、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに)

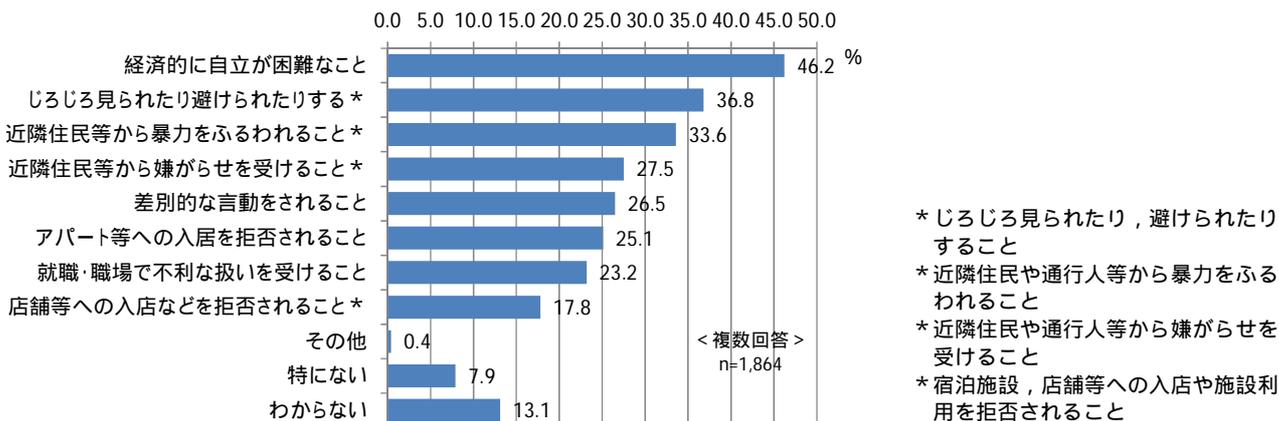
- ・「経済的に自立が困難であること」が50.3%で最も多く、約半数となっている。次いで「近隣住民や通行人等から暴力をふるわれること」(29.6%)、「近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること」(26.3%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(24.4%)、「差別的な言動をされること」(23.8%)と続く。「わからない」は22.6%である。



< 参考 > 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【ホームレスに関する人権問題】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「経済的に自立が困難なこと」が最も多く46.2%である。以下「じろじろ見られたり避けられたりする」(36.8%)、「近隣住民等から暴力をふるわれること」(33.6%)などとなっている。



性別・年齢別 ホームレスの人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「経済的に自立が困難であること」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代でも「経済的に自立が困難であること」が最も多くなっている。

		問38 ホームレスの人権に関して問題だと思うこと															
		合計	が近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること	力をふるわれること	近隣住民や通行人等から暴力を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	否されること	アパートなどへの入居を拒否されること	とや施設利用を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入居を拒否されること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	経済的に自立が困難であること	その他	特にない	わからない	無回答
	全体	1444	26.3	29.6	20.8	23.8	18.8	14.6	24.4	50.3	1.9	9.0	22.6	1.9			
F 1 性別 (統合)	男性	641	27.9	28.7	20.6	23.1	18.1	14.5	24.6	47.7	2.5	11.9	21.5	1.6			
	女性	782	24.9	30.4	21.2	24.0	19.1	14.8	24.3	52.8	1.4	6.9	23.3	2.0			
F 2 年齢	20歳～29歳	113	26.5	27.4	20.4	23.9	14.2	13.3	23.0	48.7	2.7	12.4	23.0	0.0			
	30歳～39歳	184	28.8	38.6	19.0	15.8	17.9	14.1	22.8	50.0	2.2	12.5	14.7	1.1			
	40歳～49歳	266	21.1	29.3	16.9	24.1	17.3	9.8	22.2	44.4	1.5	12.4	25.9	0.4			
	50歳～59歳	232	27.2	31.9	20.3	23.7	19.8	16.4	24.1	58.2	2.6	7.3	19.8	0.0			
	60歳～69歳	313	22.4	25.9	20.4	23.3	16.0	16.0	24.9	49.2	1.0	7.3	24.6	3.2			
	70歳～79歳	261	31.8	26.8	26.8	29.5	21.8	18.0	27.6	52.1	2.7	6.1	24.1	3.8			
	80歳以上	63	33.3	31.7	23.8	23.8	28.6	11.1	27.0	50.8	0.0	4.8	25.4	6.3			

職業別 ホームレスの人権に関して問題だと思うこと

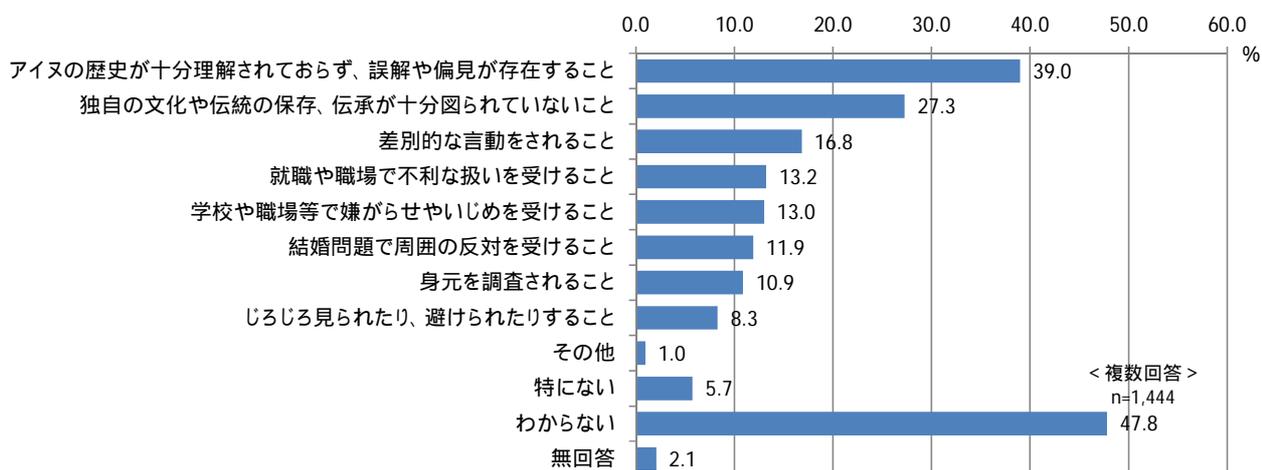
- ・いずれの職業でも「経済的に自立が困難であること」が最も多くなっている。また、学生では「近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること」、「近隣住民や通行人等から暴力をふるわれること」、「差別的な言動をされること」、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」の各項目についても全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		問38 ホームレスの人権に関して問題だと思うこと															
		合計	が近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること	力をふるわれること	近隣住民や通行人等から暴力を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	否されること	アパートなどへの入居を拒否されること	とや施設利用を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入居を拒否されること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	経済的に自立が困難であること	その他	特にない	わからない	無回答
	全体	1444	26.3	29.6	20.8	23.8	18.8	14.6	24.4	50.3	1.9	9.0	22.6	1.9			
F 3 職業	自営業	84	26.2	31.0	17.9	17.9	17.9	6.0	15.5	40.5	0.0	14.3	21.4	4.8			
	会社員・公務員など	430	26.5	31.4	16.7	20.7	17.0	13.7	24.9	49.5	2.6	14.4	17.4	0.7			
	パート・アルバイト・契約社員など	289	24.2	29.1	21.8	26.0	21.8	16.3	23.5	52.9	1.4	7.6	23.2	1.4			
	家事専業	260	25.8	27.7	21.9	21.9	16.2	15.8	22.3	51.5	2.7	5.4	26.5	2.7			
	学生	29	41.4	44.8	27.6	34.5	20.7	17.2	37.9	69.0	3.4	6.9	13.8	0.0			
	その他の職業	52	21.2	19.2	17.3	28.8	11.5	11.5	25.0	44.2	0.0	7.7	28.8	0.0			
	仕事はしていない	288	27.4	29.5	25.3	27.4	21.5	16.0	28.1	49.3	1.4	4.9	26.4	3.5			

16. アイヌの人々の人権について

問 39 あなたは、アイヌの人々の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

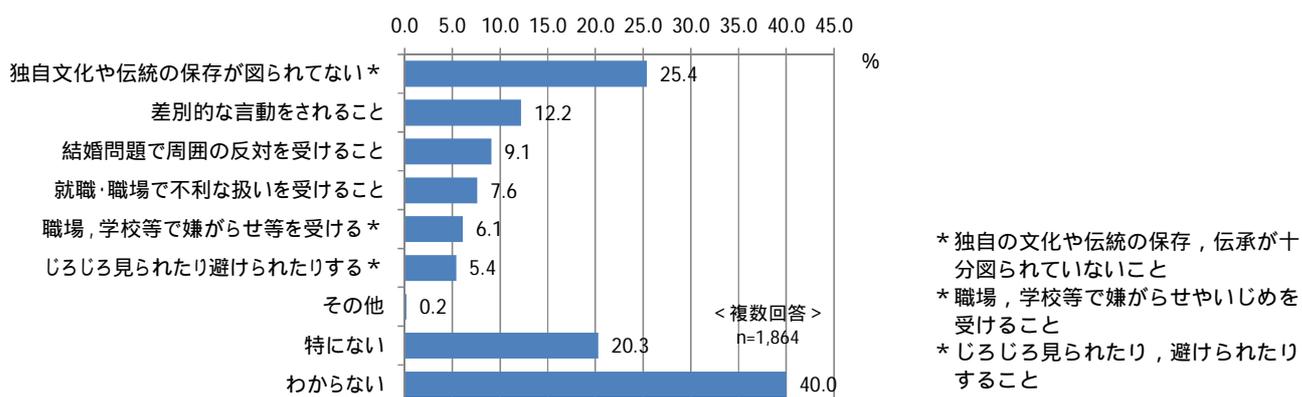
- ・「わからない」が47.8%と、非常に高くなっているのが特徴的である。次いで「アイヌの歴史が十分理解されておらず、誤解や偏見が存在すること」(39.0%)、「独自の文化や伝統の保存、伝承が十分図られていないこと」(27.3%)などとなっている。



< 参考 > 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【アイヌの人々に関する人権問題】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「わからない」が最も多く 40.0%となっている。次いで「独自文化や伝統の保存が図られてない」(25.4%)、「特にない」(20.3%)などとなっている。



性別・年齢別 アイヌの人々の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、60代のみ「アイヌの歴史が十分理解されておらず、誤解や偏見が存在すること」、それ以外の世代では「わからない」が最も多くなっている。

		問39 アイヌの人々の人権に関して問題だと思うこと																		
		合計	い 学校 や 職 場 等 で 嫌 が ら せ や	け る こ と	結 婚 問 題 で 周 圍 の 反 対 を 受	受 け る こ と	就 職 や 職 場 で 不 利 な 扱 い を	差 別 的 な 言 動 を さ れ る こ と	こ と	伝 承 が 十 分 図 ら れ て い な い	独 自 の 文 化 や 伝 統 の 保 存、	ら れ た り す る こ と	じ ろ じ ろ 見 ら れ た り、 避 け	存 在 す る こ と	ア イ ヌ の 歴 史 が 十 分 理 解 さ れ て お ら ず、 誤 解 や 偏 見 が	身 元 を 調 査 さ れ る こ と	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
	全体	1444	13.0	11.9	13.2	16.8	27.3	8.3	39.0	10.9	1.0	5.7	47.8	2.1						
F 1 性別 (総合)	男性	641	11.1	10.6	11.2	15.0	25.3	7.3	36.5	9.5	0.8	8.1	48.2	1.7						
	女性	782	14.6	12.8	15.0	18.2	29.0	9.1	41.3	12.0	1.2	3.8	47.4	2.2						
F 2 年齢	20歳～29歳	113	7.1	6.2	6.2	14.2	20.4	2.7	33.6	9.7	0.9	7.1	53.1	0.9						
	30歳～39歳	184	13.0	10.3	12.5	13.0	22.8	7.1	31.5	8.2	1.6	6.0	51.1	1.1						
	40歳～49歳	266	15.0	11.3	11.3	17.3	23.3	10.2	38.0	12.4	0.4	6.4	50.0	0.8						
	50歳～59歳	232	13.4	14.7	14.7	20.3	27.6	10.8	42.7	14.7	1.7	3.0	50.9	0.0						
	60歳～69歳	313	11.5	12.5	14.1	16.9	31.6	6.1	44.7	9.3	1.0	6.4	41.5	3.2						
	70歳～79歳	261	15.7	13.4	17.2	16.9	32.2	10.3	39.1	11.1	0.4	4.2	46.4	4.2						
	80歳以上	63	7.9	9.5	7.9	15.9	25.4	6.3	34.9	6.3	1.6	11.1	47.6	4.8						

職業別 アイヌの人々の人権に関して問題だと思うこと

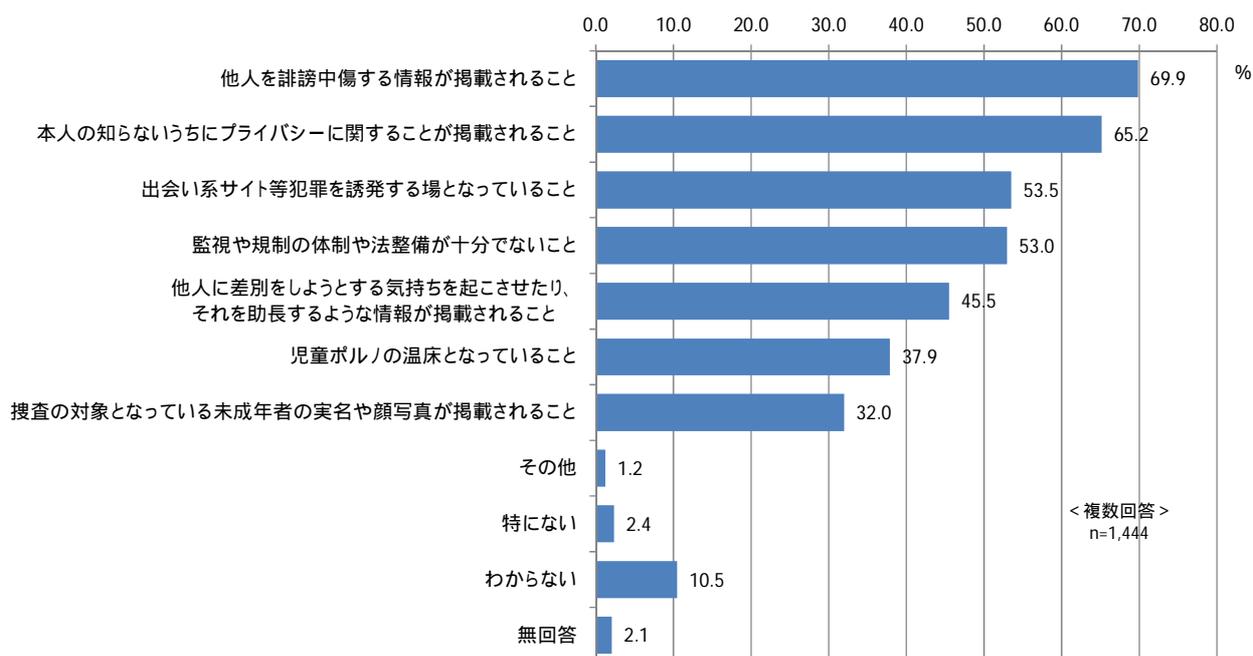
- ・学生のみ「アイヌの歴史が十分理解されておらず、誤解や偏見が存在すること」、それ以外の職業では「わからない」が最も多くなっている。また、学生とその他の職業で「差別的な言動をされること」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問39 アイヌの人々の人権に関して問題だと思うこと																		
		合計	い 学校 や 職 場 等 で 嫌 が ら せ や	け る こ と	結 婚 問 題 で 周 圍 の 反 対 を 受	受 け る こ と	就 職 や 職 場 で 不 利 な 扱 い を	差 別 的 な 言 動 を さ れ る こ と	こ と	伝 承 が 十 分 図 ら れ て い な い	独 自 の 文 化 や 伝 統 の 保 存、	ら れ た り す る こ と	じ ろ じ ろ 見 ら れ た り、 避 け	存 在 す る こ と	ア イ ヌ の 歴 史 が 十 分 理 解 さ れ て お ら ず、 誤 解 や 偏 見 が	身 元 を 調 査 さ れ る こ と	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
	全体	1444	13.0	11.9	13.2	16.8	27.3	8.3	39.0	10.9	1.0	5.7	47.8	2.1						
F 3 職業	自営業	84	9.5	7.1	8.3	17.9	27.4	2.4	35.7	8.3	2.4	9.5	42.9	3.6						
	会社員・公務員など	430	11.6	11.2	10.9	14.4	21.2	7.2	35.8	9.8	1.2	7.2	50.2	0.9						
	パート・アルバイト・契約社員など	289	13.8	12.1	14.9	18.0	28.7	11.8	40.8	13.5	1.4	5.5	48.1	1.7						
	家事専業	260	14.6	13.1	14.2	15.0	31.2	6.5	40.8	11.9	0.8	3.1	47.3	3.1						
	学生	29	17.2	6.9	13.8	27.6	31.0	6.9	51.7	20.7	0.0	6.9	41.4	0.0						
	その他の職業	52	7.7	11.5	13.5	28.8	30.8	9.6	44.2	9.6	0.0	1.9	48.1	0.0						
	仕事はしていない	288	13.9	13.5	15.3	17.0	29.9	9.4	39.2	8.7	0.3	5.6	46.5	3.5						

17. インターネットを利用した人権問題について

問 40 あなたは、インターネットを利用した人権問題について、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

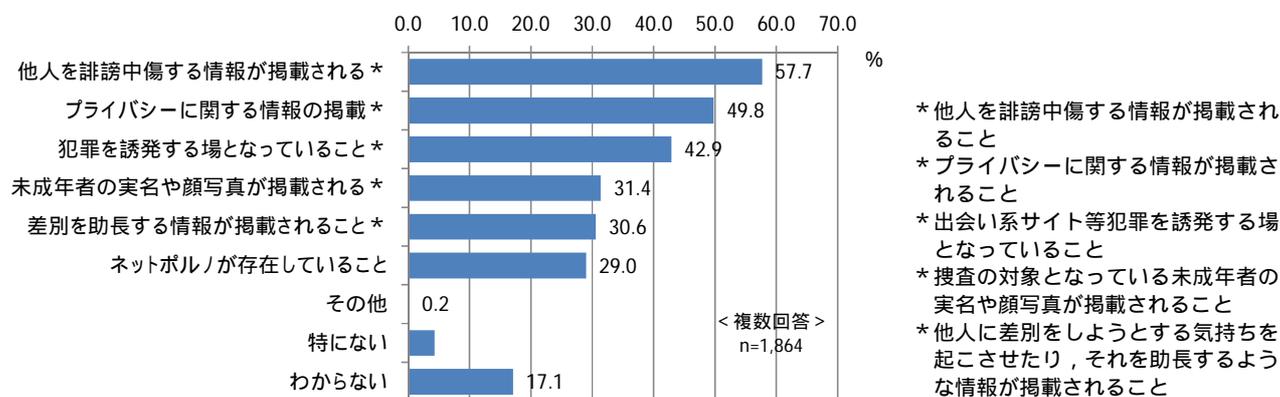
- ・「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が69.9%で最も多く、約7割となっている。次いで「本人の知らないうちにプライバシーに関する情報が掲載されること」も65.2%と高い数値となっている。以下「出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること」(53.5%)、「監視や規制の体制や法整備が十分でないこと」(53.0%)、「他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」(45.5%)などとなっている。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年度)

【インターネットによる人権侵害に関する人権問題】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年度)をみると、「他人を誹謗中傷する情報が掲載される」が最も多く57.7%となっている。次いで「プライバシーに関する情報の掲載」(49.8%)、「犯罪を誘発する場となっていること」(42.9%)などとなっている。



性別・年齢別 インターネットを利用した人権問題について問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が最も多くなっている。また、女性は男性より「本人の知らないうちにプライバシーに関することが掲載されること」が9.7ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、20代と80代では「本人の知らないうちにプライバシーに関することが掲載されること」が最も多く、30代では「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」と「本人の知らないうちにプライバシーに関することが掲載されること」が同率、それ以外の世代では「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が最も多くなっている。また、70代以上の世代では「わからない」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問40 インターネットを利用した人権問題について問題だと思うこと														
			掲載されること	他人を誹謗中傷する情報が掲載されること	他人に差別をしようとする気持ち	発する場となつていて犯罪を誘	出会う系サイト等	載されること	成年者の実名や顔写真が掲載	捜査の対象となつていない	児童ポルノの温床となつて	載されること	本人の知らないうちにプライバシーに関することが掲載	監視や規制の体制や法整備	その他	特にな	わからない
全体		1444	69.9	45.5	53.5	32.0	37.9	65.2	53.0	1.2	2.4	10.5	2.1				
F 1 性別 (統合)	男性	641	68.5	42.7	50.5	29.0	34.9	60.1	53.4	1.2	3.1	10.6	1.6				
	女性	782	71.5	48.1	56.4	34.4	40.7	69.8	53.3	1.2	1.8	10.1	2.2				
F 2 年齢	20歳～29歳	113	74.3	50.4	37.2	31.0	29.2	78.8	42.5	5.3	4.4	3.5	0.0				
	30歳～39歳	184	74.5	55.4	47.3	32.1	35.9	74.5	54.3	1.6	2.2	2.2	1.6				
	40歳～49歳	266	80.5	56.8	53.0	32.3	41.4	74.4	58.3	0.0	3.0	4.5	0.0				
	50歳～59歳	232	76.3	44.8	61.2	37.1	43.5	68.1	60.3	0.9	1.7	9.1	0.0				
	60歳～69歳	313	69.3	43.8	59.4	31.0	38.0	62.0	54.0	0.3	2.9	11.5	1.3				
	70歳～79歳	261	57.1	31.8	54.8	31.4	36.0	50.2	46.7	1.1	1.1	21.8	5.7				
	80歳以上	63	41.3	31.7	42.9	22.2	33.3	44.4	42.9	3.2	1.6	23.8	9.5				

職業別 インターネットを利用した人権問題について問題だと思うこと

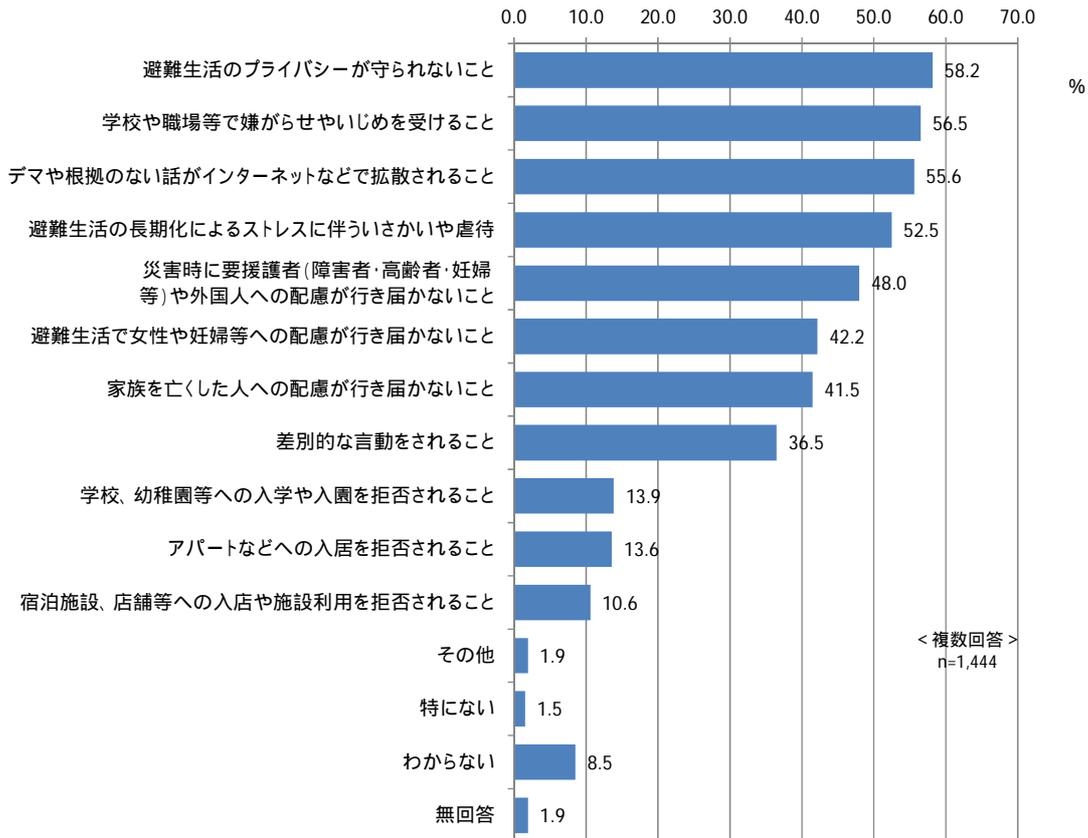
- ・学生では「本人の知らないうちにプライバシーに関することが掲載されること」、それ以外の職業では「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が最も多くなっている。

		合計	問40 インターネットを利用した人権問題について問題だと思うこと														
			掲載されること	他人を誹謗中傷する情報が掲載されること	他人に差別をしようとする気持ち	発する場となつていて犯罪を誘	出会う系サイト等	載されること	成年者の実名や顔写真が掲載	捜査の対象となつていない	児童ポルノの温床となつて	載されること	本人の知らないうちにプライバシーに関することが掲載	監視や規制の体制や法整備	その他	特にな	わからない
全体		1444	69.9	45.5	53.5	32.0	37.9	65.2	53.0	1.2	2.4	10.5	2.1				
F 3 職業	自営業	84	66.7	46.4	47.6	32.1	40.5	59.5	50.0	2.4	2.4	15.5	1.2				
	会社員・公務員など	430	76.3	49.8	50.2	31.9	36.0	72.1	55.1	1.6	3.5	3.7	0.5				
	パート・アルバイト・契約社員など	289	74.7	50.5	57.1	36.0	42.2	68.9	56.7	0.3	1.7	8.7	1.4				
	家事専業	260	65.4	41.9	59.2	28.5	38.5	62.7	52.3	0.8	1.5	11.9	4.2				
	学生	29	75.9	44.8	41.4	41.4	41.4	86.2	41.4	6.9	3.4	3.4	0.0				
	その他の職業	52	73.1	53.8	51.9	36.5	34.6	65.4	55.8	1.9	1.9	11.5	1.9				
	仕事はしていない	288	59.7	36.1	53.5	29.9	35.4	53.5	49.0	0.7	2.1	19.8	3.5				

18. 災害に起因する人権問題について

問 41 あなたは、地震などの自然災害や、それに伴って発生した原子力発電所の事故により被災した方々に、どのような人権問題が起きていると思いますか。(あてはまるものすべてに)

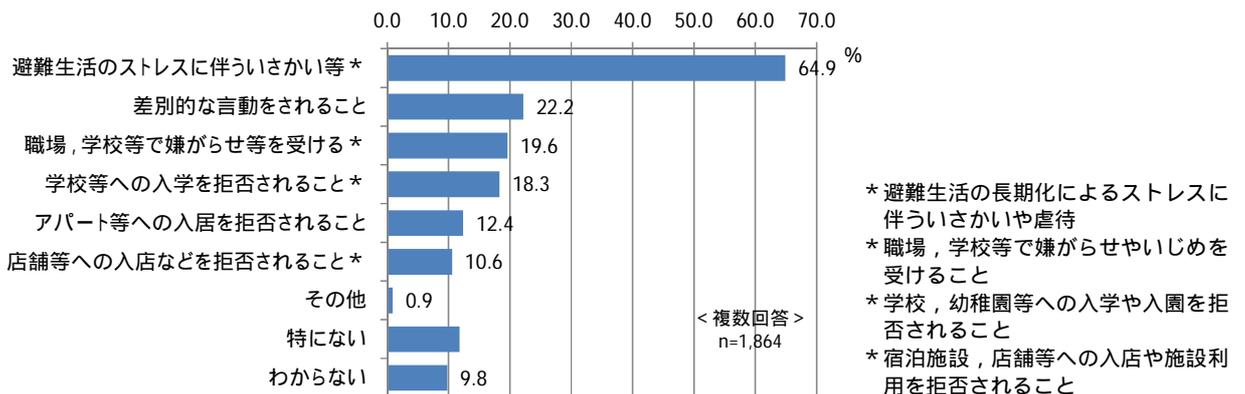
- ・「避難生活のプライバシーが守られないこと」が最も多く 58.2%、次いで「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」(56.5%)、「デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること」(55.6%)、「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかみや虐待」(52.5%)が5割以上となっている。



<参考> 内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)

【東日本大震災に伴う人権問題】

- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成 24 年度)をみると、「避難生活のストレスに伴ういさかき等」が 64.9%で突出して多い。次いで「差別的な言動をされること」(22.2%)、「職場、学校等で嫌がらせ等を受ける」(19.6%)などとなっている。



性別・年齢別 自然災害や災害に伴って起きている人権問題

- ・性別では、男性は「デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること」、女性は「避難生活のプライバシーが守られないこと」が最も多く、男女で傾向が分かれた。また、女性は男性より「避難生活で女性や妊婦等への配慮が行き届かないこと」が9.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、20代、30代では「デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること」、40代では「避難生活のプライバシーが守られないこと」、「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」が同率、50代、60代では「避難生活のプライバシーが守られないこと」、70代では「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」、80歳以上では「災害時に要援護者（障害者・高齢者・妊婦等）や外国人への配慮が行き届かないこと」、「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」が同率と、年代によって回答は分散した。

		問41 自然災害に伴い発生した原子力発電所の事故により、どのような人権問題が起きていると思うか																
合計		行き届かないこと	災害時に要援護者（障害者・高齢者・妊婦等）や外国人への配慮が行き届かないこと	避難生活で女性や妊婦等への配慮が行き届かないこと	避難生活のプライバシーが守られないこと	家族を亡くした人への配慮が行き届かないこと	デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること	学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること	差別的な言動をされること	否されること	アパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入居を拒否されること	学校、幼稚園等への入学や入園を拒否されること	待列生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待	その他	特にない	わからない	無回答
	全体	1444	48.0	42.2	58.2	41.5	55.6	56.5	36.5	13.6	10.6	13.9	52.5	1.9	1.5	8.5	1.9	
F 1 性別 (統合)	男性	641	46.5	37.1	54.1	42.9	55.1	52.6	33.2	10.8	8.6	10.9	49.1	2.7	2.2	10.0	0.9	
	女性	782	49.9	46.7	62.1	40.9	56.4	60.1	39.4	16.0	12.4	16.2	56.0	1.4	1.0	7.2	2.2	
F 2 年齢	20歳～29歳	113	42.5	37.2	47.8	38.9	67.3	48.7	38.9	14.2	10.6	17.7	47.8	2.7	0.9	8.0	0.9	
	30歳～39歳	184	48.9	47.8	56.0	39.7	69.6	57.1	37.0	14.1	13.6	19.0	56.5	2.7	1.1	4.9	1.1	
	40歳～49歳	266	45.9	40.6	59.0	43.2	58.6	59.0	36.5	15.8	12.8	16.2	50.8	2.3	2.6	8.3	0.4	
	50歳～59歳	232	50.0	42.2	62.1	40.1	61.6	57.3	40.1	11.6	9.5	11.2	51.7	1.3	0.4	8.2	0.0	
	60歳～69歳	313	51.4	46.3	67.4	43.5	52.1	60.1	36.4	11.2	7.7	9.9	56.2	1.0	1.9	6.4	1.3	
	70歳～79歳	261	45.6	38.7	53.3	42.9	41.8	54.0	33.0	14.6	11.1	14.2	52.5	2.3	1.5	13.0	4.6	
	80歳以上	63	50.8	38.1	42.9	36.5	36.5	50.8	33.3	15.9	9.5	7.9	42.9	3.2	1.6	14.3	7.9	

職業別 自然災害や災害に伴って起きている人権問題

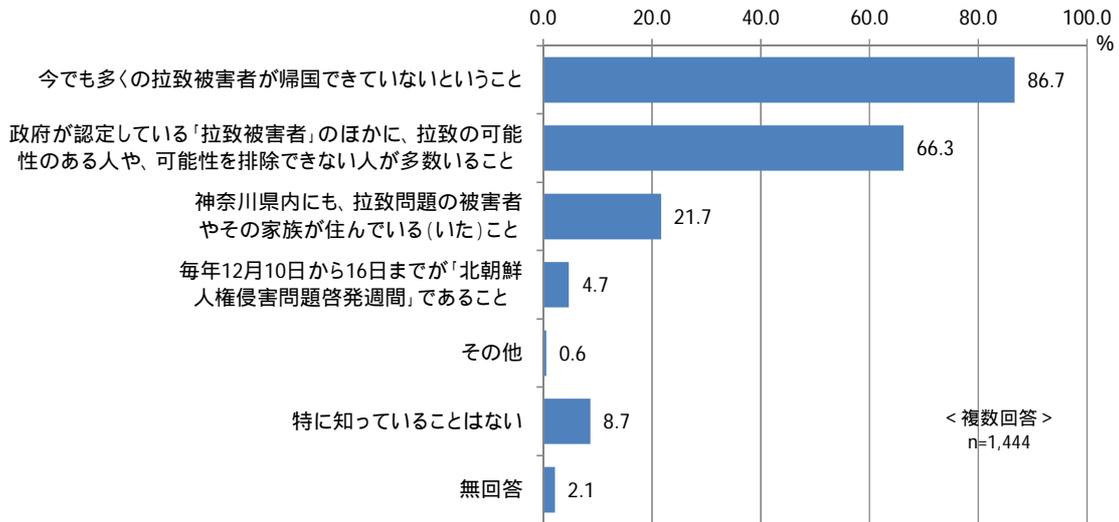
- ・自営業では「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」、「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」が同率、会社員・公務員など、学生では「デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること」、パート・アルバイト・契約社員などと仕事はしていない人では「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」、家事専業では「避難生活のプライバシーが守られないこと」が最も多く、その他の職業では「災害時に要援護者（障害者・高齢者・妊婦等）や外国人への配慮が行き届かないこと」、「デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること」が同率となっている。また、自営業では「わからない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い値となっている。

		問41 自然災害に伴い発生した原子力発電所の事故により、どのような人権問題が起きていると思うか																
合計		行き届かないこと	災害時に要援護者（障害者・高齢者・妊婦等）や外国人への配慮が行き届かないこと	避難生活で女性や妊婦等への配慮が行き届かないこと	避難生活のプライバシーが守られないこと	家族を亡くした人への配慮が行き届かないこと	デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること	学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること	差別的な言動をされること	否されること	アパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入居を拒否されること	学校、幼稚園等への入学や入園を拒否されること	待列生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待	その他	特にない	わからない	無回答
	全体	1444	48.0	42.2	58.2	41.5	55.6	56.5	36.5	13.6	10.6	13.9	52.5	1.9	1.5	8.5	1.9	
F 3 職業	自営業	84	45.2	32.1	40.5	41.7	52.4	53.6	39.3	16.7	14.3	15.5	53.6	2.4	2.4	19.0	1.2	
	会社員・公務員など	430	46.3	41.9	59.8	41.9	61.4	52.3	33.7	12.3	10.2	13.5	52.8	2.8	2.3	7.7	0.5	
	パート・アルバイト・契約社員など	289	46.7	43.6	61.9	42.9	61.6	63.3	39.4	14.9	11.4	15.6	54.7	1.0	1.0	5.9	2.1	
	家事専業	260	48.1	46.9	62.3	37.3	51.5	56.5	35.0	13.5	11.2	15.0	53.5	1.9	0.8	8.1	3.1	
	学生	29	51.7	37.9	62.1	48.3	79.3	58.6	44.8	13.8	10.3	20.7	62.1	3.4	0.0	3.4	0.0	
	その他の職業	52	59.6	44.2	53.8	48.1	59.6	50.0	42.3	9.6	7.7	7.7	42.3	1.9	0.0	9.6	0.0	
	仕事はしていない	288	50.3	39.9	54.9	41.7	43.4	58.0	35.8	13.9	9.4	11.1	50.0	1.4	1.7	10.1	3.1	

19. 北朝鮮当局による拉致被害者等の人権について

問 42 北朝鮮当局による拉致問題について、あなたが知っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに)

- ・「今でも多くの拉致被害者が帰国できていないということ」が 86.7% と非常に高い数値となっている。次いで「政府が認定している『拉致被害者』のほかに、拉致の可能性のある人や、可能性を排除できない人が多数いること」が 66.3% である。



性別・年齢別 北朝鮮当局による拉致問題について知っていること

- ・性別では、男女とも「今でも多くの拉致被害者が帰国できていないということ」が最も多い。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「今でも多くの拉致被害者が帰国できていないということ」が最も多くなっている。また、20代では「特に知っていることはない」、80歳以上では「神奈川県内にも、拉致問題の被害者やその家族が住んでいる(いた)こと」、「毎年12月10日から16日までが『北朝鮮人権侵害問題啓発週間』であること」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問42 北朝鮮当局による拉致問題について、知っていること						
			と帰国今でも多くの拉致被害者が多数いること	政府が認定している「拉致被害者」のほかに、拉致の可能性のある人や、可能性を排除できない人が多数いること	でいる(いた)こと	神奈川県内にも、拉致問題の被害者やその家族が住んでいる(いた)こと	毎日12月10日から16日までが「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」であること	その他	特に知っていることはない
	全体	1444	86.7	66.3	21.7	4.7	0.6	8.7	2.1
F 1 性別 (総合)	男性	641	86.7	67.9	21.2	5.3	0.8	9.0	1.2
	女性	782	87.1	65.3	21.6	4.1	0.4	8.4	2.4
F 2 年齢	20歳～29歳	113	74.3	44.2	9.7	3.5	0.0	19.5	0.9
	30歳～39歳	184	83.2	61.4	14.7	2.2	0.0	10.9	2.2
	40歳～49歳	266	88.0	64.3	15.0	3.0	0.4	8.3	0.4
	50歳～59歳	232	88.4	69.8	21.1	3.0	0.4	8.2	0.9
	60歳～69歳	313	92.3	74.1	26.8	3.2	0.3	5.1	1.3
	70歳～79歳	261	87.0	70.9	29.1	8.8	1.5	6.9	5.0
	80歳以上	63	84.1	60.3	34.9	17.5	1.6	11.1	4.8

職業別 北朝鮮当局による拉致問題について知っていること

- ・いずれの職業でも「今でも多くの拉致被害者が帰国できていないということ」が最も多くなっている。

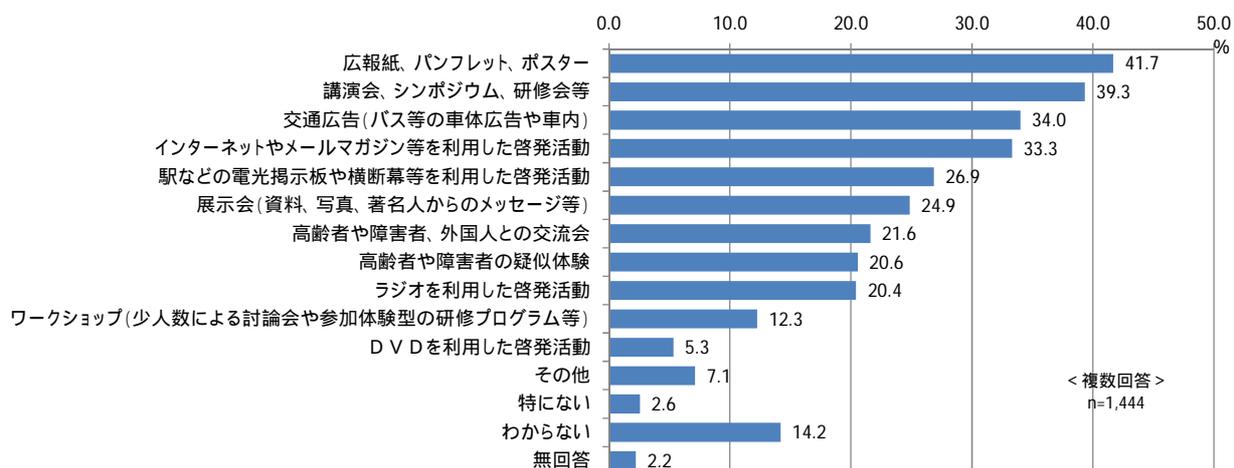
		合計	問42 北朝鮮当局による拉致問題について、知っていること						
			と帰国できても多くの拉致被害者が	が多数いること	政府が認定している「拉致被害者のほかに、拉致の可能性のある人や、可能性を排除できない人が多数いること」	の被害者やその家族が住んでいる（いた）こと	神奈川県内にも、拉致問題	問題が「1月10日から16日間で1週間」であること	その他
	全体	1444	86.7	66.3	21.7	4.7	0.6	8.7	2.1
F 3	職業								
	自営業	84	83.3	66.7	15.5	4.8	1.2	14.3	0.0
	会社員・公務員など	430	86.0	64.9	18.8	2.8	0.5	9.5	0.7
	パート・アルバイト・契約社員など	289	87.5	63.7	21.1	4.5	0.0	8.3	2.4
	家事専業	260	88.5	65.8	21.5	2.7	0.8	6.5	3.1
	学生	29	79.3	58.6	13.8	6.9	0.0	13.8	0.0
	その他の職業	52	82.7	73.1	19.2	3.8	1.9	15.4	1.9
	仕事はしていない	288	88.5	71.2	29.2	9.4	0.7	6.3	3.5

20. 人権課題の解決に向けた方策について

問 43 あなたは、人権啓発を推進するためには、どのような方法が効果的だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- ・「広報紙、パンフレット、ポスター」が最も多く 41.7%となっている。以下「講演会、シンポジウム、研修会等」(39.3%)、「交通広告(バス等の車体広告や車内)」(34.0%)、「インターネットやメールマガジン等を利用した啓発活動」(33.3%)が3割以上となっている。



性別・年齢別 人権啓発を推進するために効果があると思う方法

- ・性別では、男性は「講演会、シンポジウム、研修会等」、「広報紙、パンフレット、ポスター」が同率、女性は「広報紙、パンフレット、ポスター」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、40代以下の世代では「交通広告(バス等の車体広告や車内)」、50代、60代、80歳以上では「広報紙、パンフレット、ポスター」、70代では「講演会、シンポジウム、研修会等」が最も多くなっている。また、60代で「講演会、シンポジウム、研修会等」、70代で「ラジオを利用した啓発活動」、80歳以上では「わからない」の数値が、それぞれ全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問43 人権啓発を推進するために効果があると思う方法															
		合計	講演会、シンポジウム、研修会等	展示会(資料、写真、著名人からのメッセージ等)	広報紙、パンフレット、ポスター	ラジオを利用した啓発活動	DVDを利用した啓発活動	インターネットやメールマガジン等を利用した啓発活動	交通広告(バス等の車体広告や車内)	駅などの電光掲示板や横断幕等を利用した啓発活動	ワークショップ(少人数による討論会や参加体験型の研修プログラム等)	高齢者や障害者の疑似体験	高齢者や障害者、外国人との交流会	その他	特にない	わからない	無回答
	全体	1444	39.3	24.9	41.7	20.4	5.3	33.3	34.0	26.9	12.3	20.6	21.6	7.1	2.6	14.2	2.2
F 1 性別 (統合)	男性	641	39.5	23.9	39.5	21.4	6.2	34.0	31.4	27.0	12.0	17.0	18.9	7.0	3.1	14.7	1.1
	女性	782	39.4	25.8	43.7	19.7	4.5	32.9	36.3	26.9	12.5	23.7	24.4	7.0	2.2	13.8	2.7
F 2 年齢	20歳～29歳	113	26.5	17.7	26.5	11.5	0.9	38.1	49.6	29.2	10.6	18.6	21.2	11.5	2.7	11.5	0.0
	30歳～39歳	184	28.3	21.2	28.8	14.7	2.2	38.6	39.7	32.1	17.4	26.1	25.5	14.1	2.7	10.9	1.1
	40歳～49歳	266	30.5	21.4	32.0	16.5	4.1	36.1	36.5	27.1	12.4	19.5	21.1	7.9	3.4	16.2	0.8
	50歳～59歳	232	36.6	23.7	45.3	19.8	3.4	37.1	32.8	22.0	11.2	25.0	27.2	7.3	2.2	16.4	1.3
	60歳～69歳	313	50.8	28.1	52.4	23.6	6.1	31.3	29.7	26.8	9.3	18.5	18.5	5.1	2.2	11.8	1.0
	70歳～79歳	261	50.6	29.9	49.8	30.7	10.3	26.4	26.8	26.8	16.1	18.8	19.5	3.1	2.7	13.4	6.1
	80歳以上	63	39.7	28.6	47.6	14.3	9.5	25.4	31.7	23.8	3.2	15.9	20.6	1.6	1.6	28.6	4.8

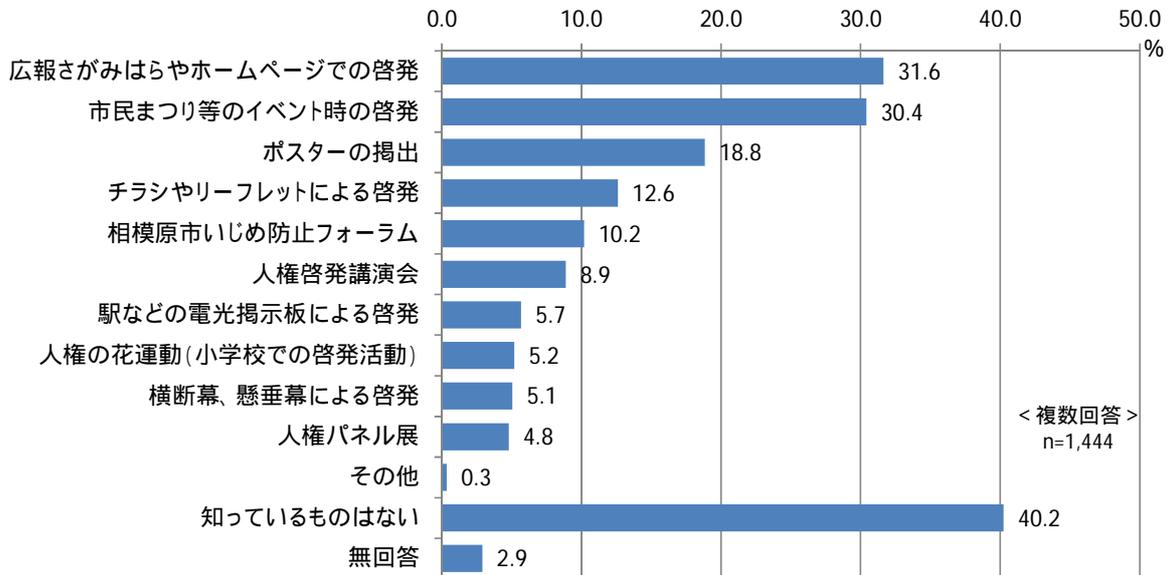
職業別 人権啓発を推進するために効果があると思う方法

- ・自営業では「講演会、シンポジウム、研修会等」、会社員・公務員などでは「インターネットやメールマガジン等を利用した啓発活動」、パート・アルバイト・契約社員など、家事専業、仕事をしていない人では「広報紙、パンフレット、ポスター」、学生では「交通広告（バス等の車体広告や車内）」が最も多く、その他の職業では「講演会、シンポジウム、研修会等」と「広報紙、パンフレット、ポスター」が同率となっている。また、自営業では「ラジオを利用した啓発活動」、学生では「インターネットやメールマガジン等を利用した啓発活動」、「駅などの電光掲示板や横断幕等を利用した啓発活動」、「その他」、その他の職業では「高齢者や障害者の疑似体験」の数値が、それぞれ全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問43 人権啓発を推進するために効果があると思う方法															
		合計	講演会等、シンポジウム、研修会等	展示会（資料、写真、著名人からのメッセージ等）	広報紙、パンフレット、ポスター	ラジオを利用した啓発活動	DVDを利用した啓発活動	インターネットやメールマガジン等を利用した啓発活動	交通広告（バス等の車体広告や車内）	駅などの電光掲示板や横断幕等を利用した啓発活動	研修プログラム等（少人数によるワークショップ）	高齢者や障害者の疑似体験	高齢者や障害者、外国人との交流会	その他	特になし	わからない	無回答
	全体	1444	39.3	24.9	41.7	20.4	5.3	33.3	34.0	26.9	12.3	20.6	21.6	7.1	2.6	14.2	2.2
F 3 職業	自営業	84	41.7	29.8	38.1	31.0	4.8	33.3	28.6	19.0	17.9	15.5	22.6	6.0	0.0	19.0	2.4
	会社員・公務員など	430	34.2	21.2	35.3	19.5	4.0	37.7	36.7	28.4	10.0	21.2	21.9	10.5	3.5	11.9	0.9
	パート・アルバイト・契約社員など	289	38.1	26.6	43.3	17.0	5.9	37.4	37.0	26.3	13.5	24.6	25.6	8.7	3.8	13.1	1.7
	家事専業	260	43.5	24.2	48.1	18.8	4.2	26.2	30.4	25.0	10.4	18.8	20.8	4.2	1.9	15.0	3.8
	学生	29	24.1	20.7	31.0	10.3	0.0	44.8	48.3	37.9	10.3	17.2	27.6	17.2	0.0	0.0	3.4
	その他の職業	52	40.4	23.1	40.4	25.0	0.0	36.5	38.5	26.9	19.2	34.6	23.1	5.8	0.0	15.4	0.0
	仕事はしていない	288	45.5	28.5	46.2	24.0	9.0	28.1	28.8	27.1	13.5	17.0	17.7	2.8	1.7	18.4	2.8

問 44 相模原市では、市民の皆様が人権についての理解を深めていただくため、講演会やパネル展示などの啓発事業を行っています。次のうち、あなたが知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに)

- ・「知っているものはない」が最も多く 40.2%である。最も認知度の高い啓発事業は「広報さがみはらやホームページでの啓発」(31.6%)、次いで「市民まつり等のイベント時の啓発」(30.4%)となっている。



性別・年齢別 相模原市での講演会やパネル展示などの啓発事業の認知度

- ・性別では、男女とも「知っているものはない」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、50代以下の世代では「知っているものはない」、60代では「市民まつり等のイベント時の啓発」、70代と80歳以上では「広報さがみはらやホームページでの啓発」が最も多く、世代によって傾向が分かれた。また、70代と80歳以上でも「市民まつり等のイベント時の啓発」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		合計	問44 相模原市での講演会やパネル展示などの啓発事業の認知度												
			人権啓発講演会	人権パネル展	市民まつり等のイベント時	ポスターの掲出	チラシやリーフレットによる啓発	人権の花運動(小学校での啓発活動)	相模原市いじめ防止フォーラム	広報さがみはらやホームページでの啓発	駅などの電光掲示板による啓発	横断幕、懸垂幕による啓発	その他	知っているものはない	無回答
全体		1444	8.9	4.8	30.4	18.8	12.6	5.2	10.2	31.6	5.7	5.1	0.3	40.2	2.9
F 1 性別 (統合)	男性	641	10.1	5.0	28.5	19.2	12.9	3.6	8.1	29.2	6.4	6.6	0.3	44.0	1.7
	女性	782	7.8	4.6	31.7	18.4	12.5	6.6	12.1	33.5	4.7	3.8	0.4	37.7	3.8
F 2 年齢	20歳～29歳	113	4.4	0.0	17.7	19.5	8.8	3.5	11.5	15.9	14.2	7.1	0.0	54.9	0.0
	30歳～39歳	184	2.2	0.5	21.7	16.3	9.2	2.7	10.3	16.8	3.3	4.9	0.5	56.5	0.0
	40歳～49歳	266	5.6	4.1	23.3	15.4	14.3	6.8	12.0	23.3	6.4	7.1	0.8	50.0	1.1
	50歳～59歳	232	9.9	4.7	25.9	19.0	9.1	2.2	9.1	36.2	4.7	3.0	0.4	40.1	1.7
	60歳～69歳	313	11.8	5.1	38.7	21.1	16.3	5.4	7.0	36.4	4.2	3.2	0.3	32.9	4.5
	70歳～79歳	261	13.0	8.0	41.0	22.2	14.6	8.8	10.7	43.3	5.0	6.5	0.0	24.5	7.3
	80歳以上	63	14.3	11.1	42.9	12.7	9.5	4.8	19.0	49.2	7.9	4.8	0.0	30.2	1.6

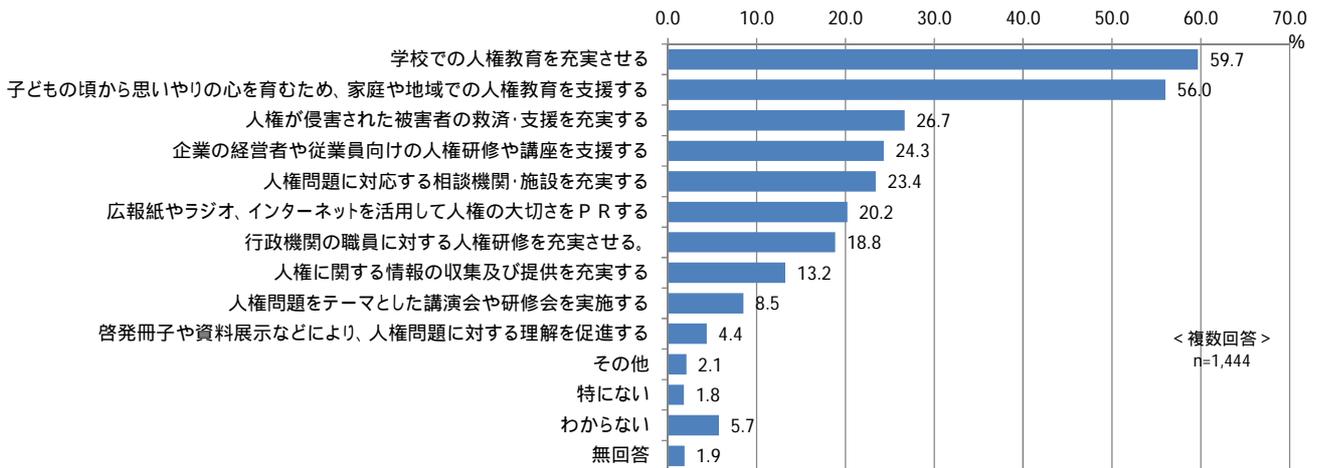
職業別 相模原市での講演会やパネル展示などの啓発事業の認知度

- ・家事専業と仕事をしていない人では「広報さがみはらやホームページでの啓発」、それ以外の職業では「知っているものはない」が最も多くなっている。また、学生では「駅などの電光掲示板による啓発」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問44 相模原市での講演会やパネル展示などの啓発事業の認知度													
		合計	人権啓発講演会	人権パネル展	市民まつり等のイベント時	ポスターの掲出	チラシやリーフレットによる啓発	啓発活動（小学校での人権の花運動）	ラム相模原市いじめ防止フォーラム	広報さがみはらやホームページでの啓発	駅などの電光掲示板による啓発	横断幕、懸垂幕による啓発	その他	知っているものはない	無回答
F3 職業	全体	1444	8.9	4.8	30.4	18.8	12.6	5.2	10.2	31.6	5.7	5.1	0.3	40.2	2.9
	自営業	84	7.1	3.6	32.1	14.3	11.9	2.4	2.4	29.8	2.4	4.8	1.2	47.6	2.4
	会社員・公務員など	430	8.4	3.7	24.0	18.6	11.4	4.7	9.1	24.7	8.1	5.8	0.5	49.1	0.5
	パート・アルバイト・契約社員など	289	6.2	2.8	30.8	17.0	13.5	2.8	10.4	32.9	3.1	3.8	0.3	38.4	3.1
	家事専業	260	8.8	8.1	35.0	20.4	16.2	8.5	14.6	36.9	5.0	2.7	0.4	31.5	5.4
	学生	29	6.9	0.0	27.6	24.1	6.9	0.0	13.8	10.3	17.2	6.9	0.0	41.4	3.4
	その他の職業	52	13.5	3.8	17.3	21.2	7.7	1.9	3.8	26.9	3.8	7.7	0.0	51.9	1.9
	仕事はしていない	288	12.2	5.9	37.8	19.4	12.2	7.3	11.1	39.9	4.9	6.9	0.0	32.6	4.5

問 45 あなたは、人権問題や人権課題の解決に向けて、相模原市は今後どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまでお選びください。(は3つまで)

- ・「学校での人権教育を充実させる」(59.7%)、「子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する」(56.0%)の2つが飛び抜けて多くなっている。以下「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」(26.7%)、「企業の経営者や従業員向けの人権研修や講座を支援する」(24.3%)、「人権問題に対応する相談機関・施設を充実する」(23.4%)、「広報紙やラジオ、インターネットを活用して人権の大切さをPRする」(20.2%)などとなっている。



性別・年齢別 人権問題や人権課題の解決に向けて相模原市が力を入れていくべきこと

- ・性別では、男性は「学校での人権教育を充実させる」、女性は「子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、40代以下の世代と60代では「学校での人権教育を充実させる」、50代、70代、80歳以上では「子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する」が最も多くなっている。また、30代では「企業の経営者や従業員向けの人権研修や講座を支援する」の数値が全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問45 人権問題や人権課題の解決に向けて、相模原市が力を入れていけばよいと思うこと																
		合計	を支援する	子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を充実させる	学校での人権教育を充実させる	企業の経営者や従業員向けの人権研修や講座を支援する	行政機関の職員に対する人権研修を充実させる	人権問題に対応する相談機関・施設を充実する	人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する	切さをPRする	広報紙やラジオ、インターネットを活用して人権の大切さをPRする	啓発冊子や資料展示などにより、人権問題に対する理解を促進する	演会や研修会を実施する	人権問題に関する情報の収集及び提供を充実する	その他	特になし	わからない	無回答
	全体	1444	56.0	59.7	24.3	18.8	23.4	26.7	20.2	4.4	8.5	13.2	2.1	1.8	5.7	1.9		
F 1 性別 (統合)	男性	641	51.6	60.4	27.1	18.6	24.0	26.4	20.7	4.2	8.0	14.4	2.8	2.2	5.8	1.1		
	女性	782	59.7	59.3	21.9	18.7	22.6	27.0	19.7	4.3	9.1	12.3	1.4	1.4	5.8	2.4		
F 2 年齢	20歳～29歳	113	47.8	61.9	31.9	14.2	25.7	29.2	15.9	1.8	4.4	7.1	3.5	2.7	6.2	0.0		
	30歳～39歳	184	50.5	59.2	37.0	16.8	15.8	29.3	21.7	4.3	4.3	15.2	3.8	2.2	5.4	0.0		
	40歳～49歳	266	53.8	60.5	25.9	16.9	19.5	27.4	21.8	3.0	5.6	12.0	2.6	1.9	7.5	0.4		
	50歳～59歳	232	61.6	59.9	25.9	18.5	28.4	31.9	19.4	3.0	9.9	17.7	0.9	1.7	4.3	1.3		
	60歳～69歳	313	56.5	62.9	18.2	25.2	26.8	25.9	19.2	5.1	9.6	14.4	1.3	1.0	3.2	2.6		
	70歳～79歳	261	59.0	58.2	18.8	19.2	22.2	21.8	19.5	6.5	13.8	10.0	1.9	1.9	6.9	5.0		
	80歳以上	63	65.1	49.2	15.9	11.1	23.8	17.5	25.4	4.8	7.9	15.9	0.0	3.2	11.1	1.6		

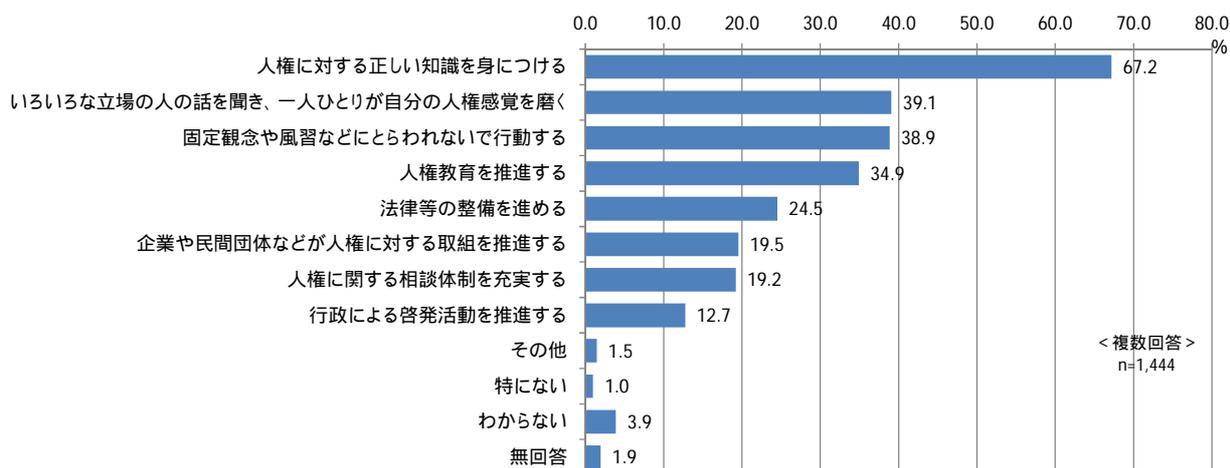
職業別 人権問題や人権課題の解決に向けて相模原市が力を入れていくべきこと

- ・家事専業では「子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する」、それ以外の職業では「学校での人権教育を充実させる」が最も多くなっている。また、学生では「人権問題に対応する相談機関・施設を充実する」、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」、「広報紙やラジオ、インターネットを活用して人権の大切さをPRする」の数値が、それぞれ全体値より10ポイント以上高い値となっている。

	合計	問45 人権問題や人権課題の解決に向けて、相模原市が力を入れていけばよいと思うこと																
		を支援する	子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する	学校での人権教育を充実させる	企業の経営者や従業員向けの人権研修や講座を支援する	行政機関の職員に対する人権研修を充実させる	相談機関・施設を充実する	人権問題に対応する相談機関・施設を充実する	救済・支援を充実する被害者の人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する	切さをPRする	広報紙やラジオ、インターネットを活用して人権の大切さをPRする	啓発冊子や資料展示などにより人権問題に対する理解を促進する	演会や研修会を実施する	人権問題をテーマとした講演会や研修会を実施する	人権に関する情報の収集及び提供を充実する	その他	特になし	わからない
全体	1444	56.0	59.7	24.3	18.8	23.4	26.7	20.2	4.4	8.5	13.2	2.1	1.8	5.7	1.9			
F3 職業																		
自営業	84	59.5	61.9	15.5	20.2	31.0	25.0	21.4	4.8	3.6	15.5	2.4	1.2	7.1	2.4			
会社員・公務員など	430	54.9	60.2	32.1	17.2	19.5	30.0	24.0	3.5	6.3	13.5	2.3	1.9	4.2	0.2			
パート・アルバイト・契約社員など	289	56.7	61.2	23.2	19.0	21.5	29.1	15.2	3.1	8.0	14.2	1.7	2.8	4.8	1.7			
家事専業	260	61.2	60.4	21.2	21.5	22.7	24.2	19.2	5.8	13.8	12.7	1.5	0.4	6.5	3.5			
学生	29	37.9	65.5	31.0	13.8	44.8	37.9	31.0	0.0	6.9	10.3	0.0	0.0	0.0	3.4			
その他の職業	52	42.3	57.7	28.8	17.3	26.9	25.0	13.5	1.9	9.6	21.2	1.9	3.8	7.7	1.9			
仕事はしていない	288	56.3	56.6	18.1	19.1	26.4	21.5	20.1	6.3	9.4	10.8	2.4	2.1	8.0	2.8			

問 46 あなたは、一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまでお選びください。(は3つまで)

- ・「人権に対する正しい知識を身につける」が最も多く67.2%で突出している。次いで「いろいろな立場の人の話を聞き、一人ひとりが自分の人権感覚を磨く」(39.1%)、「固定観念や風習などにとらわれないで行動する」(38.9%)、「人権教育を推進する」(34.9%)が3割以上となっている。



性別・年齢別 人権問題や人権課題の解決に向けて相模原市が力を入れていくべきこと

- ・性別では、男女とも「人権に対する正しい知識を身につける」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの世代も「人権に対する正しい知識を身につける」が最も多くなっている。また、20代では「固定観念や風習などにとらわれないで行動する」、30代では「法律等の整備を進める」、80歳以上では「行政による啓発活動を推進する」の数値が、それぞれ全体値より10ポイント以上高い値となっている。

		問46 一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために必要なこと													
		合計	身に権につける	人権感覚を磨く	いろいろな立場の人の話を聞き、一人ひとりが自分の人権感覚を磨く	固定観念や風習などにとらわれないで行動する	人権に関する相談体制を充実する	法律等の整備を進める	人権教育を推進する	行政による啓発活動を推進する	企業や民間団体などが人権に対する取組を推進する	その他	特にない	わからない	無回答
	全体	1444	67.2	39.1	38.9	19.2	24.5	34.9	12.7	19.5	1.5	1.0	3.9	1.9	
F 1 性別 (統合)	男性	641	68.2	35.1	37.0	17.8	26.7	37.3	15.1	21.1	2.5	1.2	3.4	1.2	
	女性	782	66.1	42.5	39.9	19.8	22.6	33.1	10.9	18.2	0.5	0.8	4.2	2.6	
F 2 年齢	20歳～29歳	113	60.2	39.8	53.1	9.7	30.1	28.3	6.2	26.5	0.0	1.8	3.5	0.0	
	30歳～39歳	184	67.4	44.6	39.7	15.8	36.4	32.6	6.0	20.7	2.7	0.5	3.8	0.5	
	40歳～49歳	266	68.4	37.2	35.3	13.2	31.2	36.5	12.0	17.7	1.9	0.8	4.9	0.4	
	50歳～59歳	232	69.4	44.4	37.9	25.9	23.7	38.4	10.8	19.0	2.2	1.3	3.0	1.3	
	60歳～69歳	313	70.3	38.0	36.1	24.9	20.1	35.5	16.9	19.5	1.0	0.3	2.2	2.2	
	70歳～79歳	261	66.3	34.1	37.2	19.9	17.2	36.8	14.9	17.6	0.8	1.1	4.2	5.0	
	80歳以上	63	55.6	36.5	47.6	12.7	11.1	27.0	25.4	19.0	0.0	3.2	9.5	3.2	

性別・年齢別 人権問題や人権課題の解決に向けて相模原市が力を入れていくべきこと

- ・いずれの職業も「人権に対する正しい知識を身につける」が最も多くなっている。また、学生では「固定観念や風習などにとらわれないで行動する」の数値が全体値より 10 ポイント以上高い値となっている。

		合計	問46 一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために必要なこと													
			身に人権をつける	人権感覚を磨く	聞き流さず一人ひとりの話を	いろいろな立場の人の話を	固定観念や風習などにとら	われぬ行動する	人権に関する相談体制を充	実する	法律等の整備を進める	人権教育を推進する	行政による啓発活動を推進	企業や民間団体などが人権	対する取組を推進する	その他
	全体	1444	67.2	39.1	38.9	19.2	24.5	34.9	12.7	19.5	1.5	1.0	3.9	1.9		
F 3 職業	自営業	84	78.6	45.2	33.3	17.9	20.2	34.5	16.7	10.7	1.2	0.0	3.6	1.2		
	会社員・公務員など	430	71.2	39.5	41.6	15.3	29.5	36.3	10.2	24.4	2.6	0.5	2.1	0.5		
	パート・アルバイト・契約社員など	289	61.9	41.5	35.3	22.1	27.0	32.9	10.0	18.7	1.0	2.1	3.8	1.4		
	家事専業	260	66.9	44.6	41.9	18.8	17.3	35.0	13.5	15.4	0.4	0.0	5.8	3.8		
	学生	29	65.5	44.8	58.6	13.8	34.5	37.9	3.4	20.7	0.0	0.0	3.4	0.0		
	その他の職業	52	65.4	34.6	42.3	23.1	17.3	36.5	11.5	13.5	0.0	1.9	7.7	1.9		
	仕事はしていない	288	63.9	29.9	34.0	22.2	23.3	34.7	18.8	19.4	1.4	1.7	4.2	3.5		

調查票

平成28年度 相模原市 人権に関する市民意識調査

【ご協力をお願い】

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
本市では人権尊重のまちづくりを進めていくために、「相模原市人権施策推進指針」を策定し、様々な人権施策を推進しております。こうした中で、このたび、市民の皆様の人権に関する意識や考えなどをお聞きし、今後の人権施策を効果的に進める基礎資料とするため、市民意識調査を実施いたします。

この調査をお願いするにあたりましては、住民基本台帳を利用して、20歳以上の相模原市民の方から3,000人を無作為に選ばせていただきました。

調査結果は、すべて統計的に処理されますので、ご回答をいただいた内容が特定されることや、調査の目的以外に使用されることは一切ございません。

お忙しいところ、設問数も多くお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年12月

相模原市長 加山 俊夫

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒のあて名ご本人が回答くださるようお願いいたします。
2. 回答に氏名・住所を記入していただく必要はありません。
3. 回答は、あてはまる選択肢の番号を で囲んでください。
4. 回答の の数は、各質問に(は1つ)、(は3つまで)、(あてはまるものすべてに)などと指定してありますので、それに合わせてください。
5. 自分の意見に近い選択肢がない場合は「その他()」の選択肢の番号を で囲み、()の中にその内容を具体的にご記入ください。
6. 一部の方だけに回答していただく質問もありますが、その場合は矢印や説明文に従ってください。

すべての記入が終わりましたら、お忙しいところ誠に恐縮ですが、

平成28年12月15日(木)までに

同封の返送用封筒に入れてご投函くださるようお願いいたします。(切手不要)

調査に関する問い合わせ先
相模原市 市民局 人権・男女共同参画課
〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号
電話 042-769-8205(直通)

この調査票を読むことがむずかしい方には、ルビ付きの調査票と点字版の調査票を用意してあります。問い合わせ先までご連絡ください。

初めに、あなたご自身のことについてお伺いします。

F 1 あなたの性別を教えてください。(は1つ)

1 男性	2 女性	3 その他()
------	------	----------

F 2 あなたの年齢を教えてください。(は1つ) <平成28年12月1日現在の満年齢>

1 20歳~29歳	5 60歳~69歳
2 30歳~39歳	6 70歳~79歳
3 40歳~49歳	7 80歳以上
4 50歳~59歳	

F 3 あなたのご職業を教えてください。2つ以上の職業をお持ちの方は主なものを次の中から1つ選んでください。(は1つ)

1 自営業
2 会社員・公務員など
3 パート・アルバイト・契約社員など
4 家事専業
5 学生
6 その他の職業
7 仕事はしていない

F 4 あなたは、インターネットを利用していますか。(は1つ)

1 よく利用している(毎日1回以上)
2 ときどき利用している(週に1回以上)
3 あまり利用していない(月に1回程度)
4 利用していない

(F 4で「1 よく利用している」又は「2 ときどき利用している」とお答えの方に)

→F 5 どのような目的でインターネットを利用していますか。

(あてはまるものすべてに)

1 ホームページの閲覧
2 電子メールのやり取り
3 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
4 オンラインゲーム
5 商品・サービスの購入、取引
6 その他()

人権全般についての考えや意識について

問1 あなたは、今の日本は、一人ひとりの人権が尊重されている社会だと思いますか。
(は1つ)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 そう思う | 4 そうは思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 わからない |
| 3 あまりそう思わない | |

問2 あなたは、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思いますか、あまり変わらないと思いますか、それとも次第に多くなってきたと思いますか。
(は1つ)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 少なくなってきた | 3 多くなってきた |
| 2 あまり変わらない | 4 わからない |

問3 あなた自身の人権意識は、5年前に比べ高くなったと思いますか。
(は1つ)

- | | |
|------------|---------|
| 1 高くなった | 3 変わらない |
| 2 少しは高くなった | 4 わからない |

問4 「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見について、あなたはどのように思いますか。
(は1つ)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 そう思う | 4 そうは思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 わからない |
| 3 あまりそう思わない | |

問5 あなたの「人権」に対する考えのうち、もっとも近いものは次のうちどれですか。
(は1つ)

- | |
|---|
| 1 一人ひとりの人権は、何よりも尊重されなければならない |
| 2 人権は尊重されるべきであるが、社会生活においては、ある程度の制約もやむを得ない |
| 3 権利の濫用を防ぐため、人権はもっと制限すべきである |
| 4 わからない |

問6 次の人権に関する相談先のうち、あなたが知っているものはありますか。相談経験の有無は問いません。(カッコ内は実施主体等)

(あてはまるものすべてに)

1	人権擁護委員(国)
2	法務局(横浜地方法務局相模原支局)で実施している人権相談(国)
3	みんなの人権110番(国)
4	子どもの人権110番(国)
5	女性の人権ホットライン(国)
6	児童相談所全国共通ダイヤル 189(国)
7	区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談(人権相談)(市・国)
8	さがみはら子どもの権利相談室(市)
9	いじめ相談ダイヤル(市)
10	こども虐待110番(市)
11	男女共同参画専門員(市)
12	相模原市配偶者暴力相談支援センター(市)
13	ソレイユさがみ女性相談室(市)
14	犯罪被害者等相談窓口(市)
15	その他()
16	知っているものはない

問7 次の人権課題に関連する言葉のうち、あなたが知っているものはありますか。番号で回答してください。

(それぞれ は1つ)

人権課題に関連する言葉	選択肢
セクシャル・ハラスメント	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
マタニティ・ハラスメント	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
パワー・ハラスメント	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
ドメスティック・バイオレンス	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
LGBT	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
セクシャル・マイノリティ	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
ヘイトスピーチ	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
ダイバーシティ	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
バリアフリー	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
ユニバーサルデザイン	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
ネグレクト	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
ワーク・ライフ・バランス	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない

問8 あなたは、今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

(は1つ)

1 ある

2 ない 問10へ

(問8で「1 ある」とお答えの方に)

問9 それは、次のうちどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口
- 2 名誉・信用のき損、侮辱
- 3 公務員からの不当な取扱
- 4 暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことをやらされたり、権利の行使を妨害された)
- 5 悪臭・騒音等の迷惑行為
- 6 差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱をされた)
- 7 出身地、家柄等に関すること
- 8 国籍による差別や特定の民族に対する侮辱
- 9 容姿や身体的特徴に関すること
- 10 障害に関すること
- 11 疾病に関すること
- 12 性的指向や心の性に関すること(いわゆるLGBT*)
- 13 地域社会での嫌がらせ
- 14 学校でのいじめ
- 15 職場での嫌がらせ
- 16 使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇
- 17 社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱
- 18 プライバシーの侵害
- 19 セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)
- 20 ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)
- 21 その他()
- 22 なんとなく
- 23 答えたくない

LGBT: 性的マイノリティの人で、レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシャル(性的指向が男性と女性のどちらにも向く人)、トランスジェンダー(心と体の性が一致しない人)を言います。

(問8で「1 ある」とお答えの方、「2 ない」とお答えの方にそれぞれお伺いします。)

問10 「1 ある」とお答えの方 自分の人権が侵害されたと思ったとき、どうしましたか。
「2 ない」とお答えの方 もし、自分の人権が侵害された場合、どうしますか。
(もっともあてはまるものに 1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1 我慢した(する) | 6 法務局または人権擁護委員に相談した(する) |
| 2 相手に抗議した(する) | 7 民間の相談機関に相談した(する) |
| 3 身近な人に相談した(する) | 8 警察に相談した(する) |
| 4 弁護士に相談した(する) | 9 その他() |
| 5 市役所に相談した(する) | 10 わからない |

問11 あなたはこれまでに、他人の人権を侵害してしまったことがありますか。
(は1つ)

- | | |
|------|-----------|
| 1 ある | 2 ない 問13へ |
|------|-----------|

(問11で「1 ある」とお答えの方に)

→問12 それは、次のうちどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに)

- | |
|--|
| 1 他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口 |
| 2 名誉・信用のき損、侮辱 |
| 3 暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことを強要したり、権利の行使を妨害した) |
| 4 悪臭・騒音等の迷惑行為 |
| 5 差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱) |
| 6 出身地、家柄に関すること |
| 7 国籍による差別や特定の民族に対する侮辱 |
| 8 容姿や身体的特徴に関すること |
| 9 障害に関すること |
| 10 疾病に関すること |
| 11 性的指向や心の性に関すること(いわゆるLGBT) |
| 12 地域社会での嫌がらせ |
| 13 学校でのいじめ |
| 14 職場での嫌がらせ |
| 15 社員や部下に対し、時間外労働の強制等の不当な待遇 |
| 16 プライバシーの侵害 |
| 17 セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ) |
| 18 ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力) |
| 19 その他() |
| 20 答えたくない |

問 13 あなたは、人権に関わるさまざまな問題のうち、どのような人権問題に関心がありますか。
(あてはまるものすべてに)

- 1 女性の人権問題
- 2 子どもの人権問題
- 3 高齢者の人権問題
- 4 障害者の人権問題
- 5 同和問題
- 6 アイヌの人々の人権問題
- 7 外国人の人権問題
- 8 HIV感染者やハンセン病患者・回復者などの人権問題
- 9 刑を終えて出所した人の人権問題
- 10 犯罪被害者とその家族の人権問題
- 11 インターネットを悪用した人権問題
- 12 北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題
- 13 ホームレスの人権問題
- 14 性的指向や心の性に関する人権問題(いわゆるLGBT)
- 15 性的搾取や強制労働、臓器の摘出などを目的とした人身取引の問題
- 16 大規模災害による避難生活や風評被害などの問題
- 17 その他()
- 18 特にない

問 14 あなたは、次の人権に関わるさまざまな問題について、今の日本の社会で、どの程度人権が尊重されていると思いますか。

(それぞれ は1つ)

人権に関わるさまざまな問題	1 尊重されている	2 ある程度尊重されている	3 あまり尊重されていない	4 尊重されていない	5 わからない
女性の人権問題	1	2	3	4	5
子どもの人権問題	1	2	3	4	5
高齢者の人権問題	1	2	3	4	5
障害者の人権問題	1	2	3	4	5
同和問題	1	2	3	4	5
アイヌの人々の人権問題	1	2	3	4	5
外国人の人権問題	1	2	3	4	5
H I V感染者やハンセン病患者・回復者などの人権問題	1	2	3	4	5
刑を終えて出所した人の人権問題	1	2	3	4	5
犯罪被害者とその家族の人権問題	1	2	3	4	5
インターネットを悪用した人権問題	1	2	3	4	5
北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題	1	2	3	4	5
ホームレスの人権問題	1	2	3	4	5
性的指向や心の性に関する人権問題(いわゆるL G B T)	1	2	3	4	5
性的搾取や強制労働、臓器の摘出などの人身取引の問題	1	2	3	4	5
大規模災害による避難生活や風評被害などの問題	1	2	3	4	5

女性の人権について

問 15 あなたは、女性の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること
- 2 職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること
- 3 セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)
- 4 ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)
- 5 売春・買春
- 6 「婦人」、「未亡人」、「家内」のような女性だけに使われる言葉
- 7 テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどによるわいせつ情報の氾濫
- 8 マタニティ・ハラスメント(妊娠、出産を理由としたいやがらせ)
- 9 女性に対する相談や支援体制の不備
- 10 女性が活躍することへの無理解
- 11 その他()
- 12 特にない
- 13 わからない

問 16 あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(は3つまで)

- 1 男性に対する意識啓発
- 2 女性に対する意識啓発
- 3 労働条件(採用条件・昇給昇格)などの男女平等の推進
- 4 学校教育や家庭教育における男女共同参画意識の啓発
- 5 テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどのわいせつ情報の規制や制限
- 6 政治や行政における意思決定の場へ女性の参画を促す仕組みづくり
- 7 性犯罪や暴力に対する取り締まりや処罰の強化
- 8 女性に対する相談や支援体制の充実
- 9 企業の経営者層や事業主の意識改革
- 10 その他()
- 11 特にない
- 12 わからない

子どもの人権について

問 17 あなたは、子どもの人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 いじめや、無視、嫌がらせなど
- 2 教師や指導者からの体罰
- 3 保護者からの虐待(身体・心理的・性的・育児放棄)
- 4 いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをする事
- 5 大人が子どもの意見を無視したり、大人の意見を押し付けたりする事
- 6 児童買春や児童ポルノなど、子どもが性の対象となっている事
- 7 生まれ育った環境で子どもの将来が左右されたり、親の貧困が子どもに連鎖したりする事
- 8 子どもの相談・支援体制が十分でない事
- 9 その他()
- 10 特になし
- 11 わからない

問 18 あなたは、子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(は3つまで)

- 1 子どもに対する人権教育の充実
- 2 教員や指導者の人権意識の向上
- 3 保護者への相談・支援体制の充実
- 4 子ども的人格や考えの尊重
- 5 生活困窮世帯への福祉的な支援の充実
- 6 児童買春や児童ポルノに対する取り締まりや処罰の強化
- 7 子どもが相談できる場や機会の充実
- 8 SNSを含めたインターネットの適正利用の促進
- 9 その他()
- 10 特になし
- 11 わからない

問 19 あなたは、相模原市子どもの権利条例(平成27年4月1日施行)を知っていますか。

(は1つ)

- 1 条例の内容をよく知っている
- 2 条例の内容をある程度知っている
- 3 条例ができたことは知っている
- 4 知らない

高齢者の人権について

問 20 あなたは、高齢者の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思えますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 活躍する場や能力を発揮する機会が少ないこと
- 2 差別的な言動をされること
- 3 振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと
- 4 アパートなどへの入居を拒否されること
- 5 家庭内の看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること
- 6 福祉施設等で、虐待を受けること
- 7 高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること
- 8 高齢者の意見や行動が尊重されないこと
- 9 社会保障制度が十分でなく、経済的な自立が困難なこと
- 10 その他()
- 11 特にない
- 12 わからない

問 21 あなたは、高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思えますか。

(は3つまで)

- 1 高齢者の就労の場や能力を発揮する機会の充実
- 2 高齢者の人権についての意識啓発
- 3 世代間での意見交換や交流の促進
- 4 福祉人材の資質向上や職員研修の充実
- 5 高齢者の意見を反映させる機会の充実や仕組みの整備
- 6 高齢者が社会参加しやすくなるような環境づくり
- 7 高齢者に対する相談や支援体制の充実
- 8 周囲の人のちょっとした配慮や気遣い
- 9 その他()
- 10 特にない
- 11 わからない

障害のある人の人権について

問 22 あなたは、障害のある人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること
- 2 結婚問題で周囲の反対を受けること
- 3 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 4 差別的な言動をされること
- 5 振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと
- 6 アパートなどへの入居を拒否されること
- 7 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 8 スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと
- 9 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 10 活躍する場や能力を発揮する機会が少ないこと
- 11 障害の特性が十分に理解されていないこと
- 12 家庭内や福祉施設で虐待があること
- 13 日常生活や福祉サービスの利用に当たって、本人の意見が十分に尊重されていないこと
- 14 道路の段差やエレベータが設置されていないなど、生活する上でのバリアフリー化が十分に
進んでいないこと
- 15 社会保障制度が十分でなく、経済的な自立が困難なこと
- 16 その他 ()
- 17 特にない
- 18 わからない

問 23 あなたは、障害のある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(は3つまで)

- 1 障害のある人の就労の場や能力を発揮する機会の充実
- 2 障害のある人の人権についての意識啓発
- 3 障害や障害のある人についての理解を深める取組の充実
- 4 福祉人材の資質向上や職員研修の充実
- 5 障害のある人の意見を反映させる機会の充実や仕組みの整備
- 6 障害のある人が社会参加しやすくなるような環境づくり
- 7 障害のある人に対する相談や支援体制の充実
- 8 周囲の人のちょっとした配慮や気遣い
- 9 その他 ()
- 10 特にない
- 11 わからない

同和問題（部落差別）について

問 24 あなたは、同和問題*を知っていますか。

（ は1つ ）

1 知っている

2 知らない 問 27 へ

（問 24 で「1 知っている」とお答えの方に）

→ 問 25 あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。

（ は1つ ）

- 1 家族（祖父母、父母、きょうだい等）から聞いた
- 2 親戚の人から聞いた
- 3 近所の人から聞いた
- 4 職場の人から聞いた
- 5 学校の友だちから聞いた
- 6 学校の授業で教わった
- 7 テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った
- 8 同和問題の集会や研修で知った
- 9 県や市町村の広報紙や冊子などで知った
- 10 インターネットで知った
- 11 同和問題は知っているが、きっかけは覚えていない
- 12 その他（ ）

同和問題：日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分階層構造に基づく差別により、一部の人が長い間、経済的、社会的、文化的に低位の状態を強いられ、日常生活で様々な差別を受ける日本固有の人権問題。

（問 24 で「1 知っている」とお答えの方に）

→ 問 26 あなたは、同和問題について、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

（あてはまるものすべてに ）

- 1 結婚問題で周囲から反対を受けること
- 2 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 3 差別的な言動をされること
- 4 差別的な落書きをされること
- 5 身元を調査されること
- 6 インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること
- 7 その他（ ）
- 8 特になし
- 9 わからない

外国人の人権について

問 27 あなたは、外国人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること
- 2 結婚問題で周囲の反対を受けること
- 3 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 4 差別的な言動をされること
- 5 アパートなどへの入居を拒否されること
- 6 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 7 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと
- 8 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 9 外国語で対応できる公的機関や医療機関などが少ないこと
- 10 鉄道・道路・施設などの案内表示で外国語表記が十分でないこと
- 11 その他()
- 12 特にない
- 13 わからない

問 28 あなたは、外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(は3つまで)

- 1 外国人の就労の場や能力を發揮する機会の充実
- 2 文化や習慣の違いを理解するための教育や意識啓発
- 3 情報提供や情報発信における多言語化の推進
- 4 外国語による相談・支援体制の充実
- 5 いわゆるヘイトスピーチなど、差別的言動への規制強化
- 6 その他()
- 7 特にない
- 8 わからない

性的少数者の人権について

問 29 あなたは、いわゆる L G B T * などの性的少数者の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思えますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること
- 2 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 3 差別的な言動をされること
- 4 アパートなどへの入居を拒否されること
- 5 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 6 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 7 性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること
- 8 戸籍上の「夫婦」ではないことによる不利益（相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦や家族を対象にしたサービスが受けられないなど）
- 9 公衆のトイレや入浴施設で生じる生活上の問題
- 10 身体的な性別による制服や髪型などの強要
- 11 テレビなどで、性的少数者が笑いの対象として扱われること
- 12 その他 ()
- 13 特にない
- 14 わからない

L G B T : レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシャル（性的指向が男性と女性のどちらにも向く人）、トランスジェンダー（心と体の性が一致しない人）を言います。

問 30 あなたは、性的少数者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思えますか。

(は3つまで)

- 1 正しく理解するための教育や啓発
- 2 性的少数者の相談や支援体制の充実
- 3 法律等の整備
- 4 各自治体や企業などの取組により、社会全体の意識を高める努力
- 5 その他 ()
- 6 特にない
- 7 わからない

問 31 あなた自身、または、あなたの家族や友人にいわゆる L G B T などの性的少数者の人はいますか。

(は1つ)

- 1 いる（あなた自身） 2 いる（家族や友人） 3 いない 4 わからない

エイズ患者やH I V感染者の人権について

問 32 あなたは、エイズ患者やH I V*（エイズウイルス）の感染者の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

（あてはまるものすべてに ）

- 1 結婚問題で周囲の反対を受けること
- 2 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 3 医療機関で治療や入院を断られること
- 4 無断でエイズ検査等をされること
- 5 差別的な言動をされること
- 6 アパートなどへの入居を拒否されること
- 7 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 8 エイズやH I Vについて、誤った認識や偏見があること
- 9 その他（ ）
- 10 特になし
- 11 わからない

H I V：「ヒト免疫不全ウイルス」のこと。感染し適切な治療が施されないと、免疫力を低下させ、重篤な全身性免疫不全によりエイズ（後天性免疫不全症候群）を発症する。

働く人の人権について

問 33 あなたは、働く人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

（あてはまるものすべてに ）

- 1 職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ（パワー・ハラスメント）
- 2 職場内での性的いやがらせ（セクシャル・ハラスメント）
- 3 妊娠や出産を理由としたいやがらせ（マタニティ・ハラスメント）
- 4 長時間労働が常態化し、仕事と生活の調和が保てないこと
- 5 非正規雇用など、不安定な雇用形態が増えていること
- 6 同じ仕事でも、雇用形態により賃金に差があること
- 7 職業や職種によって差別や偏見があること
- 8 性別によって差別や不利益があること
- 9 その他（ ）
- 10 特になし
- 11 わからない

刑を終えて出所した人の人権について

問 34 あなたは、刑を終えて出所した人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 結婚問題で周囲の反対を受けること
- 2 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 3 差別的な言動をされること
- 4 アパートなどへの入居を拒否されること
- 5 プライバシーが守られていないこと
- 6 過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと
- 7 相談や支援体制が十分でないこと
- 8 その他()
- 9 特にない
- 10 わからない

犯罪被害者等の人権について

問 35 あなたは、犯罪被害者やその家族の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 犯罪行為によってこれまでなかった経済的負担を負うこと
- 2 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること
- 3 警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと
- 4 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
- 5 刑事手続に被害者の声が十分反映されていないこと
- 6 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること
- 7 被害者にも責任があるなどと周囲から言われること
- 8 過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと
- 9 犯罪被害者の相談や支援体制が十分でないこと
- 10 その他()
- 11 特にない
- 12 わからない

ハンセン病患者や回復者の人権について

問 36 あなたは、ハンセン病*患者や回復者の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること
- 2 結婚問題で周囲の反対を受けること
- 3 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 4 医療機関で治療や入院を断られること
- 5 ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難であること
- 6 差別的な言動をされること
- 7 アパートなどへの入居を拒否されること
- 8 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 9 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 10 ハンセン病について正しく理解されておらず、誤った認識や偏見があること
- 11 患者や回復者のプライバシーが守られていないこと
- 12 その他 ()
- 13 特にない
- 14 わからない

ハンセン病：らい菌が主に皮膚と神経を侵す慢性の感染症。現代では治療法が確立され、完治する病気であるが、過去には、感染力が強いという病気に対する誤った認識が広まり、強制的に療養所に収容されるなど隔離政策がとられていた。

人身取引に関する人権問題について

問 37 あなたは、人身取引*に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 人身取引についての理解や認識が十分でないこと
- 2 児童ポルノや児童買春などにより、子どもに対する性的搾取が行われていること
- 3 不当に安い賃金で強制的に働かされている労働環境があること
- 4 女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと
- 5 営利目的で臓器の摘出や売買が行われていること
- 6 その他 ()
- 7 特にない
- 8 わからない

人身取引：暴力、脅迫、誘拐、詐欺などの手段で、売春や強制労働、臓器摘出などを強要し、利益を得る行為。

ホームレスの人権について

問 38 あなたは、ホームレスの人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること
- 2 近隣住民や通行人等から暴力をふるわれること
- 3 就職・職場で不利な扱いを受けること
- 4 差別的な言動をされること
- 5 アパートなどへの入居を拒否されること
- 6 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 7 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 8 経済的に自立が困難であること
- 9 その他()
- 10 特になし
- 11 わからない

アイヌの人々の人権について

問 39 あなたは、アイヌ*の人々の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること
- 2 結婚問題で周囲の反対を受けること
- 3 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 4 差別的な言動をされること
- 5 独自の文化や伝統の保存、伝承が十分図られていないこと
- 6 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 7 アイヌの歴史が十分理解されておらず、誤解や偏見が存在すること
- 8 身元を調査されること
- 9 その他()
- 10 特になし
- 11 わからない

アイヌ：主に北海道・樺太・千島列島などに居住し、固有の言語や伝統的な儀式、祭事など独自の豊かな文化を持つ先住民族。

インターネットを利用した人権問題について

問 40 あなたは、インターネットを利用した人権問題について、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 他人を誹謗中傷する情報が掲載されること
- 2 他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること
- 3 出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること
- 4 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること
- 5 児童ポルノの温床となっていること
- 6 本人の知らないうちにプライバシーに関する情報が掲載されること
- 7 監視や規制の体制や法整備が十分でないこと
- 8 その他()
- 9 特にない
- 10 わからない

災害に起因する人権問題について

問 41 あなたは、地震などの自然災害や、それに伴って発生した原子力発電所の事故により被災した方々に、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 災害時に要援護者(障害者・高齢者・妊婦等)や外国人への配慮が行き届かないこと
- 2 避難生活で女性や妊婦等への配慮が行き届かないこと
- 3 避難生活のプライバシーが守られないこと
- 4 家族を亡くした人への配慮が行き届かないこと
- 5 デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること
- 6 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること
- 7 差別的な言動をされること
- 8 アパートなどへの入居を拒否されること
- 9 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 10 学校、幼稚園等への入学や入園を拒否されること
- 11 避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待
- 12 その他()
- 13 特にない
- 14 わからない

北朝鮮当局による拉致被害者等の人権について

問 42 北朝鮮当局による拉致問題*について、あなたが知っていることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 今でも多くの拉致被害者が帰国できていないということ
- 2 政府が認定している「拉致被害者」のほかに、拉致の可能性のある人や、可能性を排除できない人が多数いること
- 3 神奈川県内にも、拉致問題の被害者やその家族が住んでいる(いた)こと
- 4 毎年 12 月 10 日から 16 日までが「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」であること
- 5 その他()
- 6 特に知っていることはない

拉致問題：1970 年代から 1980 年代にかけて、北朝鮮当局による多くの日本人拉致が発生した。日本政府はこれまでに 17 人を北朝鮮による拉致被害者として認定しているが、このほかにも拉致の可能性が排除できないケースが多くある。北朝鮮は 2002 年に初めて拉致を認め、これまでに 5 人の拉致被害者が帰国している。

人権課題の解決に向けた方策について

問 43 あなたは、人権啓発を推進するためには、どのような方法が効果的だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 講演会、シンポジウム、研修会等
- 2 展示会(資料、写真、著名人からのメッセージ等)
- 3 広報紙、パンフレット、ポスター
- 4 ラジオを利用した啓発活動
- 5 DVDを利用した啓発活動
- 6 インターネットやメールマガジン等を利用した啓発活動
- 7 交通広告(バス等の車体広告や車内)
- 8 駅などの電光掲示板や横断幕等を利用した啓発活動
- 9 ワークショップ(少人数による討論会や参加体験型の研修プログラム等)
- 10 高齢者や障害者の疑似体験
- 11 高齢者や障害者、外国人との交流会
- 12 その他()
- 13 特にない
- 14 わからない

問 44 相模原市では、市民の皆様が人権についての理解を深めていただくため、講演会やパネル展示などの啓発事業を行っています。次のうち、あなたが知っているものはありますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 人権啓発講演会
- 2 人権パネル展
- 3 市民まつり等のイベント時の啓発
- 4 ポスターの掲出
- 5 チラシやリーフレットによる啓発
- 6 人権の花運動(小学校での啓発活動)
- 7 相模原市いじめ防止フォーラム
- 8 広報さがみはらやホームページでの啓発
- 9 駅などの電光掲示板による啓発
- 10 横断幕、懸垂幕による啓発
- 11 その他()
- 12 知っているものはない

問 45 あなたは、人権問題や人権課題の解決に向けて、相模原市は今後どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまでお選びください。

(は3つまで)

- 1 子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する
- 2 学校での人権教育を充実させる
- 3 企業の経営者や従業員向けの人権研修や講座を支援する
- 4 行政機関の職員に対する人権研修を充実させる。
- 5 人権問題に対応する相談機関・施設を充実する
- 6 人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する
- 7 広報紙やラジオ、インターネットを活用して人権の大切さをPRする
- 8 啓発冊子や資料展示などにより、人権問題に対する理解を促進する
- 9 人権問題をテーマとした講演会や研修会を実施する
- 10 人権に関する情報の収集及び提供を充実する
- 11 その他()
- 12 特にない
- 13 わからない

問 46 あなたは、一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまでお選びください。

(　は3つまで)

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1 人権に対する正しい知識を身につける | |
| 2 いろいろな立場の人の話を聞き、一人ひとりが自分の人権感覚を磨く | |
| 3 固定観念や風習などにとらわれずに行動する | |
| 4 人権に関する相談体制を充実する | |
| 5 法律等の整備を進める | |
| 6 人権教育を推進する | |
| 7 行政による啓発活動を推進する | |
| 8 企業や民間団体などが人権に対する取組を推進する | |
| 9 その他(|) |
| 10 特になし | |
| 11 わからない | |

**質問は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。**

お手数ですが、調査票は同封の返信用封筒に入れて、平成28年12月15日(木)までにポストに投函してください。(切手不要)

人権に関する市民意識調査報告書

平成29年3月発行

編集・発行 相模原市 市民局 人権・男女共同参画課

相模原市中央区中央2-11-15

電話 042(769)8205 FAX 042(753)9413

E-mail jinkendanjo@city.sagamihara.kanagawa.jp